

平成 2 1 年 度

埼 玉 県 政 世 論 調 査

報 告 書

彩の国

埼 玉 県

はじめに

この冊子は、平成21年7月から8月にかけて実施した県政世論調査の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和43年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「スポーツ振興」、「水道の未来づくり」の2つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

この調査結果が、県及び市町村の施策立案や諸事業の実施に有効に利用されるとともに、県内外の方々にも幅広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、このたび調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、御支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成21年11月

埼玉県県民生活部長 後閑 博

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	14
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	19
(2)	生活程度	22
(3)	生活全体の満足度	27
(4)	定住意向	33
(4-1)	定住したい理由	37
(4-2)	転出したい理由	48
(4-3)	転出先	56
(4-4)	移り住みたい都道府県	60
2	日常生活	61
(1)	地域社会活動への参加経験	62
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	65
(2)	文化芸術活動の経験	68
(2-1)	文化芸術活動を行っていない理由	71
(3)	子育ての楽しさについて	74
(4)	子育てに負担を感じる内容	77
(5)	子どもがいる幸せを実感できる社会を実現する方策	81
(6)	食品の安全性に対する意識	85
(7)	外国人増加に対する感想	88
(7-1)	外国人増加をよいことだと思う理由	91
(7-2)	外国人増加をよいことだと思わない理由	94
(8)	埼玉県に関する情報の入手先	97
(9)	県広報紙「彩の国だより」の閲読状況	100
	課題調査	103
3	スポーツ振興	104
(1)	健康や体力への気遣い	104

(2) スポーツをする機会	107
(2-1) 週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由	110
(3) スポーツやレクリエーション活動をする理由	113
(4) 関わろうと思うスポーツの分類	116
(5) 総合型地域スポーツクラブへの入会意向	119
(6) スポーツボランティア活動への参加意向	122
(7) スポーツ観戦の機会	125
(8) 本県のチームや選手の活躍に対する関心	128
4 水道の未来づくり	131
(1) 水道水の飲み方	131
(2) 水道への不満	134
(3) 水道料金に対する意識	137
(4) 節水への取り組み	140
(5) 水道全般について知りたいこと	143
(6) 水道経営で最も優先すべき施策	146
(7) 水道の広域化に対する意識	150
	(課題調査ここまで)
5 県政への要望	153
III 調査票・単純集計結果	167
(参考資料) 世論調査実施状況	185

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進の資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、定住意向）
- (イ) 日常生活
- (ウ) スポーツ振興
- (エ) 水道の未来づくり
- (オ) 県政への要望

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- (ア) 調査地域 埼玉県全域
- (イ) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (ウ) 標本数 3,000
- (エ) 抽出方法 住民基本台帳による層化2段無作為抽出法
- (オ) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (カ) 調査時期 平成21年7月10日～8月3日
- (キ) 調査実施委託機関 株式会社 サーベイリサーチセンター

(4) 回収結果

- (ア) 有効回収数（率） 2,250（75.0%）
- (イ) 調査不能数（率） 750（25.0%）

〔調査不能の内訳〕

転居	58（7.7%）	長期不在	63（8.4%）
一時不在	185（24.7%）	住所不明	46（6.1%）
拒否	292（38.9%）	病気・入院	63（8.4%）
その他	43（5.7%）		

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満20歳以上の男女個人
 標本数：3,000
 地点数：市部 149地点 郡部(町村) 16地点 合計 165地点
 抽出方法：層化2段無作為抽出法

(1) 地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。(本表及び下の「地域区分図」は、平成21年4月1日現在の市町村名により表示している。)

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南部地域	川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市
	南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町
県北	北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、平成21年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（2）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満20歳以上の人口（平成21年1月1日現在の推定数）により、3,000の標本を比例配分した。

（3）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成17年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が19程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における満20歳以上人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって

該当人数番目の者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の基点とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地 域		市郡規模			計
		人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	
県南	南 部 地 域	514,070 262(14)	110,587 56(3)		624,657 318(17)
	南 西 部 地 域	403,845 206(12)	119,895 62(3)	30,549 15(1)	554,289 283(16)
	東 部 地 域	762,790 389(21)	117,165 60(3)	25,022 13(1)	904,977 462(25)
	さいたま地域	982,013 501(28)			982,013 501(28)
	県 央 地 域	281,829 144(8)	119,519 61(3)	32,491 16(1)	433,839 221(12)
圏央道	川越比企地域	358,465 183(10)	130,380 61(3)	164,637 85(4)	653,482 334(18)
	西 部 地 域	533,838 272(15)	115,582 59(3)		649,420 331(18)
	利 根 地 域		334,385 171(10)	217,386 111(6)	551,771 282(16)
	北 部 地 域	287,842 147(8)	66,841 34(2)	77,935 40(2)	432,618 221(12)
県北	秩 父 地 域		57,228 29(2)	35,655 18(1)	92,883 47(3)
	計	4,124,692 2,104(116)	1,171,582 598(33)	583,675 298(16)	5,879,949 3,000(165)

（注）上段…推定母集団数（満20歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標 本 構 成

(上段：人、下段：%、以下同)

(1) 地域別 (3区分)

総 数	県 南 圏 央 道 県	北
2,250	1,105	233
100.0	49.1	10.4

(2) 地域別

総 数	南 部 地 域	南 西 部 地 域	東 部 地 域	さいたま地域
2,250	222	198	318	367
100.0	9.9	8.8	14.1	16.3

県 央 地 域	川 越 比 企 地 域	西 部 地 域	利 根 地 域
193	275	247	197
8.6	12.2	11.0	8.8

北 部 地 域	秩 父 地 域
191	42
8.5	1.9

(3) 市郡規模別

総 数	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡 部 (町 村)
2,250	1,533	477	240
100.0	68.1	21.2	10.7

(4) 性 別

総 数	男 性	女 性
2,250	1,121	1,129
100.0	49.8	50.2

(5) 年代別

総 数	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70歳以上
2,250	229	389	386	393	515	338
100.0	10.2	17.3	17.2	17.5	22.9	15.0

(6) 職業別

総 数	自営業・家族従業 (計)		雇用者 (計)		無職 (計)			無 回 答
	自営業主	家族従業 (家業手伝い)	勤 め (全日)	勤 め (パートタイム)	無職の主婦・主夫	学 生	その他の無職	
2,250	177	64	850	338	407	40	370	4
100.0	7.9	2.8	37.8	15.0	18.1	1.8	16.4	0.2

(7) 県内居住年数別

総数	5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30年以上	無回答
2,250	111	127	289	465	1,235	23
100.0	4.9	5.6	12.8	20.7	54.9	1.0

(8) 出生地別

総数	埼玉県	埼玉県外	無回答
2,250	977	1,266	7
100.0	43.4	56.3	0.3

(9) 家族人数別

総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
2,250	196	600	601	495	200	104	44	10
100.0	8.7	26.7	26.7	22.0	8.9	4.6	2.0	0.4

(10) 未既婚別

総数	未婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無回答
2,250	423	1,586	225	16
100.0	18.8	70.5	10.0	0.7

(10-1) 子どもの有無・人数別（既婚者）

総数	1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答
1,811	357	919	289	56	10	175	5
100.0	19.7	50.7	16.0	3.1	0.6	9.7	0.3

(10-2) 子どもの段階

総数	0～3歳	4歳以上で 小学校入学前	小学生	中学生	高校生
1,631	159	103	244	148	166
100.0	9.7	6.3	15.0	9.1	10.2

短大生・ 専門学校生	大学生・ 大学院生	学校教育 終了・未婚	学校教育 終了・既婚	その他	無回答
34	131	532	723	31	14
2.1	8.0	32.6	44.3	1.9	0.9

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2,250	203	471	1,258	250	49	19
100.0	9.0	20.9	55.9	11.1	2.2	0.8

- ・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 住居形態別

総 数	持家（一戸建）	持家（集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2,250	1,500	309	299	101
100.0	66.7	13.7	13.3	4.5

社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み、寮、寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
32	-	4	5
1.4	-	0.2	0.2

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,250	305	210	237	190	458	536	314
100.0	13.6	9.3	10.5	8.4	20.4	23.8	14.0

※ ライフステージの分類

「年齢」「職業」「結婚」「子どもの有無」「子どもの成長段階」「家族形態」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子どもがいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子どもがおり、かつ、学校教育を終えた子どもはいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子どもがおり、かつ、既婚の子どもがいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子ども全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子ども全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子どものいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,250であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,250}} \doteq 0.024$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.4の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

[標本誤差早見表（主なもの）]

区 分	基 数	回 答 率					
		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度	
全 体	2,250	±1.8	±2.4	±2.7	±2.9	±3.0	
性 別	男性	1,121	±2.5	±3.4	±3.9	±4.1	±4.2
	女性	1,129	±2.5	±3.4	±3.9	±4.1	±4.2
年 代 別	20歳代	229	±5.6	±7.5	±8.6	±9.2	±9.3
	30歳代	389	±4.3	±5.7	±6.6	±7.0	±7.2
	40歳代	386	±4.3	±5.8	±6.6	±7.1	±7.2
	50歳代	393	±4.3	±5.7	±6.5	±7.0	±7.1
	60歳代	515	±3.7	±5.0	±5.7	±6.1	±6.2
	70歳以上	338	±4.6	±6.2	±7.1	±7.5	±7.7
地 域 別	南部	222	±5.7	±7.6	±8.7	±9.3	±9.5
	南西部	198	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.1
	東部	318	±4.8	±6.3	±7.3	±7.8	±7.9
	さいたま	367	±4.4	±5.9	±6.8	±7.2	±7.4
	県央	193	±6.1	±8.1	±9.3	±10.0	±10.2
	川越比企	275	±5.1	±6.8	±7.8	±8.4	±8.5
	西部	247	±5.4	±7.2	±8.2	±8.8	±9.0
	利根	197	±6.0	±8.1	±9.2	±9.9	±10.1
	北部	191	±6.1	±8.2	±9.4	±10.0	±10.2
	秩父	42	±13.1	±17.5	±20.0	±21.4	±21.8

(2) 調査結果の見方

- ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- イ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。
- ウ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者（n）で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.（Multiple Totalの略）として表示した。
- エ 調査票中の質問文中の〔カード提示〕とは、あらかじめ回答の選択肢を印刷したカードを提示して、その中から回答を選択してもらったことを示している。
- オ 住居形態別のその他（4人）のように少人数のものも、参考までに図表に掲載した。
- カ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。

II 調査結果の解説

1 生活意識 (問1～問4)

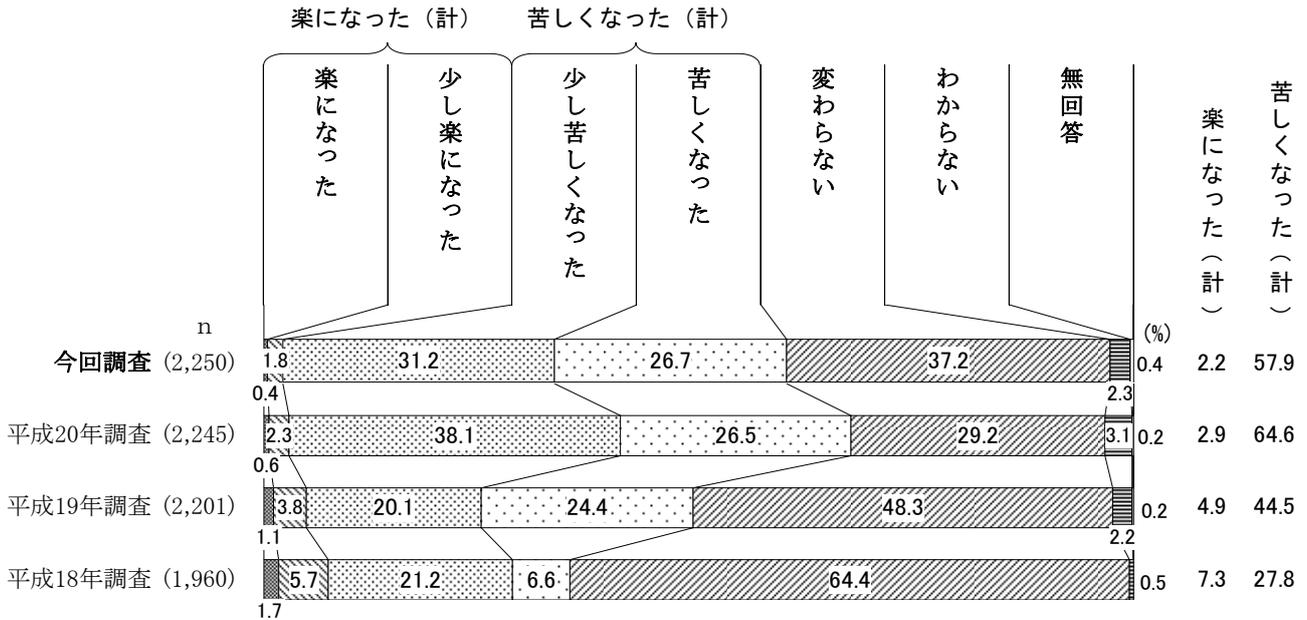
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年実施しています。問1の(1)「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が2回目となります。
- 問4「定住意向」は、平成6年度以降は3年毎に実施しています。

1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』が57.9%と昨年より6.7ポイント減少

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」(0.4%)と「少し楽になった」(1.8%)を合わせた『楽になった(計)』は2.2%である。一方、「苦しくなった」(26.7%)と「少し苦しくなった」(31.2%)を合わせた『苦しくなった(計)』(57.9%)は約6割で、「変わらない」(37.2%)を上回っている。

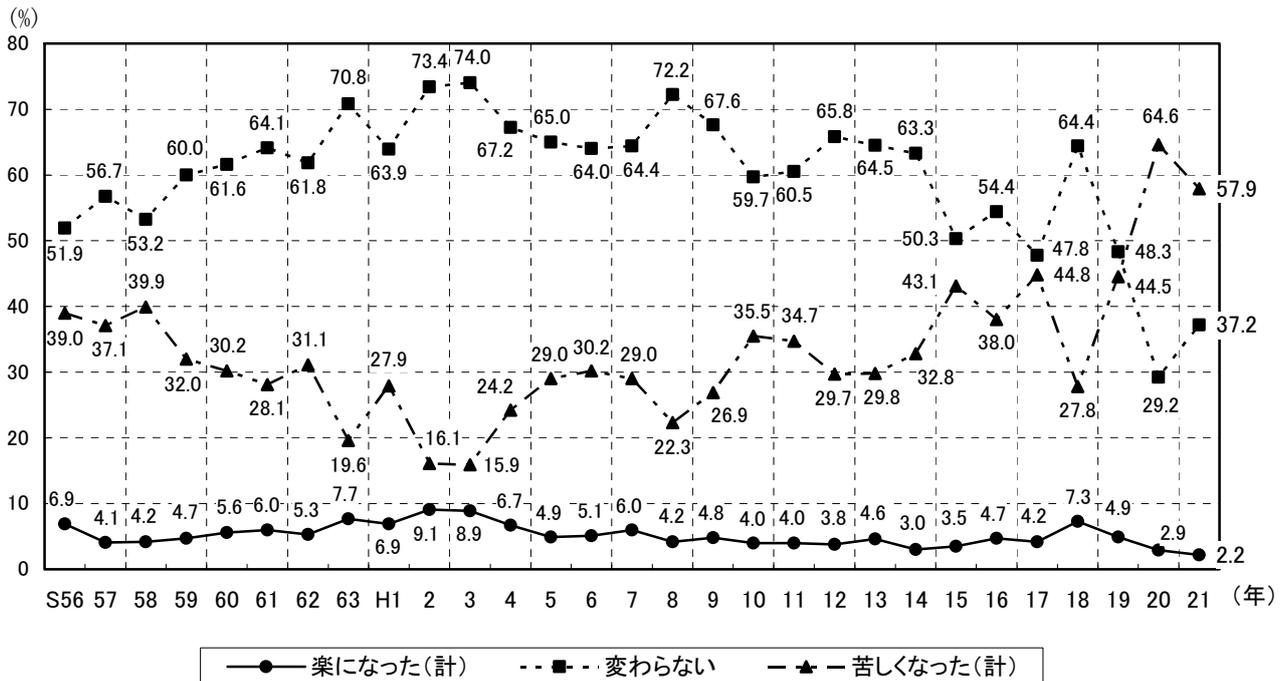
【過去3年間との比較】

過去3年間の調査結果と比較すると、昨年から『苦しくなった(計)』が6.7ポイント減少した。「少し苦しくなった」が6.9ポイント減少し、逆に「変わらない」が8.0ポイント増加した。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は最も高かった平成20年度より低いものの、「変わらない」を20.7ポイント上回る高い水準となっている。また、『楽になった（計）』は2.2%と過去最低の結果となっている。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



【生活程度別】

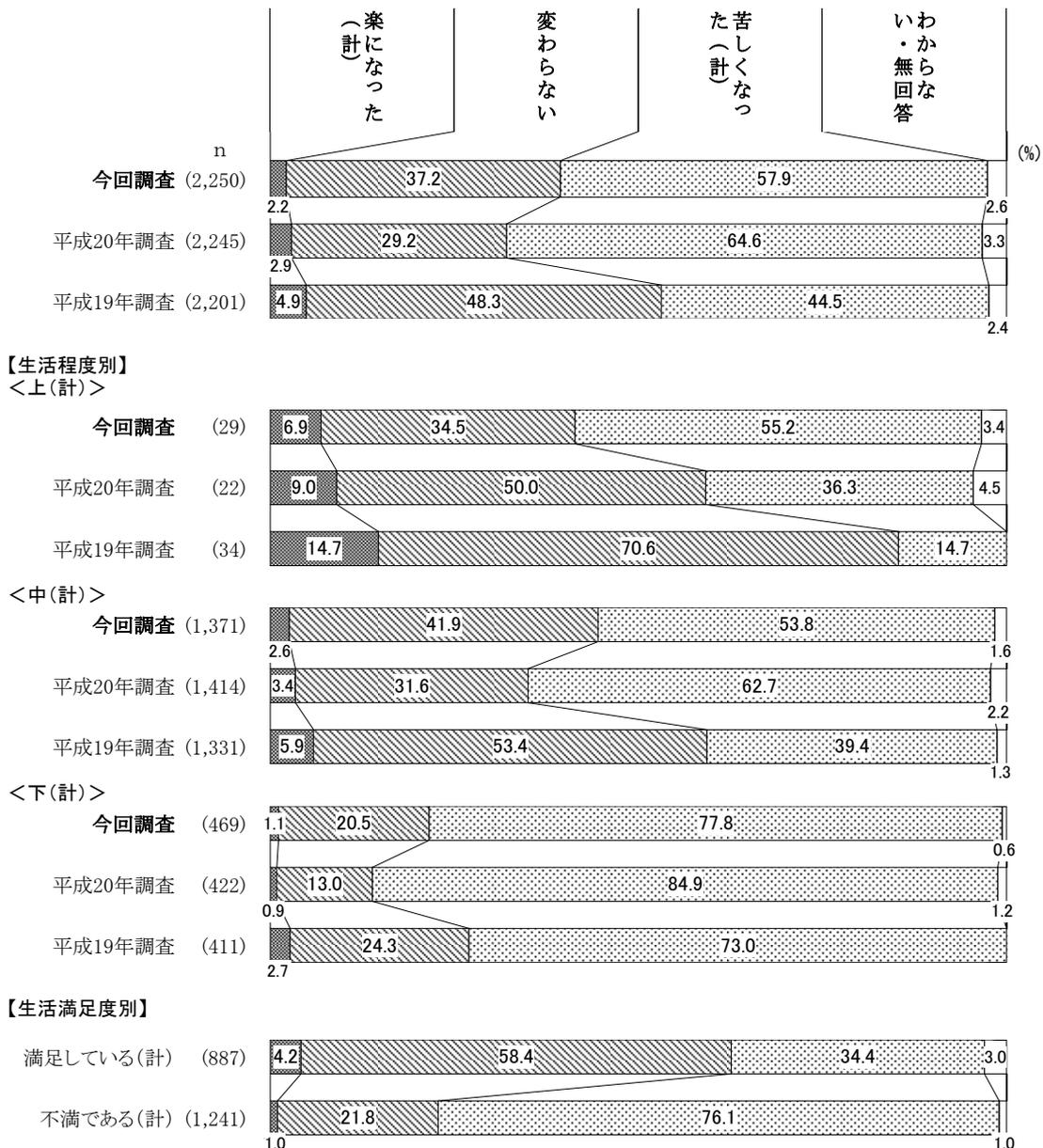
問2の生活程度別にみると、『苦しくなった（計）』は生活程度が下（計）（77.8%）で8割弱、上（計）（55.1%）、中（計）（53.9%）で5割超と差がみられるが、平成20年調査よりは差が縮まっている。逆に、「変わらない」では中（計）（41.9%）、上（計）（34.5%）、下（計）（20.5%）の順で高くなっている。

過去3年間の調査結果と比較すると、生活程度が上（計）で『苦しくなった（計）』が顕著に増加している。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、『苦しくなった（計）』は、満足している（計）（34.4%）の3割半ばに対して、不満である（計）（76.1%）では7割半ばと著しい差がある。一方、「変わらない」は、満足している（計）（58.4%）で6割弱、不満である（計）（21.8%）で2割強となっている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

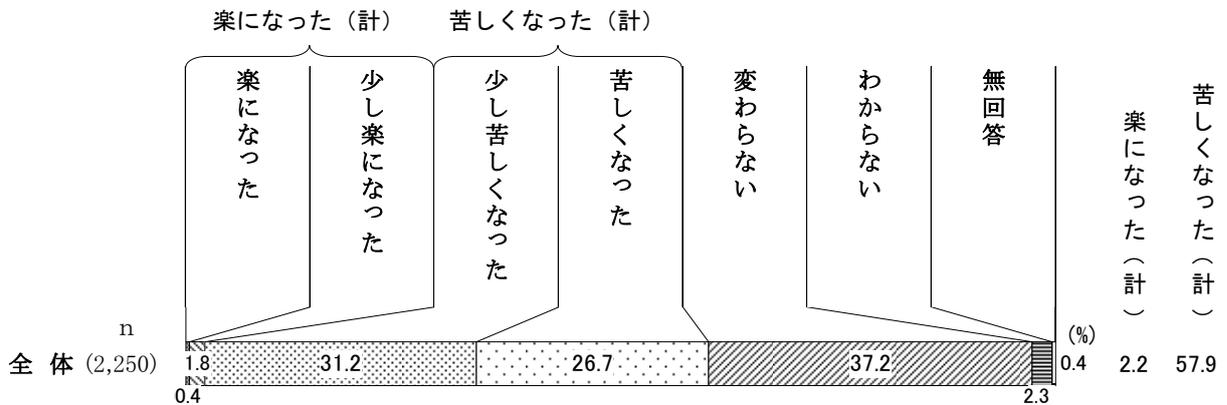
①性別

『苦しくなった（計）』は男女で大きな差異はみられないが、「苦しくなった」は男性（28.6%）のほうが女性（24.7%）よりも3.9ポイント高くなっている。

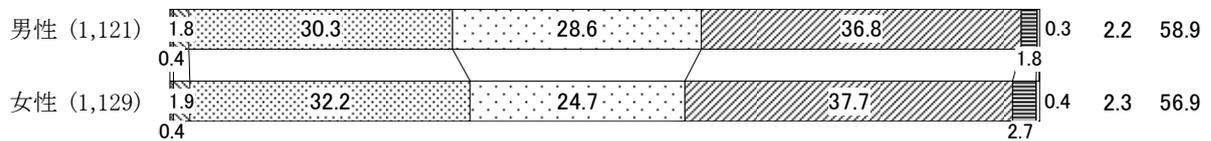
②年代別

『苦しくなった（計）』は50歳代（65.4%）で6割半ばを占めている。一方、20歳代（44.2%）では『苦しくなった（計）』は5割以下となっている。

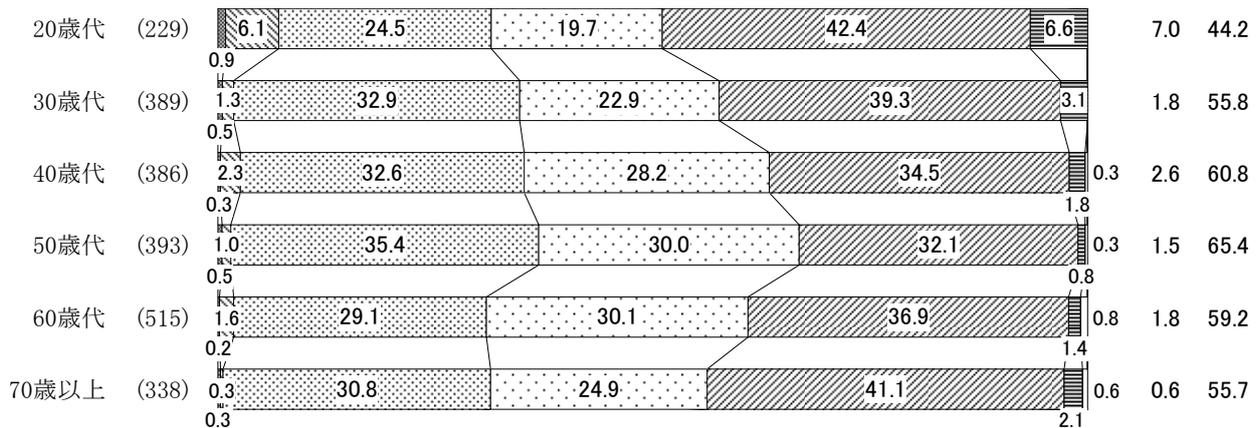
○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『苦しくなった（計）』は、南部地域（65.7%）、川越比企地域（64.0%）で6割半ばと高く、さいたま地域（54.2%）、県央地域（54.4%）、利根地域（55.9%）で5割半ばと比較的低くっており、西部地域（49.8%）では5割と特に低くなっている。

④性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性の50歳代（68.6%）で高くなっている。また、男性の20歳代を除く全ての年代で『苦しくなった（計）』が「変わらない」よりも高くなっており、特に男性の30歳代と50歳代、女性の40歳代と50歳代でその傾向が顕著である。

⑤職業別

『苦しくなった（計）』は自営業・家族従業（計）（61.9%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は独身期（46.3%）で4割半ば、家族形成期（54.3%）で5割半ばと比較的低いが、家族成長後期（71.6%）では7割強と高く、他のステージでも6割前後を占めている。

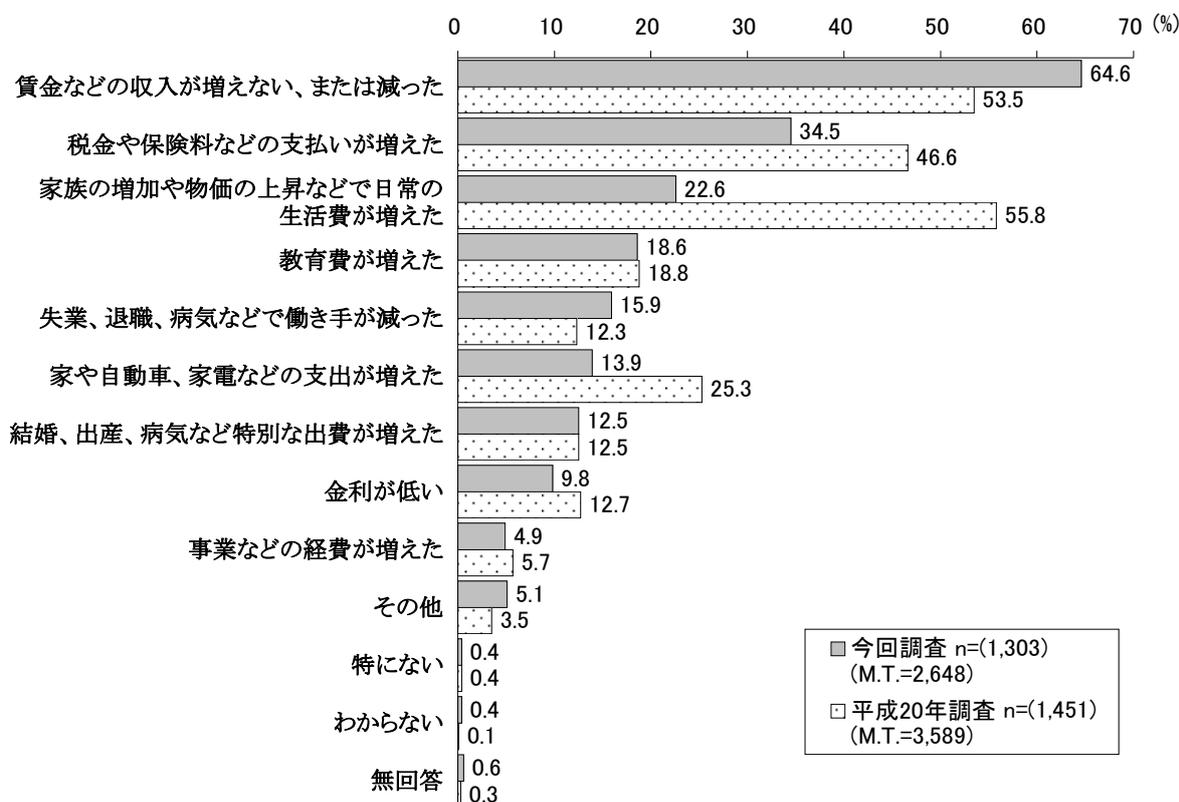
○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	楽になった	少し楽になった	た少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答	(計) 楽になった	(計) 苦しくなった
全体	2250	0.4	1.8	31.2	26.7	37.2	2.3	0.4	2.2	57.9
地域別										
南部地域	222	-	0.9	35.1	30.6	32.0	1.4	-	0.9	65.7
南西部地域	198	-	3.0	31.3	29.3	33.8	2.5	-	3.0	60.6
東部地域	318	0.3	2.2	26.7	31.1	37.4	1.6	0.6	2.5	57.8
さいたま地域	367	0.8	1.9	32.4	21.8	39.5	2.7	0.8	2.7	54.2
県央地域	193	0.5	2.6	32.6	21.8	38.9	3.6	-	3.1	54.4
川越比企地域	275	0.4	1.1	30.9	33.1	31.6	2.9	-	1.5	64.0
西部地域	247	0.8	1.2	30.8	19.0	44.9	2.4	0.8	2.0	49.8
利根地域	197	0.5	3.0	32.0	23.9	39.1	1.5	-	3.5	55.9
北部地域	191	-	1.0	31.9	28.8	35.6	2.1	0.5	1.0	60.7
秩父地域	42	-	-	26.2	31.0	42.9	-	-	-	57.2
性・年代別										
男性・20歳代	114	1.8	6.1	23.7	17.5	44.7	6.1	-	7.9	41.2
30歳代	189	-	1.6	31.2	30.7	34.9	1.6	-	1.6	61.9
40歳代	200	0.5	2.5	28.0	30.5	36.0	2.5	-	3.0	58.5
50歳代	188	-	0.5	33.5	35.1	30.3	-	0.5	0.5	68.6
60歳代	250	0.4	1.6	29.6	30.4	36.8	0.8	0.4	2.0	60.0
70歳以上	180	0.6	-	33.9	22.2	41.1	1.7	0.6	0.6	56.1
女性・20歳代	115	-	6.1	25.2	21.7	40.0	7.0	-	6.1	46.9
30歳代	200	1.0	1.0	34.5	15.5	43.5	4.5	-	2.0	50.0
40歳代	186	-	2.2	37.6	25.8	32.8	1.1	0.5	2.2	63.4
50歳代	205	1.0	1.5	37.1	25.4	33.7	1.5	-	2.5	62.5
60歳代	265	-	1.5	28.7	29.8	37.0	1.9	1.1	1.5	58.5
70歳以上	158	-	0.6	27.2	27.8	41.1	2.5	0.6	0.6	55.0
職業別										
自営業・家族従業（計）	241	0.4	1.7	27.0	34.9	33.6	1.2	1.2	2.1	61.9
雇用者（計）	1188	0.5	2.1	31.0	27.2	37.0	2.0	0.2	2.6	58.2
無職（計）	817	0.2	1.5	32.9	23.4	38.7	2.9	0.4	1.7	56.3
ライフステージ別										
独身期	305	0.7	3.6	24.3	22.0	43.3	6.2	-	4.3	46.3
家族形成期	210	-	2.9	31.9	22.4	39.5	3.3	-	2.9	54.3
家族成長前期	237	0.8	3.0	37.1	20.7	36.7	1.7	-	3.8	57.8
家族成長後期	190	-	1.1	36.3	35.3	26.3	1.1	-	1.1	71.6
家族成熟期	458	0.4	1.7	33.2	26.0	37.1	1.5	-	2.1	59.2
高齢期	536	0.4	0.7	28.7	29.1	38.6	1.3	1.1	1.1	57.8
その他	314	0.3	1.0	31.5	30.3	34.7	1.6	0.6	1.3	61.8

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が64.6%

(問1で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)
問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」(64.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「税金や保険料などの支払いが増えた」(34.5%)、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(22.6%)、「教育費が増えた」(18.6%)、「失業、退職、病気などで働き手が減った」(15.9%)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(13.9%)の順となっている。

【前年(平成20年)調査との比較】

前年の調査結果と比較すると、「賃金などの収入が増えない、または減った」が11.1ポイント増加し、「税金や保険料などの支払いが増えた」(12.1ポイント減)、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(33.2ポイント減)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(11.4ポイント減)などが減少している。

【属性別比較】

①地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は北部地域（69.8%）で約7割と高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は東部地域（25.5%）のみ2割台と低く、それ以外の地域では3割台となっている。

②性別

「教育費が増えた」は女性（20.7%）のほうが男性（16.5%）よりも4.2ポイント高く、「結婚、出産、病気など特別な出費が増えた」は女性（14.2%）のほうが男性（10.9%）よりも3.3ポイント高くなっている。逆に「家や自動車、家電などの支出が増えた」は男性（15.1%）のほうが女性（12.6%）よりも2.5ポイント高くなっている。

③年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は20歳代から50歳代で7割を超えて高く、高年代で低くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は60歳代以上で4割を超えて高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は30歳代（34.1%）で最も高く、「教育費が増えた」は40歳代（46.4%）で特に高くなっている。

④性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男女とも20歳代から50歳代で高く、高年代で低くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性70歳以上（54.5%）、女性20歳代（46.3%）と60歳代（45.8%）と70歳以上（43.7%）で4割を超えて高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は男性30歳代（38.5%）で最も高く、「教育費が増えた」は女性40歳代（54.2%）で特に高くなっている。

⑤職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は無職（計）（47.0%）を除き7割台と高くなっている。逆に「税金や保険料などの支払いが増えた」は無職（計）（44.3%）で4割半ばと高くなっている。「教育費が増えた」は雇用者（計）（26.0%）で高く、「失業、退職、病気などで働き手が減った」は無職（計）（25.2%）で特に高くなっている。

⑥ライフステージ別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は家族形成期（56.1%）で5割半ばと突出して高くなっている。「教育費が増えた」は家族成長前期（54.0%）、家族成長後期（74.3%）で特に高くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別でみると、「税金や保険料などの支払いが増えた」は生活程度が低いほど割合が高く、「教育費が増えた」は生活程度が高いほど割合が高くなっている。

【生活満足度別】

ほとんどの項目で不満である（計）が高く、「賃金などの収入が増えない、または減った」では不満である（計）（69.2%）が満足している（計）（53.1%）を16.1ポイント上回り、「税金や保険料などの支払いが増えた」では不満である（計）（37.2%）が満足している（計）（25.6%）を11.6ポイント上回るなど、差が大きくなっている。

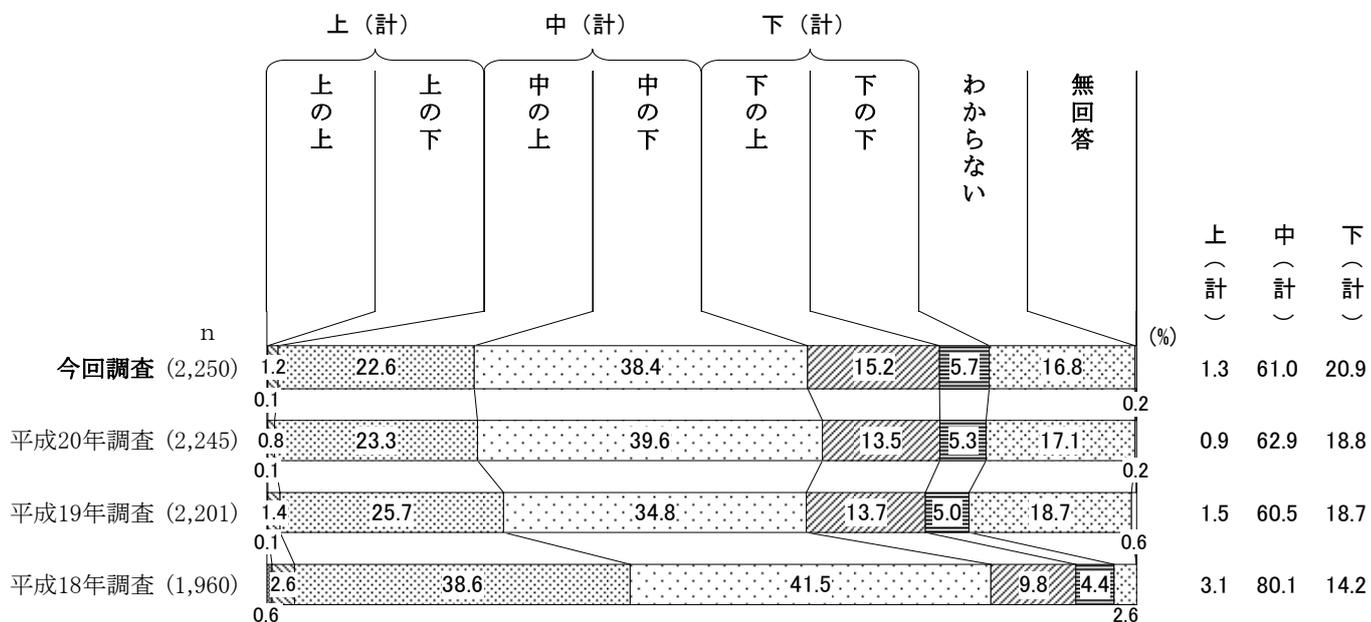
○暮らし向きが苦しくなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別／生活程度別／生活満足度別

	調査数	賃金など の収入が 減った	税金や保 険料など の支払い が増えた	家族の増 加や物価 の上昇な どで日常 の生活費 が増えた	教育費が 増えた	失業、退 職、病 気などで 働き手が 減った	家や自動 車、家電 などの支 出が増え た	結婚、出 産、病 気など特 別な出費 が増えた	金利が低 い	事業など の経費が 増えた	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1303	64.6	34.5	22.6	18.6	15.9	13.9	12.5	9.8	4.9	5.1	0.4	0.4	0.6
地域別														
南部地域	146	63.0	35.6	19.2	20.5	15.8	12.3	14.4	6.2	4.8	4.1	-	0.7	1.4
南西部地域	120	65.0	36.7	20.8	10.0	15.8	15.8	9.2	9.2	5.8	4.2	0.8	-	-
東部地域	184	63.0	25.5	14.7	17.4	16.8	15.2	13.6	10.3	7.6	4.3	0.5	0.5	0.5
さいたま地域	199	66.3	33.7	27.1	24.6	9.5	16.1	12.6	10.1	3.0	5.0	0.5	-	0.5
県央地域	105	65.7	31.4	23.8	19.0	16.2	13.3	5.7	13.3	1.0	8.6	-	-	1.0
川越比企地域	176	64.2	38.1	21.6	23.3	17.6	12.5	12.5	6.3	3.4	9.1	-	-	0.6
西部地域	123	61.0	39.8	28.5	14.6	17.9	14.6	13.0	15.4	3.3	2.4	0.8	0.8	1.6
利根地域	110	63.6	36.4	20.9	10.0	21.8	10.0	17.3	14.5	4.5	3.6	-	-	-
北部地域	116	69.8	36.2	27.6	23.3	13.8	13.8	10.3	5.2	7.8	5.2	0.9	1.7	-
秩父地域	24	66.7	37.5	29.2	8.3	20.8	12.5	25.0	12.5	20.8	-	-	-	-
性別														
男性	661	65.5	34.5	22.2	16.5	16.0	15.1	10.9	10.4	6.2	5.3	0.5	0.8	0.8
女性	642	63.7	34.6	22.9	20.7	15.7	12.6	14.2	9.2	3.6	5.0	0.3	-	0.5
年代別														
20歳代	101	71.3	37.6	24.8	7.9	15.8	15.8	13.9	6.9	5.0	5.0	2.0	2.0	-
30歳代	217	71.0	24.4	34.1	27.6	11.1	17.5	11.5	6.9	2.8	4.6	-	-	-
40歳代	235	75.7	27.2	23.8	46.4	8.1	16.2	7.2	6.8	5.5	3.0	-	-	1.3
50歳代	257	76.7	28.8	18.3	20.2	14.4	14.8	10.9	7.4	4.7	2.7	-	-	0.4
60歳代	305	56.4	42.0	19.7	2.6	24.3	10.5	15.7	15.4	5.9	8.2	-	0.7	0.7
70歳以上	188	36.7	49.5	17.0	2.7	19.7	10.1	16.5	12.8	5.3	6.9	1.6	0.5	1.1
性・年代別														
男性・20歳代	47	72.3	27.7	19.1	4.3	12.8	10.6	6.4	8.5	6.4	8.5	4.3	4.3	-
30歳代	117	70.9	28.2	38.5	24.8	11.1	17.1	11.1	6.8	4.3	3.4	-	-	-
40歳代	117	80.3	28.2	21.4	38.5	11.1	18.8	7.7	3.4	6.8	3.4	-	-	1.7
50歳代	129	76.0	28.7	15.5	20.2	13.2	16.3	9.3	10.9	6.2	3.1	-	-	-
60歳代	150	58.0	38.0	19.3	3.3	24.7	11.3	13.3	16.0	7.3	8.7	-	1.3	0.7
70歳以上	101	36.6	54.5	18.8	2.0	19.8	14.9	14.9	14.9	5.9	5.9	1.0	1.0	2.0
女性・20歳代	54	70.4	46.3	29.6	11.1	18.5	20.4	20.4	5.6	3.7	1.9	-	-	-
30歳代	100	71.0	20.0	29.0	31.0	11.0	18.0	12.0	7.0	1.0	6.0	-	-	-
40歳代	118	71.2	26.3	26.3	54.2	5.1	13.6	6.8	10.2	4.2	2.5	-	-	0.8
50歳代	128	77.3	28.9	21.1	20.3	15.6	13.3	12.5	3.9	3.1	2.3	-	-	0.8
60歳代	155	54.8	45.8	20.0	1.9	23.9	9.7	18.1	14.8	4.5	7.7	-	-	0.6
70歳以上	87	36.8	43.7	14.9	3.4	19.5	4.6	18.4	10.3	4.6	8.0	2.3	-	-
職業別														
自営業・家族従業（計）	149	72.5	31.5	17.4	12.1	8.1	10.1	10.1	10.7	31.5	4.7	0.7	-	-
雇用者（計）	691	74.8	28.8	24.3	26.0	11.3	15.9	11.0	8.1	1.7	3.8	0.3	0.6	0.7
無職（計）	460	47.0	44.3	21.5	9.3	25.2	12.2	15.7	12.2	1.1	7.4	0.4	0.2	0.7
ライフステージ別														
独身期	141	76.6	30.5	16.3	2.8	23.4	12.1	7.8	11.3	2.8	4.3	1.4	1.4	-
家族形成期	114	64.0	31.6	56.1	24.6	5.3	19.3	21.9	3.5	1.8	5.3	-	-	0.9
家族成長前期	137	73.0	22.6	25.5	54.0	5.8	19.0	8.0	2.9	5.8	2.2	-	-	-
家族成長後期	136	77.9	27.2	19.9	74.3	5.1	14.0	4.4	7.4	6.6	3.7	-	-	-
家族成熟期	271	69.0	34.3	19.9	6.6	20.3	14.0	15.9	10.3	4.8	3.3	-	0.4	1.1
高齢期	310	48.4	43.9	17.4	1.3	19.7	8.7	15.2	14.5	6.1	8.4	1.0	-	-
その他	194	60.8	38.1	19.1	6.7	19.1	16.5	10.3	10.8	4.6	6.2	-	1.0	2.1
生活程度別														
上（計）	16	50.0	31.3	25.0	31.3	18.8	18.8	6.3	-	6.3	18.8	-	-	-
中（計）	738	66.1	31.8	23.2	21.5	13.0	14.1	11.4	10.8	4.3	4.7	0.3	0.3	0.5
下（計）	365	64.7	41.1	21.4	11.2	21.4	15.3	15.6	9.0	5.8	6.3	0.8	0.5	0.8
生活満足度別														
満足している（計）	305	53.1	25.6	22.6	17.7	9.8	9.8	10.5	7.9	5.9	7.9	1.0	-	0.3
不満である（計）	945	69.2	37.2	22.6	19.3	17.8	15.3	13.5	10.6	4.8	4.1	0.1	0.3	0.6

(2) 生活程度

◇『中(計)』程度が61.0%、『下(計)』は20.9%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」(38.4%)が最も高く、「中の上」(22.6%)がこれに次いでいる。両者を合わせた『中(計)』(61.0%)は6割強を占めている。同様に「下の上」(15.2%)と「下の下」(5.7%)を合わせた『下(計)』は20.9%、「上の下」(1.2%)と「上の上」(0.1%)を合わせた『上(計)』は1.3%となっている。

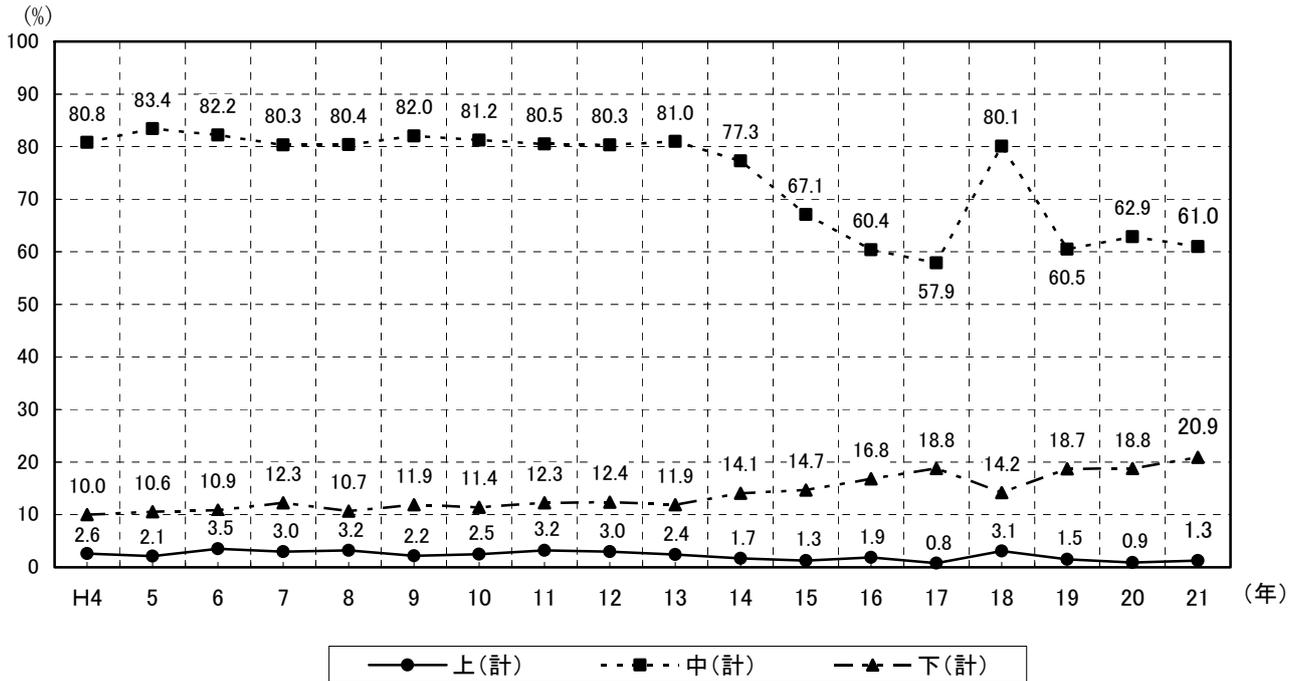
【過去3年間との比較】

過去3年間と比較すると、『上(計)』が平成19年(1.5%)と同水準まで増加し、『下(計)』が昨年より2.1ポイント増加したものの、昨年の結果からあまり変化がない。

【経年比較】

平成4年からの推移をみると、平成17年に6割を下回った『中(計)』は、平成19年に6割台を回復し、今回もほぼ6割である。『下(計)』は平成18年から微増傾向で、今回2割を超え過去最高の割合となっている。

○生活程度・平成4年以降の推移



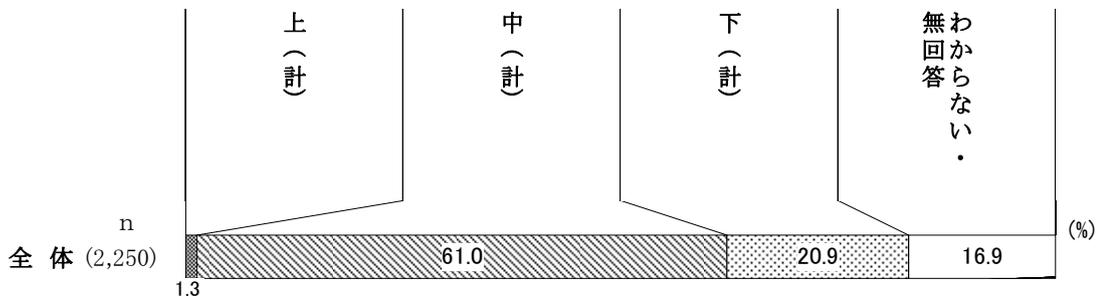
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、いずれの段階でも『中（計）』が5割を超えているが、楽になった（計）（72.0%）が7割強であるのに対して、変わらない（68.6%）は7割弱、苦しくなった（計）（56.7%）は5割半ばにとどまっている。苦しくなった（計）では『下（計）』（28.0%）が3割弱と高くなっている。

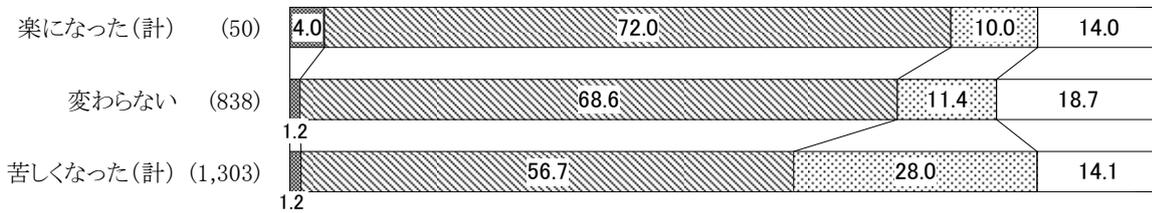
【生活満足度別】

生活全体の満足度別にみると、『中（計）』は満足している（計）で76.0%、不満である（計）で54.3%と差が大きい。『下（計）』では逆に、不満である（計）（32.1%）が満足している（計）（5.6%）よりも高くなっている。

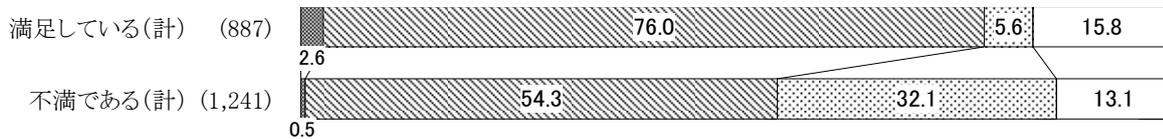
○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

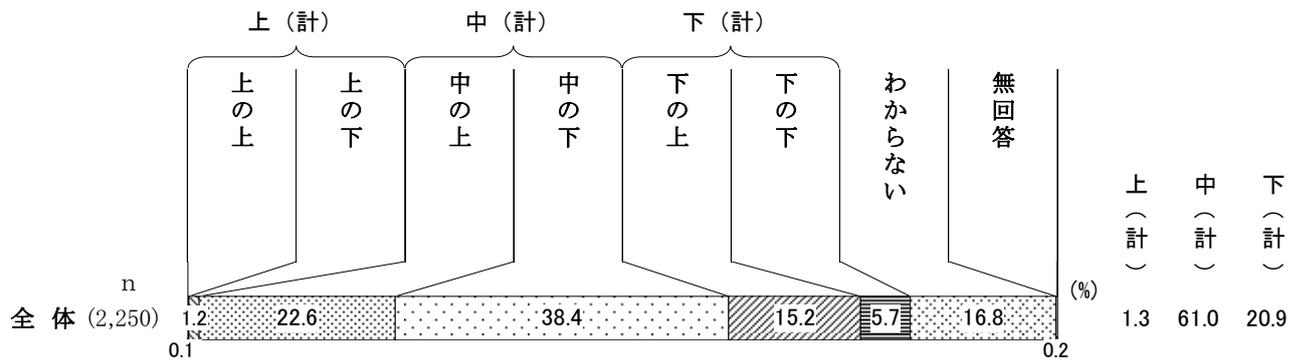
①性別

生活程度に関して性別で大きな差はない。

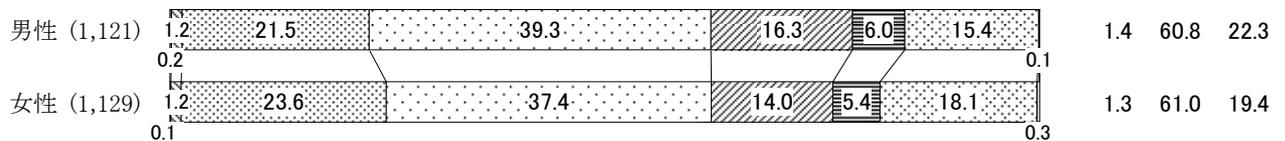
②年代別

『中（計）』は50歳代（65.9%）、40歳代（64.8%）の順で高くなっている。一方、『下（計）』は40歳代（17.1%）で最も低く、60歳代（26.8%）、70歳以上（23.7%）で2割以上となっている。

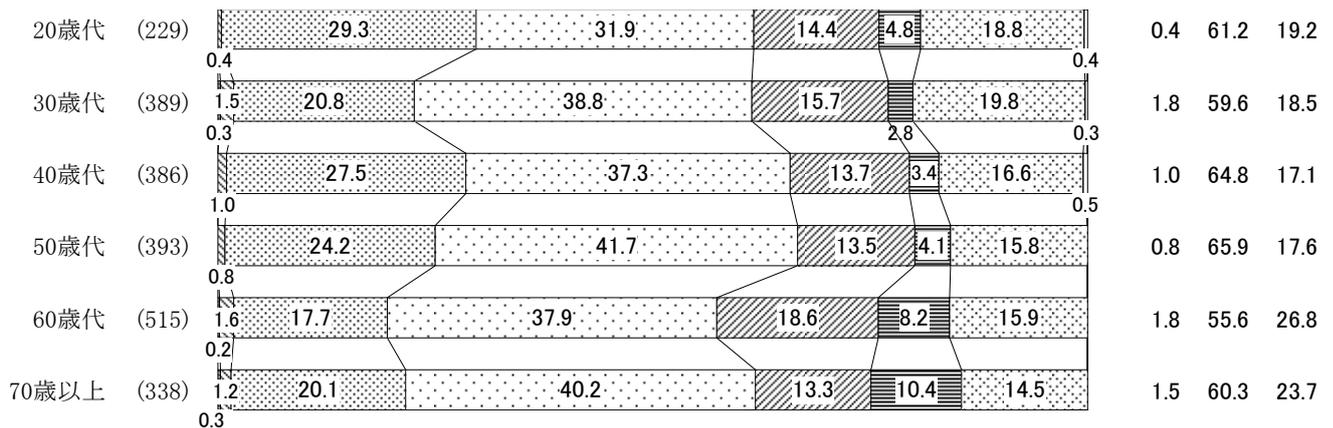
○生活程度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『中（計）』は西部地域（66.4%）や県央地域（65.8%）で高く、秩父地域（42.8%）や南西部地域（50.5%）で低くなっている。一方、『下（計）』は南西部地域（33.4%）や秩父地域（38.1%）で3割台と高くなっている。

④性・年代別

『中（計）』は男性50歳代（65.9%）、女性40歳代（66.7%）と50歳代（65.8%）で6割半ばと高く、女性60歳代（52.8%）で比較的低くなっている。一方、『下（計）』は男性では20歳代（14.9%）を除いていずれの年代も2割台、女性では20歳代（23.5%）と60歳代（27.5%）と70歳以上（24.0%）で2割台と高くなっている。

⑤職業別

『中（計）』は雇用者（計）（64.6%）で6割半ばと高くなっている。

⑥ライフステージ別

『中（計）』は家族成長前期（70.0%）、家族成長後期（68.9%）で7割前後と高く、独身期（55.7%）、その他（55.7%）で比較的低くなっている。一方、『下（計）』は独身期（22.3%）、高齢期（25.8%）、その他（27.7%）で2割を超えて高くなっている。

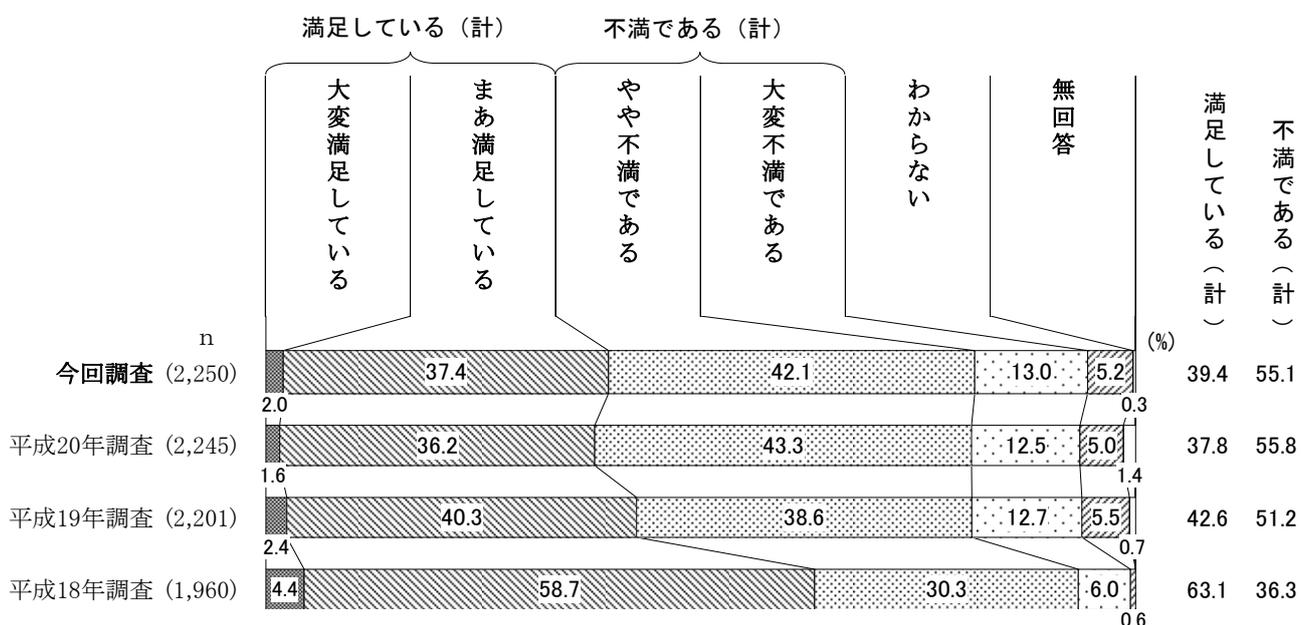
○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	上（計）	中（計）	下（計）
全体	2250	0.1	1.2	22.6	38.4	15.2	5.7	16.8	0.2	1.3	61.0	20.9
地域別												
南部地域	222	-	-	17.1	40.5	18.0	6.8	17.6	-	-	57.6	24.8
南西部地域	198	-	1.5	14.1	36.4	25.3	8.1	14.6	-	1.5	50.5	33.4
東部地域	318	-	1.6	20.1	44.3	15.1	4.4	14.5	-	1.6	64.4	19.5
さいたま地域	367	0.3	1.9	27.2	37.1	10.1	4.9	18.5	-	2.2	64.3	15.0
県央地域	193	-	0.5	29.5	36.3	11.4	5.7	16.6	-	0.5	65.8	17.1
川越比企地域	275	-	0.7	16.0	38.2	16.0	8.7	20.0	0.4	0.7	54.2	24.7
西部地域	247	0.4	0.4	27.1	39.3	13.0	3.2	15.8	0.8	0.8	66.4	16.2
利根地域	197	0.5	1.0	27.4	36.0	14.2	4.1	16.2	0.5	1.5	63.4	18.3
北部地域	191	-	2.1	25.1	37.2	15.7	4.2	15.7	-	2.1	62.3	19.9
秩父地域	42	-	2.4	19.0	23.8	23.8	14.3	16.7	-	2.4	42.8	38.1
性・年代別												
男性・20歳代	114	-	0.9	25.4	34.2	11.4	3.5	24.6	-	0.9	59.6	14.9
30歳代	189	-	2.1	16.9	41.8	17.5	2.6	18.5	0.5	2.1	58.7	20.1
40歳代	200	-	0.5	27.0	36.0	17.5	4.5	14.5	-	0.5	63.0	22.0
50歳代	188	-	1.1	21.8	44.1	17.6	5.9	9.6	-	1.1	65.9	23.5
60歳代	250	0.4	1.2	20.4	38.0	17.2	8.8	14.0	-	1.6	58.4	26.0
70歳以上	180	0.6	1.1	18.9	40.6	14.4	8.9	15.6	-	1.7	59.5	23.3
女性・20歳代	115	-	-	33.0	29.6	17.4	6.1	13.0	0.9	-	62.6	23.5
30歳代	200	0.5	1.0	24.5	36.0	14.0	3.0	21.0	-	1.5	60.5	17.0
40歳代	186	-	1.6	28.0	38.7	9.7	2.2	18.8	1.1	1.6	66.7	11.9
50歳代	205	-	0.5	26.3	39.5	9.8	2.4	21.5	-	0.5	65.8	12.2
60歳代	265	-	1.9	15.1	37.7	20.0	7.5	17.7	-	1.9	52.8	27.5
70歳以上	158	-	1.3	21.5	39.9	12.0	12.0	13.3	-	1.3	61.4	24.0
職業別												
自営業・家族従業（計）	241	0.8	2.9	19.5	34.0	20.3	4.1	17.8	0.4	3.7	53.5	24.4
雇用者（計）	1188	-	0.8	24.0	40.6	14.2	4.2	16.0	0.3	0.8	64.6	18.4
無職（計）	817	0.1	1.2	21.5	36.5	14.9	8.3	17.4	-	1.3	58.0	23.2
ライフステージ別												
独身期	305	-	1.0	23.6	32.1	16.7	5.6	20.7	0.3	1.0	55.7	22.3
家族形成期	210	-	1.0	24.3	39.0	14.3	1.4	19.5	0.5	1.0	63.3	15.7
家族成長前期	237	0.4	0.8	27.4	42.6	10.1	2.1	16.5	-	1.2	70.0	12.2
家族成長後期	190	-	2.6	30.5	38.4	12.1	1.1	14.2	1.1	2.6	68.9	13.2
家族成熟期	458	-	0.9	22.9	38.6	15.1	4.4	18.1	-	0.9	61.5	19.5
高齢期	536	0.2	1.5	20.1	38.4	16.8	9.0	14.0	-	1.7	58.5	25.8
その他	314	0.3	0.6	15.6	40.1	17.2	10.5	15.6	-	0.9	55.7	27.7

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は39.4%、『不満である（計）』は55.1%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



生活全体に対する満足度は、「やや不満である」(42.1%)が4割強と最も高く、「まあ満足している」(37.4%)が4割弱となっている。「大変満足している」(2.0%)と「まあ満足している」(37.4%)を合わせた『満足している(計)』(39.4%)は約4割、一方、「大変不満である」(13.0%)と「やや不満である」(42.1%)を合わせた『不満である(計)』(55.1%)は5割を超えている。

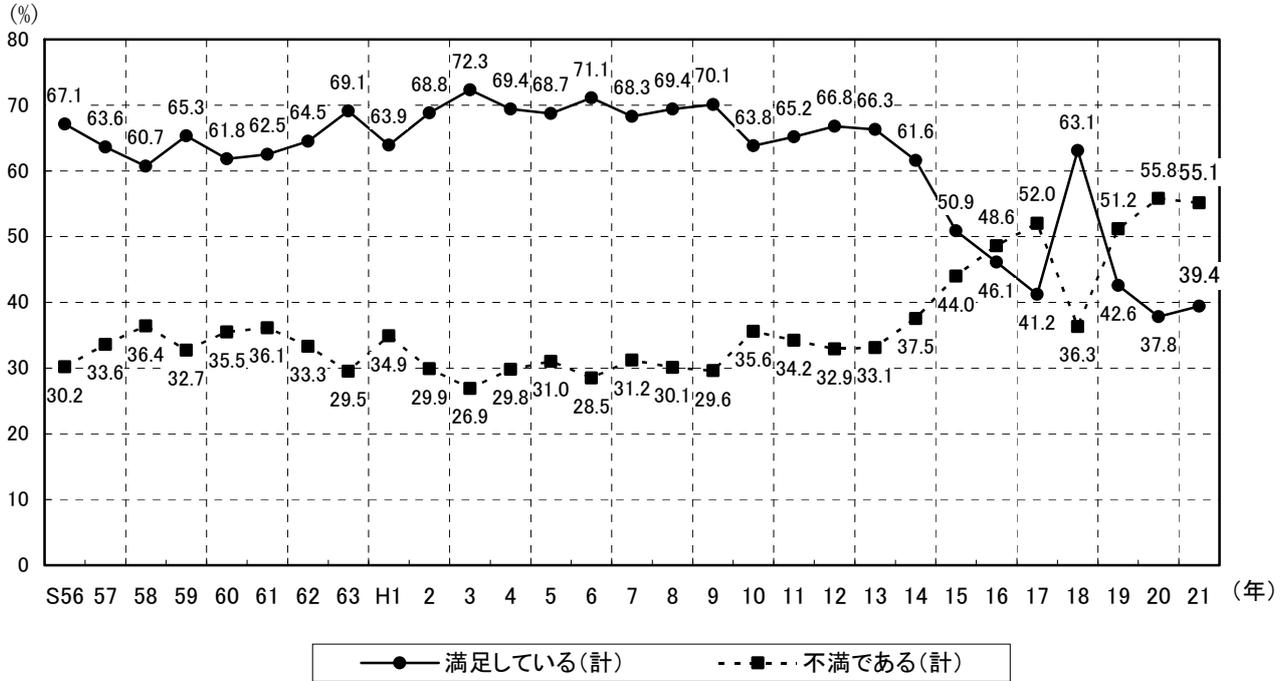
【過去3年間との比較】

過去3年間と比較すると、『満足している(計)』は平成20年(37.8%)より1.6ポイント増加し、『不満である(計)』は平成20年(55.8%)より0.7ポイント減少しているものの、『不満である(計)』(55.1%)が『満足している(計)』(39.4%)を15.7ポイント上回っている。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、昨年より『満足している（計）』が1.6ポイント増加し、平成18年から続いていた満足度の低下傾向に歯止めがかかった形である。

○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



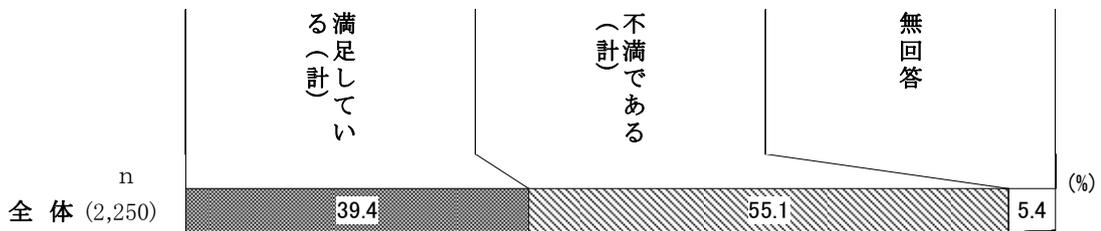
【昨年と比べた暮らし向き別】

昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、『満足している（計）』は楽になった（計）（74.0%）が7割半ば、変わらない（61.8%）が6割強となっており、両者の差は12.2ポイントとなっている。一方、苦しくなった（計）（23.4%）は2割台と低くなっている。

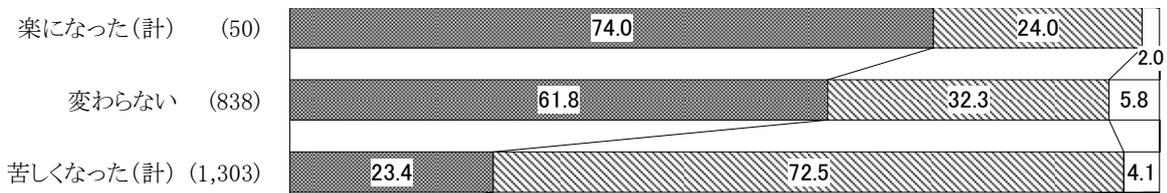
【生活程度別】

生活程度別にみると、『満足している（計）』は上（計）（79.3%）で約8割、中（計）（49.2%）で約5割を占めている。しかし、下（計）（10.6%）では約1割にとどまり、『不満である（計）』（85.1%）が8割半ばとなっている。

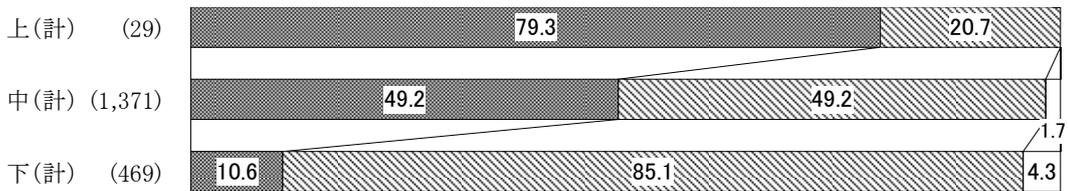
○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【属性別比較】

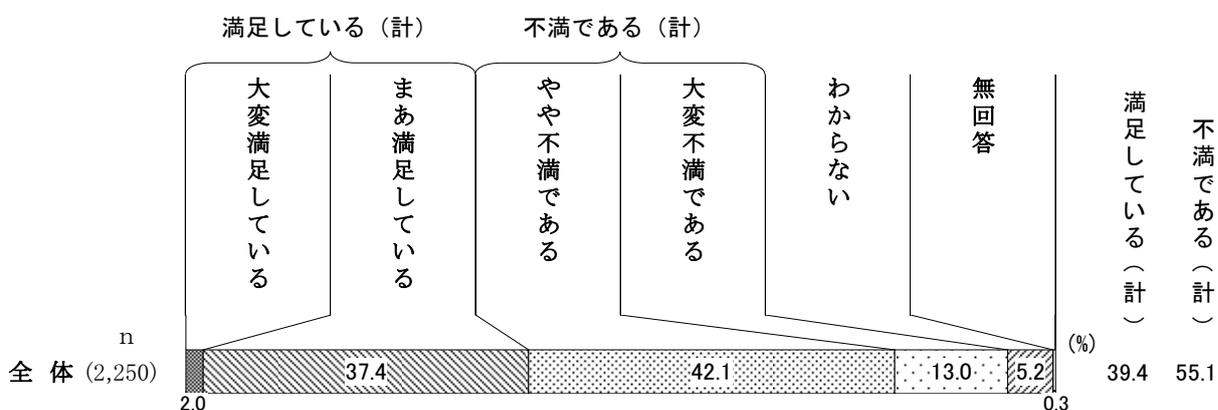
①性別

『満足している（計）』は女性（42.1%）が男性（36.7%）よりも5.4ポイント高くなっている。男性は『不満である（計）』（57.8%）が『満足している（計）』（36.7%）を21.1ポイント上回っている。

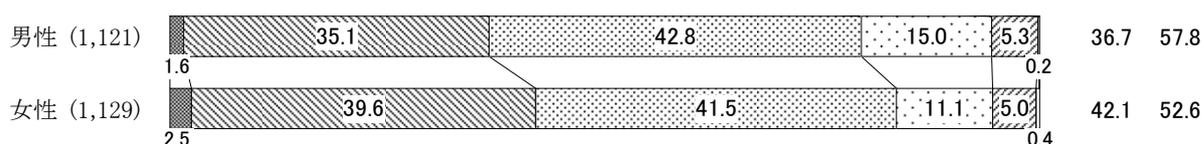
②年代別

『満足している（計）』は20歳代（48.4%）で高く、50歳代（34.3%）で最も低くなっている。『不満である（計）』は逆に50歳代（62.6%）で高く、20歳代（45.0%）では低くなっている。20歳代では『満足している（計）』（48.4%）が『不満である（計）』（45.0%）をやや上回っているが、他の年代ではいずれも『不満である（計）』が高くなっている。特に50歳代では『不満である（計）』（62.6%）が『満足している（計）』（34.3%）よりも28.3ポイント上回っている。

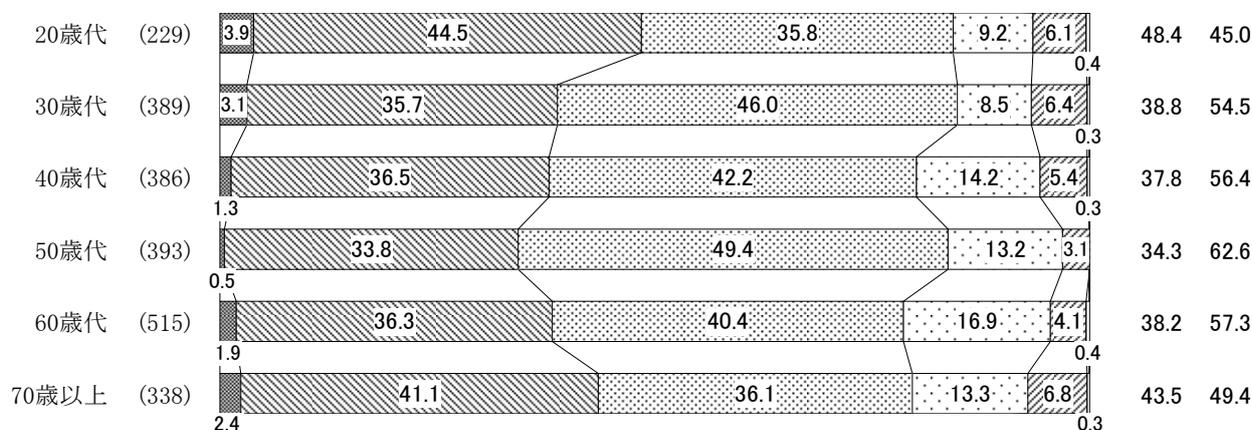
○生活全体の満足度・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『満足している（計）』は利根地域（45.1%）北部地域（44.5%）で4割半ばとなっている。一方、『不満である（計）』は南西部地域（63.7%）、川越比企地域（62.9%）、秩父地域（61.9%）で6割を超えている。また、すべての地域で『不満である（計）』が『満足している（計）』よりも高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性の20歳代（51.3%）で最も高く、男性では30歳代（29.1%）と50歳代（30.9%）で約3割と低くなっている。一方、『不満である（計）』は男性30歳代（63.5%）と50歳代（66.5%）で6割以上と高くなっている。また、『満足している（計）』が『不満である（計）』よりも高いのは女性の20歳代と30歳代のみである。

⑤職業別

『満足している（計）』は無職（計）（40.9%）でやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族成長後期（35.8%）とその他（29.3%）を除くといずれのステージも4割以上である。一方、『不満である（計）』は家族成長後期（60.0%）とその他（63.7%）で6割を超えて高くなっている。いずれのステージも『不満である（計）』が高くなっており、特にその他では『不満である（計）』（63.7%）が『満足している（計）』（29.3%）を34.4ポイント上回っている。

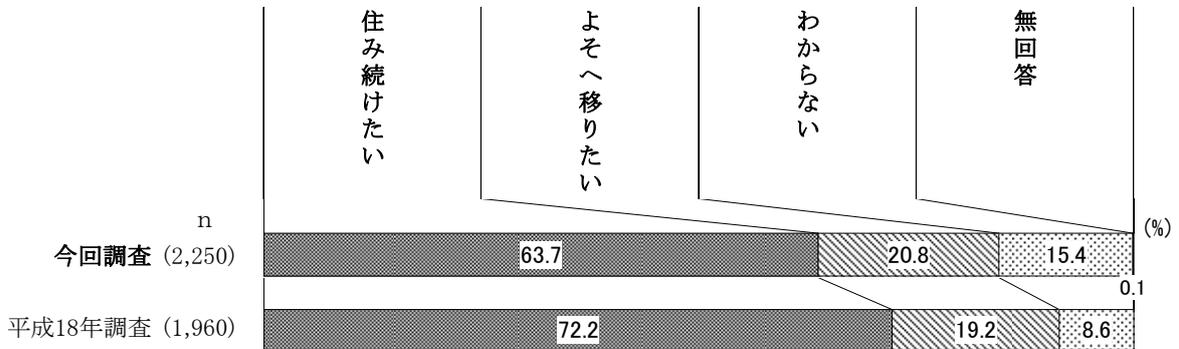
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している(計)	不満である(計)
全体	2250	2.0	37.4	42.1	13.0	5.2	0.3	39.4	55.1
地域別									
南部地域	222	2.3	32.0	43.7	16.2	5.9	-	34.3	59.9
南西部地域	198	0.5	31.3	46.5	17.2	3.5	1.0	31.8	63.7
東部地域	318	1.9	39.0	44.7	11.0	3.5	-	40.9	55.7
さいたま地域	367	2.2	38.7	42.0	10.9	6.3	-	40.9	52.9
県央地域	193	3.6	39.9	33.7	16.1	6.7	-	43.5	49.8
川越比企地域	275	0.7	32.4	47.6	15.3	4.0	-	33.1	62.9
西部地域	247	2.0	40.5	41.7	8.1	6.5	1.2	42.5	49.8
利根地域	197	3.0	42.1	37.1	12.7	4.6	0.5	45.1	49.8
北部地域	191	3.1	41.4	38.2	11.5	5.8	-	44.5	49.7
秩父地域	42	-	33.3	42.9	19.0	4.8	-	33.3	61.9
性・年代別									
男性・20歳代	114	4.4	41.2	40.4	7.9	6.1	-	45.6	48.3
30歳代	189	1.1	28.0	49.7	13.8	6.9	0.5	29.1	63.5
40歳代	200	1.0	37.0	40.0	17.0	5.0	-	38.0	57.0
50歳代	188	-	30.9	48.9	17.6	2.7	-	30.9	66.5
60歳代	250	2.8	35.2	40.4	16.4	4.8	0.4	38.0	56.8
70歳以上	180	1.1	41.1	37.2	13.9	6.7	-	42.2	51.1
女性・20歳代	115	3.5	47.8	31.3	10.4	6.1	0.9	51.3	41.7
30歳代	200	5.0	43.0	42.5	3.5	6.0	-	48.0	46.0
40歳代	186	1.6	36.0	44.6	11.3	5.9	0.5	37.6	55.9
50歳代	205	1.0	36.6	49.8	9.3	3.4	-	37.6	59.1
60歳代	265	1.1	37.4	40.4	17.4	3.4	0.4	38.5	57.8
70歳以上	158	3.8	41.1	34.8	12.7	7.0	0.6	44.9	47.5
職業別									
自営業・家族従業(計)	241	2.1	35.7	39.4	17.4	5.0	0.4	37.8	56.8
雇用者(計)	1188	1.7	37.1	44.1	12.1	4.8	0.2	38.8	56.2
無職(計)	817	2.6	38.3	39.9	13.1	5.8	0.4	40.9	53.0
ライフステージ別									
独身期	305	2.6	38.7	39.3	11.5	7.5	0.3	41.3	50.8
家族形成期	210	4.3	40.0	43.8	5.7	5.7	0.5	44.3	49.5
家族成長前期	237	2.5	40.1	43.0	9.7	4.6	-	42.6	52.7
家族成長後期	190	1.1	34.7	48.4	11.6	3.7	0.5	35.8	60.0
家族成熟期	458	0.7	39.3	42.4	14.0	3.7	-	40.0	56.4
高齢期	536	2.2	39.6	38.6	14.6	4.5	0.6	41.8	53.2
その他	314	1.9	27.4	44.9	18.8	7.0	-	29.3	63.7

(4) 定住意向

◇「住み続けたい」が63.7%

問4 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。



居住地域に住み続ける意向は、「住み続けたい」が63.7%で、「よそへ移りたい」(20.8%)を大きく上回っている。

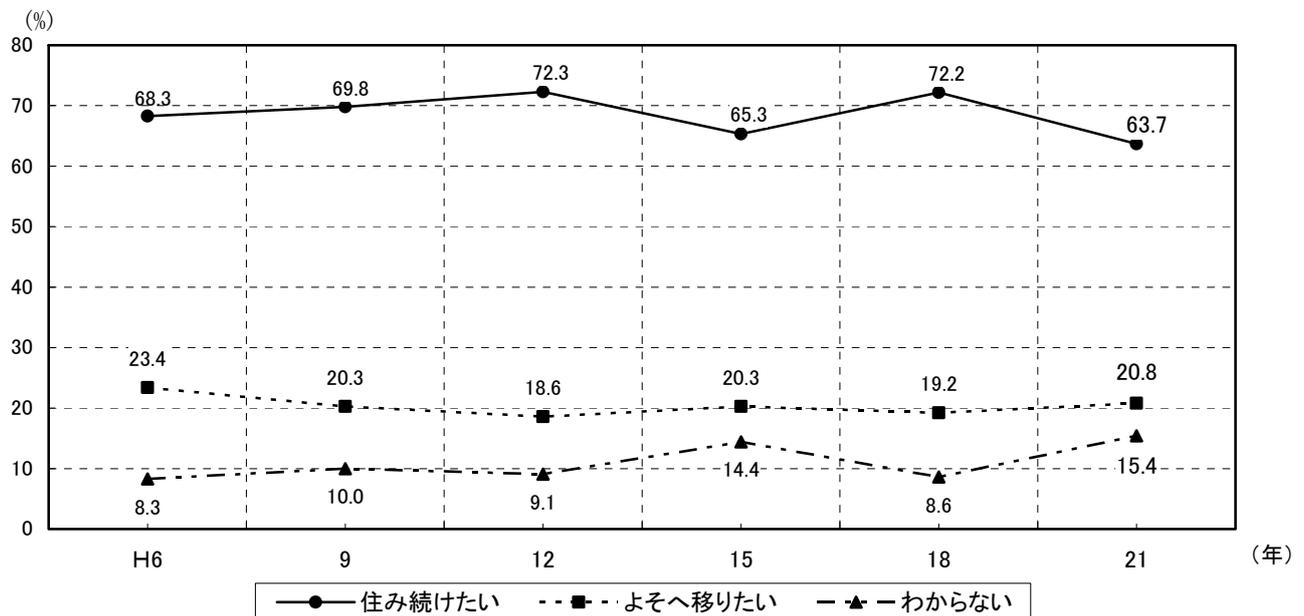
【前回(平成18年)調査との比較】

前回調査と比較すると、「住み続けたい」が8.5ポイント減少し、「わからない」が6.8ポイント増加している。

【経年比較】

平成6年以降(3年毎)に実施した調査結果の推移をみると、「住み続けたい」(63.7%)は平成15年(65.3%)を下回り、過去最低となっている。「よそへ移りたい」は大きな変化はなく、「わからない」(15.4%)は過去最高の数値となっている。

○定住意向・平成6年以降の推移



【属性別比較】

①地域別

「住み続けたい」は東部地域（69.2%）、北部地域（70.2%）で7割前後と高く、南部地域（58.6%）、利根地域（58.4%）で6割弱と比較的低くなっている。

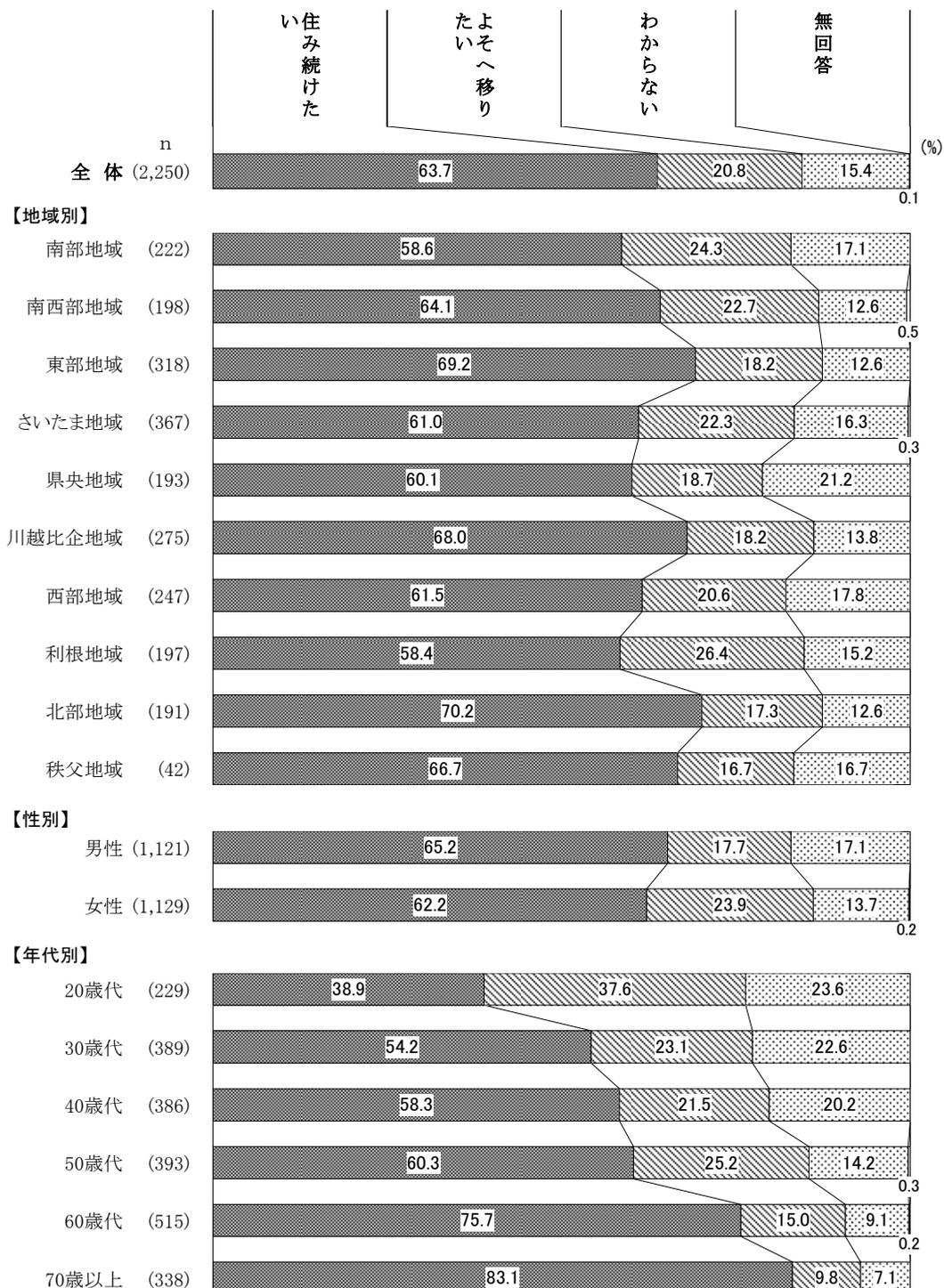
②性別

性別では「よそへ移りたい」が女性（23.9%）のほうが男性（17.7%）よりも6.2ポイント高くなっている。

③年代別

年代別では年齢が高くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなっている。

○定住意向・地域別／性別／年代別



④職業別

雇用者（計）で「よそへ移りたい」（24.3%）が2割半ばと他の職業に比べ高くなっている。

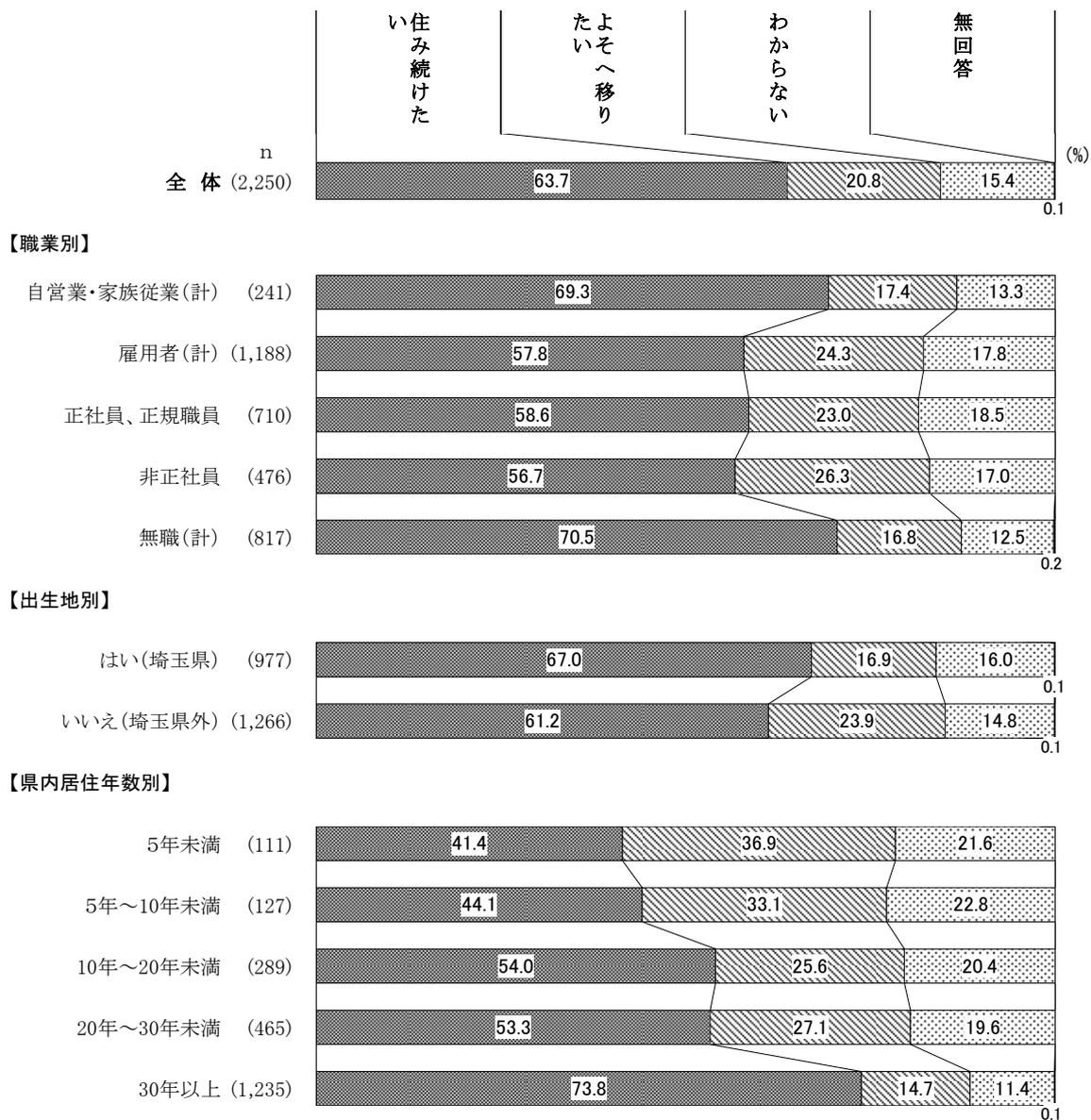
⑤出生地別

「住み続けたい」は埼玉県生まれの人（67.0%）のほうが埼玉県外生まれの人（61.2%）よりも5.8ポイント高くなっている。

⑥県内居住年数別

おおむね県内居住年数が長くなるほど「住み続けたい」の割合が高く、30年以上の人では7割以上を占めている。

○定住意向・職業別／出生地別／県内居住年数別



⑦性・年代別

男女とも年齢が高くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなっている。

⑧住居形態別

「住み続けたい」は持家（計）（67.4%）が持家以外（計）（48.6%）を18.8ポイント上回っている。持家（計）の中では一戸建（69.3%）のほうが分譲マンションなど集合住宅（58.3%）より「住み続けたい」が11.0ポイント高くなっている。持家以外（計）の中では「住み続けたい」は都市機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅（64.4%）で高く、民間の借家（賃貸マンション・借家など）（43.1%）で比較的低くなっている。

⑨ライフステージ別

家族成長後期を除き、ライフステージが進むにつれ「住み続けたい」の割合が高くなっている。

○定住意向・性・年代別／住居形態別／ライフステージ別

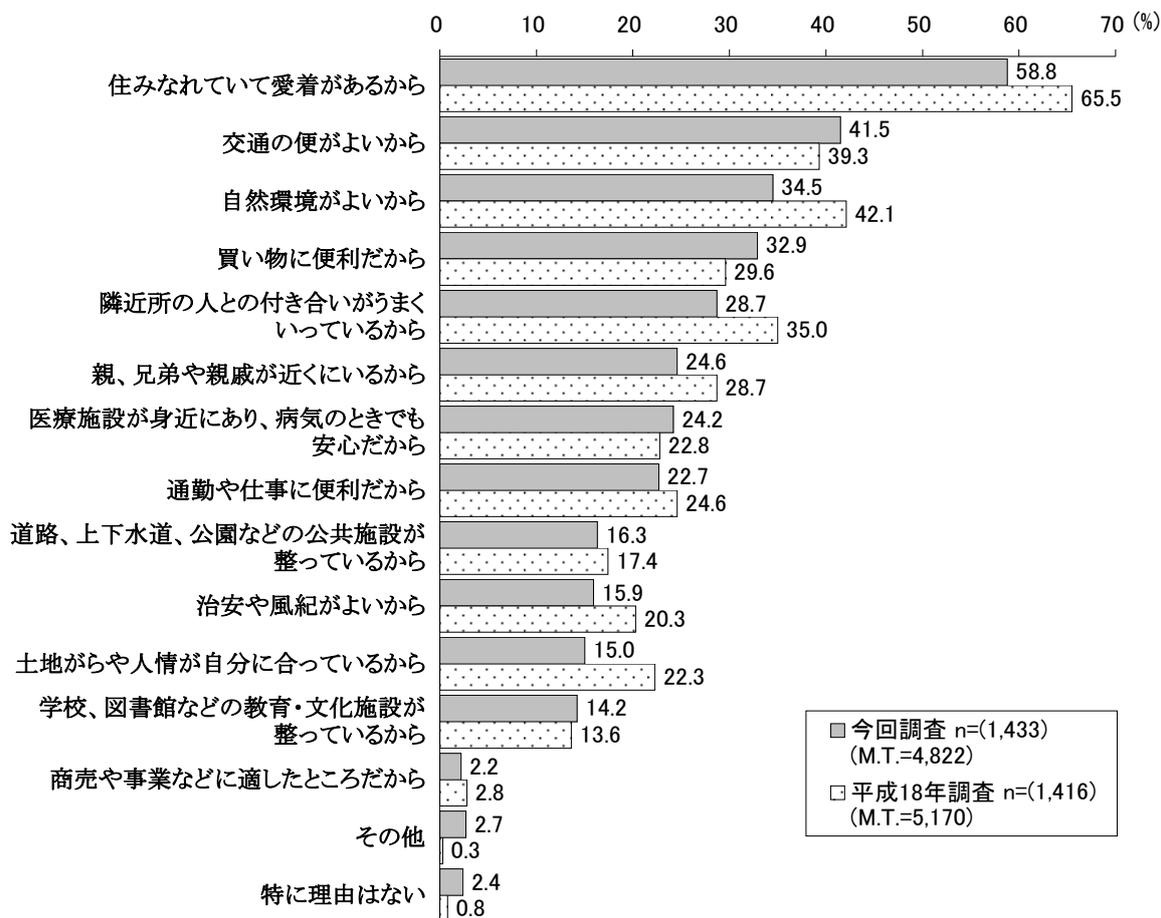
	調査数	住み続けたい	よそへ移りたい	わからない	無回答
全体	2250	63.7	20.8	15.4	0.1
性・年代別					
男性・20歳代	114	42.1	31.6	26.3	-
30歳代	189	59.3	18.5	22.2	-
40歳代	200	60.5	17.0	22.5	-
50歳代	188	63.3	20.2	16.5	-
60歳代	250	73.2	15.2	11.6	-
70歳以上	180	82.2	9.4	8.3	-
女性・20歳代	115	35.7	43.5	20.9	-
30歳代	200	49.5	27.5	23.0	-
40歳代	186	55.9	26.3	17.7	-
50歳代	205	57.6	29.8	12.2	0.5
60歳代	265	78.1	14.7	6.8	0.4
70歳以上	158	84.2	10.1	5.7	-
住居形態別					
持家（計）	1809	67.4	17.9	14.5	0.1
持家（一戸建）	1500	69.3	16.7	13.9	0.1
持家（分譲マンションなど集合住宅）	309	58.3	23.9	17.8	-
持家以外（計）	436	48.6	32.8	18.6	-
民間の借家（賃貸マンション・借家など）	299	43.1	37.5	19.4	-
都市機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	101	64.4	21.8	13.9	-
社宅・公務員住宅など給与住宅	32	50.0	25.0	25.0	-
住み込み、寮、寄宿舎など	-	-	-	-	-
その他	4	50.0	25.0	25.0	-
ライフステージ別					
独身期	305	40.0	35.1	24.9	-
家族形成期	210	55.2	24.3	20.5	-
家族成長前期	237	63.7	18.1	18.1	-
家族成長後期	190	49.5	26.3	24.2	-
家族成熟期	458	67.9	19.4	12.2	0.4
高齢期	536	80.2	12.3	7.5	-
その他	314	66.6	19.7	13.7	-

(4-1) 定住したい理由

◇「住みなれていて愛着があるから」が58.8%

(問4で「住み続けたい」と答えた方に)

問4-1 今お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。



定住したい理由は、「住みなれていて愛着があるから」(58.8%)が6割弱で最も高く、次いで「交通の便がよいから」(41.5%)、「自然環境がよいから」(34.5%)、「買い物に便利だから」(32.9%)、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(28.7%)、「親、兄弟や親戚が近くにいるから」(24.6%)、「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」(24.2%)の順となっている。

定住したい理由で高かったものの上位10位と、前回（平成18年）の順位は次のようになっている。

	今 回	前 回	(増減差)
1位 住みなれていて愛着があるから	58.8%	65.5% (1位)	△6.7
2位 交通の便がよいから	41.5	39.3 (3位)	2.2
3位 自然環境がよいから	34.5	42.1 (2位)	△7.6
4位 買い物に便利だから	32.9	29.6 (5位)	3.3
5位 隣近所の人との付き合いがうまく いっているから	28.7	35.0 (4位)	△6.3
6位 親、兄弟や親戚が近くにいるから	24.6	28.7 (6位)	△4.1
7位 医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから	24.2	22.8 (8位)	1.4
8位 通勤や仕事に便利だから	22.7	24.6 (7位)	△1.9
9位 道路、上下水道、公園などの公共 施設が整っているから	16.3	17.4 (11位)	△1.1
10位 治安や風紀がよいから	15.9	20.3 (10位)	△4.4

【前回（平成18年）調査との比較】

今回の上位10項目と前回は比較すると、1位は前回と同じ「住みなれていて愛着があるから」だが、前回3位の「交通の便がよいから」が今回2位に上がり、逆に前回2位の「自然環境がよいから」が今回3位に下がっている。4位以下は、6位と10位を除き順位が変わっており、前回11位の「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから」は今回9位と順位を2つ上げている。

前回との増減をみると、「住みなれていて愛着があるから」(6.7ポイント減)、「自然環境がよいから」(7.6ポイント減)、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(6.3ポイント減)など多くの項目で減少しており、増加しているのは「交通の便がよいから」(2.2ポイント増)、「買い物に便利だから」(3.3ポイント増)などわずかである。

【平成9年以降の上位10項目の推移】

平成9年以降の5回の調査の上位10項目の推移をみると、今回1位の「住みなれていて愛着があるから」は5回連続1位である。2位の「交通の便がよいから」と3位の「自然環境がよいから」も順位の上下はあるが5回とも2位、3位を維持している。4位の「買い物に便利だから」は過去4回とも5位だったが、今回1つ順位を上げている。7位の「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」も（9位→9位→8位→8位→7位）と平成9年から2つ順位を上げている。逆に8位の「通勤や仕事に便利だから」は（4位→7位→7位→7位→8位）と平成9年から4つ順位を下げている。

順位	9年	12年	15年	18年	21年
1	住みなれていて愛着があるから 54.0%	住みなれていて愛着があるから 58.1%	住みなれていて愛着があるから 59.0%	住みなれていて愛着があるから 65.5%	住みなれていて愛着があるから 58.8%
2	交通の便がよいから 37.5%	自然環境がよいから 37.5%	交通の便がよいから 41.4%	自然環境がよいから 42.1%	交通の便がよいから 41.5%
3	自然環境がよいから 34.6%	交通の便がよいから 34.9%	自然環境がよいから 33.5%	交通の便がよいから 39.3%	自然環境がよいから 34.5%
4	通勤や仕事に便利だから 28.1%	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから 29.6%	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから 28.5%	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから 35.0%	買い物に便利だから 32.9%
5	買い物に便利だから 27.2%	買い物に便利だから 27.2%	買い物に便利だから 26.7%	買い物に便利だから 29.6%	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから 28.7%
6	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから 25.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 22.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 25.7%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 28.7%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 24.6%
7	親、兄弟や親戚が近くにいるから 25.5%	通勤や仕事に便利だから 21.8%	通勤や仕事に便利だから 25.0%	通勤や仕事に便利だから 24.6%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 24.2%
8	土地がらや人情が自分に合っているから 17.9%	土地がらや人情が自分に合っているから 18.2%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 20.6%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 22.8%	通勤や仕事に便利だから 22.7%
9	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 17.4%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 18.1%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.9%	土地がらや人情が自分に合っているから 22.3%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから 16.3%
10	治安や風紀がよいから 11.7%	治安や風紀がよいから 14.8%	土地がらや人情が自分に合っているから 15.8%	治安や風紀がよいから 20.3%	治安や風紀がよいから 15.9%

【上位5項目の推移】

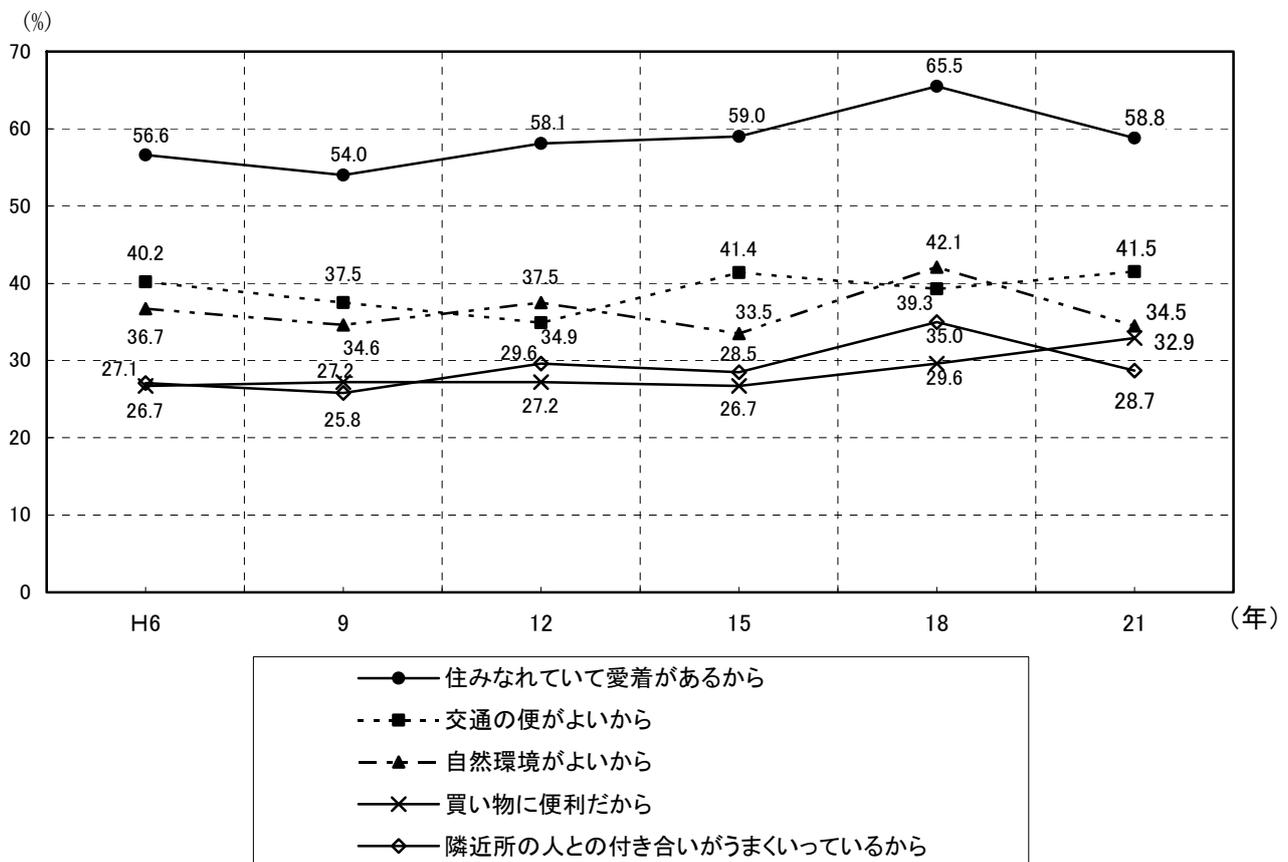
1位の「住みなれていて愛着があるから」は平成15年までは5割台で、前回平成18年に65.5%と大きく増加したが、今回再び5割台となっている。

2位の「交通の便がよいから」は平成6年の40.2%から減少が続き、平成12年に34.9%と過去最低となったが、今回は41.5%と過去最高の数値である。

3位の「自然環境がよいから」は平成15年までは3割台で、前回平成18年に42.1%と大きく増加したが、今回再び3割台となっている。

4位の「買い物に便利だから」は前回までは2割台だったが、今回初めて3割を超え、過去最高の数値となっている。

5位の「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」は平成15年までは2割台で、前回平成18年に35.0%と大きく増加したが、今回再び2割台となっている。



【属性別比較】

①地域別

1位はほとんどの地域で「住みなれていて愛着があるから」であり、さいたま地域のみ「交通の便がよいから」となっている。2位は「交通の便がよいから」が3地域、「自然環境がよいから」が5地域で挙げられ、利根地域の「親、兄弟や親戚が近くにいるから」が目立っている。「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」が5位以内に入っているのは南部地域と南西部地域、「通勤や仕事に便利だから」が5位以内に入っているのはさいたま地域と県央地域のみとなっている。

②性別

1位と2位は男女とも同じだが、男性は3位「自然環境がよいから」、4位「買い物に便利だから」で、女性ではこの順序が入れ替わっている。5位は男性のみ「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」と並んで「通勤や仕事に便利だから」が挙げられている。

③年代別

1位はいずれの年代も「住みなれていて愛着があるから」を挙げている。2位はほとんどの年代で「交通の便がよいから」であり、70歳以上のみ「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」となっている。「親、兄弟や親戚が近くにいるから」と「通勤や仕事に便利だから」は20歳代から40歳代で3割台と高くなっている。

④性・年代別

1位はすべての性・年代で「住みなれていて愛着があるから」である。2位は「交通の便がよいから」が多く、男性20歳代（54.2%）で特に割合が高くなっている。男性40歳代と女性20歳では「通勤や仕事に便利だから」、女性60歳代では「買い物に便利だから」（「交通の便がよいから」と同率）、女性70歳以上では「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」が2位に挙げられている。3位は「自然環境がよいから」、「通勤や仕事に便利だから」、「親、兄弟や親戚が近くにいるから」など様々であり、男性70歳以上のみ「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」が挙げられているのが目立っている。

⑤職業別

1位はいずれも「住みなれていて愛着があるから」だが、雇用者（計）（54.7%）のみやや数値が低くなっている。2位は自営業・家族従業（計）のみ「自然環境がよいから」（40.7%）、それ以外の職業では「交通の便がよいから」が挙げられている。雇用者（計）のみ「通勤や仕事に便利だから」（35.8%）が5位以内に入っているのが特徴的である。

⑥県内居住年数別

1位は5年未満と10年～20年未満で「交通の便がよいから」、5年～10年未満で「自然環境がよいから」（41.1%）、20年～30年未満と30年以上で「住みなれていて愛着があるから」と違いが見られる。2位は5年未満で「買い物に便利だから」（39.1%）、5年～10年未満と10年～20年未満で「住みなれていて愛着があるから」、20年～30年未満と30年以上で「交通の便がよいから」となっている。5年未満のみが挙げている項目は5位の「学校、図書館などの教育・文化施設が整っているから」と「親、兄弟や親戚が近くにいるから」（21.7%）、5年～10年未満のみが挙げている項目は5位の「医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから」（26.8%）、30年以上のみが挙げている項目は5位の「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」（32.7%）となっている。

⑦住居形態別

持家（計）と持家以外（計）の1位、2位を見ると、持家（計）は1位「住みなれていて愛着があるから」（60.3%）、2位「交通の便がよいから」（39.8%）で、持家以外（計）ではこの順序が入れ替わっている。持家（計）に特徴的な項目としては「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」（5位）（29.9%）、持家以外（計）に特徴的な項目としては「通勤や仕事に便利だから」（4位）（34.4%）が挙げられる。

持家（計）の内訳を見ると、持家（一戸建）は1位「住みなれていて愛着があるから」（61.5%）、2位「交通の便がよいから」（36.7%）で、持家（分譲マンションなど集合住宅）ではこの順序が入れ替わっており、持家以外（計）と1位～5位までの項目が同じである。持家（一戸建）に特徴的な項目としては「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」（4位）（31.9%）、持家（分譲マンションなど集合住宅）に特徴的な項目としては「通勤や仕事に便利だから」（4位）（30.6%）が挙げられる。

持家以外（計）の内訳を見ると、1位は民間の借家（賃貸マンション、借家など）では「住みなれていて愛着があるから」（57.4%）、都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅などでは「交通の便がよいから」（58.5%）である。2位は民間の借家（賃貸マンション、借家など）では「交通の便がよいから」（45.7%）、都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅などでは「買い物に便利だから」（49.2%）となっており、1位～5位までの項目は順位は違うが共通している。

【属性別の上位5項目】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=130)	住みなれていて愛着があるから (66.2)	交通の便がよいから (55.4)	買い物に便利だから (50.0)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (35.4)	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから (31.5)
南西部地域 (n=127)	住みなれていて愛着があるから (54.3)	交通の便がよいから (53.5)	買い物に便利だから (42.5)	自然環境がよいから (37.8)	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから (33.1)
東部地域 (n=220)	住みなれていて愛着があるから (57.7)	交通の便がよいから (34.5)	買い物に便利だから (27.7)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (25.9)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (25.0)
さいたま地域 (n=224)	交通の便がよいから (56.7)	住みなれていて愛着があるから (55.4)	買い物に便利だから (37.5)	通勤や仕事に便利だから (30.4)	自然環境がよいから (29.9)
県央地域 (n=116)	住みなれていて愛着があるから (51.7)	自然環境がよいから (44.0)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (31.0)	交通の便がよいから (28.4)	通勤や仕事に便利だから (20.7)
川越比企地域 (n=187)	住みなれていて愛着があるから (58.8)	自然環境がよいから (42.2)	交通の便がよいから (34.2)	買い物に便利だから (29.4)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (27.8)
西部地域 (n=152)	住みなれていて愛着があるから (58.6)	自然環境がよいから (47.4)	交通の便がよいから (40.8)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (32.9)	買い物に便利だから (27.0)
利根地域 (n=115)	住みなれていて愛着があるから (67.0)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (35.7)	自然環境がよいから (33.0)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (27.8)	交通の便がよいから (27.0)
北部地域 (n=134)	住みなれていて愛着があるから (60.4)	自然環境がよいから (41.0)	買い物に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから (38.8)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (38.8)	交通の便がよいから (37.3)
秩父地域 (n=28)	住みなれていて愛着があるから (71.4)	自然環境がよいから／隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (53.6)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (42.9)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (42.9)	交通の便がよいから／買い物に便利だから (39.3)

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=731)	住みなれていて愛着があるから (57.7)	交通の便がよいから (40.5)	自然環境がよいから (34.6)	買い物に便利だから (29.5)	通勤や仕事に便利だから／隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (23.8)
女性 (n=702)	住みなれていて愛着があるから (60.0)	交通の便がよいから (42.5)	買い物に便利だから (36.3)	自然環境がよいから (34.3)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (33.8)

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=89)	住みなれていて愛着があるから (58.4)	交通の便がよいから (43.8)	通勤や仕事に便利だから (39.3)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (38.2)	自然環境がよいから (31.5)
30歳代 (n=211)	住みなれていて愛着があるから (51.7)	交通の便がよいから (43.6)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (34.6)	通勤や仕事に便利だから (30.3)	自然環境がよいから (28.4)
40歳代 (n=225)	住みなれていて愛着があるから (57.3)	交通の便がよいから (38.2)	通勤や仕事に便利だから (37.3)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (31.6)	買い物に便利だから (30.2)
50歳代 (n=237)	住みなれていて愛着があるから (54.9)	交通の便がよいから (43.9)	自然環境がよいから (34.2)	通勤や仕事に便利だから／買い物に便利だから (29.1)	
60歳代 (n=390)	住みなれていて愛着があるから (63.6)	交通の便がよいから (41.5)	買い物に便利だから (39.0)	自然環境がよいから (37.7)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (33.8)
70歳以上 (n=281)	住みなれていて愛着があるから (62.3)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (42.7)	自然環境がよいから (40.2)	交通の便がよいから (39.5)	買い物に便利だから (37.7)

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性・20歳代 (n=48)	住みなれていて愛着があるから (58.3)	交通の便がよいから (54.2)	自然環境がよいから／通勤や仕事に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから (35.4)		
30歳代 (n=112)	住みなれていて愛着があるから (49.1)	交通の便がよいから (42.0)	通勤や仕事に便利だから (35.7)	自然環境がよいから (30.4)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (27.7)
40歳代 (n=121)	住みなれていて愛着があるから (56.2)	通勤や仕事に便利だから (33.9)	交通の便がよいから (31.4)	自然環境がよいから／親、兄弟や親戚が近くにいるから (28.1)	
50歳代 (n=119)	住みなれていて愛着があるから (54.6)	交通の便がよいから (39.5)	自然環境がよいから (32.8)	通勤や仕事に便利だから (29.4)	買い物に便利だから (25.2)
60歳代 (n=183)	住みなれていて愛着があるから (63.4)	交通の便がよいから (42.1)	自然環境がよいから (39.3)	買い物に便利だから (36.6)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (32.8)
70歳以上 (n=148)	住みなれていて愛着があるから (60.8)	交通の便がよいから (41.2)	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから (39.2)	自然環境がよいから (38.5)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (36.5)
女性・20歳代 (n=41)	住みなれていて愛着があるから (58.5)	通勤や仕事に便利だから (43.9)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (41.5)	交通の便がよいから (31.7)	買い物に便利だから (29.3)
30歳代 (n=99)	住みなれていて愛着があるから (54.5)	交通の便がよいから (45.5)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (42.4)	買い物に便利だから (28.3)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (27.3)
40歳代 (n=104)	住みなれていて愛着があるから (58.7)	交通の便がよいから (46.2)	通勤や仕事に便利だから (41.3)	買い物に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから (35.6)	
50歳代 (n=118)	住みなれていて愛着があるから (55.1)	交通の便がよいから (48.3)	自然環境がよいから (35.6)	買い物に便利だから (33.1)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (30.5)
60歳代 (n=207)	住みなれていて愛着があるから (63.8)	交通の便がよいから／買い物に便利だから (41.1)		自然環境がよいから (36.2)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (34.8)
70歳以上 (n=133)	住みなれていて愛着があるから (63.9)	隣近所の人との付き合いがうまく いっているから (49.6)	自然環境がよいから (42.1)	買い物に便利だから (40.6)	交通の便がよいから (37.6)

■職業別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自営業・家族従業(計) (n=167)	住みなれていて愛着があるから (62.9)	自然環境がよいから (40.7)	交通の便がよいから (34.1)	買い物に便利だから (31.1)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (27.5)
雇用者(計) (n=687)	住みなれていて愛着があるから (54.7)	交通の便がよいから (40.3)	通勤や仕事に便利だから (35.8)	自然環境がよいから (29.3)	親、兄弟や親戚が近くにいるから (27.8)
無職(計) (n=576)	住みなれていて愛着があるから (62.5)	交通の便がよいから (44.8)	買い物に便利だから (39.9)	自然環境がよいから (39.1)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (36.5)

■県内居住年数別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5年未満 (n=46)	交通の便がよいから (50.0)	買い物に便利だから (39.1)	自然環境がよいから (30.4)	住みなれていて愛着があるから (28.3)	学校、図書館などの教育・文化施設が整っているから／親、兄弟や親戚が近くにいるから (21.7)
5年～10年未満 (n=56)	自然環境がよいから (41.1)	住みなれていて愛着があるから (39.3)	交通の便がよいから (33.9)	通勤や仕事に便利だから (28.6)	医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから (26.8)
10年～20年未満 (n=156)	交通の便がよいから (44.9)	住みなれていて愛着があるから (44.2)	通勤や仕事に便利だから (36.5)	買い物に便利だから (32.1)	自然環境がよいから (23.1)
20年～30年未満 (n=248)	住みなれていて愛着があるから (58.9)	交通の便がよいから (44.4)	通勤や仕事に便利だから (32.3)	買い物に便利だから (31.5)	自然環境がよいから (31.0)
30年以上 (n=912)	住みなれていて愛着があるから (63.7)	交通の便がよいから (39.9)	自然環境がよいから (36.8)	買い物に便利だから (33.3)	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから (32.7)

■住居形態別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
持家（計） （n=1220）	住みなれていて愛着があるから （60.3）	交通の便がよいから （39.8）	自然環境がよいから （34.9）	買い物に便利だから （31.9）	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから （29.9）
持家（一戸建） （n=1040）	住みなれていて愛着があるから （61.5）	交通の便がよいから （36.7）	自然環境がよいから （36.6）	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから （31.9）	買い物に便利だから （29.7）
持家（分譲マンションなど集合住宅） （n=180）	交通の便がよいから （57.8）	住みなれていて愛着があるから （53.3）	買い物に便利だから （44.4）	通勤や仕事に便利だから （30.6）	自然環境がよいから （25.0）
持家以外（計） （n=212）	交通の便がよいから （50.9）	住みなれていて愛着があるから （50.5）	買い物に便利だから （38.7）	通勤や仕事に便利だから （34.4）	自然環境がよいから （31.6）
民間の借家（賃貸マンション、借家など） （n=129）	住みなれていて愛着があるから （57.4）	交通の便がよいから （45.7）	買い物に便利だから （36.4）	通勤や仕事に便利だから （33.3）	自然環境がよいから （27.1）
都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅など （n=65）	交通の便がよいから （58.5）	買い物に便利だから （49.2）	住みなれていて愛着があるから （47.7）	自然環境がよいから （41.5）	通勤や仕事に便利だから （35.4）
社宅・公務員住宅など給与住宅 （n=16）	交通の便がよいから （68.8）	通勤や仕事に便利だから （43.8）	学校、図書館などの教育・文化施設が整っているから （37.5）	自然環境がよいから／道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから （31.3）	
その他 （n=2）	住みなれていて愛着があるから （50.0）				

○定住したい理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

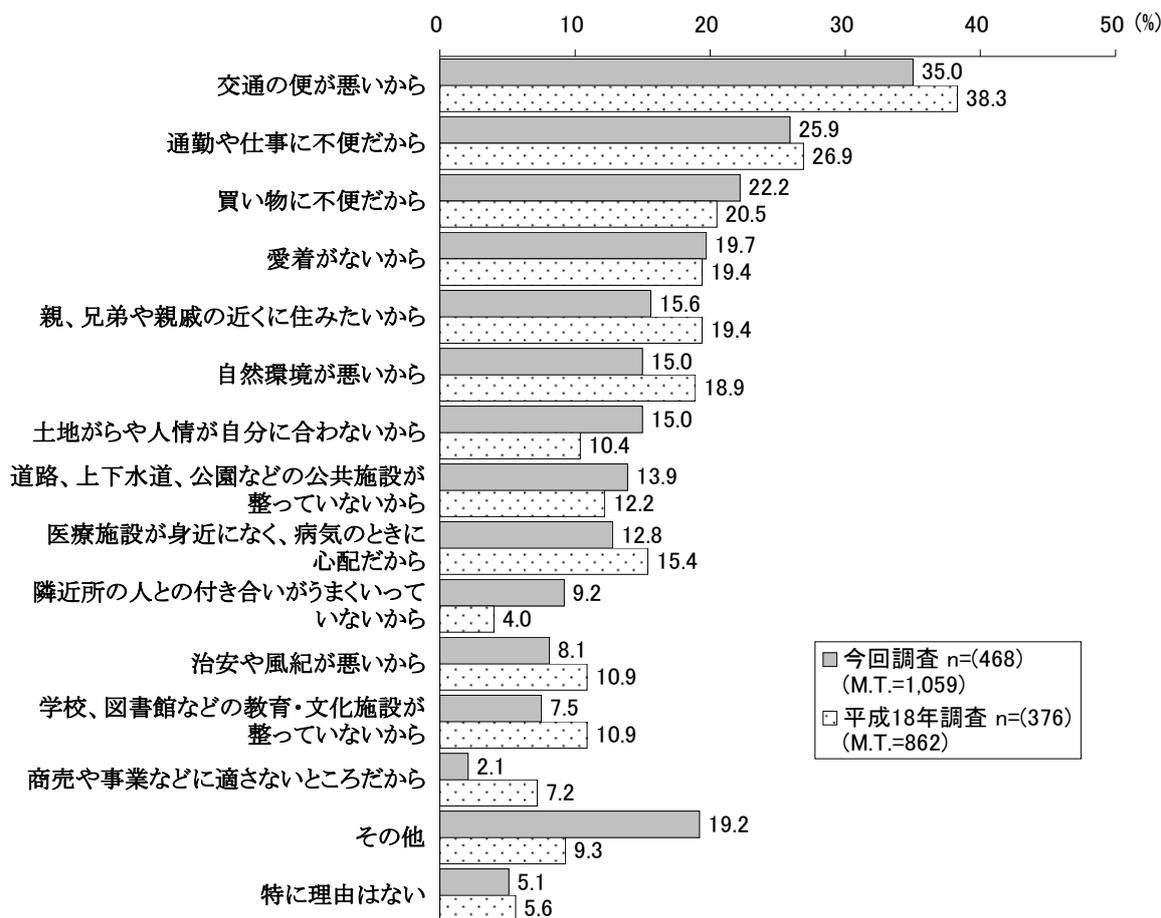
	調査数	住みなれていて愛着があるか	交通の便がよいから	自然環境がよいから	買い物に便利だから	隣近所の人との付き合いがうまいから	親、兄弟や親戚が近くにいるから	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから	通勤や仕事に便利だから	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから	治安や風紀がよいから	土地がらや人情が自分に合っているから	学校、図書館などの教育・文化施設が整っているから	商売や事業などに適したところだから	その他	特に理由はない	無回答
全体	1433	58.8	41.5	34.5	32.9	28.7	24.6	24.2	22.7	16.3	15.9	15.0	14.2	2.2	2.7	2.4	0.3
地域別																	
南部地域	130	66.2	55.4	23.1	50.0	35.4	21.5	31.5	26.9	24.6	10.0	10.8	19.2	-	2.3	3.1	-
南西部地域	127	54.3	53.5	37.8	42.5	31.5	23.6	33.1	31.5	29.9	24.4	11.0	21.3	5.5	3.1	1.6	-
東部地域	220	57.7	34.5	17.7	27.7	25.9	25.0	24.5	20.5	9.1	5.9	9.1	13.2	1.8	2.3	5.0	-
さいたま地域	224	55.4	56.7	29.9	37.5	18.3	17.9	22.8	30.4	18.3	19.6	8.9	17.9	1.8	3.1	1.8	0.4
県央地域	116	51.7	28.4	44.0	15.5	31.0	18.1	15.5	20.7	8.6	11.2	16.4	13.8	1.7	2.6	3.4	-
川越比企地域	187	58.8	34.2	42.2	29.4	27.8	20.9	23.5	17.1	18.2	15.0	16.0	12.8	1.6	3.7	0.5	0.5
西部地域	152	58.6	40.8	47.4	27.0	32.9	22.4	22.4	22.4	14.5	24.3	21.1	12.5	2.0	2.6	2.0	-
利根地域	115	67.0	27.0	33.0	26.1	27.8	35.7	14.8	12.2	6.1	17.4	19.1	5.2	3.5	1.7	0.9	-
北部地域	134	60.4	37.3	41.0	38.8	31.3	38.8	26.9	21.6	17.9	17.9	25.4	11.9	3.0	2.2	1.5	1.5
秩父地域	28	71.4	39.3	53.6	39.3	53.6	42.9	35.7	14.3	17.9	17.9	35.7	7.1	3.6	3.6	7.1	-
性別																	
男性	731	57.7	40.5	34.6	29.5	23.8	22.3	23.7	23.8	18.5	16.8	14.0	15.3	2.6	2.5	3.0	0.1
女性	702	60.0	42.5	34.3	36.3	33.8	26.9	24.8	21.5	14.0	15.0	16.1	13.1	1.9	3.0	1.7	0.4
年代別																	
20歳代	89	58.4	43.8	31.5	23.6	12.4	38.2	12.4	39.3	9.0	15.7	13.5	16.9	3.4	3.4	2.2	-
30歳代	211	51.7	43.6	28.4	26.1	20.9	34.6	15.6	30.3	8.5	13.7	10.4	19.0	2.4	2.4	1.9	-
40歳代	225	57.3	38.2	28.9	30.2	20.9	31.6	15.6	37.3	12.4	16.4	10.7	18.7	3.1	2.2	1.8	-
50歳代	237	54.9	43.9	34.2	29.1	24.1	20.7	18.6	29.1	10.5	17.3	13.5	11.0	0.8	3.8	4.6	0.4
60歳代	390	63.6	41.5	37.7	39.0	33.8	16.7	30.5	14.4	21.5	15.6	17.9	11.5	1.8	2.8	2.8	0.5
70歳以上	281	62.3	39.5	40.2	37.7	42.7	21.4	37.4	6.0	24.9	16.4	19.6	12.8	2.8	2.1	0.7	0.4
性・年代別																	
男性・20歳代	48	58.3	54.2	35.4	18.8	14.6	35.4	12.5	35.4	12.5	18.8	14.6	20.8	4.2	6.3	4.2	-
30歳代	112	49.1	42.0	30.4	24.1	15.2	27.7	15.2	35.7	12.5	16.1	8.9	17.9	2.7	0.9	1.8	-
40歳代	121	56.2	31.4	28.1	25.6	12.4	28.1	8.3	33.9	11.6	14.9	9.9	17.4	3.3	2.5	2.5	-
50歳代	119	54.6	39.5	32.8	25.2	17.6	21.8	19.3	29.4	11.8	16.8	12.6	12.6	1.7	2.5	6.7	-
60歳代	183	63.4	42.1	39.3	36.6	32.8	14.8	32.2	16.9	24.6	19.1	16.9	14.2	1.6	2.2	2.7	-
70歳以上	148	60.8	41.2	38.5	35.1	36.5	18.9	39.2	6.8	28.4	15.5	18.2	13.5	3.4	2.7	1.4	0.7
女性・20歳代	41	58.5	31.7	26.8	29.3	9.8	41.5	12.2	43.9	4.9	12.2	12.2	12.2	2.4	-	-	-
30歳代	99	54.5	45.5	26.3	28.3	27.3	42.4	16.2	24.2	4.0	11.1	12.1	20.2	2.0	4.0	2.0	-
40歳代	104	58.7	46.2	29.8	35.6	30.8	35.6	24.0	41.3	13.5	18.3	11.5	20.2	2.9	1.9	1.0	-
50歳代	118	55.1	48.3	35.6	33.1	30.5	19.5	17.8	28.8	9.3	17.8	14.4	9.3	-	5.1	2.5	0.8
60歳代	207	63.8	41.1	36.2	41.1	34.8	18.4	29.0	12.1	18.8	12.6	18.8	9.2	1.9	3.4	2.9	1.0
70歳以上	133	63.9	37.6	42.1	40.6	49.6	24.1	35.3	5.3	21.1	17.3	21.1	12.0	2.3	1.5	-	-
職業別																	
自営業・家族従業(計)	167	62.9	34.1	40.7	31.1	27.5	23.4	24.6	19.8	17.4	14.4	22.2	9.6	11.4	3.6	3.0	-
雇用者(計)	687	54.7	40.3	29.3	27.5	22.4	27.8	17.8	35.8	11.4	15.6	12.1	14.0	1.0	2.9	2.9	0.3
無職(計)	576	62.5	44.8	39.1	39.9	36.5	21.2	31.9	8.0	21.9	16.8	16.5	16.0	1.0	2.3	1.6	0.3
ライフステージ別																	
独身期	122	68.9	45.1	31.1	23.8	12.3	28.7	9.0	37.7	6.6	20.5	10.7	10.7	2.5	3.3	0.8	-
家族形成期	116	42.2	36.2	26.7	31.0	20.7	46.6	19.0	30.2	12.1	9.5	9.5	18.1	4.3	2.6	2.6	-
家族成長前期	151	53.0	42.4	27.2	21.2	22.5	34.4	16.6	31.1	6.6	12.6	11.9	27.8	2.0	2.6	2.6	-
家族成長後期	94	46.8	40.4	34.0	26.6	20.2	22.3	16.0	36.2	12.8	13.8	12.8	18.1	3.2	3.2	3.2	-
家族成熟期	311	63.3	46.6	36.3	33.8	29.9	18.6	23.5	22.8	18.0	18.0	15.1	12.5	0.6	2.9	2.9	0.3
高齢期	430	63.0	39.1	40.0	37.7	40.9	19.8	34.4	8.6	22.8	15.8	20.0	13.0	3.0	3.0	1.2	0.5
その他	209	56.5	39.2	32.1	39.2	23.9	22.5	25.4	26.3	16.7	17.2	13.4	7.7	1.4	1.4	4.3	0.5

(4-2) 転出したい理由

◇「交通の便が悪いから」が35.0%と「通勤や仕事に不便だから」が25.9%

(問4で「よそへ移りたい」と答えた方に)

問4-2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべてお選びください。



転出したい理由は、「交通の便が悪いから」(35.0%)が3割半ばで最も高く、次いで「通勤や仕事に不便だから」(25.9%)、「買い物に不便だから」(22.2%)、「愛着がないから」(19.7%)、「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」(15.6%)、「自然環境が悪いから」(15.0%)、「土地がらや人情が自分に合わないから」(15.0%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」(13.9%)の順となっている。

転出したい理由で高かったものの上位10位と、前回（平成18年）の順位は次のようになっている。

	今 回	前 回	(増減差)
1位 交通の便が悪いから	35.0%	38.3% (1位)	△3.3
2位 通勤や仕事に不便だから	25.9	26.9 (2位)	△1.0
3位 買い物に不便だから	22.2	20.5 (3位)	1.7
4位 愛着がないから	19.7	19.4 (4位)	0.3
5位 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから	15.6	19.4 (4位)	△3.8
6位 自然環境が悪いから	15.0	18.9 (6位)	△3.9
6位 土地がらや人情が自分に合わないから	15.0	10.4 (11位)	4.6
8位 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	13.9	12.2 (8位)	1.7
9位 医療施設が身近になく、病気のときに心配だから	12.8	15.4 (7位)	△2.6
10位 隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから	9.2	4.0 (13位)	5.2

【前回（平成18年）調査との比較】

今回の上位10項目と前回を比較すると、1位～6位までの順序は前回と同じである。1位の「交通の便が悪いから」（3.3ポイント減）、5位の「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」（3.8ポイント減）、6位の「自然環境が悪いから」（3.9ポイント減）など5項目で割合が減少している。一方、前回11位の「土地がらや人情が自分に合わないから」は4.6ポイント増で今回6位、前回13位の「隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから」は5.2ポイント増で今回10位と順位が大きく上がっている。

【平成9年以降の上位10項目の推移】

平成9年以降の5回の調査の上位10項目の推移をみると、今回1位の「交通の便が悪いから」、2位の「通勤や仕事に不便だから」、4位の「愛着がないから」は5回連続同じ順位である。3位の「買い物に不便だから」は（6位→7位→6位→3位→3位）と上昇傾向である。逆に6位の「自然環境が悪いから」は（3位→3位→3位→6位→6位）と下降傾向となっている。

順位	9年	12年	15年	18年	21年
1	交通の便が悪いから 26.4%	交通の便が悪いから 27.3%	交通の便が悪いから 29.5%	交通の便が悪いから 38.3%	交通の便が悪いから 35.0%
2	通勤や仕事に不便だから 24.3%	通勤や仕事に不便だから 25.2%	通勤や仕事に不便だから 25.6%	通勤や仕事に不便だから 26.9%	通勤や仕事に不便だから 25.9%
3	自然環境が悪いから 23.7%	自然環境が悪いから 23.4%	自然環境が悪いから 24.9%	買い物に不便だから 20.5%	買い物に不便だから 22.2%
4	愛着がないから 18.4%	愛着がないから 19.4%	愛着がないから 22.9%	愛着がないから／ 19.4%	愛着がないから 19.7%
5	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 17.1%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 18.2%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 18.0%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 19.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 15.6%
6	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから／ 18.2%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 17.5%	買い物に不便だから 17.6%	自然環境が悪いから 18.9%	自然環境が悪いから／ 15.0%
7	買い物に不便だから 15.9%	買い物に不便だから 16.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 13.7%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 15.4%	土地がらや人情が自分に合わないから 15.0%
8	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 10.8%	土地がらや人情が自分に合わないから 11.9%	土地がらや人情が自分に合わないから 12.9%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 12.2%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 13.9%
9	土地がらや人情が自分に合わないから 9.3%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから／ 10.3%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 12.4%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから／ 10.9%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 12.8%
10	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから 8.2%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 10.3%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 10.0%	治安や風紀が悪いから 10.9%	隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから 9.2%

【属性別比較】

①地域別

1位は6地域で「交通の便が悪いから」が挙げられており、川越比企地域（62.0%）、利根地域（51.9%）で5割を超えて高くなっている。南部地域では「自然環境が悪いから」（35.2%）、県央地域、西部地域では「通勤や仕事に不便だから」、北部地域では「愛着がないから」（27.3%）がそれぞれ1位となっている。

②性別

1位は男女とも「交通の便が悪いから」だが、女性（37.0%）のほうが男性（32.3%）よりも4.7ポイント高くなっている。2位は男性は「通勤や仕事に不便だから」（26.8%）、女性は「買い物に不便だから」（26.3%）となっており、「買い物に不便だから」は男性では4位（16.7%）で、女性のほうが9.6ポイント高くなっている。

③年代別

1位は20歳代を除き、「交通の便が悪いから」である。20歳代で1位の「通勤や仕事に不便だから」（43.0%）はおおむね年齢が低くなるほど割合が高くなっている。「医療施設が身近になく、病気のとときに心配だから」は60歳代で5位、70歳以上で2位と高い年代で上位に挙げられている。

④職業別

1位はいずれの職業も「交通の便が悪いから」である。2位は自営業・家族従業（計）で「自然環境が悪いから」（19.0%）、雇用者（計）で「通勤や仕事に不便だから」（30.8%）、無職（計）で「買い物に不便だから」（27.0%）と分かれている。3位は自営業・家族従業（計）で「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」（16.7%）、雇用者（計）で「買い物に不便だから」（21.5%）、無職（計）で「愛着がないから」（23.4%）となっている。

⑤県内居住年数別

1位は県内居住年数が5年未満と5年～10年未満では「愛着がないから」、10年～20年未満から30年以上では「交通の便が悪いから」となっている。2位は5年未満では「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」（34.1%）、5年～10年未満から20年～30年未満では「通勤や仕事に不便だから」、30年以上では「買い物に不便だから」（24.3%）となっている。

⑥住居形態別

1位は持家（計）で「交通の便が悪いから」（40.1%）、持家以外（計）で「通勤や仕事に不便だから」（25.2%）となっている。「交通の便が悪いから」は持家以外（計）では3位（23.8%）で、持家（計）のほうが16.3ポイント高くなっている。2位は持家（計）で「通勤や仕事に不便だから」（26.2%）、持家以外（計）で「愛着がないから」（24.5%）となっている。

【属性別の上位5項目】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=54)	自然環境が悪いから (35.2)	愛着がないから (31.5)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (29.6)	治安や風紀が悪いから／土地がらや人情が自分に合わないから (25.9)	
南西部地域 (n=45)	交通の便が悪いから (26.7)	愛着がないから (17.8)	自然環境が悪いから／道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから (15.6)	通勤や仕事に不便だから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (13.3)	
東部地域 (n=58)	交通の便が悪いから (32.8)	愛着がないから (22.4)	通勤や仕事に不便だから (20.7)	自然環境が悪いから／買い物に不便だから (19.0)	
さいたま地域 (n=82)	交通の便が悪いから (29.3)	通勤や仕事に不便だから (26.8)	買い物に不便だから／愛着がないから (19.5)		親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (17.1)
県央地域 (n=36)	通勤や仕事に不便だから (47.2)	交通の便が悪いから (41.7)	買い物に不便だから (36.1)	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから (16.7)	自然環境が悪いから／愛着がないから (13.9)
川越比企地域 (n=50)	交通の便が悪いから (62.0)	買い物に不便だから (40.0)	通勤や仕事に不便だから (36.0)	土地がらや人情が自分に合わないから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (18.0)	
西部地域 (n=51)	通勤や仕事に不便だから (33.3)	交通の便が悪いから (31.4)	買い物に不便だから (21.6)	愛着がないから (19.6)	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／土地がらや人情が自分に合わないから (17.6)
利根地域 (n=52)	交通の便が悪いから (51.9)	買い物に不便だから (32.7)	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから (26.9)	通勤や仕事に不便だから (23.1)	土地がらや人情が自分に合わないから (15.4)
北部地域 (n=33)	愛着がないから (27.3)	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／買い物に不便だから (21.2)		交通の便が悪いから／土地がらや人情が自分に合わないから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (18.2)	
秩父地域 (n=7)	交通の便が悪いから／通勤や仕事に不便だから／土地がらや人情が自分に合わないから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (28.6)			愛着がないから (14.3)	

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=198)	交通の便が悪いから (32.3)	通勤や仕事に不便だから (26.8)	愛着がないから (21.2)	買い物に不便だから (16.7)	自然環境が悪いから (16.2)
女性 (n=270)	交通の便が悪いから (37.0)	買い物に不便だから (26.3)	通勤や仕事に不便だから (25.2)	愛着がないから (18.5)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (15.9)

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=86)	通勤や仕事に不便だから (43.0)	交通の便が悪いから (33.7)	買い物に不便だから (24.4)	愛着がないから (17.4)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (12.8)
30歳代 (n=90)	交通の便が悪いから (32.2)	通勤や仕事に不便だから (26.7)	愛着がないから (21.1)	自然環境が悪いから (17.8)	土地がらや人情が自分に合わないから／買い物に不便だから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (16.7)
40歳代 (n=83)	交通の便が悪いから (39.8)	通勤や仕事に不便だから (27.7)	愛着がないから (19.3)	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／土地がらや人情が自分に合わないから (18.1)	
50歳代 (n=99)	交通の便が悪いから (32.3)	買い物に不便だから (29.3)	通勤や仕事に不便だから (23.2)	愛着がないから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (18.2)	
60歳代 (n=77)	交通の便が悪いから (39.0)	買い物に不便だから／愛着がないから (24.7)		道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから (19.5)	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから／土地がらや人情が自分に合わないから (18.2)
70歳以上 (n=33)	交通の便が悪いから (33.3)	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから (27.3)	自然環境が悪いから (24.2)	隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから (21.2)	買い物に不便だから (18.2)

■職業別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自営業・家族従業員(計) (n=42)	交通の便が悪いから (33.3)	自然環境が悪いから (19.0)	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから (16.7)	通勤や仕事に不便だから／愛着がないから (14.3)	
雇用者(計) (n=289)	交通の便が悪いから (34.3)	通勤や仕事に不便だから (30.8)	買い物に不便だから (21.5)	愛着がないから (18.7)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (14.9)
無職(計) (n=137)	交通の便が悪いから (37.2)	買い物に不便だから (27.0)	愛着がないから (23.4)	土地がらや人情が自分に合わないから (20.4)	通勤や仕事に不便だから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (19.0)

■県内居住年数別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5年未満 (n=41)	愛着がないから (36.6)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (34.1)	交通の便が悪いから (31.7)	通勤や仕事に不便だから (29.3)	自然環境が悪いから (22.0)
5年～10年未満 (n=42)	愛着がないから (33.3)	通勤や仕事に不便だから (26.2)	土地がらや人情が自分に合わないから ／買い物に不便だから	(23.8)	交通の便が悪いから ／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (21.4)
10年～20年未満 (n=74)	交通の便が悪いから (41.9)	通勤や仕事に不便だから (35.1)	買い物に不便だから (23.0)	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから (14.9)	自然環境が悪いから ／道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから ／土地がらや人情が自分に合わないから ／愛着がないから (13.5)
20年～30年未満 (n=126)	交通の便が悪いから (35.7)	通勤や仕事に不便だから (31.0)	買い物に不便だから (20.6)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (15.9)	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから (15.1)
30年以上 (n=181)	交通の便が悪いから (35.4)	買い物に不便だから (24.3)	愛着がないから (20.4)	通勤や仕事に不便だから (17.7)	自然環境が悪いから ／道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから (16.6)

■住居形態別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
持家（計） (n=324)	交通の便が悪いから (40.1)	通勤や仕事に不便だから (26.2)	買い物に不便だから (25.9)	愛着がないから (17.6)	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから ／土地がらや人情が自分に合わないから (17.0)
持家以外（計） (n=143)	通勤や仕事に不便だから (25.2)	愛着がないから (24.5)	交通の便が悪いから (23.8)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから (21.0)	自然環境が悪いから (15.4)

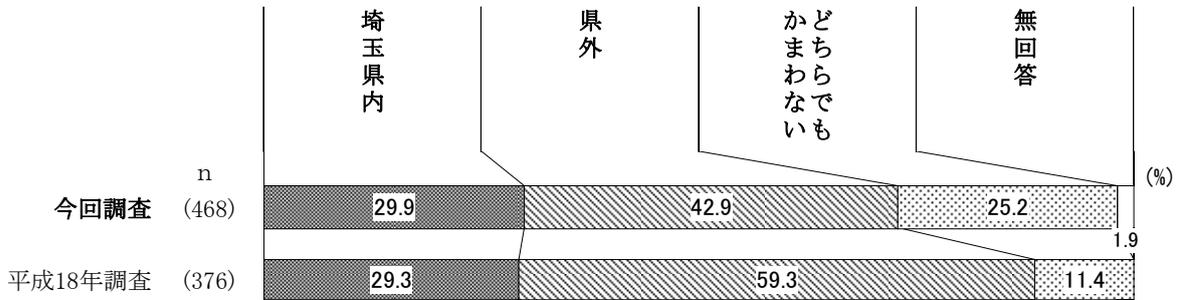
○転出したい理由・地域別／性別／年代別／職業別／県内居住年数別／住居形態別

	調査数	交通の便が悪いから	通勤や仕事に不便だから	買い物に不便だから	愛着がないから	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから	自然環境が悪いから	土地がらや人情が自分合わないから	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから	隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから	治安や風紀が悪いから	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから	商売や事業などに適さないところだから	その他	特に理由はない	無回答
全体	468	35.0	25.9	22.2	19.7	15.6	15.0	15.0	13.9	12.8	9.2	8.1	7.5	2.1	19.2	5.1	0.6
地域別																	
南部地域	54	22.2	20.4	7.4	31.5	29.6	35.2	25.9	13.0	5.6	16.7	25.9	-	3.7	13.0	1.9	1.9
南西部地域	45	26.7	13.3	11.1	17.8	13.3	15.6	6.7	15.6	11.1	4.4	8.9	8.9	2.2	26.7	4.4	-
東部地域	58	32.8	20.7	19.0	22.4	12.1	19.0	15.5	12.1	15.5	15.5	10.3	3.4	1.7	25.9	6.9	-
さいたま地域	82	29.3	26.8	19.5	19.5	17.1	14.6	9.8	15.9	11.0	4.9	4.9	6.1	1.2	25.6	8.5	1.2
県央地域	36	41.7	47.2	36.1	13.9	11.1	13.9	5.6	11.1	16.7	5.6	8.3	5.6	-	5.6	5.6	-
川越比企地域	50	62.0	36.0	40.0	14.0	18.0	4.0	18.0	10.0	14.0	12.0	6.0	10.0	2.0	14.0	2.0	-
西部地域	51	31.4	33.3	21.6	19.6	7.8	11.8	17.6	17.6	7.8	7.8	3.9	11.8	2.0	13.7	2.0	2.0
利根地域	52	51.9	23.1	32.7	11.5	9.6	9.6	15.4	11.5	26.9	9.6	3.8	11.5	5.8	15.4	3.8	-
北部地域	33	18.2	12.1	21.2	27.3	18.2	9.1	18.2	21.2	9.1	6.1	-	15.2	-	30.3	12.1	-
秩父地域	7	28.6	28.6	-	14.3	28.6	-	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-
性別																	
男性	198	32.3	26.8	16.7	21.2	15.2	16.2	15.2	13.1	10.1	9.1	9.1	4.0	2.0	18.2	6.6	1.5
女性	270	37.0	25.2	26.3	18.5	15.9	14.1	14.8	14.4	14.8	9.3	7.4	10.0	2.2	20.0	4.1	-
年代別																	
20歳代	86	33.7	43.0	24.4	17.4	12.8	11.6	5.8	4.7	3.5	3.5	9.3	7.0	2.3	25.6	3.5	-
30歳代	90	32.2	26.7	16.7	21.1	16.7	17.8	16.7	13.3	7.8	5.6	12.2	5.6	2.2	21.1	6.7	1.1
40歳代	83	39.8	27.7	16.9	19.3	16.9	13.3	18.1	18.1	15.7	10.8	6.0	7.2	3.6	19.3	2.4	-
50歳代	99	32.3	23.2	29.3	18.2	18.2	12.1	16.2	14.1	14.1	6.1	4.0	6.1	-	19.2	7.1	-
60歳代	77	39.0	13.0	24.7	24.7	14.3	16.9	18.2	19.5	18.2	16.9	10.4	11.7	2.6	13.0	3.9	-
70歳以上	33	33.3	12.1	18.2	15.2	12.1	24.2	15.2	15.2	27.3	21.2	6.1	9.1	3.0	12.1	9.1	6.1
職業別																	
自営業・家族従業（計）	42	33.3	14.3	11.9	14.3	9.5	19.0	11.9	16.7	7.1	7.1	11.9	4.8	7.1	14.3	9.5	-
雇用者（計）	289	34.3	30.8	21.5	18.7	14.9	14.2	12.8	13.5	11.4	7.6	6.9	6.9	0.7	20.8	5.9	0.3
無職（計）	137	37.2	19.0	27.0	23.4	19.0	15.3	20.4	13.9	17.5	13.1	9.5	9.5	3.6	17.5	2.2	1.5
県内居住年数別																	
5年未満	41	31.7	29.3	17.1	36.6	34.1	22.0	9.8	4.9	4.9	4.9	19.5	-	-	12.2	4.9	-
5年～10年未満	42	21.4	26.2	23.8	33.3	21.4	19.0	23.8	7.1	11.9	7.1	16.7	4.8	-	19.0	-	2.4
10年～20年未満	74	41.9	35.1	23.0	13.5	6.8	13.5	13.5	13.5	14.9	12.2	2.7	10.8	2.7	18.9	5.4	-
20年～30年未満	126	35.7	31.0	20.6	11.9	15.9	10.3	13.5	15.1	10.3	7.1	4.8	9.5	2.4	24.6	5.6	-
30年以上	181	35.4	17.7	24.3	20.4	13.8	16.6	15.5	16.6	16.0	10.5	7.7	7.2	2.8	17.1	6.1	1.1
住居形態別																	
持家（計）	324	40.1	26.2	25.9	17.6	13.3	14.8	17.0	16.7	17.0	10.2	7.7	9.9	2.8	17.0	6.5	0.6
持家以外（計）	143	23.8	25.2	14.0	24.5	21.0	15.4	10.5	7.7	2.8	6.3	9.1	2.1	0.7	24.5	2.1	0.7

(4-3) 転出先

◇「県外」が42.9%と「埼玉県内」が29.9%

(問4で「よそへ移りたい」と答えた方に)
問4-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。



転出先は、「県外」が42.9%で、「埼玉県内」(29.9%)を上回っている。「どちらでもかまわない」は25.2%である。

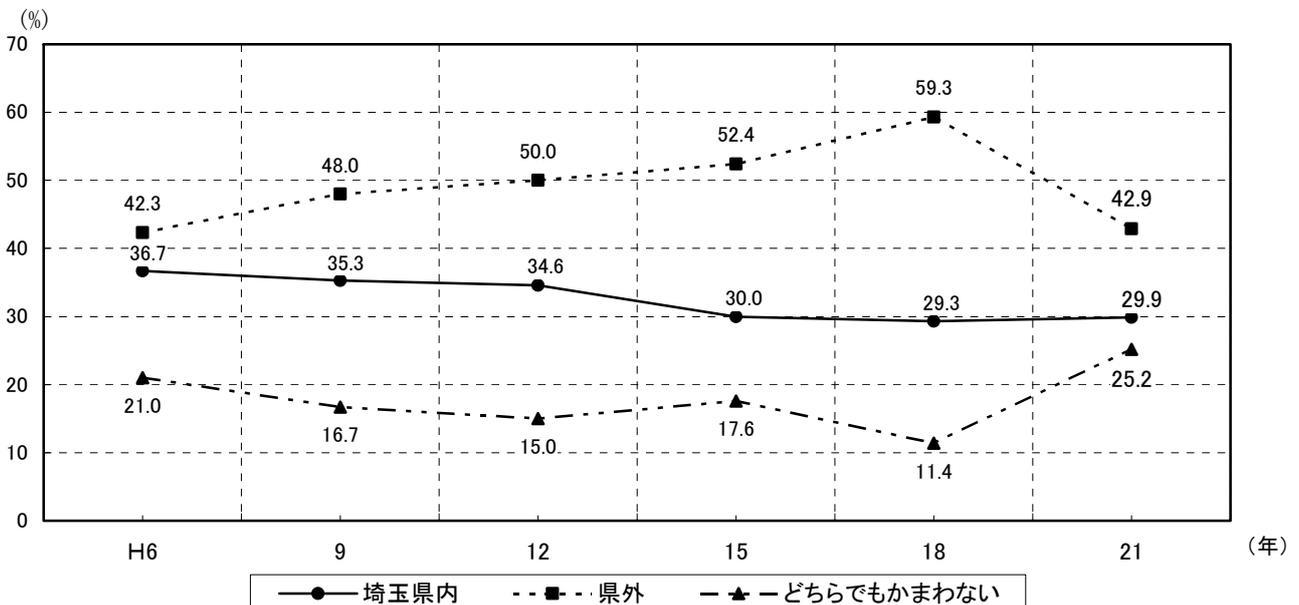
【前回(平成18年)調査との比較】

前回調査と比較すると、「県外」が16.4ポイント減少し、「どちらでもかまわない」が13.8ポイント増加している。

【経年比較】

平成6年以降(3年毎)に実施した調査結果の推移をみると、「県外」は前回平成18年までは毎回増加を続けていたが、今回、大きく16.4ポイント減少し、平成6年とほぼ同じ数値である。「埼玉県内」は平成15年以降ほぼ横ばい、「どちらでもかまわない」は25.2%と過去最高の数値となっている。

○転出先・平成6年以降の推移



【属性別比較】

①地域別

「埼玉県内」は県央地域（50.0%）、北部地域（48.5%）で5割前後と高く、「県外」は南部地域（51.9%）、東部地域（53.4%）、西部地域（60.8%）で5割を超えて高くなっている。

②性別

性別では差は小さいが、「埼玉県内」は男性（31.3%）のほうが女性（28.9%）よりも2.4ポイント高く、「県外」は女性（43.7%）のほうが男性（41.9%）よりも1.8ポイント高くなっている。

③年代別

いずれの年代も「県外」が「埼玉県内」を上回っており、20歳代と70歳以上でその傾向が強く、「県外」が5割以上である。60歳代では「埼玉県内」（31.2%）、「県外」（32.5%）、「どちらでもかまわない」（35.1%）がそれぞれ3割台となっている。

④職業別

「どちらでもかまわない」は自営業・家族従業（計）（19.0%）で他の職業に比べ低くなっている。

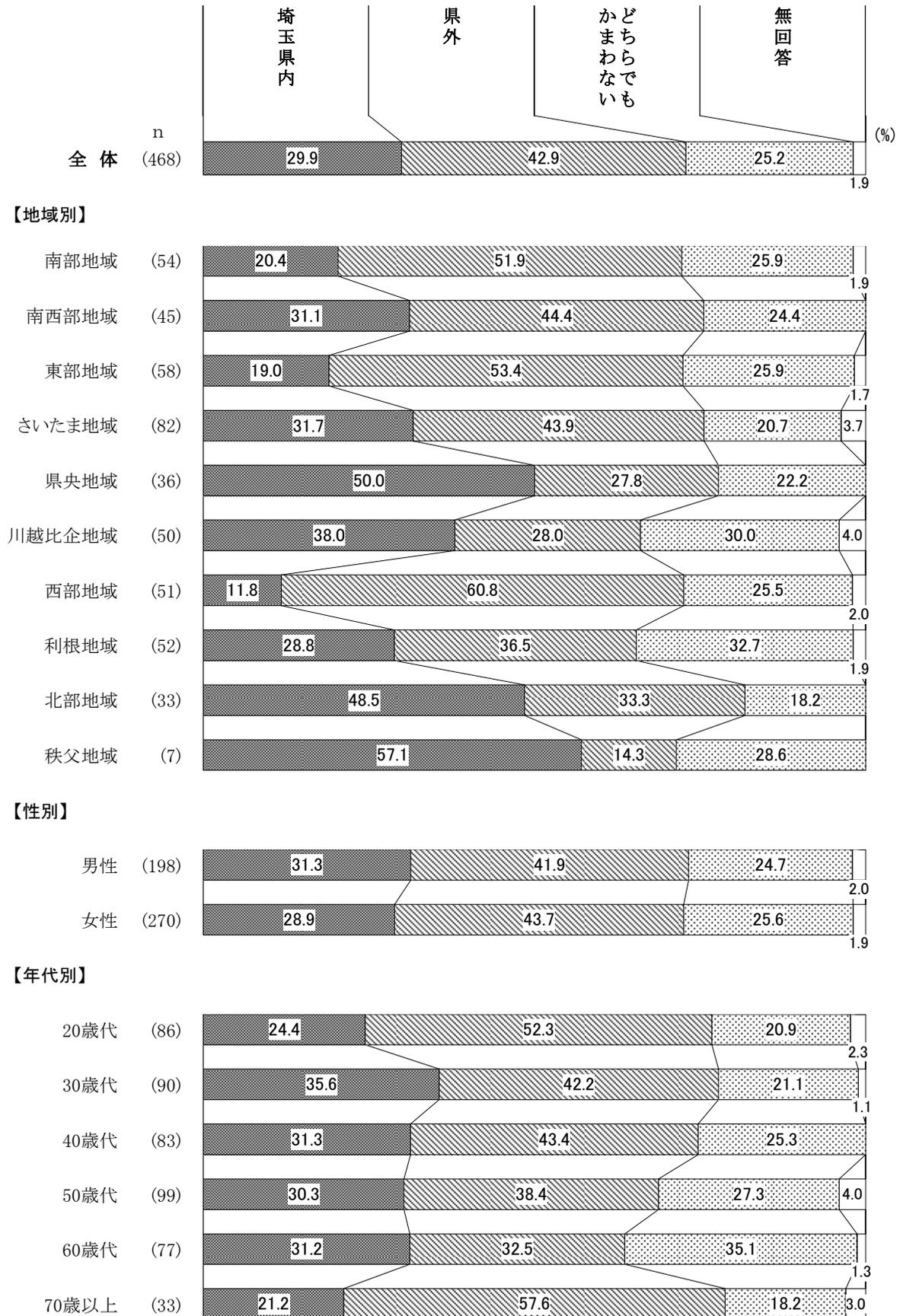
⑤出生地別

はい（埼玉県）では「埼玉県内」が41.8%なのに対し、いいえ（埼玉県外）では「県外」が49.7%となっている。

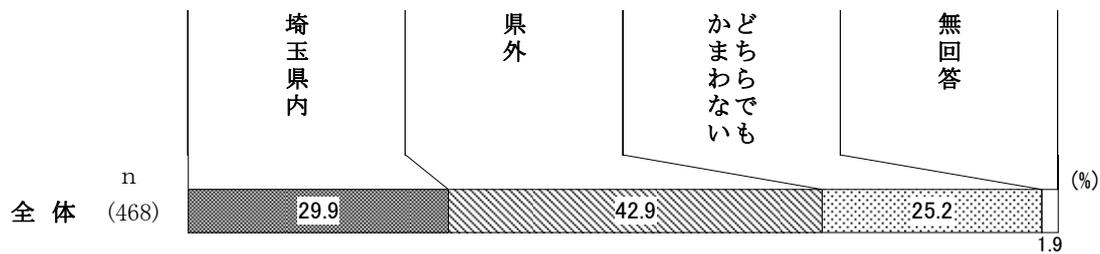
⑥住居形態別

「埼玉県内」は持家以外（計）が38.5%で持家（計）（25.9%）を12.6ポイント上回っている。

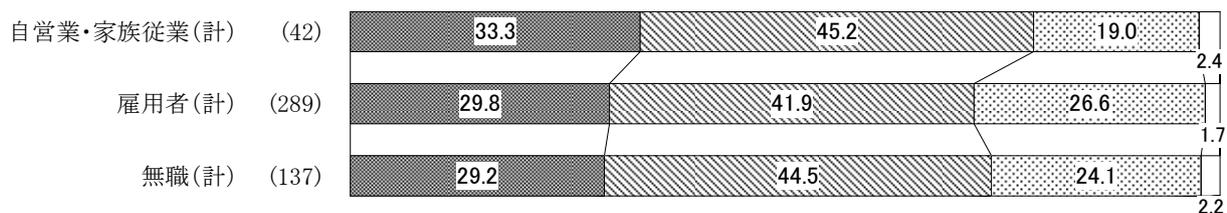
○転出先・地域別／性別／年代別



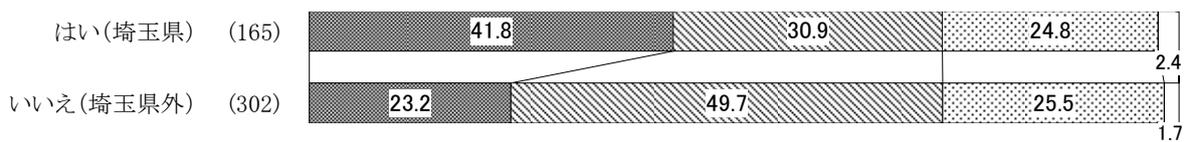
○転出先・職業別／出生地別／住居形態別



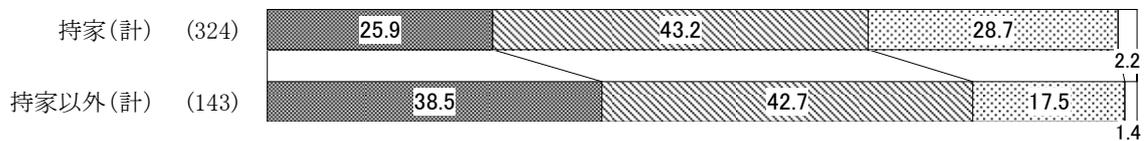
【職業別】



【出生地別】



【住居形態別】



(4-4) 移り住みたい都道府県

◇「東京都」が42.8%で突出

(問4-3で「県外」と答えた方に)

問4-4 県外へ移るとしたら、どここの都道府県へ移りたいですか。

都道府県	%	都道府県	%
東京都	42.8	青森県	1.0
神奈川県	10.4	山形県	1.0
千葉県	5.0	群馬県	1.0
北海道	3.0	奈良県	1.0
沖縄県	3.0	岩手県	0.5
茨城県	2.5	滋賀県	0.5
長野県	2.5	兵庫県	0.5
栃木県	2.0	鳥取県	0.5
静岡県	2.0	広島県	0.5
京都府	2.0	高知県	0.5
宮城県	1.5	宮崎県	0.5
新潟県	1.5	海外	1.5
大阪府	1.5	不明	2.5
山口県	1.5	無回答	6.0
福岡県	1.5		

n = 201

移りたい都道府県は、「東京都」の割合が42.8%で最も高く、次いで「神奈川県」(10.4%)、「千葉県」(5.0%)、「北海道」(3.0%)、「沖縄県」(3.0%)、「茨城県」(2.5%)、「長野県」(2.5%)の順となっている。

2 日常生活 (問5～問10)

○ 問5について

(1)と(2)は平成13年の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しており、今回が8回目となります。

(1)－1と(2)－1は、今回が初めてとなります。

* 県民意識調査

「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年に埼玉県が実施した県民意識調査

○ 問6について

平成19年度県政世論調査における調査項目を継続実施したもので、今回が3回目となります。

○ 問7について

平成15年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が7回目となります。

○ 問8について

問8と問8－2は、平成18年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が4回目となります。

問8－1は平成20年度から実施しており、今回が2回目となります。

○ 問9と問10について

今回が初めてとなります。

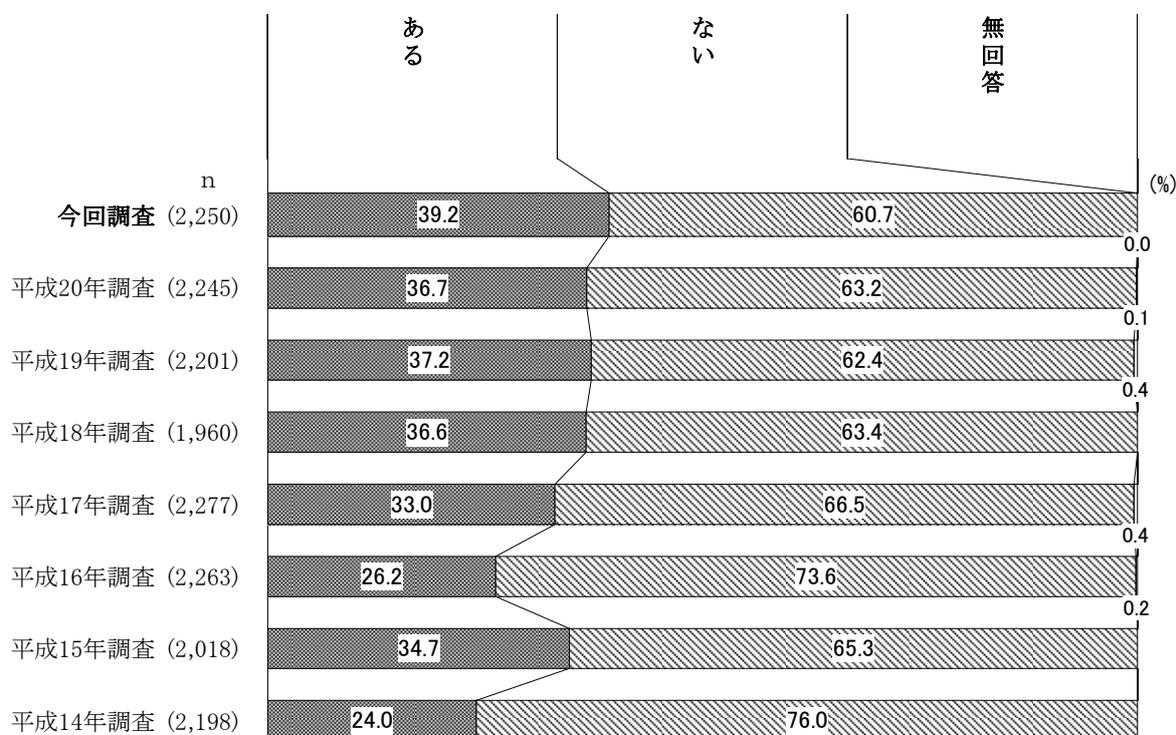
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」のは39.2%

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）や子ども会活動、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、まちづくりの推進を図るための活動など、地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。



過去1年間にボランティア活動や地域社会のための活動に参加したことが「ある」(39.2%)のは約4割となっている。

【過去7年間との比較】

過去7年間と比較すると、「ある」は昨年よりも2.5ポイント増加し、過去最高となっている。

【属性別比較】

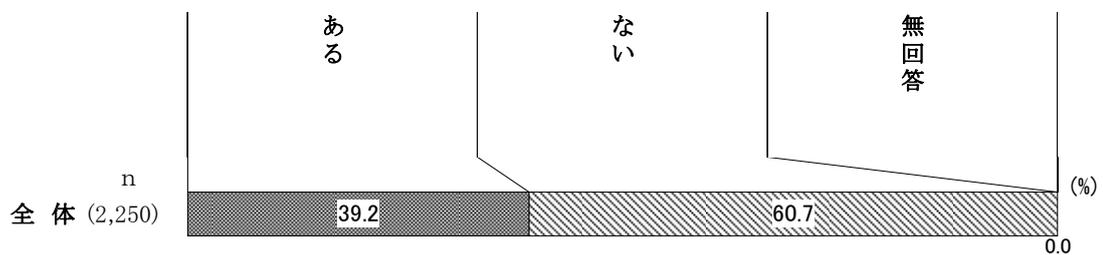
①性別

性別には大きな差はみられない。

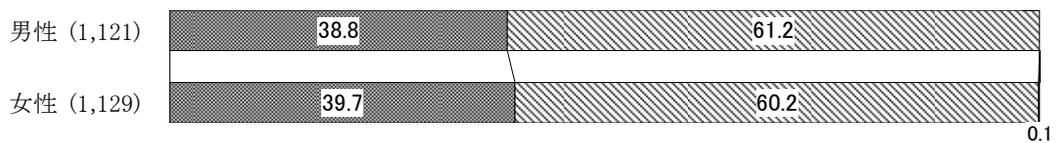
②年代別

「ある」は20歳代（12.7%）で1割台と突出して低く、40歳代以降で4割を超えて高くなっている。

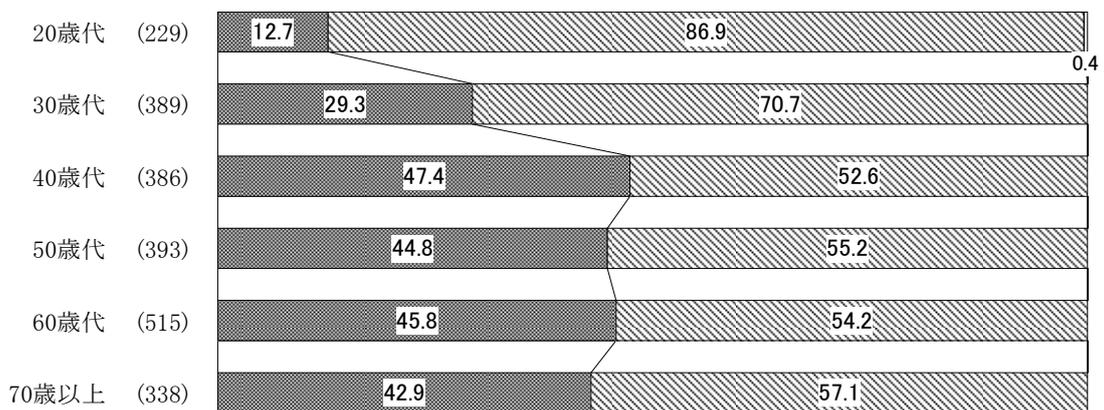
○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

「ある」は川越比企地域（50.9%）や利根地域（49.7%）で高く、南部地域（29.7%）とさいたま地域（31.9%）では3割前後と低くなっている。

④性・年代別

「ある」は男女とも20歳代は低く、30歳代から50歳代は女性の方が高いが、60歳代以上では男性の方が高くなっている。

⑤職業別

「ある」は雇用者（計）（36.1%）で低くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は独身期（13.4%）と家族形成期（20.0%）では低いが、家族成長前期（57.8%）と家族成長後期（60.0%）では6割前後と高くなっている。

○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

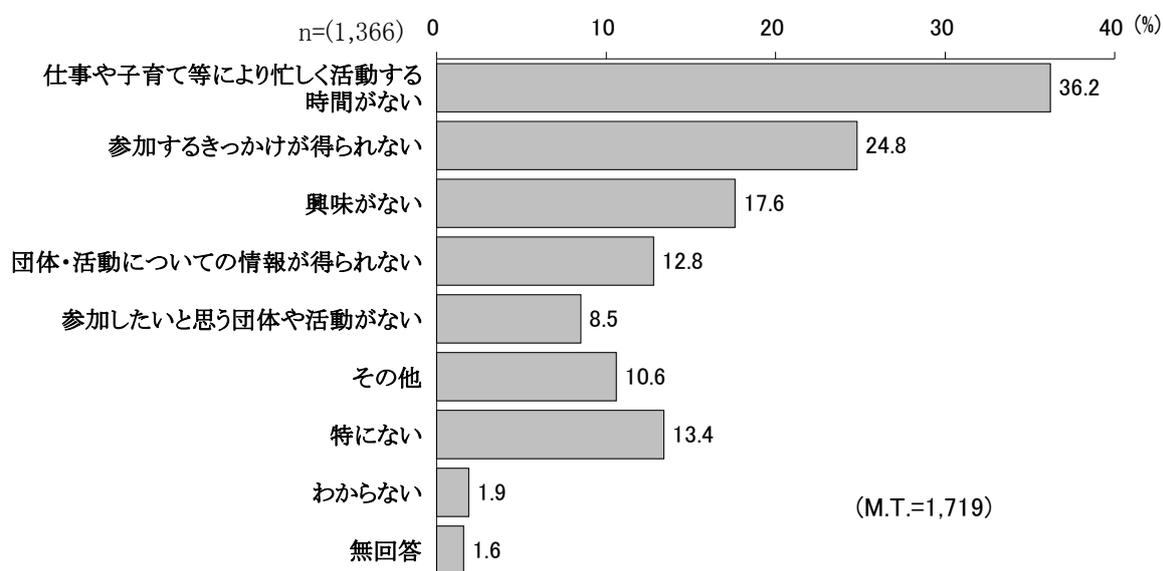
	調 査 数	あ る	な い	無 回 答
全 体	2250	39.2	60.7	0.0
地域別				
南部地域	222	29.7	70.3	-
南西部地域	198	32.8	67.2	-
東部地域	318	37.1	62.9	-
さいたま地域	367	31.9	68.1	-
県央地域	193	37.3	62.7	-
川越比企地域	275	50.9	49.1	-
西部地域	247	44.9	54.7	0.4
利根地域	197	49.7	50.3	-
北部地域	191	42.4	57.6	-
秩父地域	42	35.7	64.3	-
性・年代別				
男性・20歳代	114	17.5	82.5	-
30歳代	189	25.4	74.6	-
40歳代	200	41.0	59.0	-
50歳代	188	43.1	56.9	-
60歳代	250	48.8	51.2	-
70歳以上	180	45.6	54.4	-
女性・20歳代	115	7.8	91.3	0.9
30歳代	200	33.0	67.0	-
40歳代	186	54.3	45.7	-
50歳代	205	46.3	53.7	-
60歳代	265	43.0	57.0	-
70歳以上	158	39.9	60.1	-
職業別				
自営業・家族従業（計）	241	42.3	57.7	-
雇用者（計）	1188	36.1	63.8	0.1
無職（計）	817	43.0	57.0	-
ライフステージ別				
独身期	305	13.4	86.2	0.3
家族形成期	210	20.0	80.0	-
家族成長前期	237	57.8	42.2	-
家族成長後期	190	60.0	40.0	-
家族成熟期	458	45.0	55.0	-
高齢期	536	47.4	52.6	-
その他	314	28.3	71.7	-

(1-1) 地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が36.2%

((1) で「ない」と答えた方に)

(1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(36.2%)が3割半ばで最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」(24.8%)、「興味がない」(17.6%)、「団体・活動についての情報が得られない」(12.8%)、「参加したいと思う団体や活動がない」(8.5%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は北部地域（45.5%）で最も高く、「参加するきっかけが得られない」はさいたま地域（30.8%）で3割を超えて高くなっている。

②性別

「興味がない」は男性（20.7%）のほうが女性（14.4%）よりも6.3ポイント、「団体・活動についての情報が得られない」は男性（14.7%）のほうが女性（10.9%）よりも3.8ポイント高くなっている。「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性（37.8%）のほうが男性（34.7%）よりも3.1ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は30歳代（53.1%）で最も高く、「興味がない」は20歳代（22.6%）と30歳代（24.4%）で2割以上と高くなっている。「団体・活動についての情報が得られない」は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は男性30歳代（53.9%）、女性30歳代（52.2%）と40歳代（52.9%）で5割を超えて高く、「興味がない」は男性20歳代（25.5%）と30歳代（30.5%）で高くなっている。

⑤職業別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は無職（計）（16.3%）のみ1割台と低く、それ以外の職業では4割台である。

⑥ライフステージ別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は家族形成期（64.3%）、家族成長前期（61.0%）で6割以上と高く、「参加するきっかけが得られない」は家族成熟期（31.7%）、その他（29.3%）で3割前後と高くなっている。「興味がない」は独身期（28.5%）で特に高くなっている。

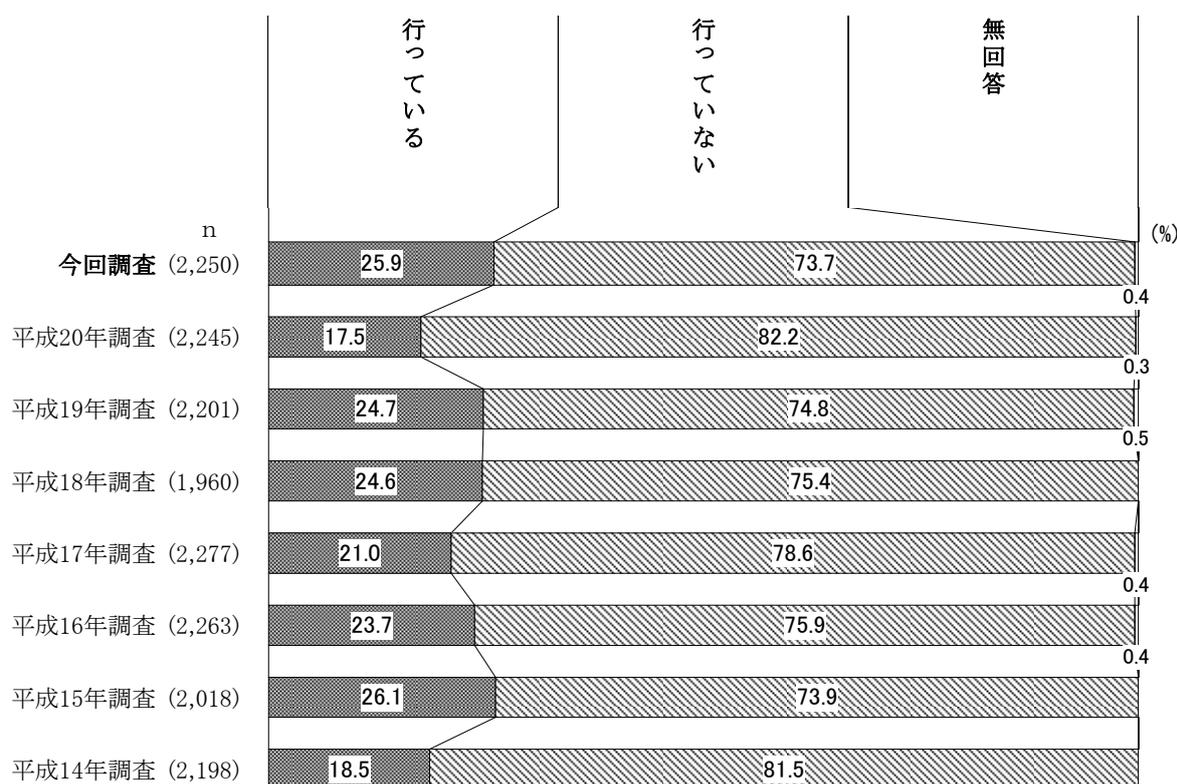
○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調 査 数	な い し 忙 し く 活 動 す る 時 間 が り	仕 事 や 子 育 て 等 に よ り	ら 参 加 す る き つ か け が 得	興 味 が な い	情 報 が 得 ら れ な い に つ い て の	団 体 ・ 活 動 に つ い て の	や 活 動 が な い と 思 う 団 体	参 加 し た い と 思 う 団 体	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1366	36.2	24.8	17.6	12.8	8.5	10.6	13.4	1.9	1.6			
地域別													
南部地域	156	36.5	28.8	23.1	15.4	3.8	9.6	11.5	2.6	0.6			
南西部地域	133	35.3	24.8	22.6	11.3	8.3	9.0	12.0	0.8	0.8			
東部地域	200	36.5	19.5	16.0	12.5	12.5	14.0	14.5	1.0	1.5			
さいたま地域	250	36.8	30.8	15.2	16.4	10.8	9.2	11.2	1.2	3.2			
県央地域	121	33.1	19.8	9.1	7.4	8.3	9.1	29.8	0.8	-			
川越比企地域	135	34.8	25.2	14.8	9.6	6.7	11.9	11.9	4.4	1.5			
西部地域	135	32.6	25.9	20.0	14.1	8.1	10.4	11.1	2.2	3.7			
利根地域	99	35.4	21.2	21.2	13.1	9.1	11.1	16.2	3.0	1.0			
北部地域	110	45.5	24.5	20.9	10.0	6.4	9.1	5.5	2.7	0.9			
秩父地域	27	37.0	14.8	7.4	18.5	3.7	18.5	11.1	-	-			
性別													
男性	686	34.7	26.5	20.7	14.7	8.0	7.6	12.8	1.7	1.6			
女性	680	37.8	23.1	14.4	10.9	9.0	13.7	14.0	2.1	1.6			
年代別													
20歳代	199	40.7	29.1	22.6	17.6	8.5	3.0	12.6	1.0	1.5			
30歳代	275	53.1	21.8	24.4	14.5	5.1	4.4	10.2	0.4	0.7			
40歳代	203	47.8	28.6	15.8	13.3	8.9	5.9	9.9	1.5	-			
50歳代	217	41.9	27.6	10.6	12.9	9.7	6.5	11.5	2.3	1.4			
60歳代	279	23.7	26.9	16.1	12.9	11.1	14.3	15.1	2.5	1.8			
70歳以上	193	7.3	14.5	14.5	4.7	7.8	31.6	22.3	4.1	4.7			
性・年代別													
男性・20歳代	94	33.0	29.8	25.5	16.0	9.6	5.3	13.8	1.1	1.1			
30歳代	141	53.9	22.0	30.5	16.3	5.7	2.1	7.8	-	0.7			
40歳代	118	44.1	30.5	20.3	16.9	6.8	4.2	9.3	1.7	-			
50歳代	107	37.4	29.0	12.1	16.8	11.2	3.7	10.3	2.8	1.9			
60歳代	128	25.0	30.5	18.8	14.8	7.8	7.8	14.1	1.6	1.6			
70歳以上	98	7.1	17.3	14.3	6.1	8.2	25.5	24.5	4.1	5.1			
女性・20歳代	105	47.6	28.6	20.0	19.0	7.6	1.0	11.4	1.0	1.9			
30歳代	134	52.2	21.6	17.9	12.7	4.5	6.7	12.7	0.7	0.7			
40歳代	85	52.9	25.9	9.4	8.2	11.8	8.2	10.6	1.2	-			
50歳代	110	46.4	26.4	9.1	9.1	8.2	9.1	12.7	1.8	0.9			
60歳代	151	22.5	23.8	13.9	11.3	13.9	19.9	15.9	3.3	2.0			
70歳以上	95	7.4	11.6	14.7	3.2	7.4	37.9	20.0	4.2	4.2			
職業別													
自営業・家族従業（計）	139	40.3	23.0	12.9	15.1	9.4	7.9	14.4	2.2	1.4			
雇用者（計）	758	47.8	25.5	17.7	14.0	7.7	5.1	10.6	1.1	1.3			
無職（計）	466	16.3	24.5	18.7	10.3	9.7	20.4	17.6	3.2	2.1			
ライフステージ別													
独身期	263	36.9	27.0	28.5	13.3	7.2	5.7	13.3	0.4	1.5			
家族形成期	168	64.3	23.2	16.1	20.2	6.0	2.4	8.3	0.6	0.6			
家族成長前期	100	61.0	20.0	18.0	11.0	6.0	3.0	6.0	2.0	1.0			
家族成長後期	76	55.3	19.7	14.5	10.5	9.2	6.6	9.2	-	-			
家族成熟期	252	34.1	31.7	10.7	13.5	8.7	8.3	16.3	1.6	-			
高齢期	282	14.5	17.0	14.9	6.4	10.3	27.3	17.4	3.9	3.5			
その他	225	26.7	29.3	17.8	15.6	10.2	8.9	13.8	3.1	2.7			

(2) 文化芸術活動の経験

◇「行っている」は25.9%

(2) あなたは、現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか。文化芸術活動とは、文芸・音楽・歌唱・美術・写真・映画・演劇・舞踊・漫画・アニメ・伝統芸能・民俗芸能・茶道・華道・書道・陶芸・囲碁・将棋などです。



現在、自主的な文化芸術活動を「行っている」(25.9%)は2割半ばとなっている。

【過去7年間との比較】

過去7年間と比較すると、「行っている」は昨年よりも8.4ポイント増加し、過去最高だった平成15年(26.1%)とほぼ同水準になっている。

【属性別比較】

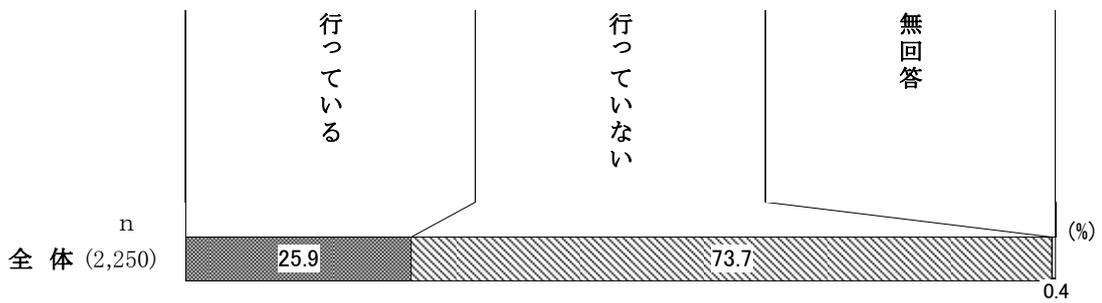
①性別

「行っている」は女性（29.7%）が男性（22.0%）を7.7ポイント上回っている。

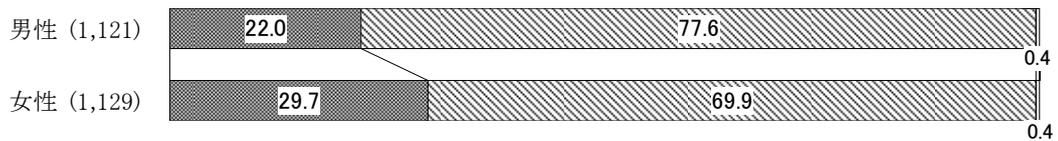
②年代別

「行っている」は20歳代（29.3%）、60歳代（31.7%）、70歳以上（29.9%）で3割前後と高く、30歳代から50歳代では2割強と低くなっている。

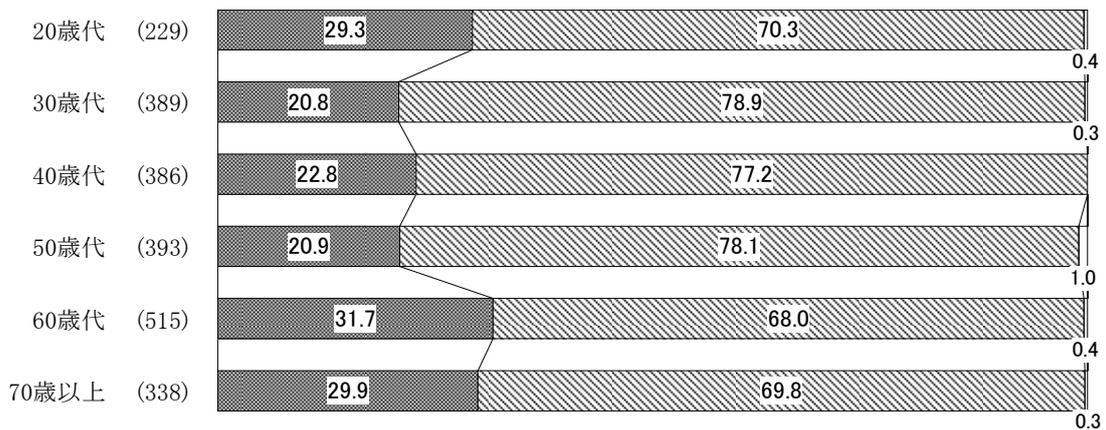
○文化芸術活動の経験・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

「行っている」は西部地域（32.8%）と秩父地域（31.0%）で3割強と高く、利根地域（20.8%）では2割強と低くなっている。

④性・年代別

「行っている」は女性がいずれの年代も2割を超えており、60歳代（38.1%）で4割弱と特に高くなっている。一方、男性は30歳代から50歳代で1割台と低く、最も高い20歳代（29.8%）でも3割弱にとどまってる。

⑤職業別

「行っている」は無職（計）（31.3%）が3割強と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「行っている」は高齢期（33.2%）で3割強、独身期（28.9%）で3割弱と比較的高くなっている。一方、家族成長後期（18.9%）で2割弱と低くなっている。

○文化芸術活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

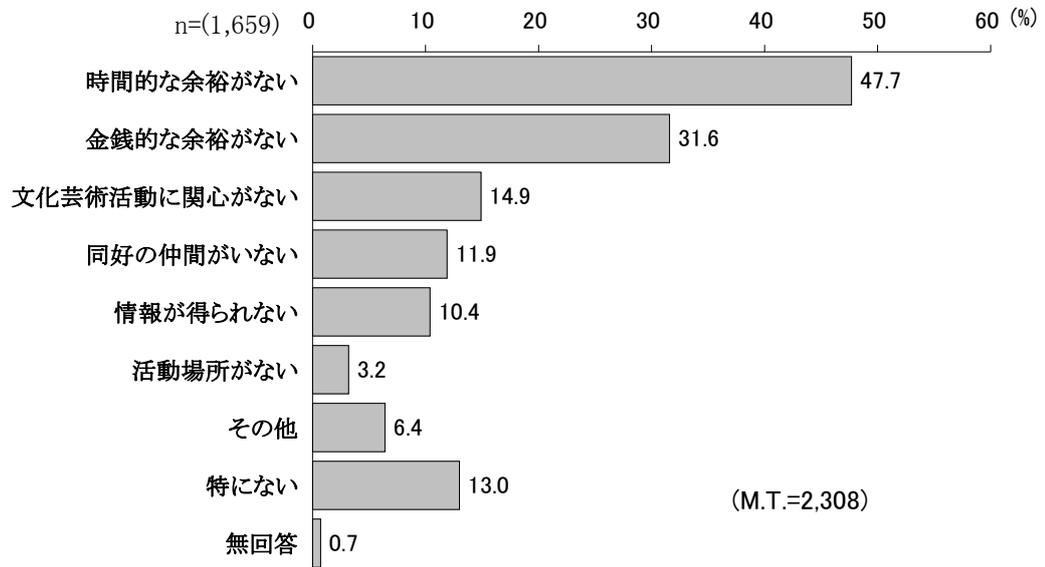
	調 査 数	行 っ て い る	行 っ て い な い	無 回 答
全 体	2250	25.9	73.7	0.4
地域別				
南部地域	222	22.5	77.0	0.5
南西部地域	198	28.3	71.2	0.5
東部地域	318	25.8	73.9	0.3
さいたま地域	367	24.0	74.9	1.1
県央地域	193	26.9	73.1	-
川越比企地域	275	25.1	74.9	-
西部地域	247	32.8	66.8	0.4
利根地域	197	20.8	79.2	-
北部地域	191	26.2	73.3	0.5
秩父地域	42	31.0	69.0	-
性・年代別				
男性・20歳代	114	29.8	70.2	-
30歳代	189	16.9	82.5	0.5
40歳代	200	16.0	84.0	-
50歳代	188	19.1	80.3	0.5
60歳代	250	24.8	74.8	0.4
70歳以上	180	28.3	71.1	0.6
女性・20歳代	115	28.7	70.4	0.9
30歳代	200	24.5	75.5	-
40歳代	186	30.1	69.9	-
50歳代	205	22.4	76.1	1.5
60歳代	265	38.1	61.5	0.4
70歳以上	158	31.6	68.4	-
職業別				
自営業・家族従業（計）	241	23.7	76.3	-
雇用者（計）	1188	22.6	76.9	0.6
無職（計）	817	31.3	68.4	0.2
ライフステージ別				
独身期	305	28.9	70.8	0.3
家族形成期	210	20.0	79.5	0.5
家族成長前期	237	22.4	77.6	-
家族成長後期	190	18.9	81.1	-
家族成熟期	458	24.7	74.7	0.7
高齢期	536	33.2	66.4	0.4
その他	314	22.9	76.4	0.6

(2-1) 文化芸術活動を行っていない理由

◇「時間的な余裕がない」が47.7%

((2)で「行っていない」と答えた方に)

(2)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



文化芸術活動を行っていない理由は、「時間的な余裕がない」(47.7%)が4割半ばを超えて最も高く、次いで「金銭的な余裕がない」(31.6%)、「文化芸術活動に関心がない」(14.9%)、「同好の仲間がいない」(11.9%)、「情報が得られない」(10.4%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「時間的な余裕がない」は南部地域（52.0%）、利根地域（50.0%）で5割以上と高く、「金銭的な余裕がない」は秩父地域（51.7%）で最も高くなっている。

②性別

「金銭的な余裕がない」は女性（36.1%）のほうが男性（27.6%）よりも8.5ポイント高く、「文化芸術活動に関心がない」は男性（18.7%）のほうが女性（10.8%）よりも7.9ポイント高くなっている。

③年代別

「時間的な余裕がない」と「金銭的な余裕がない」は60歳代と70歳以上で低く、「文化芸術活動に関心がない」は20歳代（19.9%）と30歳代（17.9%）で高くなっている。

④性・年代別

「時間的な余裕がない」は男性30歳代（61.5%）で最も高く、「金銭的な余裕がない」は女性20歳代（42.0%）と40歳代（46.9%）で4割以上と高くなっている。

⑤職業別

「時間的な余裕がない」は無職（計）（25.2%）で2割半ばと低く、それ以外の職業では5割以上となっている。

⑥ライフステージ別

「時間的な余裕がない」と「金銭的な余裕がない」は高齢期で2割台と低くなっている。「文化芸術活動に関心がない」は独身期（21.3%）で高く、「同好の仲間がいない」は家族成熟期（15.5%）、高齢期（15.7%）で1割半ばと比較的高くなっている。

○文化芸術活動を行っていない理由・性別／年代別／地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

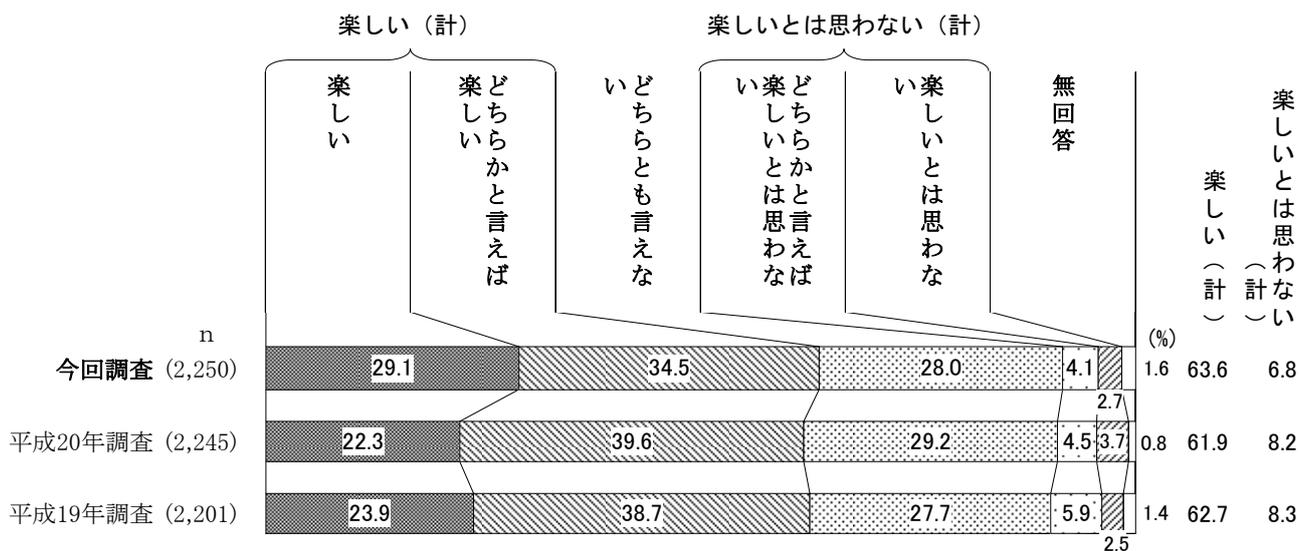
	調査数	時間的な余裕がない	金銭的な余裕がない	文化芸術活動に関心がない	同好の仲間がいない	情報が得られない	活動場所がない	その他	特にない	無回答
全体	1659	47.7	31.6	14.9	11.9	10.4	3.2	6.4	13.0	0.7
地域別										
南部地域	171	52.0	39.8	12.9	9.9	10.5	0.6	5.3	11.1	1.2
南西部地域	141	49.6	34.8	19.9	9.9	7.1	5.0	5.0	12.1	-
東部地域	235	45.5	27.2	14.0	13.6	13.2	2.1	8.1	12.8	-
さいたま地域	275	49.8	30.5	13.5	14.5	15.6	2.2	5.5	11.3	1.5
県央地域	141	46.1	26.2	12.8	8.5	6.4	2.1	6.4	23.4	-
川越比企地域	206	44.2	34.5	14.6	13.1	8.7	4.9	6.8	11.2	0.5
西部地域	165	48.5	23.6	18.8	12.1	10.3	4.2	6.7	12.1	0.6
利根地域	156	50.0	30.8	15.4	13.5	7.7	3.8	6.4	12.8	1.9
北部地域	140	46.4	35.7	15.0	8.6	9.3	5.7	5.7	14.3	-
秩父地域	29	34.5	51.7	13.8	6.9	3.4	-	13.8	6.9	-
性別										
男性	870	47.4	27.6	18.7	13.3	11.7	3.0	4.9	13.2	0.5
女性	789	48.2	36.1	10.8	10.3	8.9	3.4	8.0	12.7	0.9
年代別										
20歳代	161	57.8	31.7	19.9	7.5	10.6	-	-	11.2	0.6
30歳代	307	59.6	36.8	17.9	6.8	8.8	2.0	1.6	9.1	0.7
40歳代	298	56.4	37.6	14.4	11.1	14.8	3.4	3.7	7.7	0.3
50歳代	307	55.7	32.9	13.4	12.1	9.4	2.6	4.6	13.0	-
60歳代	350	37.4	29.4	11.1	18.9	9.4	5.7	10.3	14.3	0.9
70歳以上	236	19.5	19.1	16.1	11.9	9.3	3.8	16.9	23.7	1.7
性・年代別										
男性・20歳代	80	57.5	21.3	25.0	8.8	10.0	-	-	12.5	-
30歳代	156	61.5	36.5	22.4	3.2	8.3	0.6	1.3	8.3	0.6
40歳代	168	54.2	30.4	18.5	12.5	16.7	3.0	4.2	8.3	0.6
50歳代	151	56.3	29.1	16.6	14.6	9.9	4.0	3.3	13.9	-
60歳代	187	39.6	25.1	16.0	21.9	11.8	5.3	8.0	12.3	0.5
70歳以上	128	15.6	18.8	17.2	15.6	12.5	3.1	10.9	26.6	0.8
女性・20歳代	81	58.0	42.0	14.8	6.2	11.1	-	-	9.9	1.2
30歳代	151	57.6	37.1	13.2	10.6	9.3	3.3	2.0	9.9	0.7
40歳代	130	59.2	46.9	9.2	9.2	12.3	3.8	3.1	6.9	-
50歳代	156	55.1	36.5	10.3	9.6	9.0	1.3	5.8	12.2	-
60歳代	163	35.0	34.4	5.5	15.3	6.7	6.1	12.9	16.6	1.2
70歳以上	108	24.1	19.4	14.8	7.4	5.6	4.6	24.1	20.4	2.8
職業別										
自営業・家族従業（計）	184	54.9	28.3	16.3	9.8	9.8	3.3	5.4	9.2	1.1
雇用者（計）	913	60.0	33.8	16.0	9.3	11.0	2.2	3.1	9.9	0.3
無職（計）	559	25.2	29.2	12.7	16.8	9.7	4.8	12.2	19.3	1.1
ライフステージ別										
独身期	216	58.8	35.2	21.3	6.5	10.6	-	0.5	8.3	-
家族形成期	167	62.9	35.3	15.0	8.4	10.8	2.4	1.2	9.6	1.2
家族成長前期	184	56.5	34.2	17.4	6.5	8.7	2.2	2.2	11.4	0.5
家族成長後期	154	60.4	38.3	11.0	9.1	13.0	5.8	2.6	8.4	0.6
家族成熟期	342	51.2	28.7	14.6	15.5	8.8	2.3	6.4	14.0	-
高齢期	356	27.2	22.5	13.2	15.7	9.6	5.6	14.3	18.5	1.4
その他	240	37.9	37.5	12.9	14.2	12.9	3.3	9.2	13.8	0.8

(3) 子育ての楽しさについて

◇『楽しい(計)』が63.6%

問6 子育てについておたずねいたします。

(1) 子育ては「楽しい」と思えますか。(子育て経験が無い方は想像で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。)



子育ての楽しさに関して、「どちらかといえば楽しい」(34.5%)が3割半ばで最も高く、「楽しい」(29.1%)と「どちらともいえない」(28.0%)が2割台となっている。「楽しい」(29.1%)と「どちらかといえば楽しい」(34.5%)を合わせた『楽しい(計)』(63.6%)は6割強、「楽しいとは思わない」(2.7%)と「どちらかといえば楽しいとは思わない」(4.1%)を合わせた『楽しいとは思わない(計)』は6.8%となっている。

【過去2年間との比較】

『楽しい(計)』は昨年から1.7ポイントの微増だが、内訳では「楽しい」が6.8ポイントと大きく増加している。

【属性別比較】

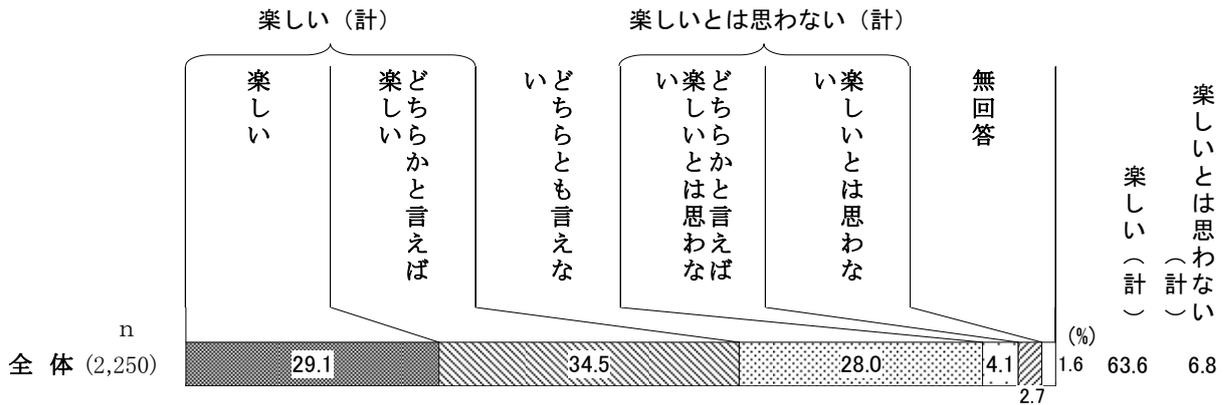
①性別

性別では大きな差はみられない。

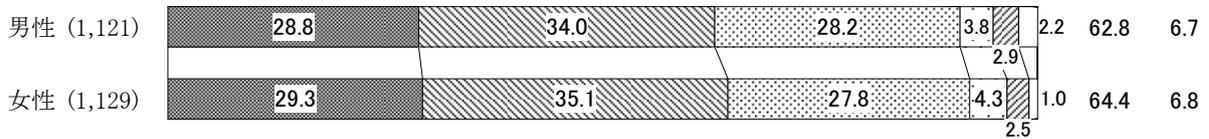
②年代別

『楽しい（計）』は50歳代（67.6%）までは年齢が高くなるほど割合が高くなり、それ以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。特に70歳以上（55.9%）は5割半ばと低くなっている。

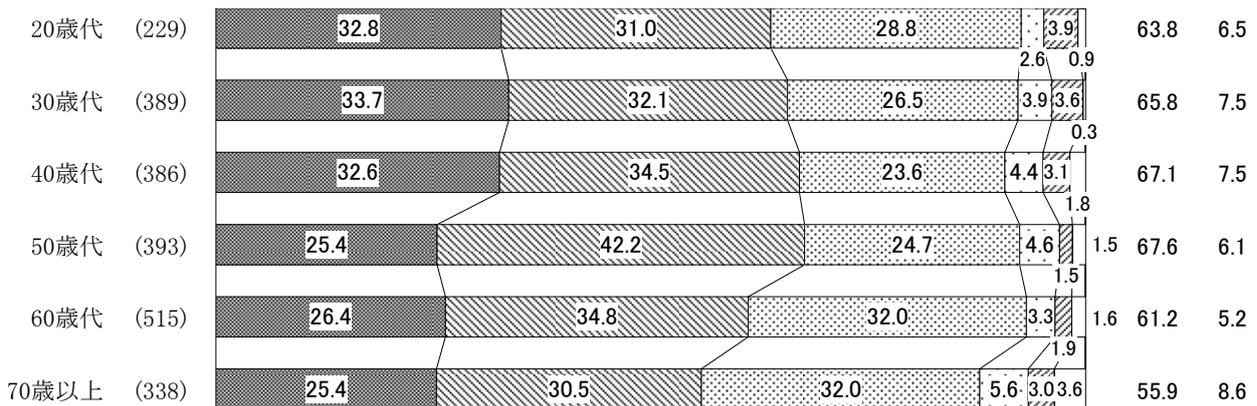
○子育ての楽しさについて・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『楽しい(計)』は秩父地域(71.4%)で7割強と最も高く、県央地域(67.4%)で7割弱となっている。一方、南部地域(57.6%)では6割弱と比較的低くなっている。

④性・年代別

『楽しい(計)』は男性では30歳代(66.6%)と40歳代(68.0%)、女性では20歳代(67.0%)と50歳代(73.7%)で高くなっている。一方、『楽しいとは思わない(計)』は女性70歳以上(10.2%)で1割を超えている。

⑤職業別

『楽しい(計)』は雇用者(計)(67.3%)で高くなっている。

⑥ライフステージ別

『楽しい(計)』は家族形成期から家族成長後期にかけて7割を超え、高くなっている。一方、『楽しいとは思わない(計)』は独身期(11.2%)とその他(12.5%)が他のステージに比べて高くなっている。

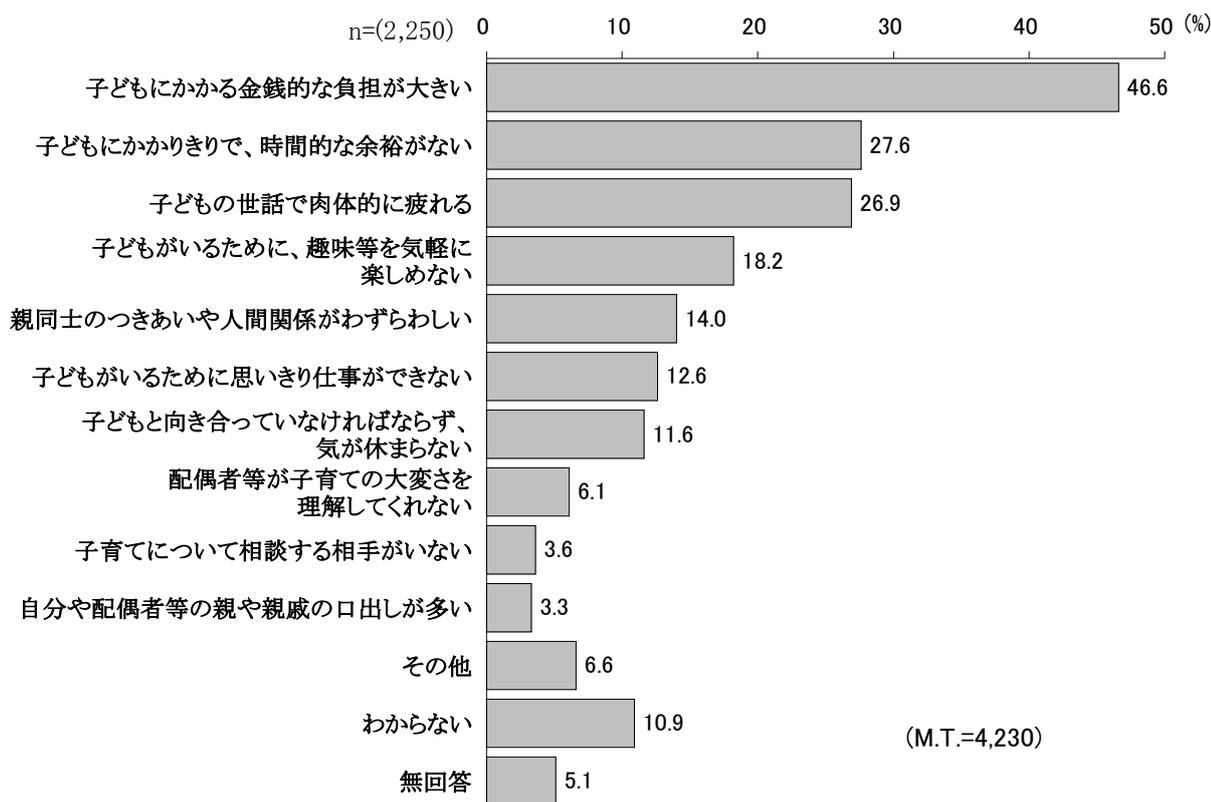
○子育ての楽しさについて・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	楽しい	えどばちらしいと言	えどちらいとも言	はえどばちらしいと言	えどちらいとも言	われないとは思	無回答	楽しい(計)	われないとは思
全体	2250	29.1	34.5	28.0	4.1	2.7	1.6		63.6	6.8
地域別										
南部地域	222	24.3	33.3	32.9	6.3	1.8	1.4		57.6	8.1
南西部地域	198	28.8	32.3	28.8	5.6	2.5	2.0		61.1	8.1
東部地域	318	28.6	34.0	26.4	4.1	4.4	2.5		62.6	8.5
さいたま地域	367	29.7	34.6	26.2	3.3	3.3	3.0		64.3	6.6
県央地域	193	39.4	28.0	26.4	3.1	2.6	0.5		67.4	5.7
川越比企地域	275	29.1	35.3	29.5	4.4	1.5	0.4		64.4	5.9
西部地域	247	26.7	39.3	24.7	4.0	3.6	1.6		66.0	7.6
利根地域	197	29.4	34.0	30.5	3.6	1.5	1.0		63.4	5.1
北部地域	191	27.7	36.1	29.8	2.6	2.6	1.0		63.8	5.2
秩父地域	42	23.8	47.6	23.8	4.8	-	-		71.4	4.8
性・年代別										
男性・20歳代	114	24.6	36.0	32.5	1.8	4.4	0.9		60.6	6.2
30歳代	189	38.6	28.0	26.5	3.7	2.6	0.5		66.6	6.3
40歳代	200	33.5	34.5	23.0	2.5	4.0	2.5		68.0	6.5
50歳代	188	22.9	38.3	29.3	5.9	1.6	2.1		61.2	7.5
60歳代	250	24.8	35.2	31.2	4.0	2.8	2.0		60.0	6.8
70歳以上	180	27.8	32.2	27.8	4.4	2.8	5.0		60.0	7.2
女性・20歳代	115	40.9	26.1	25.2	3.5	3.5	0.9		67.0	7.0
30歳代	200	29.0	36.0	26.5	4.0	4.5	-		65.0	8.5
40歳代	186	31.7	34.4	24.2	6.5	2.2	1.1		66.1	8.7
50歳代	205	27.8	45.9	20.5	3.4	1.5	1.0		73.7	4.9
60歳代	265	27.9	34.3	32.8	2.6	1.1	1.1		62.2	3.7
70歳以上	158	22.8	28.5	36.7	7.0	3.2	1.9		51.3	10.2
職業別										
自営業・家族従業(計)	241	27.8	30.3	34.9	2.9	2.5	1.7		58.1	5.4
雇用者(計)	1188	29.4	37.9	24.7	3.9	2.9	1.2		67.3	6.8
無職(計)	817	29.1	31.0	30.5	4.8	2.4	2.2		60.1	7.2
ライフステージ別										
独身期	305	22.6	29.2	36.1	4.3	6.9	1.0		51.8	11.2
家族形成期	210	47.1	29.5	19.5	2.9	1.0	-		76.6	3.9
家族成長前期	237	35.9	47.3	14.3	2.1	0.4	-		83.2	2.5
家族成長後期	190	33.7	40.5	23.2	1.1	1.1	0.5		74.2	2.2
家族成熟期	458	27.5	38.2	26.6	4.6	0.9	2.2		65.7	5.5
高齢期	536	28.7	35.6	27.1	4.9	2.1	1.7		64.3	7.0
その他	314	18.2	22.6	42.7	6.1	6.4	4.1		40.8	12.5

(4) 子育てに負担を感じる内容

◇「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」が46.6%

(2) あなたが、子育てに関して大変と感じるのは、具体的にどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。(子育て経験が無い方は想像で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。)



子育てに関して大変と感じることとしては、「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」(46.6%)が4割半ばで最も高く、次いで「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」(27.6%)、「子どもの世話で肉体的に疲れる」(26.9%)、「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」(18.2%)、「親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい」(14.0%)、「子どもがいるために思いきり仕事ができない」(12.6%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は南部地域（53.6%）と川越比企地域（54.2%）で5割を超えて高く、「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」と「子どもの世話で肉体的に疲れる」は秩父地域で高くなっている。

②市郡規模別

市郡規模別にみると、「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」、「子どもの世話で肉体的に疲れる」、「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は郡部（町村）で比較的高くなっている。

○子育てに負担を感じる内容・地域別／市郡規模別

	調査数	子どもにかかる金銭的な負担が大きい	子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない	子どもの世話で肉体的に疲れる	子どもが居るために、趣味等を気軽に楽しめない	親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい	子どもが居るために思いきり仕事ができない	子どもと向き合っていない	配偶者等が子育ての大変さを理解してくれない	子育てについて相談する相手がいない	自分や配偶者等の親や親戚の口出しが多い	その他	わからない	無回答
全体	2250	46.6	27.6	26.9	18.2	14.0	12.6	11.6	6.1	3.6	3.3	6.6	10.9	5.1
地域別														
南部地域	222	53.6	29.3	26.6	19.8	18.5	12.2	11.7	5.0	3.6	5.4	4.1	12.2	5.0
南西部地域	198	49.5	26.8	21.2	17.7	16.2	14.6	12.6	7.6	3.5	5.1	5.1	9.6	5.1
東部地域	318	47.5	22.6	23.0	20.8	15.7	11.3	9.7	7.9	3.5	3.1	5.7	10.1	5.3
さいたま地域	367	42.8	30.2	27.2	15.0	14.2	11.2	12.3	3.3	3.5	2.5	9.5	13.4	5.2
県央地域	193	38.9	22.3	25.4	15.5	13.5	9.8	13.0	8.8	4.1	1.6	9.3	17.6	2.1
川越比企地域	275	54.2	23.6	28.7	17.8	15.6	14.5	11.6	5.8	5.8	2.9	6.9	6.9	4.7
西部地域	247	41.7	29.6	31.2	18.2	10.5	11.3	9.7	6.9	2.8	2.4	4.0	9.3	9.7
利根地域	197	45.7	35.0	27.4	22.8	9.1	15.7	14.2	6.6	2.5	3.0	3.6	12.7	3.6
北部地域	191	47.6	28.8	28.3	16.2	11.0	14.1	9.9	5.2	2.1	4.7	9.9	7.9	5.2
秩父地域	42	35.7	38.1	45.2	23.8	14.3	11.9	11.9	4.8	2.4	2.4	7.1	7.1	-
市郡規模別														
人口10万以上の市	1533	46.1	27.8	26.0	17.9	14.6	11.5	10.9	5.2	3.3	3.5	7.6	10.7	5.5
人口10万未満の市	477	48.4	24.5	25.4	16.4	13.2	15.7	12.6	9.0	4.6	3.6	4.4	12.4	4.6
郡部（町村）	240	46.3	32.9	35.8	23.8	11.7	13.3	13.8	6.3	2.9	1.3	4.6	9.6	3.8

③性別

ほとんどの項目で女性の方が高いが、「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は男性（48.6%）のほうが女性（44.6%）よりも4.0ポイント高くなっている。「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」では女性（31.6%）が男性（23.6%）を8.0ポイント上回り、「子どもの世話で肉体的に疲れる」では女性（30.6%）が男性（23.2%）を7.4ポイント上回り、差が大きくなっている。

④年代別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は40歳代（55.4%）と50歳代（53.9%）で高いのに対して、「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」、「子どもの世話で肉体的に疲れる」、「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は20歳代と30歳代で高くなっている。

⑤性・年代別

「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」は男性30歳代（40.2%）と女性20歳代（43.5%）が4割を超えて高くなっている。「子どもの世話で肉体的に疲れる」は女性30歳代（35.5%）で高くなっている。「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は男女とも20歳代と30歳代で2割を超えている。「子どもがいるために思いきり仕事ができない」は女性の20歳代（26.1%）で特に高くなっている。

⑥職業別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は雇用者（計）（52.9%）で5割強と高くなっている。

⑦住居形態別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は持家（集合住宅）（49.2%）と民間の借家（50.8%）で高くなっている。「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」は持家（集合住宅）（33.0%）と社宅・公務員住宅など給与住宅（31.3%）で高くなっている。

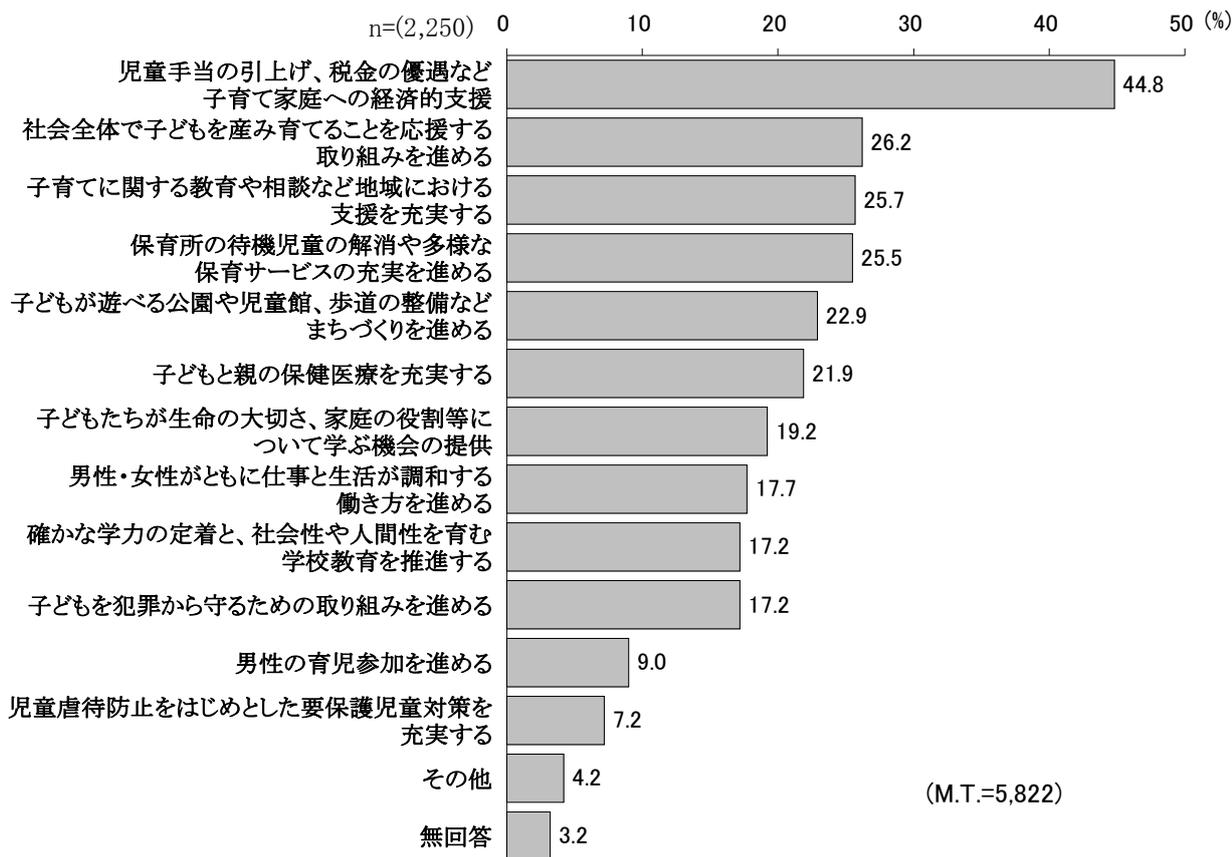
⑧ライフステージ別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は家族成長後期（67.4%）で6割半ばと高くなっている。「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」と「子どもの世話で肉体的に疲れる」は独身期と家族形成期で高く、「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は家族形成期（32.9%）で高くなっている。

(5) 子どもがいる幸せを実感できる社会を実現する方策

◇「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援」が44.8%

(3) 子どもを安心して産み、育てることができ、子どもがいる幸せを誰もが実感できる社会を実現させるためには、どのようなことが大切だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



子どもがいる幸せを実感できる社会を実現するためには、「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援」(44.8%)が4割半ばで最も高く、次いで「社会全体で子どもを産み育てることを応援する取り組みを進める」(26.2%)、「子育てに関する教育や相談など地域における支援を充実する」(25.7%)、「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」(25.5%)、「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備などまちづくりを進める」(22.9%)、「子どもと親の保健医療を充実する」(21.9%)の順となっている。

③性別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援」は男性（48.3%）のほうが女性（41.3%）よりも7.0ポイント高くなっている。逆に「男性・女性がともに仕事と生活が調和する働き方を進める」は女性（19.9%）のほうが男性（15.5%）よりも4.4ポイント、「子どもを犯罪から守るための取り組みを進める」は女性（19.0%）のほうが男性（15.3%）よりも3.7ポイント高くなっている。

④年代別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援」は20歳代から40歳代で5割以上と高くなっている。「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備などまちづくりを進める」は年齢が低くなるほど割合が高く、「子どもたちが生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供」は50歳代から70歳以上で2割以上と高くなっている。

⑤性・年代別

「社会全体で子どもを産み育てることを応援する取り組みを進める」は女性40歳代（32.3%）と50歳代（33.7%）で3割以上と高く、「子育てに関する教育や相談など地域における支援を充実する」は女性60歳代（32.5%）で最も高くなっている。「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」と「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備などまちづくりを進める」は女性20歳代と30歳代で3割以上と高く、「子どもと親の保健医療を充実する」は男女とも30歳代で3割以上と高くなっている。

⑥職業別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援」は雇用者（計）（49.4%）で約5割と高くなっている。

⑦住居形態別

持家（計）と持家以外（計）を比較すると、「社会全体で子どもを産み育てることを応援する取り組みを進める」、「子育てに関する教育や相談など地域における支援を充実する」、「子どもたちが生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供」など多くの項目で持家（計）のほうが高くなっている。「社会全体で子どもを産み育てることを応援する取り組みを進める」と「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」は社宅・公務員住宅など給与住宅で3割以上と高くなっている。

⑧ライフステージ別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援」と「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備などまちづくりを進める」は家族形成期、家族成長前期で高くなっている。「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」は独身期（30.5%）、家族形成期（31.0%）で3割以上と高く、「子どもと親の保健医療を充実する」と「子どもを犯罪から守るための取り組みを進める」は家族成長前期で最も高くなっている。

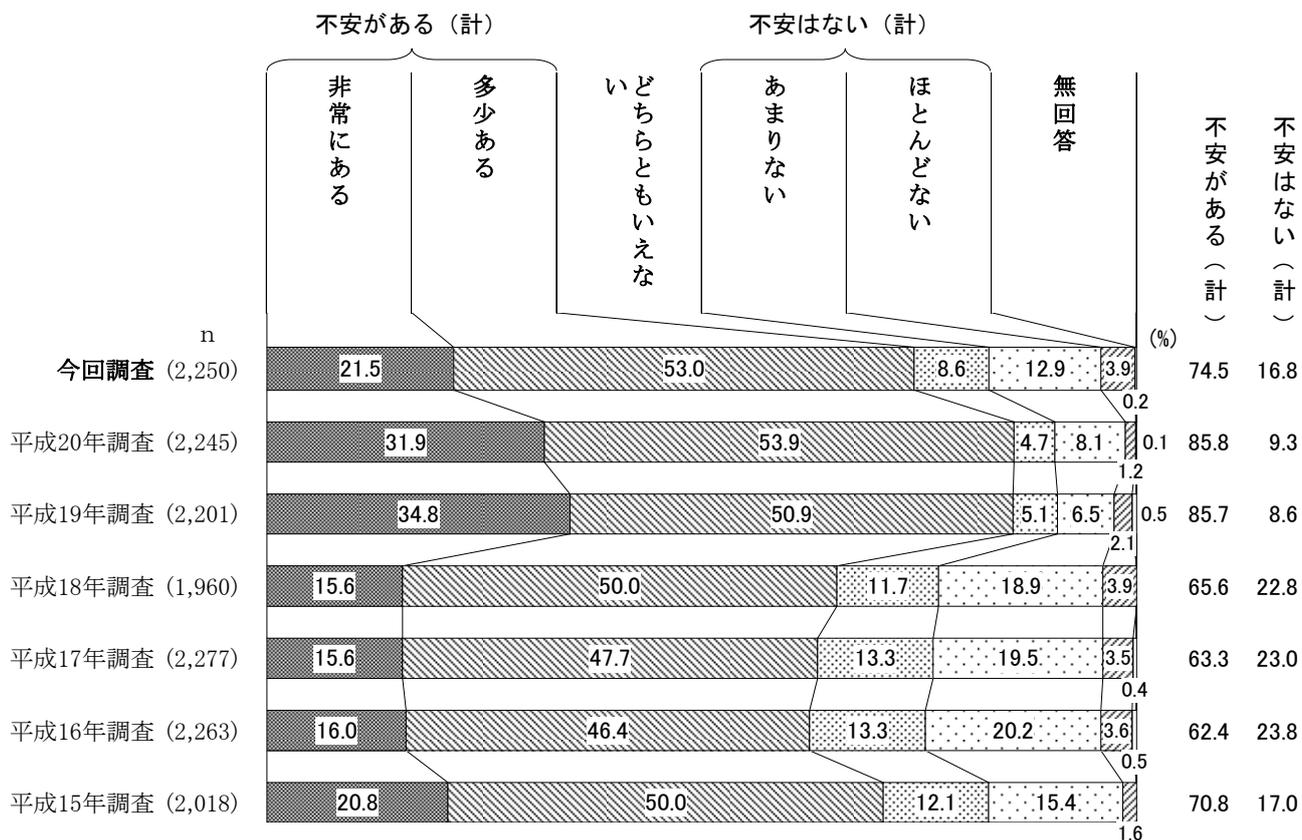
○子どもがいる幸せを実感できる社会を実現する方策・性別／年代別／性・年代別
／職業別／住居形態別／ライフステージ別

	調 査 数	子 育 て 家 庭 へ の 経 済 的 支 援	児 童 手 当 の 引 上 げ 、 税 金 の 優 遇 な ど	社 会 全 体 で 子 ど も を 産 み 育 て る こ と を 支 援 す る 取 り 組 み を 進 め る	子 育 て に 関 す る 支 援 を 充 実 す る	子 育 て に 関 す る 支 援 を 充 実 す る 地 域 に お け る 支 援 を 充 実 す る	保 育 所 の 待 機 児 童 の 解 消 や 多 様 な 保 育 サ ー ビ ス の 充 実 を 進 め る	子 ど も が 遊 べ る 公 園 や 児 童 館 、 歩 道 の 整 備 な ど ま ち づ く り を 進 め る	子 ど も と 親 の 保 健 医 療 を 充 実 す る	役 割 等 に つ い て 学 ぶ 機 会 の 提 供	子 ど も た ち が 生 命 の 大 切 さ 、 家 庭 の 和 す る 働 き 方 を 進 め る	男 性 ・ 女 性 が と も に 仕 事 と 生 活 が 調 和 す る 働 き 方 を 進 め る	性 を 育 む 学 校 教 育 を 推 進 す る	確 かな 学 力 の 定 着 と 、 社 会 性 や 人 間 性 を 育 む 学 校 教 育 を 推 進 す る	子 ど も を 犯 罪 か ら 守 る た め の 取 り 組 み を 進 め る	男 性 の 育 児 参 加 を 進 め る	児 童 虐 待 防 止 を は じ め と し た 要 保 護 児 童 対 策 を 充 実 す る	そ の 他	無 回 答	
全 体	2250	44.8	26.2	25.7	25.5	22.9	21.9	19.2	17.7	17.2	17.2	9.0	7.2	4.2	3.2					
性別																				
男性	1121	48.3	25.9	25.8	24.2	21.4	22.1	18.1	15.5	17.8	15.3	7.2	7.3	4.5	3.4					
女性	1129	41.3	26.5	25.6	26.8	24.4	21.6	20.4	19.9	16.6	19.0	10.7	7.2	4.0	3.0					
年代別																				
20歳代	229	55.9	24.9	21.8	27.9	28.8	21.8	7.9	21.4	10.0	20.1	10.9	6.1	4.4	2.6					
30歳代	389	53.5	24.2	24.2	30.1	28.0	31.1	12.3	18.3	11.6	19.0	10.5	4.4	5.4	0.8					
40歳代	386	51.6	27.5	23.3	23.1	26.7	21.8	16.8	18.9	18.4	14.5	9.6	6.5	2.8	1.8					
50歳代	393	39.2	31.0	24.7	24.9	21.6	19.1	24.7	22.1	16.3	16.0	8.9	5.6	4.1	3.8					
60歳代	515	40.2	26.8	31.1	26.6	19.2	19.0	23.7	14.2	22.3	15.7	7.6	8.9	2.5	4.7					
70歳以上	338	33.1	21.3	25.7	20.4	16.0	18.9	24.6	13.6	20.1	19.8	7.4	11.5	7.1	5.0					
性・年代別																				
男性・20歳代	114	52.6	27.2	21.9	19.3	25.4	19.3	8.8	21.9	13.2	14.0	8.8	9.6	5.3	4.4					
30歳代	189	58.7	25.4	25.4	29.6	25.9	31.2	14.8	15.3	13.8	14.3	6.9	3.2	5.3	0.5					
40歳代	200	54.5	23.0	24.0	20.0	24.5	19.5	18.0	16.5	20.0	14.5	8.5	4.5	4.0	2.5					
50歳代	188	46.8	28.2	23.9	25.0	20.7	19.1	20.7	20.2	16.0	19.7	6.9	4.8	3.2	4.8					
60歳代	250	43.6	28.0	29.6	26.4	19.6	22.4	19.6	12.4	20.4	11.6	5.2	9.2	4.0	4.4					
70歳以上	180	36.1	23.3	27.2	22.2	13.9	20.0	22.8	10.0	20.6	18.9	8.3	13.3	5.6	3.9					
女性・20歳代	115	59.1	22.6	21.7	36.5	32.2	24.3	7.0	20.9	7.0	26.1	13.0	2.6	3.5	0.9					
30歳代	200	48.5	23.0	23.0	30.5	30.0	31.0	10.0	21.0	9.5	23.5	14.0	5.5	5.5	1.0					
40歳代	186	48.4	32.3	22.6	26.3	29.0	24.2	15.6	21.5	16.7	14.5	10.8	8.6	1.6	1.1					
50歳代	205	32.2	33.7	25.4	24.9	22.4	19.0	28.3	23.9	16.6	12.7	10.7	6.3	4.9	2.9					
60歳代	265	37.0	25.7	32.5	26.8	18.9	15.8	27.5	15.8	24.2	19.6	9.8	8.7	1.1	4.9					
70歳以上	158	29.7	19.0	24.1	18.4	18.4	17.7	26.6	17.7	19.6	20.9	6.3	9.5	8.9	6.3					
職業別																				
自営業・家族従業（計）	241	40.7	26.1	24.1	18.7	15.8	19.5	26.1	18.7	19.9	17.0	9.1	10.4	5.4	2.9					
雇用者（計）	1188	49.4	27.9	25.8	28.2	24.8	22.2	16.1	19.5	15.7	17.1	7.7	5.6	3.6	2.4					
無職（計）	817	39.2	23.7	26.2	23.7	22.3	22.0	21.9	14.9	18.4	17.5	10.9	8.8	4.8	4.4					
住居形態別																				
持家（計）	1809	44.7	27.1	26.7	25.7	23.4	21.4	20.2	17.3	17.6	17.1	9.0	6.8	3.9	2.9					
持家（一戸建）	1500	45.5	27.1	26.9	25.3	22.9	22.3	20.5	16.6	17.5	16.9	8.7	7.0	3.9	3.1					
持家（集合住宅）	309	40.8	27.2	25.6	27.8	25.9	17.2	19.1	20.7	18.1	18.1	10.4	5.8	3.9	1.6					
持家以外（計）	436	45.2	22.7	21.8	24.8	20.9	23.2	14.9	19.5	14.9	17.4	8.9	9.2	5.5	4.6					
民間の借家	299	47.5	20.7	20.7	24.7	23.4	22.7	15.7	21.4	15.1	16.7	9.0	9.0	4.7	5.7					
都市機構（旧公団）・公社など	101	38.6	24.8	22.8	22.8	12.9	26.7	14.9	14.9	16.8	19.8	8.9	7.9	7.9	3.0					
社宅・公務員住宅など給与住宅	32	46.9	34.4	25.0	34.4	21.9	18.8	6.3	15.6	6.3	15.6	9.4	15.6	3.1	-					
住み込み、寮、寄宿舎など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
その他	4	25.0	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-					
ライフステージ別																				
独身期	305	46.2	26.2	24.3	30.5	22.0	23.3	10.8	22.6	11.5	16.7	10.2	7.2	6.9	2.0					
家族形成期	210	63.3	29.5	22.9	31.0	31.4	27.1	10.5	15.7	8.1	19.0	12.4	3.3	5.2	1.4					
家族成長前期	237	59.9	18.1	17.7	21.1	40.9	32.9	11.4	15.6	16.9	24.5	8.9	3.8	2.5	0.4					
家族成長後期	190	48.9	31.6	25.8	25.3	21.6	22.1	23.7	16.8	23.2	11.6	8.9	4.2	2.1	0.5					
家族成熟期	458	36.5	30.8	29.0	24.5	20.7	19.7	24.5	19.0	18.3	16.4	8.1	7.9	3.7	3.9					
高齢期	536	39.7	23.5	27.4	23.5	18.1	19.2	25.9	14.4	21.8	18.5	8.6	9.5	4.5	3.4					
その他	314	37.9	24.5	27.1	25.5	16.9	16.2	17.5	20.4	13.4	15.6	7.6	9.6	3.8	8.0					

(6) 食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が74.5%

問7 食品の安全性についておたずねいたします。
あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」（53.0%）が5割を超えている。次いで「非常にある」（21.5%）が高く、両者を合わせた『不安がある（計）』（74.5%）は7割半ばを占めている。一方、不安が「ほとんどない」（3.9%）と「あまりない」（12.9%）を合わせた『不安はない（計）』（16.8%）は1割半ばである。

【過去6年間との比較】

昨年の結果と比較して、『不安がある（計）』の割合は11.3ポイント減少し、『不安はない（計）』は7.5ポイント増加している。

【属性別比較】

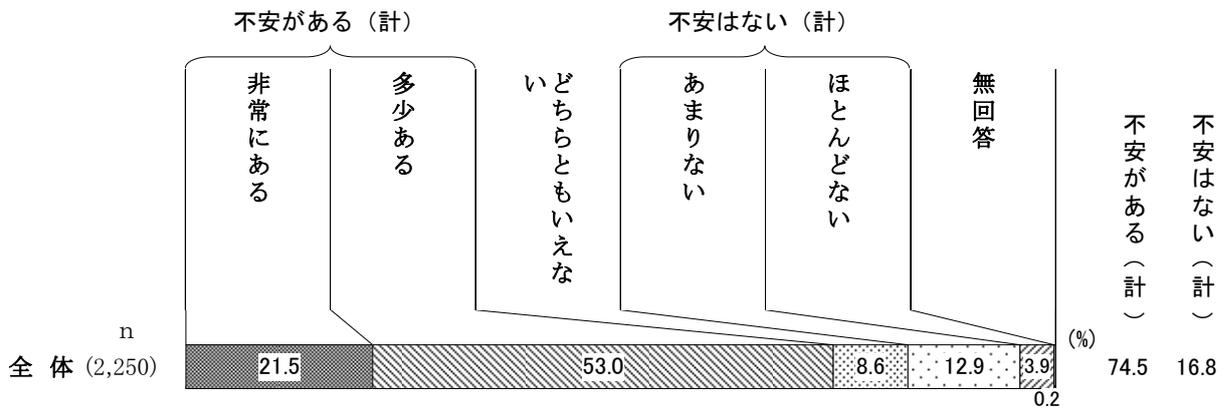
①性別

『不安がある（計）』は女性（80.0%）のほうが男性（69.0%）よりも11.0ポイント高くなっている。

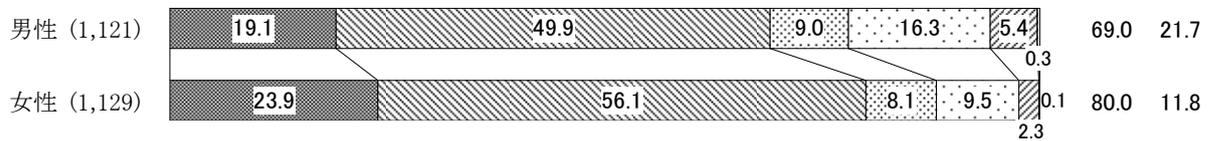
②年代別

『不安がある（計）』は、50歳代までは年齢が高くなるほど割合が高くなり、それ以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

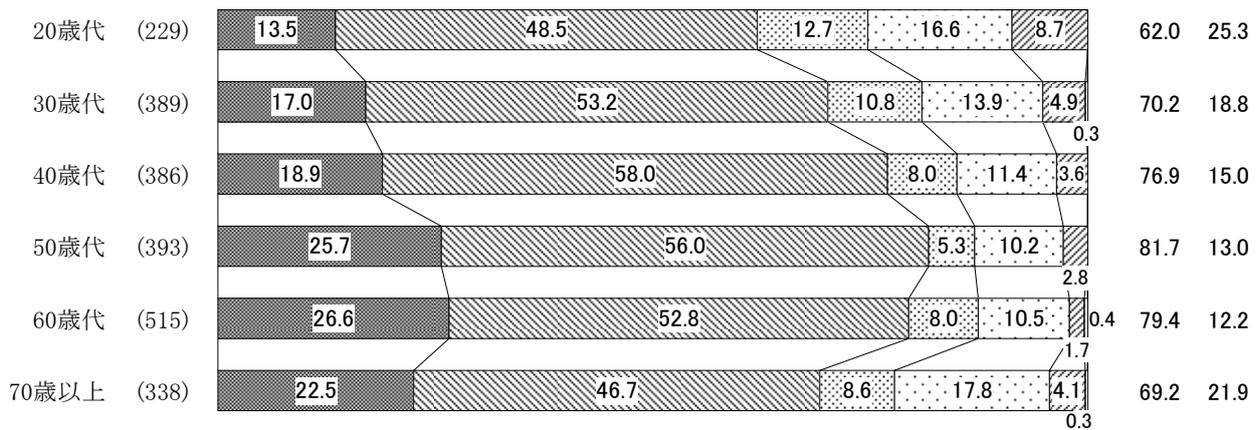
○食品の安全性に対する意識・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『不安がある（計）』は秩父地域（80.9%）でやや高く、東部地域（70.4%）でやや低くなっている。

④性・年代別

『不安がある（計）』は女性の40歳代から60歳代で8割を超えて高くなっている。

⑤職業別

不安が「非常にある」が無職（計）で24.6%とやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『不安がある（計）』は家族成熟期（82.1%）で高く、独身期（62.7%）で低くなっている。

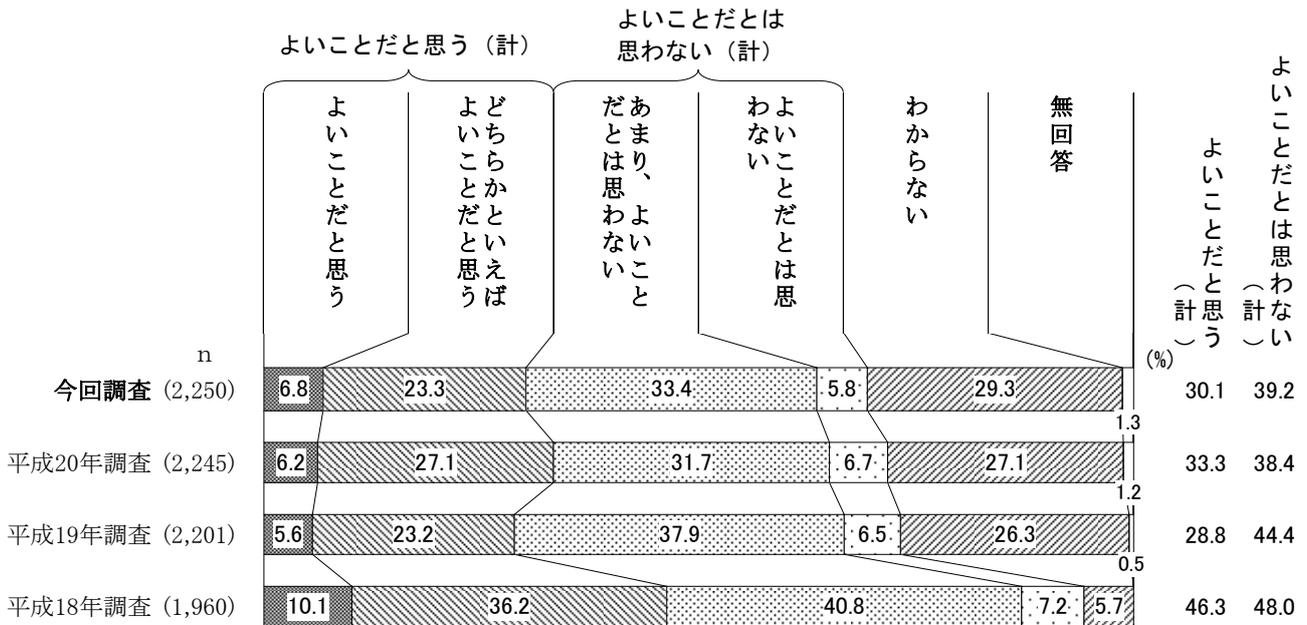
○食品の安全性に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	非常にある	多少ある	どちらともいえない	あまりない	ほとんどない	無回答	不安がある（計）	不安はない（計）
全体	2250	21.5	53.0	8.6	12.9	3.9	0.2	74.5	16.8
地域別									
南部地域	222	20.7	51.8	8.1	13.5	5.9	-	72.5	19.4
南西部地域	198	18.2	55.1	9.1	15.2	2.5	-	73.3	17.7
東部地域	318	22.3	48.1	9.1	16.0	4.1	0.3	70.4	20.1
さいたま地域	367	22.9	51.5	11.2	10.9	3.5	-	74.4	14.4
県央地域	193	29.5	44.0	7.8	12.4	6.2	-	73.5	18.6
川越比企地域	275	20.7	56.7	7.3	12.7	2.5	-	77.4	15.2
西部地域	247	18.6	60.3	6.1	10.9	3.6	0.4	78.9	14.5
利根地域	197	19.8	54.8	10.7	12.7	2.0	-	74.6	14.7
北部地域	191	20.4	53.9	7.3	12.0	5.2	1.0	74.3	17.2
秩父地域	42	21.4	59.5	4.8	11.9	2.4	-	80.9	14.3
性・年代別									
男性・20歳代	114	17.5	45.6	7.9	18.4	10.5	-	63.1	28.9
30歳代	189	14.8	46.6	12.2	17.5	8.5	0.5	61.4	26.0
40歳代	200	15.0	54.0	10.5	15.0	5.5	-	69.0	20.5
50歳代	188	21.3	54.3	5.3	15.4	3.7	-	75.6	19.1
60歳代	250	23.2	50.4	8.4	14.4	2.8	0.8	73.6	17.2
70歳以上	180	21.1	46.1	9.4	18.9	4.4	-	67.2	23.3
女性・20歳代	115	9.6	51.3	17.4	14.8	7.0	-	60.9	21.8
30歳代	200	19.0	59.5	9.5	10.5	1.5	-	78.5	12.0
40歳代	186	23.1	62.4	5.4	7.5	1.6	-	85.5	9.1
50歳代	205	29.8	57.6	5.4	5.4	2.0	-	87.4	7.4
60歳代	265	29.8	55.1	7.5	6.8	0.8	-	84.9	7.6
70歳以上	158	24.1	47.5	7.6	16.5	3.8	0.6	71.6	20.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	241	22.0	54.8	4.6	15.4	2.9	0.4	76.8	18.3
雇用者（計）	1188	19.4	53.2	9.2	13.6	4.5	0.2	72.6	18.1
無職（計）	817	24.6	52.0	8.9	11.1	3.2	0.1	76.6	14.3
ライフステージ別									
独身期	305	14.8	47.9	11.5	16.1	9.8	-	62.7	25.9
家族形成期	210	19.5	52.9	9.0	14.3	3.8	0.5	72.4	18.1
家族成長前期	237	17.3	57.0	12.7	10.1	3.0	-	74.3	13.1
家族成長後期	190	19.5	56.3	8.4	13.7	2.1	-	75.8	15.8
家族成熟期	458	26.0	56.1	3.9	11.1	2.4	0.4	82.1	13.5
高齢期	536	25.4	50.4	9.0	12.7	2.6	-	75.8	15.3
その他	314	20.7	52.9	8.6	13.4	4.1	0.3	73.6	17.5

(7) 外国人増加に対する感想

◇『よいことだと思う (計)』は30.1%

問8 県内の外国人住民についておたずねいたします。
 県内の外国人住民は12万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。
 あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「あまり、よいことだとは思わない」(33.4%)が3割強で最も高くなっている。これに「よいことだとは思わない」(5.8%)を合わせた『よいことだとは思わない (計)』(39.2%)は、「よいことだと思う」(6.8%)と「どちらかといえばよいことだと思う」(23.3%)を合わせた『よいことだと思う (計)』(30.1%)を9.1ポイント上回っている。

【過去3年間との比較】

昨年よりも『よいことだと思う (計)』が3.2ポイント減少した。また、『よいことだとは思わない (計)』は、平成18年以降減少していたが、今回、わずかに増加している。

【属性別比較】

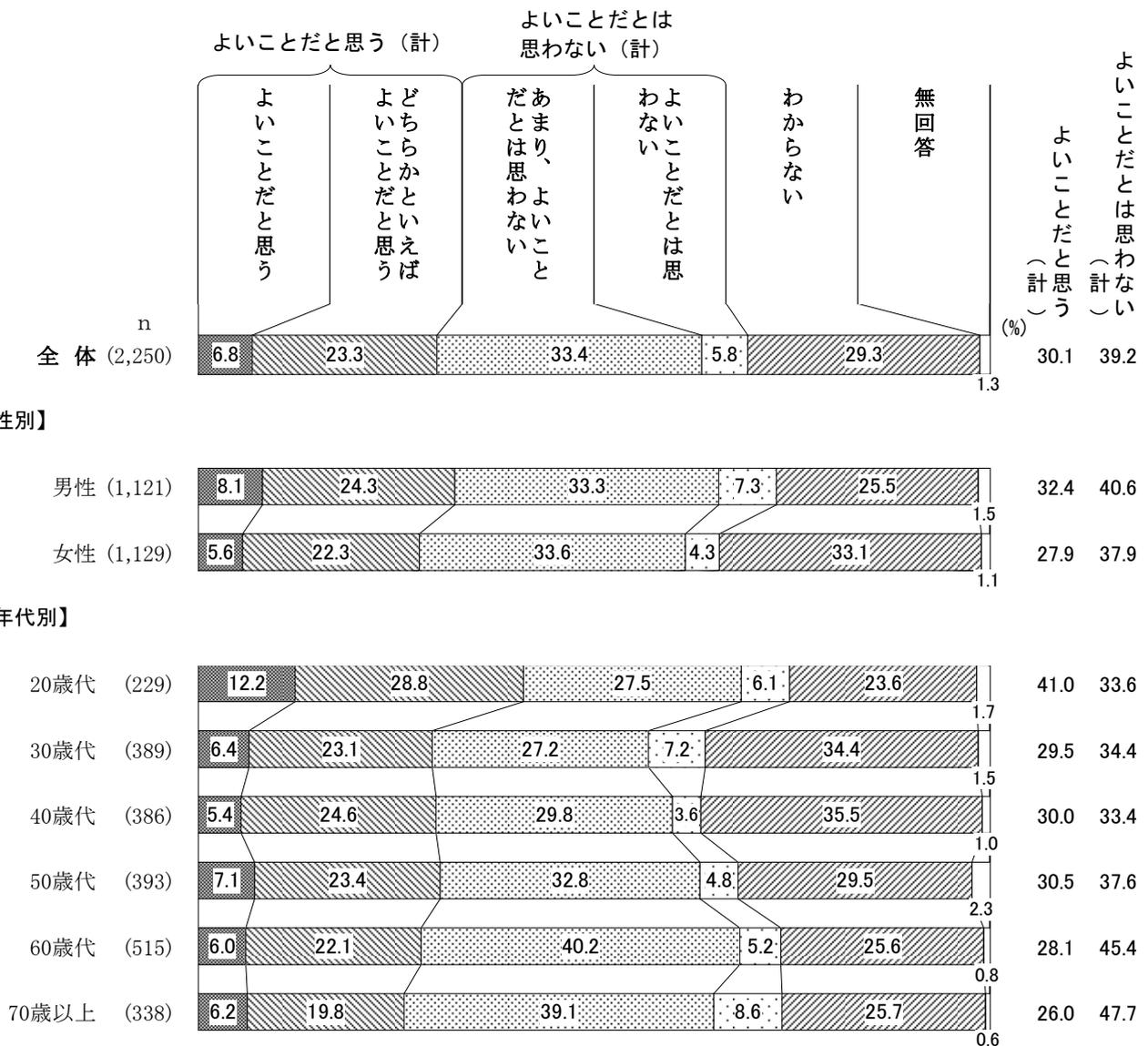
①性別

『よいことだと思う（計）』は男性（32.4%）のほうが女性（27.9%）よりも4.5ポイント高くなっている。

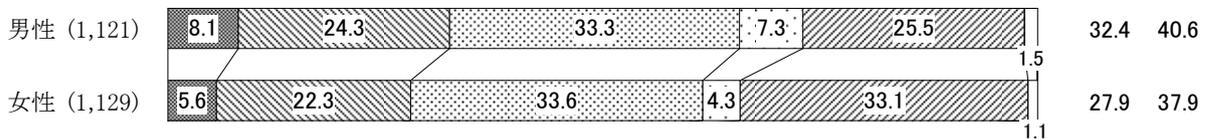
②年代別

『よいことだと思う（計）』は20歳代（41.0%）が4割強と高くなっている。『よいことだとは思わない（計）』は60歳代（45.4%）と70歳以上（47.7%）で4割半ばを超えている。

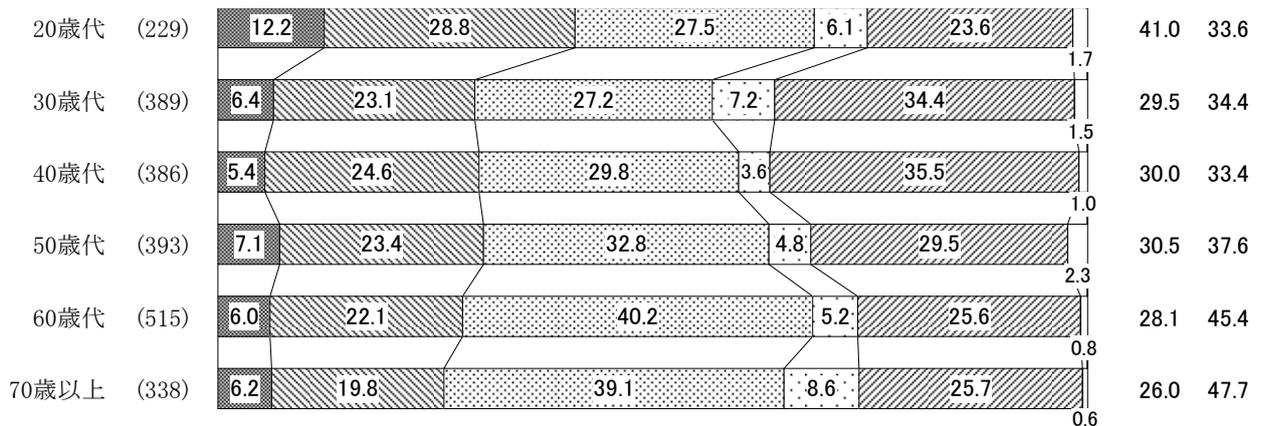
○外国人増加に対する感想・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『よいことだと思う(計)』は南西部地域(36.9%)で高く、『よいことだとは思わない(計)』は東部地域(46.0%)で高くなっている。

④性・年代別

『よいことだと思う(計)』は男女ともに20歳代が4割強と高くなっている。また、『よいことだとは思わない(計)』は男性では30歳代と60歳代以上、女性では60歳代以上が4割台となっている。

⑦職業別

自営業・家族従業(計)と無職(計)では『よいことだとは思わない(計)』が『よいことだと思う(計)』を10ポイント以上上回っているが、雇用者(計)では3.8ポイントと比較的差が小さくなっている。

⑧ライフステージ別

『よいことだと思う(計)』は独身期(38.1%)で高くなっている。『よいことだとは思わない(計)』は高齢期(47.7%)で最も高くなっている。

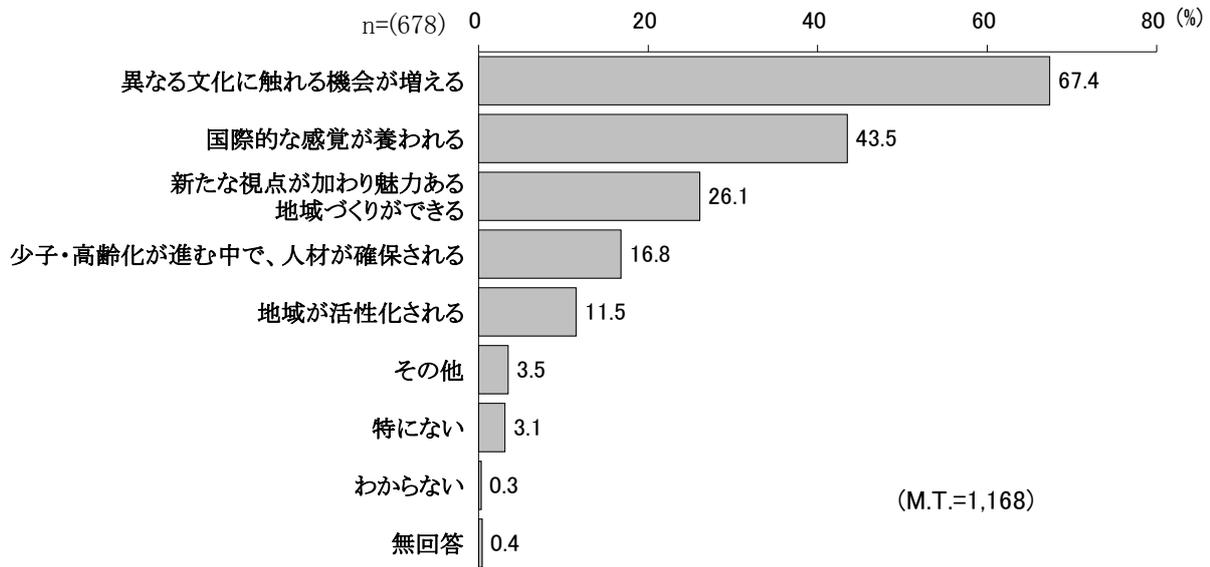
○外国人増加に対する感想・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	よいことだと思う	どちらかだと思えば	だあまり、思わよいこと	わよいことだとは思	わからない	無回答	(計)よいことだと思う	わよいことだとは思(計)
全体	2250	6.8	23.3	33.4	5.8	29.3	1.3	30.1	39.2
地域別									
南部地域	222	6.8	19.4	29.7	6.8	36.5	0.9	26.2	36.5
南西部地域	198	5.6	31.3	30.8	7.1	23.7	1.5	36.9	37.9
東部地域	318	8.5	23.9	38.1	7.9	20.1	1.6	32.4	46.0
さいたま地域	367	7.6	23.2	27.2	4.4	36.5	1.1	30.8	31.6
県央地域	193	9.3	21.8	30.6	5.7	32.1	0.5	31.1	36.3
川越比企地域	275	7.3	27.3	33.5	4.0	25.8	2.2	34.6	37.5
西部地域	247	6.9	19.8	39.7	4.0	28.7	0.8	26.7	43.7
利根地域	197	3.0	22.3	37.1	6.6	27.9	3.0	25.3	43.7
北部地域	191	5.8	19.4	35.6	6.8	32.5	-	25.2	42.4
秩父地域	42	2.4	26.2	33.3	7.1	31.0	-	28.6	40.4
性・年代別									
男性・20歳代	114	12.3	28.9	29.8	6.1	21.1	1.8	41.2	35.9
30歳代	189	6.9	20.6	30.2	12.2	28.0	2.1	27.5	42.4
40歳代	200	7.0	23.0	32.5	4.0	32.5	1.0	30.0	36.5
50歳代	188	8.0	25.0	31.4	4.8	28.2	2.7	33.0	36.2
60歳代	250	7.2	25.6	38.4	5.6	22.4	0.8	32.8	44.0
70歳以上	180	9.4	23.9	34.4	11.7	19.4	1.1	33.3	46.1
女性・20歳代	115	12.2	28.7	25.2	6.1	26.1	1.7	40.9	31.3
30歳代	200	6.0	25.5	24.5	2.5	40.5	1.0	31.5	27.0
40歳代	186	3.8	26.3	26.9	3.2	38.7	1.1	30.1	30.1
50歳代	205	6.3	22.0	34.1	4.9	30.7	2.0	28.3	39.0
60歳代	265	4.9	18.9	41.9	4.9	28.7	0.8	23.8	46.8
70歳以上	158	2.5	15.2	44.3	5.1	32.9	-	17.7	49.4
職業別									
自営業・家族従業(計)	241	7.5	21.6	34.9	7.9	26.6	1.7	29.1	42.8
雇用者(計)	1188	6.9	25.4	30.8	5.3	30.1	1.4	32.3	36.1
無職(計)	817	6.6	20.8	36.7	6.0	28.9	1.0	27.4	42.7
ライフステージ別									
独身期	305	11.5	26.6	28.5	5.6	26.9	1.0	38.1	34.1
家族形成期	210	4.8	23.8	27.1	6.7	34.3	3.3	28.6	33.8
家族成長前期	237	7.6	22.4	28.3	5.1	35.4	1.3	30.0	33.4
家族成長後期	190	1.6	26.3	25.8	4.2	41.6	0.5	27.9	30.0
家族成熟期	458	7.4	23.1	37.6	5.2	25.1	1.5	30.5	42.8
高齢期	536	5.8	20.5	41.4	6.3	25.2	0.7	26.3	47.7
その他	314	7.3	23.6	31.2	7.0	29.6	1.3	30.9	38.2

(7-1) 外国人増加をよいことだと思う理由

◇「異なる文化に触れる機会が増える」が67.4%

(問8で「よいことだと思う」、「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に)
問8-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思う理由は、「異なる文化に触れる機会が増える」(67.4%)が6割半ばを超えて最も高く、次いで「国際的な感覚が養われる」(43.5%)、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」(26.1%)、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」(16.8%)、「地域が活性化される」(11.5%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「異なる文化に触れる機会が増える」は県央地域（76.7%）、北部地域（79.2%）、秩父地域（83.3%）で高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は利根地域（58.0%）、秩父地域（58.3%）で高く、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」はさいたま地域（38.9%）で高くなっている。

②性別

「異なる文化に触れる機会が増える」は女性（71.4%）のほうが男性（63.9%）よりも7.5ポイント高く、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は男性（21.5%）のほうが女性（11.4%）よりも10.1ポイント高くなっている。

③年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は30歳代（73.0%）と40歳代（75.9%）で高く、「国際的な感覚が養われる」は50歳代（49.2%）と70歳以上（47.7%）で高くなっている。「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」はおおむね高年代ほど高くなっている。

④性・年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は女性の40歳代以下、男性の30歳代と40歳代で7割以上と高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は女性の50歳代（56.9%）で5割を超えている。「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は女性では年齢が低くなるほど割合が高くなっている。「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は男性の60歳代（36.6%）と女性の70歳以上（35.7%）で3割半ばと特に高くなっている。

⑤職業別

「異なる文化に触れる機会が増える」は雇用者（計）（70.8%）で高く、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は無職（計）（21.0%）で比較的高くなっている。

○外国人増加をよいことだと思う理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別

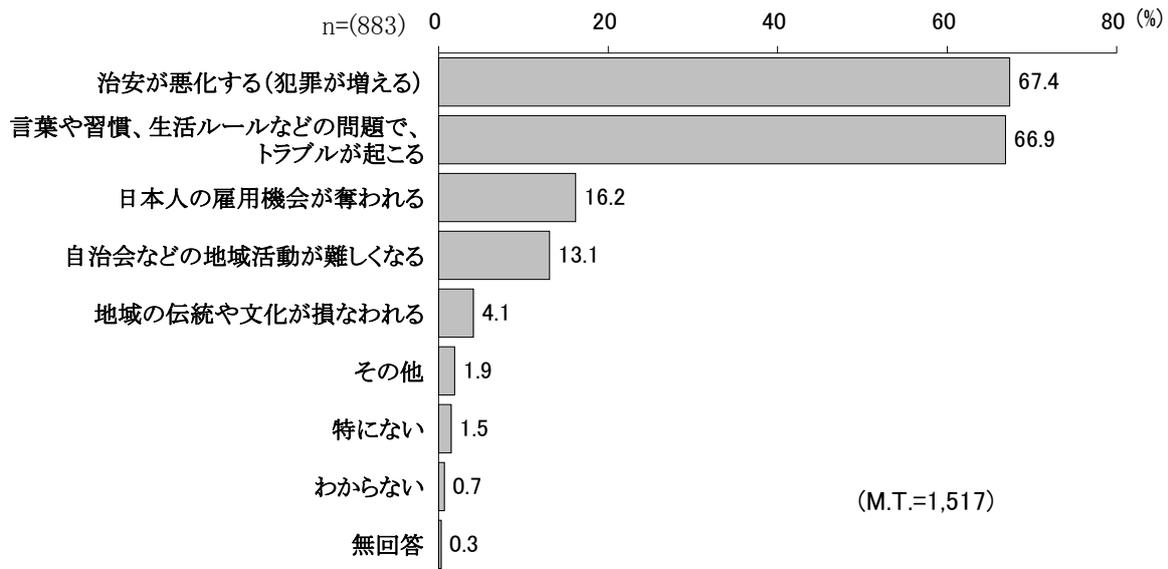
	調査数	異なる文化に触れる機会が増える	国際的な感覚が養われる	新たな視点の加わりで魅	少子・高齢化が進む中で、人材が確保される	地域が活性化される	その他	特にな	わからない	無回答
全体	678	67.4	43.5	26.1	16.8	11.5	3.5	3.1	0.3	0.4
地域別										
南部地域	58	69.0	34.5	22.4	10.3	6.9	5.2	6.9	1.7	-
南西部地域	73	67.1	38.4	26.0	17.8	19.2	1.4	5.5	-	-
東部地域	103	66.0	45.6	17.5	17.5	11.7	1.9	6.8	1.0	-
さいたま地域	113	66.4	37.2	38.9	17.7	6.2	5.3	1.8	-	0.9
県央地域	60	76.7	33.3	31.7	13.3	15.0	3.3	1.7	-	-
川越比企地域	95	65.3	50.5	20.0	17.9	17.9	3.2	1.1	-	2.1
西部地域	66	57.6	50.0	28.8	19.7	7.6	1.5	1.5	-	-
利根地域	50	62.0	58.0	22.0	16.0	10.0	8.0	-	-	-
北部地域	48	79.2	43.8	27.1	18.8	6.3	4.2	2.1	-	-
秩父地域	12	83.3	58.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-
性別										
男性	363	63.9	41.3	25.3	21.5	12.4	3.9	3.0	-	0.3
女性	315	71.4	46.0	27.0	11.4	10.5	3.2	3.2	0.6	0.6
年代別										
20歳代	94	68.1	42.6	30.9	8.5	6.4	5.3	6.4	-	1.1
30歳代	115	73.0	42.6	32.2	7.0	12.2	-	3.5	-	0.9
40歳代	116	75.9	38.8	26.7	16.4	5.2	6.0	2.6	-	0.9
50歳代	120	65.8	49.2	29.2	15.0	15.0	2.5	2.5	-	-
60歳代	145	63.4	41.4	22.8	24.8	13.8	2.8	3.4	0.7	-
70歳以上	88	56.8	47.7	13.6	28.4	15.9	5.7	-	1.1	-
性・年代別										
男性・20歳代	47	61.7	42.6	27.7	12.8	2.1	6.4	8.5	-	-
30歳代	52	71.2	44.2	32.7	7.7	11.5	-	3.8	-	-
40歳代	60	75.0	36.7	25.0	20.0	6.7	3.3	3.3	-	1.7
50歳代	62	62.9	41.9	30.6	17.7	16.1	4.8	3.2	-	-
60歳代	82	61.0	36.6	22.0	36.6	15.9	3.7	1.2	-	-
70歳以上	60	53.3	48.3	16.7	25.0	18.3	5.0	-	-	-
女性・20歳代	47	74.5	42.6	34.0	4.3	10.6	4.3	4.3	-	2.1
30歳代	63	74.6	41.3	31.7	6.3	12.7	-	3.2	-	1.6
40歳代	56	76.8	41.1	28.6	12.5	3.6	8.9	1.8	-	-
50歳代	58	69.0	56.9	27.6	12.1	13.8	-	1.7	-	-
60歳代	63	66.7	47.6	23.8	9.5	11.1	1.6	6.3	1.6	-
70歳以上	28	64.3	46.4	7.1	35.7	10.7	7.1	-	3.6	-
職業別										
自営業・家族従業(計)	70	62.9	45.7	27.1	17.1	11.4	2.9	1.4	1.4	-
雇用者(計)	384	70.8	43.0	28.1	14.3	8.9	3.4	4.4	-	0.5
無職(計)	224	62.9	43.8	22.3	21.0	16.1	4.0	1.3	0.4	0.4

(7-2) 外国人増加をよいことだと思わない理由

◇「治安が悪化する(犯罪が増える)」67.4%と「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」66.9%が突出

(問8で「よいことだとは思わない」、「あまり、よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に)

問8-2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思わない理由は、「治安が悪化する(犯罪が増える)」(67.4%)と「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」(66.9%)が突出して高く、次いで「日本人の雇用機会が奪われる」(16.2%)、「自治会などの地域活動が難しくなる」(13.1%)、「地域の伝統や文化が損なわれる」(4.1%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は川越比企地域（57.3%）、秩父地域（52.9%）で比較的低く、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は南西部地域（56.0%）で低くなっている。一方、「自治会などの地域活動が難しくなる」は利根地域（19.8%）、北部地域（18.5%）で比較的高く、「地域の伝統や文化が損なわれる」は南西部地域（16.0%）で高くなっている。

②性別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は女性（68.9%）のほうが男性（65.1%）よりも3.8ポイント高くなっている。

③年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は20歳代（74.0%）と30歳代（75.4%）で高く、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は40歳代（72.1%）と50歳代（73.0%）で高くなっている。「自治会などの地域活動が難しくなる」はおおむね高年代ほど高くなっている。

④性・年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は男性の20歳代（78.0%）と30歳代（73.8%）、女性の30歳代（77.8%）で7割以上となっている。「日本人の雇用機会が奪われる」は男性20歳代（24.4%）と女性40歳代（23.2%）で2割以上と比較的高くなっている。「自治会などの地域活動が難しくなる」は男性70歳以上（26.5%）で特に高くなっている。

⑤職業別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」と「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は雇用者（計）で7割前後と高く、自営業・家族従業（計）で6割強と比較的低くなっている。

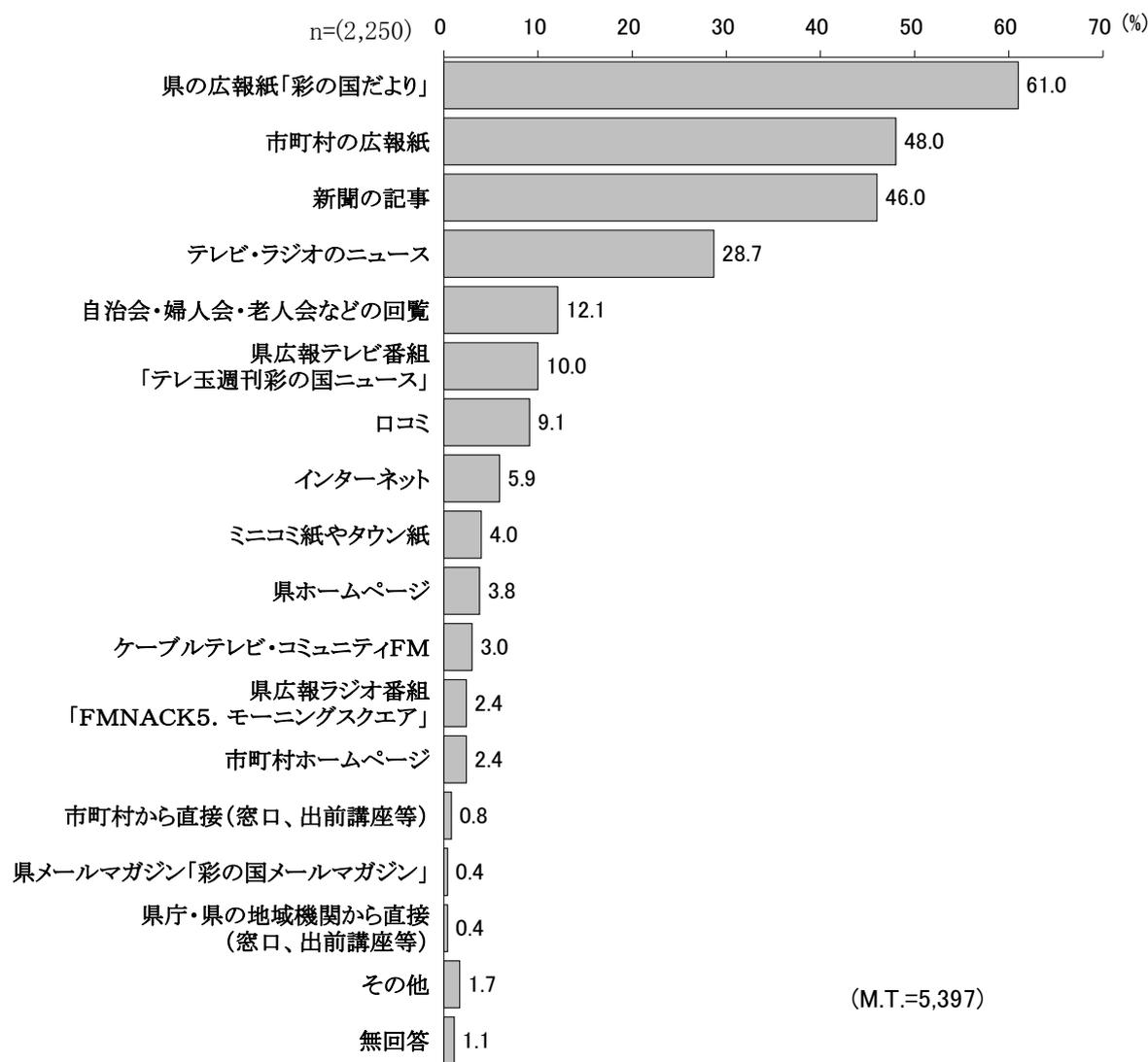
○外国人増加をよいことだと思わない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別

	調査数	治安が悪化する（犯罪が増える）	言葉や習慣、生活スタイルなどが起こる	日本人の雇用機会が奪われる	自治会などの地域活動が難しくなる	地域の伝統や文化が損なわれる	その他	特にない	わからない	無回答
全体	883	67.4	66.9	16.2	13.1	4.1	1.9	1.5	0.7	0.3
地域別										
南部地域	81	70.4	69.1	17.3	8.6	2.5	2.5	1.2	-	-
南西部地域	75	72.0	56.0	12.0	14.7	16.0	1.3	-	-	-
東部地域	146	69.9	66.4	17.8	13.0	3.4	2.1	0.7	0.7	-
さいたま地域	116	66.4	72.4	14.7	6.9	1.7	1.7	1.7	0.9	1.7
県央地域	70	60.0	67.1	15.7	14.3	4.3	-	1.4	1.4	-
川越比企地域	103	57.3	69.9	17.5	15.5	2.9	3.9	2.9	1.0	-
西部地域	108	71.3	62.0	20.4	10.2	4.6	-	1.9	-	0.9
利根地域	86	68.6	67.4	15.1	19.8	2.3	2.3	1.2	-	-
北部地域	81	72.8	69.1	11.1	18.5	1.2	3.7	-	2.5	-
秩父地域	17	52.9	70.6	23.5	11.8	5.9	-	11.8	-	-
性別										
男性	455	68.4	65.1	17.8	12.7	4.6	1.8	1.3	0.9	0.7
女性	428	66.4	68.9	14.5	13.6	3.5	2.1	1.6	0.5	-
年代別										
20歳代	77	74.0	68.8	15.6	5.2	1.3	2.6	2.6	-	-
30歳代	134	75.4	67.9	14.2	8.2	0.7	3.0	-	0.7	0.7
40歳代	129	65.9	72.1	17.8	7.8	0.8	1.6	0.8	0.8	-
50歳代	148	66.9	73.0	16.2	11.5	4.7	0.7	0.7	-	0.7
60歳代	234	63.2	64.1	17.9	17.5	5.1	3.0	3.0	0.9	0.4
70歳以上	161	65.2	59.6	14.3	20.5	8.7	0.6	1.2	1.2	-
性・年代別										
男性・20歳代	41	78.0	63.4	24.4	2.4	-	2.4	4.9	-	-
30歳代	80	73.8	67.5	17.5	10.0	1.3	2.5	-	-	1.3
40歳代	73	69.9	72.6	13.7	4.1	-	1.4	1.4	1.4	-
50歳代	68	66.2	67.6	17.6	10.3	8.8	-	1.5	-	1.5
60歳代	110	64.5	67.3	19.1	15.5	4.5	3.6	0.9	1.8	0.9
70歳以上	83	63.9	51.8	16.9	26.5	10.8	-	1.2	1.2	-
女性・20歳代	36	69.4	75.0	5.6	8.3	2.8	2.8	-	-	-
30歳代	54	77.8	68.5	9.3	5.6	-	3.7	-	1.9	-
40歳代	56	60.7	71.4	23.2	12.5	1.8	1.8	-	-	-
50歳代	80	67.5	77.5	15.0	12.5	1.3	1.3	-	-	-
60歳代	124	62.1	61.3	16.9	19.4	5.6	2.4	4.8	-	-
70歳以上	78	66.7	67.9	11.5	14.1	6.4	1.3	1.3	1.3	-
職業別										
自営業・家族従業（計）	103	62.1	62.1	20.4	15.5	6.8	2.9	1.0	1.0	-
雇用者（計）	429	70.4	69.2	16.3	8.6	3.0	2.1	1.2	0.7	0.2
無職（計）	349	65.6	65.3	14.9	18.1	4.6	1.4	2.0	0.6	0.6

(8) 埼玉県に関する情報の入手先

◇「県の広報紙「彩の国だより」」が61.0%

問9 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。



埼玉県に関する情報の入手先は、「県の広報紙「彩の国だより」」(61.0%)が6割強で最も高く、次いで「市町村の広報紙」(48.0%)、「新聞の記事」(46.0%)、「テレビ・ラジオのニュース」(28.7%)、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」(12.1%)、「県広報テレビ番組「テレ玉週刊彩の国ニュース」」(10.0%)、「口コミ」(9.1%)、「インターネット」(5.9%)、「ミニコミ紙やタウン紙」(4.0%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「県の広報紙「彩の国だより」はさいたま地域（65.1%）、県央地域（66.3%）、川越比企地域（64.7%）で6割半ばと高くなっている。「市町村の広報紙」は県央地域（58.0%）と利根地域（57.4%）で6割弱と高く、南部地域（33.8%）とさいたま地域（35.7%）で3割台と低くなっている。

②性別

「県の広報紙「彩の国だより」は女性（64.7%）のほうが男性（57.3%）よりも7.4ポイント、「市町村の広報紙」は女性（51.4%）のほうが男性（44.7%）よりも6.7ポイント高くなっている。逆に「新聞の記事」で4.1ポイント、「インターネット」で4.0ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「県の広報紙「彩の国だより」、「市町村の広報紙」、「新聞の記事」は50歳代以上の割合が高くなっている。「ロコミ」と「インターネット」は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「県の広報紙「彩の国だより」は男女とも20歳代で特に低くなっている。「市町村の広報紙」は男性ではおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなり、女性では20歳代（27.0%）のみ3割弱と特に低く、30歳代以上では5割以上となっている。男女ともおおむね年齢が低くなるほど「ロコミ」と「インターネット」の割合が高くなっている。

⑤職業別

「県の広報紙「彩の国だより」は自営業・家族従業（計）（65.1%）と無職（計）（66.7%）で高く、「ロコミ」は雇用者（計）（12.0%）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「県の広報紙「彩の国だより」は家族成長後期から高齢期で7割前後と高くなっている。一方、「ロコミ」と「インターネット」はライフステージが進むにつれおおむね割合が低くなっている。

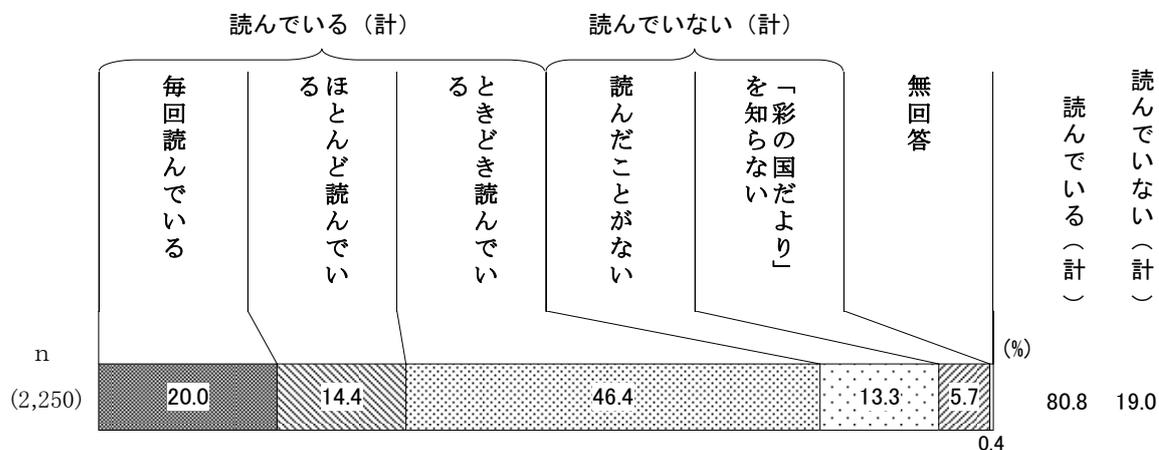
○埼玉県に関する情報の入手先・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	県の広報紙「彩の国だより」	市町村の広報紙	新聞の記事	テレビ・ラジオのニュース	回覧	自治会・婦人会・老人会などの	彩の国ニュース	県広報テレビ番組「テレ玉週刊	口コミ	インターネット	ミニコミ紙やタウン紙	県ホームページ	F M	ケーブルテレビ・コミュニティ	K5・モーニングスクエア	県広報ラジオ番組「FMNAC	市町村ホームページ	座等	市町村から直接（窓口、出前講	県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）	その他	無回答
全体	2250	61.0	48.0	46.0	28.7	12.1	10.0	9.1	5.9	4.0	3.8	3.0	2.4	2.4	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	1.7	1.1	
地域別																								
南部地域	222	52.3	33.8	37.8	30.2	14.9	11.3	12.2	8.6	6.8	4.5	6.8	1.4	3.6	-	1.4	0.9	0.9	0.9	1.4	0.9	0.9	1.4	1.4
南西部地域	198	59.6	51.5	51.5	26.3	6.6	9.1	6.6	4.0	3.5	4.0	2.5	3.5	1.5	0.5	-	0.5	1.0	0.5	1.0	0.9	1.6	0.9	2.5
東部地域	318	61.3	45.0	45.3	28.6	11.6	13.8	7.5	5.3	2.8	1.3	2.2	2.2	1.9	1.3	0.3	0.9	1.6	0.9	1.6	0.9	1.6	0.9	0.9
さいたま地域	367	65.1	35.7	43.6	20.4	15.8	7.9	13.4	7.6	8.7	4.1	2.2	2.5	2.5	0.5	0.3	-	4.4	0.3	0.3	-	4.4	0.3	0.3
県央地域	193	66.3	58.0	44.0	26.9	8.3	8.3	8.8	6.2	2.6	4.7	0.5	1.6	3.1	1.6	0.5	0.5	1.0	1.6	0.5	0.5	1.0	1.6	1.6
川越比企地域	275	64.7	56.0	51.3	33.5	14.9	9.1	6.9	3.3	2.2	4.0	2.9	1.8	2.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
西部地域	247	60.7	50.2	42.5	30.4	13.8	10.1	7.7	8.9	2.8	5.3	5.3	0.8	2.8	0.4	-	-	2.4	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
利根地域	197	55.3	57.4	51.3	30.5	10.2	12.7	8.1	4.6	3.6	3.6	1.5	6.6	1.0	1.0	0.5	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0
北部地域	191	61.8	55.0	49.2	36.1	9.4	6.8	7.3	3.7	1.6	3.7	3.1	2.6	2.6	1.6	0.5	-	0.5	0.5	0.5	-	0.5	0.5	0.5
秩父地域	42	52.4	52.4	47.6	31.0	7.1	11.9	16.7	2.4	-	2.4	2.4	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性別																								
男性	1121	57.3	44.7	48.1	29.3	10.7	10.6	9.5	7.9	3.3	5.6	2.9	3.5	2.9	0.8	0.6	0.5	1.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
女性	1129	64.7	51.4	44.0	28.2	13.6	9.4	8.7	3.9	4.8	1.9	3.1	1.4	1.9	0.7	0.2	0.4	1.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年代別																								
20歳代	229	31.0	24.5	36.7	31.9	3.9	6.1	26.6	18.8	8.7	3.9	3.1	2.6	5.7	-	0.4	-	3.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
30歳代	389	48.6	42.4	37.3	26.7	9.0	4.9	13.6	11.8	5.1	4.6	3.3	5.1	2.6	0.5	0.5	0.3	2.3	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
40歳代	386	63.5	46.1	43.5	24.4	12.2	8.0	11.1	5.2	4.4	5.7	4.4	3.4	2.8	0.5	0.5	0.3	1.3	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
50歳代	393	67.7	50.1	51.9	34.1	14.8	8.9	4.8	3.6	3.8	4.3	2.3	1.3	2.5	0.3	0.3	0.5	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
60歳代	515	72.6	58.4	50.9	29.7	15.1	15.1	3.7	1.2	2.5	2.9	2.7	0.6	1.0	1.4	0.2	0.4	1.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
70歳以上	338	67.5	54.4	51.2	26.0	13.6	14.2	3.0	0.9	1.8	1.2	2.1	2.4	1.2	1.5	0.6	1.2	1.5	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
性・年代別																								
男性・20歳代	114	23.7	21.9	37.7	30.7	4.4	7.0	29.8	21.1	5.3	4.4	1.8	3.5	5.3	-	-	-	4.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
30歳代	189	42.9	31.2	39.2	32.3	8.5	6.3	15.3	16.9	4.2	6.9	3.2	8.5	3.2	0.5	0.5	-	2.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
40歳代	200	55.5	40.5	43.5	30.0	9.5	7.5	10.5	7.5	2.5	9.0	4.5	4.0	4.0	0.5	1.0	0.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
50歳代	188	65.4	45.7	53.2	31.4	12.8	9.6	5.3	5.9	4.3	5.9	2.7	1.6	3.7	0.5	0.5	0.5	1.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
60歳代	250	72.0	59.6	52.0	27.2	16.0	16.0	2.8	1.6	2.4	4.8	1.6	0.8	1.2	1.6	0.4	0.4	1.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
70歳以上	180	66.7	56.1	58.3	25.0	8.9	14.4	3.3	1.1	2.2	2.2	3.3	3.3	1.1	1.1	1.1	1.7	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
女性・20歳代	115	38.3	27.0	35.7	33.0	3.5	5.2	23.5	16.5	12.2	3.5	4.3	1.7	6.1	-	0.9	-	2.6	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
30歳代	200	54.0	53.0	35.5	21.5	9.5	3.5	12.0	7.0	6.0	2.5	3.5	2.0	2.0	0.5	0.5	0.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
40歳代	186	72.0	52.2	43.5	18.3	15.1	8.6	11.8	2.7	6.5	2.2	4.3	2.7	1.6	0.5	-	-	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
50歳代	205	69.8	54.1	50.7	36.6	16.6	8.3	4.4	1.5	3.4	2.9	2.0	1.0	1.5	-	-	0.5	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
60歳代	265	73.2	57.4	49.8	32.1	14.3	14.3	4.5	0.8	2.6	1.1	3.8	0.4	0.8	1.1	-	0.4	1.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
70歳以上	158	68.4	52.5	43.0	27.2	19.0	13.9	2.5	0.6	1.3	-	0.6	1.3	1.3	1.9	-	0.6	1.9	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
職業別																								
自営業・家族従業（計）	241	65.1	49.4	43.6	29.9	14.5	12.9	7.1	5.0	3.3	3.7	2.1	2.5	2.5	0.8	0.4	1.7	1.2	0.4	0.4	0.4	1.2	0.4	
雇用者（計）	1188	56.2	44.3	44.9	30.0	10.3	7.2	12.0	8.1	4.5	5.0	3.1	3.4	2.9	0.4	0.5	0.3	2.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	
無職（計）	817	66.7	53.1	48.6	26.6	14.1	13.3	5.6	2.8	3.7	2.1	3.1	1.1	1.3	1.2	0.2	0.4	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
ライフステージ別																								
独身期	305	34.1	23.6	40.0	35.1	3.6	5.9	20.3	18.0	7.9	3.3	3.6	3.0	2.3	-	0.3	-	3.9	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
家族形成期	210	48.6	47.1	29.5	18.6	7.6	6.7	16.7	12.4	5.7	7.6	2.9	4.3	5.7	1.0	1.0	0.5	2.4	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	
家族成長前期	237	58.2	50.6	41.8	25.7	13.5	5.1	12.2	6.8	5.1	5.5	3.0	5.5	4.2	0.4	0.8	-	0.8	-	0.8	-	0.8	-	
家族成長後期	190	75.8	51.1	51.1	21.6	10.0	10.0	6.8	3.2	5.8	4.7	4.7	2.1	2.6	0.5	-	1.1	1.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
家族成熟期	458	68.1	52.4	52.6	32.5	15.9	11.4	4.8	2.0	2.6	3.5	2.8	1.3	0.9	0.4	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
高齢期	536	71.1	58.0	52.4	28.7	14.2	14.2	3.4	1.3	2.2	1.5	2.1	1.3	1.3	1.7	0.4	0.7	1.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
その他	314	61.1	45.2	42.7	30.3	14.6	10.8	8.3	4.1	2.5	4.1	3.2	2.2	2.5	0.6	0.3	0.6	1.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	

(9) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる(計)』が80.8%

問10 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。



県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」(46.4%)が4割半ばで最も高く、これに「毎回読んでいる」(20.0%)、「ほとんど読んでいる」(14.4%)を合わせると、『読んでいる(計)』は80.8%を占めている。一方、「読んだことがない」(13.3%)と「「彩の国だより」を知らない」(5.7%)を合わせた『読んでいない(計)』は19.0%である。

【属性別比較】

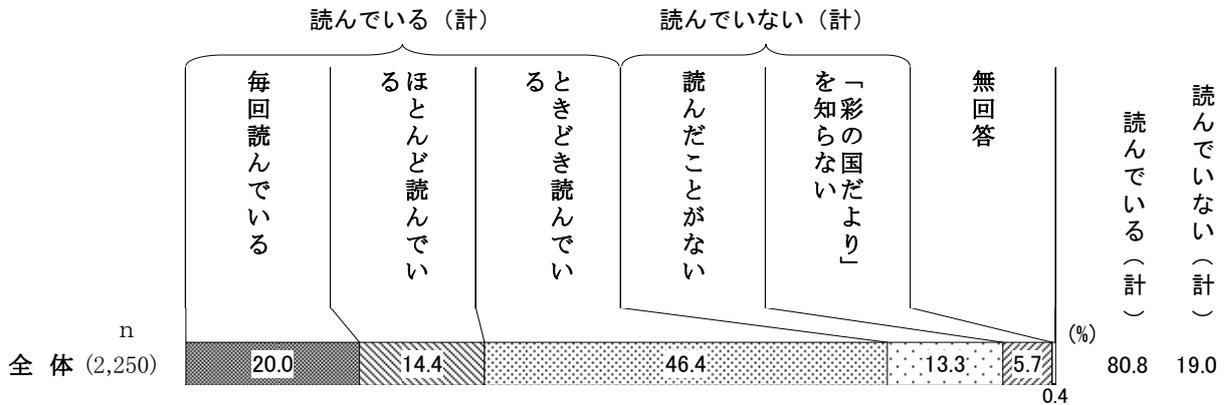
①性別

『読んでいる（計）』は女性（83.4%）のほうが男性（77.9%）よりも5.5ポイント高くなっている。

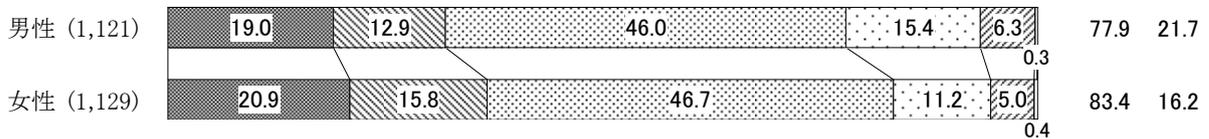
②年代別

「毎回読んでいる」は年齢が高くなるほど割合が高く、『読んでいる（計）』もおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

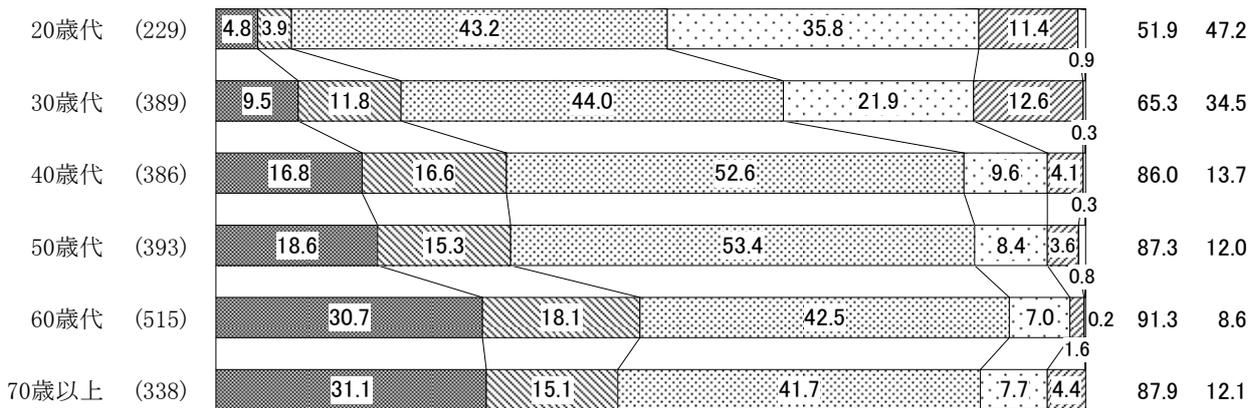
○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『読んでいる（計）』は川越比企地域（87.9%）で最も高く、秩父地域（66.6%）で低くなっている。

④性・年代別

『読んでいる（計）』は男女とも20歳代と30歳代で低くなっている。

⑤職業別

『読んでいる（計）』は雇用者（計）（75.6%）でほかの職業に比べ低くなっている。

⑥ライフステージ別

『読んでいる（計）』は独身期（50.2%）、家族形成期（65.7%）で低くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	毎回読んでいる	いほとんど読んで	いときどき読んで	い読んだことがない	り「彩の国だより」を知らない	無回答	(計)読んでいる	(計)読んでいない
全体	2250	20.0	14.4	46.4	13.3	5.7	0.4	80.8	19.0
地域別									
南部地域	222	18.0	10.8	46.4	14.4	9.5	0.9	75.2	23.9
南西部地域	198	14.6	12.6	52.0	13.6	6.6	0.5	79.2	20.2
東部地域	318	18.9	13.2	45.3	18.9	3.5	0.3	77.4	22.4
さいたま地域	367	20.4	18.0	43.3	12.3	6.0	-	81.7	18.3
県央地域	193	27.5	13.5	39.9	10.4	8.8	-	80.9	19.2
川越比企地域	275	20.7	18.5	48.7	8.4	3.3	0.4	87.9	11.7
西部地域	247	18.6	13.4	48.6	13.0	6.1	0.4	80.6	19.1
利根地域	197	21.3	12.2	46.2	14.2	5.1	1.0	79.7	19.3
北部地域	191	19.4	15.2	50.8	11.0	3.7	-	85.4	14.7
秩父地域	42	23.8	7.1	35.7	26.2	7.1	-	66.6	33.3
性・年代別									
男性・20歳代	114	3.5	0.9	43.0	38.6	13.2	0.9	47.4	51.8
30歳代	189	10.1	9.5	41.3	26.5	12.7	-	60.9	39.2
40歳代	200	14.5	13.0	54.5	12.5	5.0	0.5	82.0	17.5
50歳代	188	16.5	14.4	52.1	11.2	5.3	0.5	83.0	16.5
60歳代	250	27.6	18.8	42.8	8.4	2.4	-	89.2	10.8
70歳以上	180	33.9	14.4	41.7	6.7	3.3	-	90.0	10.0
女性・20歳代	115	6.1	7.0	43.5	33.0	9.6	0.9	56.6	42.6
30歳代	200	9.0	14.0	46.5	17.5	12.5	0.5	69.5	30.0
40歳代	186	19.4	20.4	50.5	6.5	3.2	-	90.3	9.7
50歳代	205	20.5	16.1	54.6	5.9	2.0	1.0	91.2	7.9
60歳代	265	33.6	17.4	42.3	5.7	0.8	0.4	93.3	6.5
70歳以上	158	27.8	15.8	41.8	8.9	5.7	-	85.4	14.6
職業別									
自営業・家族従業（計）	241	27.0	11.6	46.9	10.0	4.6	-	85.5	14.6
雇用者（計）	1188	14.9	13.6	47.1	17.3	6.7	0.4	75.6	24.0
無職（計）	817	25.3	16.3	44.9	8.6	4.5	0.4	86.5	13.1
ライフステージ別									
独身期	305	4.6	4.3	41.3	37.7	11.8	0.3	50.2	49.5
家族形成期	210	10.5	13.3	41.9	19.0	14.3	1.0	65.7	33.3
家族成長前期	237	15.2	16.9	50.6	11.4	5.9	-	82.7	17.3
家族成長後期	190	17.9	23.2	53.2	3.7	1.6	0.5	94.3	5.3
家族成熟期	458	21.4	15.7	50.4	10.3	2.2	-	87.5	12.5
高齢期	536	32.1	17.5	39.9	6.5	3.7	0.2	89.5	10.2
その他	314	23.2	10.2	51.9	8.9	4.8	1.0	85.3	13.7

課 題 調 査

- 3 スポーツ振興
(問11～問18)
- 4 水道の未来づくり
(問19～問25)

○ 県政世論調査では、毎年、県政の重要課題を特定調査テーマに設定し、課題調査を実施しています。

今年度は、上記2テーマを取り上げました。

○ 問12について

平成14年度県政世論調査から毎年実施していますが、平成17年度調査で選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。

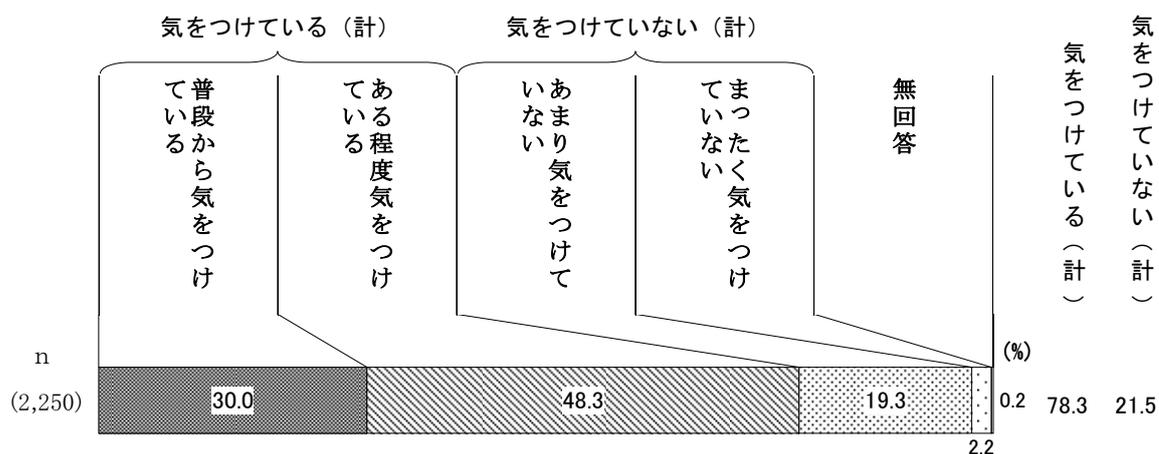
問12-1は、今回が初めてとなります。

3 スポーツ振興

(1) 健康や体力への気遣い

◇『気をつけている (計)』が78.3%

問11 あなたは、自分の健康や体力に気をつけていますか。



健康や体力への気遣いは、「ある程度気をつけている」(48.3%)が4割半ばを超えて最も高く、これに「普段から気をつけている」(30.0%)を合わせると『気をつけている (計)』が78.3%を占めている。一方、「あまり気をつけていない」(19.3%)と「まったく気をつけていない」(2.2%)を合わせた『気をつけていない (計)』は21.5%である。

【属性別比較】

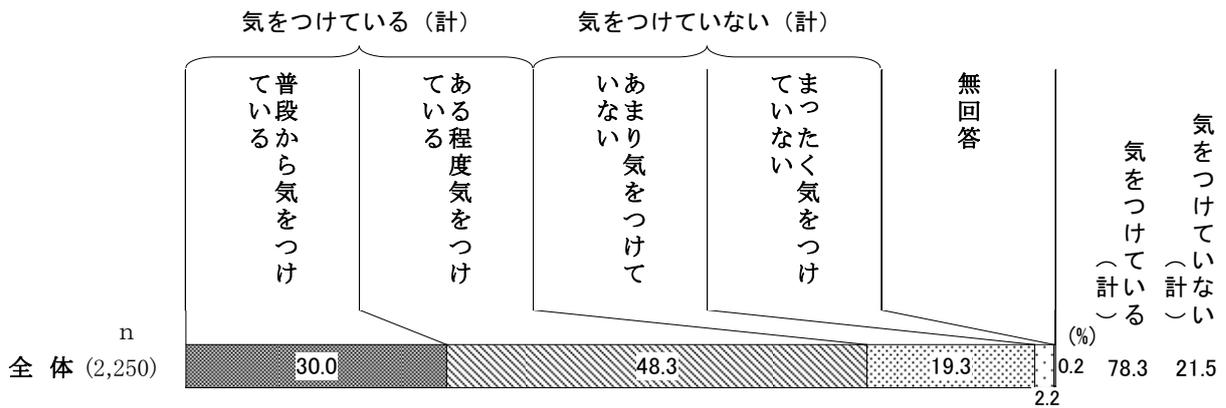
①性別

『気をつけている（計）』は女性（79.7%）のほうがわずかに高く、ほぼ8割となっている。

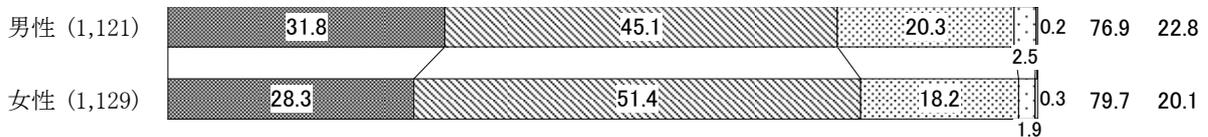
②年代別

30歳代以降、年齢が高くなるほど『気をつけている（計）』の割合が増加し、70歳以上（91.4%）では9割強となっている。

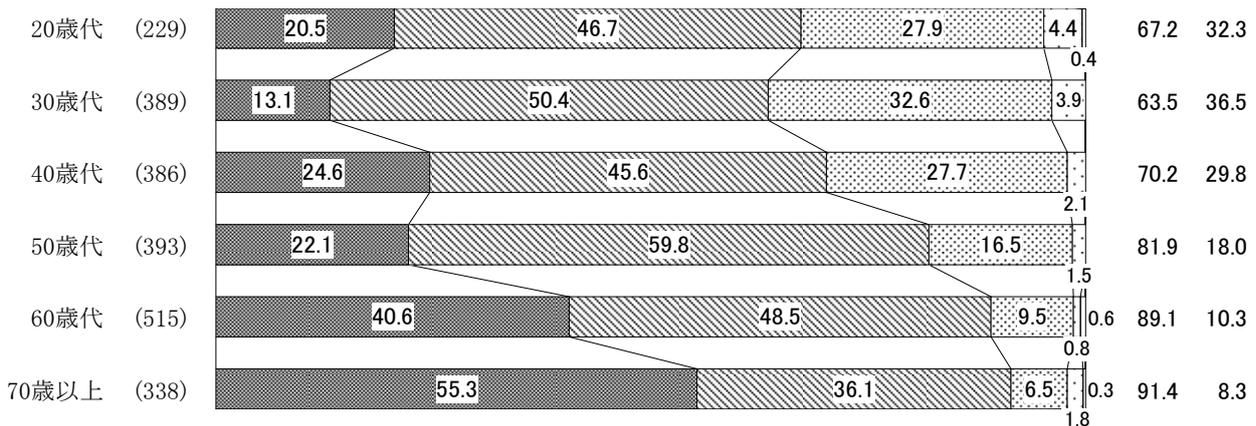
○健康や体力への気遣い・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『気をつけている（計）』は秩父地域（90.5%）で最も高くなっている。

④性・年代別

『気をつけている（計）』は男女とも60歳代以上で9割前後と高くなっている。

⑤職業別

『気をつけている（計）』は雇用者（計）（73.6%）で7割半ばと比較的低くなっている。

⑥ライフステージ別

『気をつけている（計）』は家族成熟期（87.2%）、高齢期（90.4%）で9割前後と高くなっている。

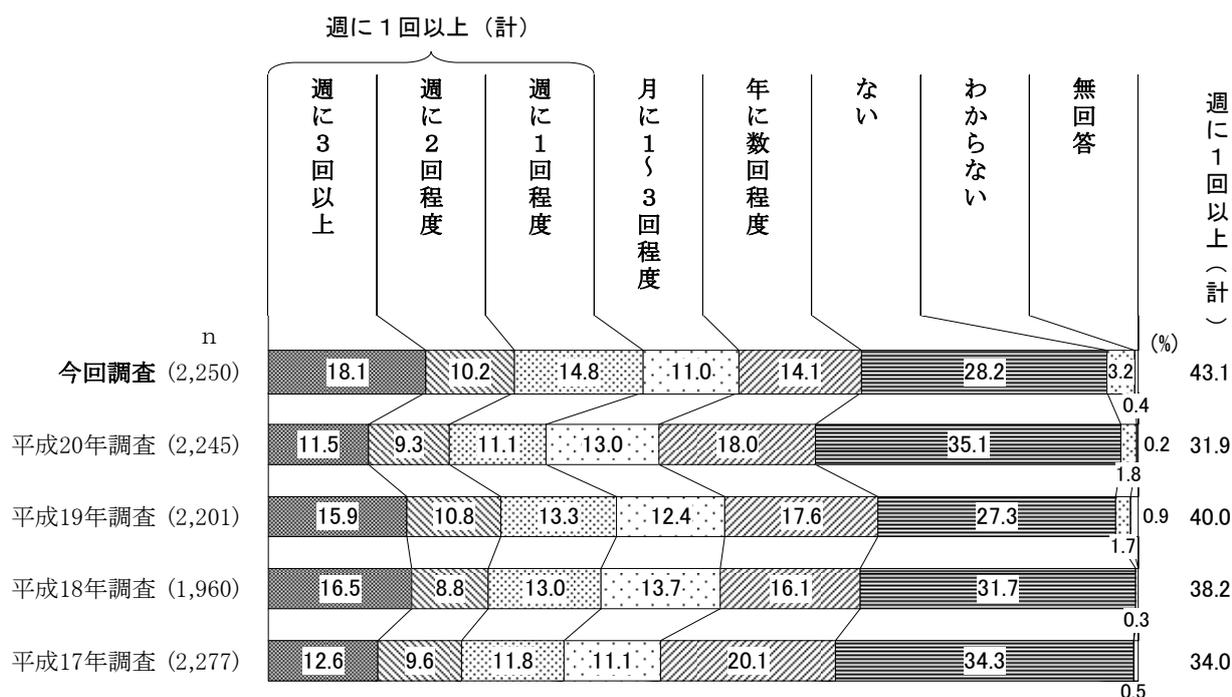
○健康や体力への気遣い・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	普段から気をつけて	ある程度気をつけて	あまり気をつけて	まったく気をつけて	無回答	(計)気をつけている	(計)気をつけていない	
全体	2250	30.0	48.3	19.3	2.2	0.2	78.3	21.5	
地域別									
南部地域	222	26.1	50.5	19.8	2.7	0.9	76.6	22.5	
南西部地域	198	37.9	42.9	18.2	1.0	-	80.8	19.2	
東部地域	318	29.9	46.2	20.4	3.5	-	76.1	23.9	
さいたま地域	367	27.8	48.2	22.1	1.9	-	76.0	24.0	
県央地域	193	40.9	43.5	13.0	2.6	-	84.4	15.6	
川越比企地域	275	29.5	50.5	18.5	1.1	0.4	80.0	19.6	
西部地域	247	27.9	50.2	18.6	2.8	0.4	78.1	21.4	
利根地域	197	28.4	47.7	21.8	1.5	0.5	76.1	23.3	
北部地域	191	25.1	51.8	20.4	2.6	-	76.9	23.0	
秩父地域	42	31.0	59.5	9.5	-	-	90.5	9.5	
性・年代別									
男性・20歳代	114	22.8	42.1	29.8	5.3	-	64.9	35.1	
30歳代	189	15.9	45.0	34.4	4.8	-	60.9	39.2	
40歳代	200	24.0	44.5	29.0	2.5	-	68.5	31.5	
50歳代	188	20.7	58.0	19.7	1.6	-	78.7	21.3	
60歳代	250	40.4	48.4	10.0	0.8	0.4	88.8	10.8	
70歳以上	180	62.8	30.0	5.0	1.7	0.6	92.8	6.7	
女性・20歳代	115	18.3	51.3	26.1	3.5	0.9	69.6	29.6	
30歳代	200	10.5	55.5	31.0	3.0	-	66.0	34.0	
40歳代	186	25.3	46.8	26.3	1.6	-	72.1	27.9	
50歳代	205	23.4	61.5	13.7	1.5	-	84.9	15.2	
60歳代	265	40.8	48.7	9.1	0.8	0.8	89.5	9.9	
70歳以上	158	46.8	43.0	8.2	1.9	-	89.8	10.1	
職業別									
自営業・家族従業（計）	241	32.8	49.4	16.2	1.2	0.4	82.2	17.4	
雇用者（計）	1188	23.9	49.7	23.7	2.5	0.2	73.6	26.2	
無職（計）	817	38.2	45.8	13.8	2.0	0.2	84.0	15.8	
ライフステージ別									
独身期	305	18.4	47.5	28.5	5.2	0.3	65.9	33.7	
家族形成期	210	14.8	47.6	34.3	3.3	-	62.4	37.6	
家族成長前期	237	17.3	49.8	31.2	1.7	-	67.1	32.9	
家族成長後期	190	22.1	51.1	25.3	1.6	-	73.2	26.9	
家族成熟期	458	31.7	55.5	11.6	1.1	0.2	87.2	12.7	
高齢期	536	49.4	41.0	8.0	1.1	0.4	90.4	9.1	
その他	314	30.6	48.4	18.2	2.5	0.3	79.0	20.7	

(2) スポーツをする機会

◇『週に1回以上(計)』は43.1%

問12 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動も含めます。



過去1年間のスポーツをする機会は、「ない」(28.2%)が2割半ばを超えて最も高く、次いで「週に3回以上」(18.1%)、「週に1回程度」(14.8%)、「年に数回程度」(14.1%)の順となっている。また、『週に1回以上(計)』(「週に3回以上」(18.1%)、「週に2回程度」(10.2%)、「週に1回程度」(14.8%)の合計、43.1%)は4割強を占めている。

【過去4年間との比較】

過去4年間と比較すると、『週に1回以上(計)』(43.1%)が昨年から11.2ポイント増加し、平成17年以降では今回が最も高くなっている。

【属性別比較】

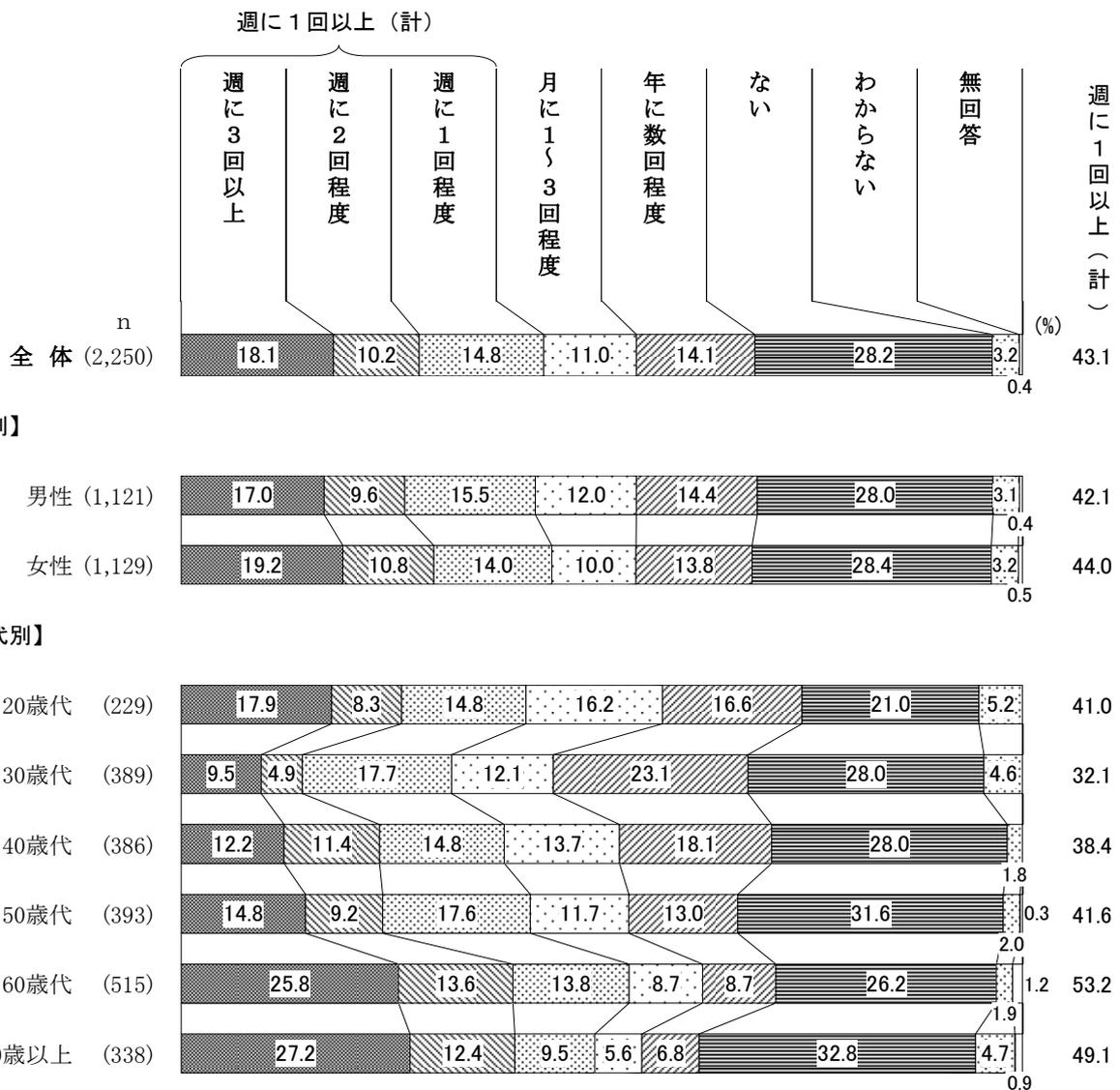
①性別

性別には大きな差はみられない。

②年代別

『週に1回以上（計）』は60歳代以上で5割前後と高く、30歳代（32.1%）で低くなっている。「週に3回以上」は60歳代以上で2割半ばと高くなっている。一方、「ない」は70歳以上（32.8%）で3割強と高くなっている。

○スポーツをする機会・性別／年代別



③地域別

『週に1回以上(計)』は県央地域(50.2%)で約5割と高く、南部地域(36.5%)で3割半ばと低くなっている。

④性・年代別

『週に1回以上(計)』は男性60歳代(52.8%)と70歳以上(55.5%)、女性60歳代(53.5%)で5割を超えて高く、男性30歳代(28.5%)と40歳代(33.5%)で低くなっている。「ない」は女性70歳以上(39.9%)で約4割と高くなっている。

⑤職業別

『週に1回以上(計)』は無職(計)(50.5%)で約5割と高く、雇用者(計)(37.5%)で4割弱と比較的低くなっている。

⑥ライフステージ別

『週に1回以上(計)』は家族成熟期(50.4%)と高齢期(51.5%)で5割強と高く、家族形成期(31.0%)と家族成長前期(33.8%)で3割台と低くなっている。「週に3回以上」は家族成熟期(22.7%)と高齢期(27.1%)で高くなっている。

○スポーツをする機会・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

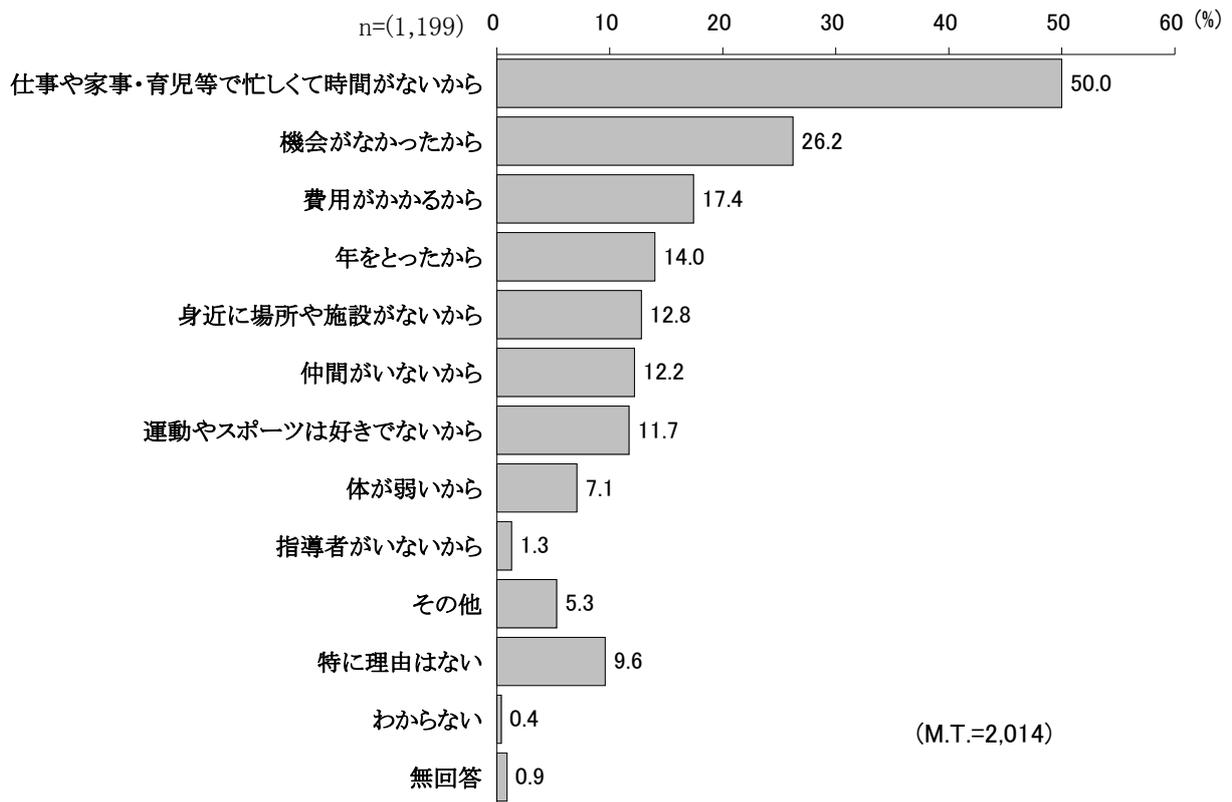
	調査数	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	程月に1〜3回	年に数回程度	ない	わからない	無回答	(週に1回以上)
全体	2250	18.1	10.2	14.8	11.0	14.1	28.2	3.2	0.4	43.1
地域別										
南部地域	222	14.4	7.2	14.9	13.5	15.8	29.3	3.6	1.4	36.5
南西部地域	198	16.2	10.1	16.2	9.6	12.1	31.8	4.0	-	42.5
東部地域	318	19.2	11.6	9.1	11.0	13.5	32.7	2.8	-	39.9
さいたま地域	367	18.0	9.3	17.4	9.5	12.8	29.2	3.3	0.5	44.7
県央地域	193	21.2	9.3	19.7	11.9	8.8	24.9	4.1	-	50.2
川越比企地域	275	16.7	12.4	14.5	10.2	16.7	25.8	2.9	0.7	43.6
西部地域	247	17.4	8.9	17.8	15.0	15.0	25.1	0.8	-	44.1
利根地域	197	19.8	9.6	10.7	8.6	18.8	28.9	2.5	1.0	40.1
北部地域	191	19.9	14.1	13.6	11.0	13.1	23.6	4.7	-	47.6
秩父地域	42	23.8	7.1	11.9	4.8	14.3	31.0	4.8	2.4	42.8
性・年代別										
男性・20歳代	114	15.8	8.8	19.3	13.2	14.9	22.8	5.3	-	43.9
30歳代	189	7.9	3.7	16.9	11.6	22.8	32.3	4.8	-	28.5
40歳代	200	9.0	9.5	15.0	18.5	18.0	27.5	2.5	-	33.5
50歳代	188	9.0	9.0	19.1	13.3	17.0	30.9	1.6	-	37.1
60歳代	250	25.2	12.8	14.8	8.8	8.4	26.4	2.0	1.6	52.8
70歳以上	180	33.3	12.8	9.4	7.2	6.7	26.7	3.9	-	55.5
女性・20歳代	115	20.0	7.8	10.4	19.1	18.3	19.1	5.2	-	38.2
30歳代	200	11.0	6.0	18.5	12.5	23.5	24.0	4.5	-	35.5
40歳代	186	15.6	13.4	14.5	8.6	18.3	28.5	1.1	-	43.5
50歳代	205	20.0	9.3	16.1	10.2	9.3	32.2	2.4	0.5	45.4
60歳代	265	26.4	14.3	12.8	8.7	9.1	26.0	1.9	0.8	53.5
70歳以上	158	20.3	12.0	9.5	3.8	7.0	39.9	5.7	1.9	41.8
職業別										
自営業・家族従業(計)	241	18.7	12.9	14.1	10.4	10.4	30.3	1.7	1.7	45.7
雇用者(計)	1188	13.0	8.1	16.4	13.4	17.5	27.9	3.5	0.1	37.5
無職(計)	817	25.5	12.6	12.4	7.7	10.3	28.0	2.9	0.6	50.5
ライフステージ別										
独身期	305	16.7	7.5	14.8	12.8	18.7	26.2	3.3	-	39.0
家族形成期	210	10.5	4.8	15.7	16.7	21.4	26.7	4.3	-	31.0
家族成長前期	237	7.2	6.3	20.3	12.7	24.9	23.6	5.1	-	33.8
家族成長後期	190	13.7	14.7	16.8	13.7	14.2	25.3	1.6	-	45.2
家族成熟期	458	22.7	12.4	15.3	9.4	8.5	29.9	1.3	0.4	50.4
高齢期	536	27.1	13.2	11.2	7.5	8.6	28.5	3.2	0.7	51.5
その他	314	13.7	8.3	14.0	10.8	14.0	33.4	4.5	1.3	36.0

(2-1) 週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が50.0%

(問12で「週に1回以上(計)以外」と答えた方に)

問12-1 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「機会がなかったから」(26.2%)、「費用がかかるから」(17.4%)、「年をとったから」(14.0%)、「身近に場所や施設がないから」(12.8%)、「仲間がいないから」(12.2%)、「運動やスポーツは好きでないから」(11.7%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は利根地域（55.9%）、北部地域（58.2%）で高くなっている。「機会がなかったから」は南西部地域（30.2%）で3割を超えて高く、「費用がかかるから」は南部地域（26.9%）で最も高くなっている。「身近に場所や施設がないから」は西部地域（19.1%）で高くなっている。

②性別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性（52.2%）のほうが男性（47.9%）よりも4.3ポイント、「運動やスポーツは好きでないから」は女性（14.1%）のほうが男性（9.4%）よりも4.7ポイント高くなっている。逆に「機会がなかったから」は男性（28.6%）のほうが女性（23.7%）よりも4.9ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」と「費用がかかるから」は30歳代と40歳代で高くなっている。「年をとったから」は年齢が高くなるほど割合が高く、「仲間がないから」は逆に年齢が低くなるほど割合がおおむね高くなっている。

④性・年代別

「機会がなかったから」は男性20歳代（37.9%）と30歳代（30.2%）と50歳代（32.2%）、女性20歳代（30.8%）で3割を超えて高く、「費用がかかるから」は女性30歳代（32.5%）と40歳代（30.1%）で3割を超えて高くなっている。「身近に場所や施設がないから」と「運動やスポーツは好きでないから」は女性20歳代で2割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は雇用者（計）（62.5%）で6割強と高く、無職（計）（26.9%）で低くなっている。「機会がなかったから」と「費用がかかるから」も雇用者（計）で高く、「年をとったから」は無職（計）（24.2%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族形成期（83.8%）で最も高く、高齢期（19.2%）で低くなっている。「年をとったから」はステージが進むほど割合が高くなり、「身近に場所や施設がないから」は逆にステージが進むほどおおむね低くなっている。

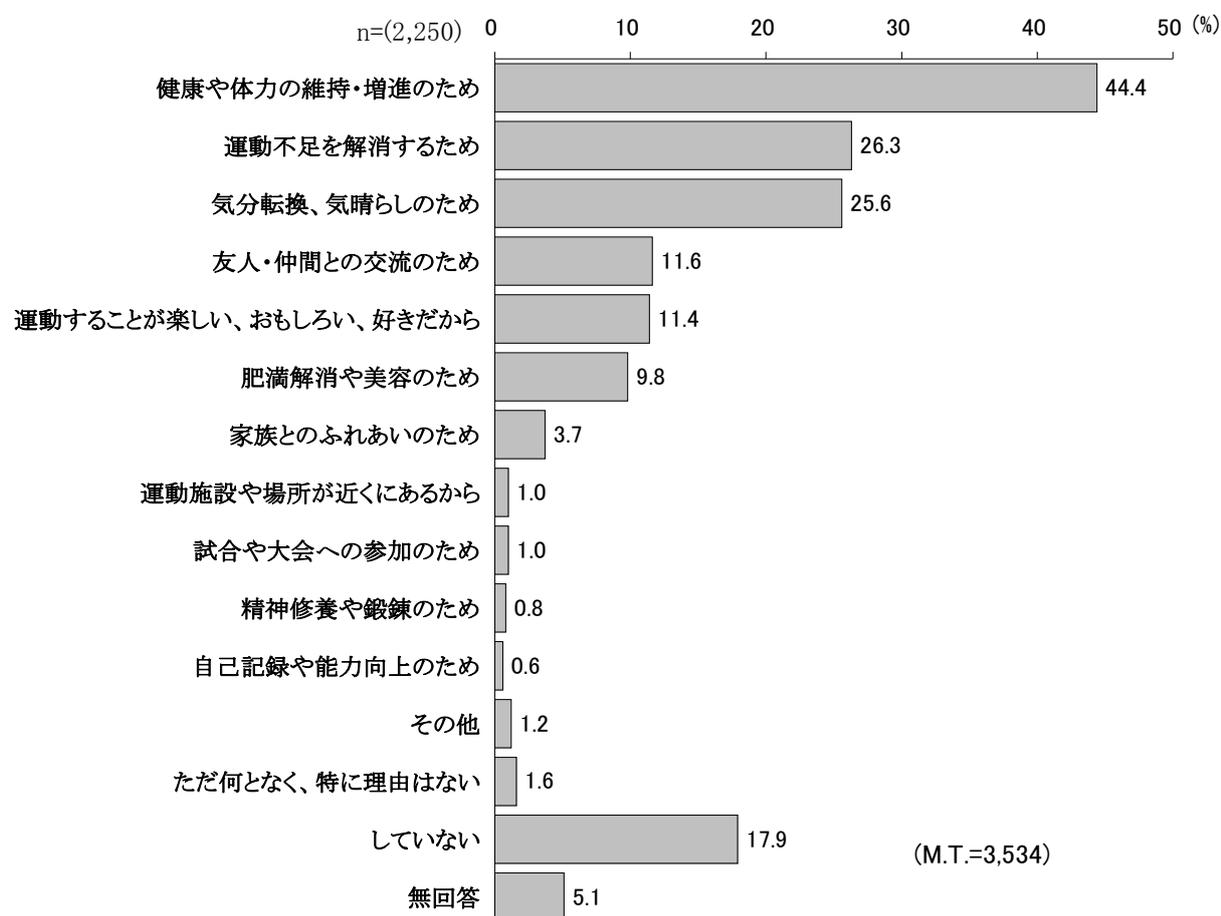
○週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調 査 数	し く て 時 間 が な い か ら	仕 事 や 家 事 ・ 育 児 等 で 忙 し か ら	機 会 が な か つ た か ら	費 用 が か か る か ら	年 を と つ た か ら	か ら 身 近 に 場 所 や 施 設 が な い	仲 間 が い な い か ら	運 動 や ス ポ ー ツ は 好 き で な い か ら	体 が 弱 い か ら	指 導 者 が い な い か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1199	50.0	26.2	17.4	14.0	12.8	12.2	11.7	7.1	1.3	5.3	9.6	0.4	0.9	
地域別															
南部地域	130	48.5	28.5	26.9	14.6	10.0	11.5	11.5	5.4	0.8	4.6	10.0	0.8	1.5	
南西部地域	106	46.2	30.2	17.9	14.2	16.0	13.2	10.4	9.4	0.9	3.8	6.6	0.9	0.9	
東部地域	182	50.5	24.7	12.1	15.9	9.9	9.9	10.4	1.6	5.5	9.3	-	-	-	
さいたま地域	189	51.3	27.0	19.6	11.1	15.3	13.8	12.2	6.9	2.1	7.4	6.9	-	2.1	
県央地域	88	50.0	19.3	11.4	10.2	10.2	11.4	10.2	2.3	-	9.1	17.0	-	-	
川越比企地域	145	44.1	26.9	18.6	16.6	10.3	12.4	12.4	6.2	0.7	6.9	10.3	1.4	0.7	
西部地域	136	49.3	23.5	17.6	13.2	19.1	15.4	14.0	3.7	2.9	2.9	9.6	-	2.2	
利根地域	111	55.9	27.0	13.5	13.5	11.7	10.8	14.4	9.9	0.9	2.7	10.8	0.9	-	
北部地域	91	58.2	28.6	18.7	13.2	12.1	9.9	11.0	6.6	1.1	2.2	8.8	-	-	
秩父地域	21	42.9	23.8	14.3	28.6	9.5	14.3	4.8	14.3	-	9.5	9.5	-	-	
性別															
男性	609	47.9	28.6	15.8	14.9	13.3	14.0	9.4	6.1	1.6	4.4	9.2	0.7	1.1	
女性	590	52.2	23.7	19.2	13.1	12.2	10.3	14.1	8.1	1.0	6.1	10.0	0.2	0.7	
年代別															
20歳代	123	56.9	34.1	18.7	-	19.5	16.3	17.9	3.3	1.6	4.1	8.9	-	0.8	
30歳代	246	72.0	27.6	27.2	4.5	18.7	15.0	11.0	2.4	2.0	3.3	4.9	-	-	
40歳代	231	69.3	29.4	26.4	4.8	9.1	10.8	10.0	2.6	0.4	4.3	6.9	0.4	0.4	
50歳代	221	48.9	28.5	12.2	11.3	14.0	12.7	12.2	3.6	0.5	6.8	9.5	0.5	1.4	
60歳代	225	29.3	20.9	10.2	19.1	10.2	11.1	13.3	10.2	1.3	6.7	17.8	0.9	0.9	
70歳以上	153	12.4	17.0	5.2	51.0	5.2	7.2	7.2	24.8	2.6	6.5	9.8	0.7	2.6	
性・年代別															
男性・20歳代	58	51.7	37.9	10.3	-	15.5	15.5	13.8	3.4	1.7	5.2	10.3	-	1.7	
30歳代	126	72.2	30.2	22.2	5.6	19.8	15.9	9.5	2.4	3.2	2.4	3.2	-	-	
40歳代	128	66.4	29.7	23.4	3.1	10.2	13.3	6.3	3.1	0.8	3.9	7.0	0.8	0.8	
50歳代	115	46.1	32.2	14.8	13.0	16.5	14.8	11.3	3.5	0.9	6.1	7.8	0.9	1.7	
60歳代	109	24.8	22.9	11.0	21.1	10.1	13.8	9.2	11.0	1.8	5.5	21.1	0.9	0.9	
70歳以上	73	8.2	19.2	4.1	57.5	5.5	9.6	8.2	16.4	1.4	4.1	6.8	1.4	2.7	
女性・20歳代	65	61.5	30.8	26.2	-	23.1	16.9	21.5	3.1	1.5	3.1	7.7	-	-	
30歳代	120	71.7	25.0	32.5	3.3	17.5	14.2	12.5	2.5	0.8	4.2	6.7	-	-	
40歳代	103	72.8	29.1	30.1	6.8	7.8	7.8	14.6	1.9	-	4.9	6.8	-	-	
50歳代	106	51.9	24.5	9.4	9.4	11.3	10.4	13.2	3.8	-	7.5	11.3	-	0.9	
60歳代	116	33.6	19.0	9.5	17.2	10.3	8.6	17.2	9.5	0.9	7.8	14.7	0.9	0.9	
70歳以上	80	16.3	15.0	6.3	45.0	5.0	5.0	6.3	32.5	3.8	8.8	12.5	-	2.5	
職業別															
自営業・家族従業（計）	123	49.6	25.2	12.2	17.9	13.0	8.1	8.1	7.3	0.8	5.7	8.9	-	1.6	
雇用者（計）	699	62.5	30.0	20.6	7.9	15.0	12.7	11.6	3.0	1.1	3.9	7.3	-	0.4	
無職（計）	376	26.9	19.4	13.3	24.2	8.5	12.5	13.0	14.6	1.9	7.7	14.1	1.3	1.6	
ライフステージ別															
独身期	176	51.1	32.4	24.4	2.3	19.3	19.3	16.5	4.5	2.8	3.4	8.0	-	0.6	
家族形成期	136	83.8	25.7	20.6	4.4	18.4	8.1	11.8	0.7	1.5	5.9	3.7	-	-	
家族成長前期	145	72.4	31.0	29.7	4.8	15.2	12.4	8.3	2.1	-	1.4	6.9	-	-	
家族成長後期	101	73.3	27.7	26.7	5.9	10.9	5.9	8.9	-	-	8.9	6.9	-	-	
家族成熟期	219	47.5	25.1	13.7	13.7	11.4	12.8	10.5	3.7	1.4	5.9	11.9	0.9	1.8	
高齢期	239	19.2	18.4	6.7	37.2	7.5	9.2	10.5	18.0	2.1	7.9	11.3	0.4	1.3	
その他	183	36.6	27.3	12.0	14.2	9.8	14.8	14.2	12.0	0.5	3.3	14.2	1.1	1.6	

(3) スポーツやレクリエーション活動をする理由

◇「健康や体力の維持・増進のため」が44.4%

問13 あなたがスポーツやレクリエーション活動をする理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



スポーツやレクリエーション活動をする理由は、「健康や体力の維持・増進のため」(44.4%)が4割半ばで最も高く、次いで「運動不足を解消するため」(26.3%)、「気分転換、気晴らしのため」(25.6%)、「友人・仲間との交流のため」(11.6%)、「運動することが楽しい、おもしろい、好きだから」(11.4%)、「肥満解消や美容のため」(9.8%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「健康や体力の維持・増進のため」は秩父地域（52.4%）で5割強と最も高く、南西部地域（38.9%）で4割弱と比較的低くなっている。「運動不足を解消するため」はいずれの地域も2割台となっている。「気分転換、気晴らしのため」は南西部地域（32.3%）のみ3割台と高くなっている。

②性別

「健康や体力の維持・増進のため」は男性（46.7%）のほうが女性（42.2%）よりも4.5ポイント高く、逆に「運動不足を解消するため」は女性（27.9%）のほうが男性（24.6%）よりも3.3ポイント、「肥満解消や美容のため」は女性（12.4%）のほうが男性（7.1%）よりも5.3ポイント高くなっている。

③年代別

「健康や体力の維持・増進のため」と「運動不足を解消するため」は60歳代で最も高くなっている。「気分転換、気晴らしのため」と「運動することが楽しい、おもしろい、好きだから」はおおむね年齢が低くなるほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「健康や体力の維持・増進のため」は男性60歳代（58.4%）と70歳以上（54.4%）、女性60歳代（52.1%）で5割を超えて高くなっている。「運動することが楽しい、おもしろい、好きだから」は男女とも20歳代で最も高く、「肥満解消や美容のため」は女性20歳代（25.2%）で特に高くなっている。

⑤職業別

「運動不足を解消するため」と「友人・仲間との交流のため」は無職（計）で高く、「気分転換、気晴らしのため」は逆に無職（計）（20.8%）で低くなっている。

⑥ライフステージ別

「健康や体力の維持・増進のため」は家族成長後期から高齢期で5割以上と高く、「気分転換、気晴らしのため」は独身期から家族成長前期で3割以上と高くなっている。「運動することが楽しい、おもしろい、好きだから」はおおむねライフステージが進むほど割合が低くなっている。

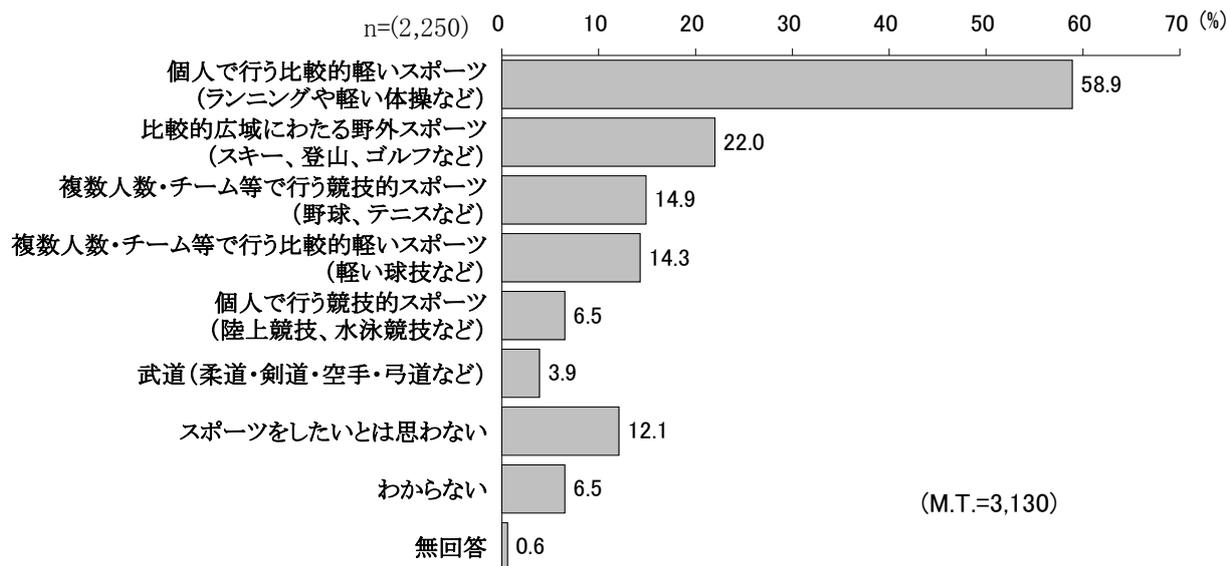
○スポーツやレクリエーション活動をする理由・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

	調査数	健康や体力の維持・増進のため	運動不足を解消するため	気分転換、気晴らしのため	友人・仲間との交流のため	おもしろい、好きだから	運動することが楽しい、	肥満解消や美容のため	家族とのふれあいのため	運動施設や場所が近くに	め	試合や大会への参加のため	精神修養や鍛錬のため	め	自己記録や能力向上のため	その他	ただ何となく、特に理由はない	していない	無回答
全体	2250	44.4	26.3	25.6	11.6	11.4	9.8	3.7	1.0	1.0	0.8	0.6	1.2	1.6	17.9	5.1			
地域別																			
南部地域	222	41.0	26.6	27.9	14.9	8.6	10.8	2.7	1.8	0.9	0.5	1.4	1.8	1.8	18.5	5.4			
南西部地域	198	38.9	29.8	32.3	10.6	12.6	6.6	5.6	-	0.5	1.5	-	0.5	1.5	18.7	3.0			
東部地域	318	44.7	26.1	21.1	8.8	12.3	7.5	2.5	0.6	0.6	0.9	0.3	0.3	1.6	21.7	6.6			
さいたま地域	367	42.8	28.1	27.2	11.7	12.8	8.2	4.4	1.6	0.5	0.8	0.5	0.8	0.5	17.2	7.4			
県央地域	193	47.2	23.3	27.5	9.8	10.4	9.8	3.1	2.6	2.6	0.5	0.5	2.6	1.6	15.5	3.1			
川越比企地域	275	47.6	28.4	26.2	12.7	11.3	9.5	3.3	0.4	1.1	0.7	0.4	1.5	0.7	16.4	5.1			
西部地域	247	47.0	26.7	23.9	11.7	13.8	12.6	3.2	-	1.2	1.2	-	1.6	2.4	15.0	5.7			
利根地域	197	40.6	23.4	24.9	14.2	10.7	7.1	4.1	0.5	1.5	-	1.0	1.0	3.0	22.8	4.1			
北部地域	191	48.7	22.0	21.5	13.1	7.9	17.3	4.2	1.0	1.0	1.6	1.6	1.6	2.6	16.2	3.1			
秩父地域	42	52.4	23.8	23.8	-	14.3	14.3	9.5	2.4	-	-	-	-	2.4	11.9	-			
性別																			
男性	1121	46.7	24.6	27.1	11.6	12.5	7.1	3.5	0.9	1.9	1.3	0.9	1.4	2.0	16.5	5.2			
女性	1129	42.2	27.9	24.2	11.6	10.4	12.4	4.0	1.1	0.2	0.4	0.3	1.0	1.3	19.3	5.0			
年代別																			
20歳代	229	31.4	20.5	33.6	10.0	20.5	16.2	3.5	0.4	3.1	1.7	0.9	2.6	2.2	15.7	2.2			
30歳代	389	30.1	24.7	33.9	10.3	13.9	12.9	6.2	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	2.1	17.5	4.6			
40歳代	386	46.6	26.7	30.6	11.7	12.2	10.6	6.7	1.3	0.8	0.8	0.5	0.5	1.3	13.2	4.1			
50歳代	393	47.3	27.5	24.9	11.2	9.4	12.0	3.1	1.5	0.8	0.8	0.5	1.0	1.8	15.8	5.6			
60歳代	515	55.1	31.1	19.8	11.5	8.3	6.8	1.4	0.8	1.0	0.4	0.4	1.2	1.6	18.8	5.8			
70歳以上	338	47.6	22.8	14.8	14.8	8.6	3.0	2.1	1.2	1.2	0.9	0.3	1.5	1.2	26.3	6.8			
性・年代別																			
男性・20歳代	114	35.1	17.5	29.8	11.4	22.8	7.0	1.8	0.9	5.3	3.5	0.9	3.5	3.5	15.8	2.6			
30歳代	189	30.2	18.0	34.9	12.7	15.9	7.9	4.2	-	0.5	1.6	2.1	1.1	3.2	20.1	5.3			
40歳代	200	47.0	24.5	34.0	12.5	14.5	5.5	7.5	1.0	1.5	1.0	0.5	1.0	1.0	12.0	5.0			
50歳代	188	46.8	26.6	22.9	13.3	9.6	11.7	3.7	1.1	1.6	1.6	1.1	0.5	2.1	12.2	7.4			
60歳代	250	58.4	30.4	24.8	8.0	8.4	7.6	1.6	1.2	1.6	-	0.4	2.0	2.0	17.2	4.8			
70歳以上	180	54.4	26.1	17.2	12.8	8.9	2.8	1.7	1.1	2.2	1.7	0.6	1.1	0.6	21.7	5.0			
女性・20歳代	115	27.8	23.5	37.4	8.7	18.3	25.2	5.2	-	0.9	-	0.9	1.7	0.9	15.7	1.7			
30歳代	200	30.0	31.0	33.0	8.0	12.0	17.5	8.0	1.0	-	0.5	-	1.0	1.0	15.0	4.0			
40歳代	186	46.2	29.0	26.9	10.8	9.7	16.1	5.9	1.6	-	0.5	0.5	-	1.6	14.5	3.2			
50歳代	205	47.8	28.3	26.8	9.3	9.3	12.2	2.4	2.0	-	-	-	1.5	1.5	19.0	3.9			
60歳代	265	52.1	31.7	15.1	14.7	8.3	6.0	1.1	0.4	0.4	0.8	0.4	0.4	1.1	20.4	6.8			
70歳以上	158	39.9	19.0	12.0	17.1	8.2	3.2	2.5	1.3	-	-	-	1.9	1.9	31.6	8.9			
職業別																			
自営業・家族従業(計)	241	45.2	22.0	27.0	7.5	10.8	10.8	2.5	0.4	0.8	-	1.7	0.8	1.7	17.0	7.9			
雇用者(計)	1188	43.0	25.2	28.7	10.9	13.0	10.9	4.7	0.8	1.2	1.1	0.5	1.3	1.6	17.2	4.2			
無職(計)	817	46.5	29.1	20.8	13.8	9.3	7.8	2.7	1.3	0.9	0.7	0.4	1.1	1.7	19.1	5.5			
ライフステージ別																			
独身期	305	30.2	22.0	31.1	10.5	18.0	16.1	1.6	0.7	2.0	2.3	1.6	2.3	2.6	17.7	3.3			
家族形成期	210	33.3	21.9	38.6	10.0	14.3	11.9	9.0	0.5	1.0	0.5	-	1.4	2.4	16.7	1.9			
家族成長前期	237	32.5	28.3	34.6	9.7	14.3	9.7	11.0	0.4	0.8	0.8	0.4	0.4	1.3	12.7	4.6			
家族成長後期	190	56.3	30.0	23.7	11.1	12.1	12.1	5.3	2.6	1.1	1.1	-	0.5	-	13.2	4.2			
家族成熟期	458	53.9	29.9	24.0	10.3	9.8	11.1	1.7	0.9	0.9	0.4	0.4	1.3	0.7	16.2	5.9			
高齢期	536	51.5	27.1	16.8	15.5	8.0	4.5	1.7	0.9	1.1	0.2	0.4	1.3	1.5	21.8	6.2			
その他	314	41.7	22.9	23.6	10.8	8.6	8.0	2.2	1.3	0.3	1.3	1.0	0.6	3.2	21.7	6.7			

(4) 関わろうと思うスポーツの分類

◇「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」が58.9%

問14 あなたは、どのようにスポーツと関わっていきたいと思っていますか。現在関わっているスポーツを含めて、関わろうと思うスポーツの分類を次の中から2つまで選んでください。あなたの主観的な考えで結構です。



関わろうと思うスポーツの分類は、「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」（58.9%）が5割半ばを超えて最も高く、次いで「比較的広域にわたる野外スポーツ（スキー、登山、ゴルフなど）」（22.0%）、「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」（14.9%）、「複数人数・チーム等で行う比較的軽いスポーツ（軽い球技など）」（14.3%）、「個人で行う競技的スポーツ（陸上競技、水泳競技など）」（6.5%）の順となっている。また、「スポーツをしたいとは思わない」（12.1%）が1割強となっている。

【属性別比較】

①地域別

「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」は北部地域（66.0%）で高く、南西部地域（50.0%）で比較的低くなっている。「比較的広域にわたる野外スポーツ（スキー、登山、ゴルフなど）」は秩父地域（33.3%）で高く、南部地域（18.5%）、さいたま地域（17.7%）で2割未満と低くなっている。「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」はさいたま地域（20.4%）で高く、北部地域（8.4%）、秩父地域（4.8%）で1割未満と低くなっている。

②性別

「比較的広域にわたる野外スポーツ（スキー、登山、ゴルフなど）」は男性（27.0%）のほうが女性（16.9%）よりも10.1ポイント、「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」は男性（21.1%）のほうが女性（8.9%）よりも12.2ポイント高く、逆に「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」は女性（63.7%）のほうが男性（54.1%）よりも9.6ポイント、「複数人数・チーム等で行う比較的軽いスポーツ（軽い球技など）」は女性（18.2%）のほうが男性（10.3%）よりも7.9ポイント高くなっている。

③年代別

「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」は40歳代から60歳代で6割以上と高く、「スポーツをしたいとは思わない」は70歳以上（29.3%）で最も高くなっている。「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」は女性40歳代（79.0%）と50歳代（71.7%）で7割以上と高く、「比較的広域にわたる野外スポーツ（スキー、登山、ゴルフなど）」は男性30歳代（32.8%）と40歳代（31.0%）、女性20歳代（31.3%）で3割以上と高くなっている。「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」は男性20歳代（47.4%）で最も高く、「スポーツをしたいとは思わない」は女性70歳以上（37.3%）で最も高くなっている。

⑤職業別

「比較的広域にわたる野外スポーツ（スキー、登山、ゴルフなど）」は無職（計）（16.0%）で低く、「スポーツをしたいとは思わない」は雇用者（計）（8.5%）で1割未満と低くなっている。「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」は雇用者（計）（20.3%）で約2割と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニングや軽い体操など）」は家族成長後期（68.9%）、家族成熟期（68.6%）で7割弱と高く、独身期（48.5%）で5割弱と比較的低くなっている。「複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、テニスなど）」はライフステージが進むほど割合が低くなっている。

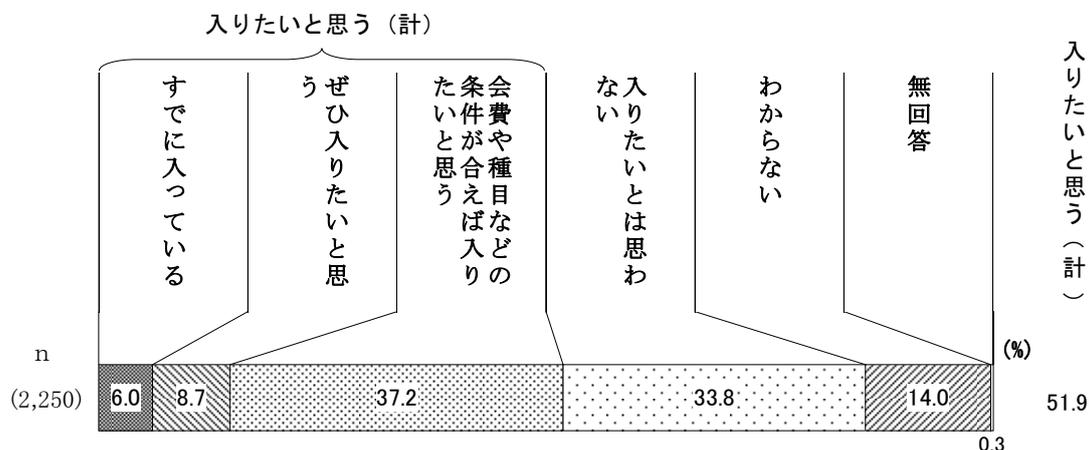
○関わろうと思うスポーツの分類・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	個人で行う比較の軽いスポーツ (ランニングや軽い体操など)	比較的広域にわたる野外スポーツ (スキー、登山、ゴルフなど)	複数人数・チーム等で行う競技的 スポーツ(野球、テニスなど)	複数人数・チーム等で行う比較的 軽いスポーツ(軽い球技など)	個人で行う競技的スポーツ(陸上 競技、水泳競技など)	武道(柔道・剣道・空手・弓道な ど)	スポーツをしたとは思わない	わからない	無回答
全体	2250	58.9	22.0	14.9	14.3	6.5	3.9	12.1	6.5	0.6
地域別										
南部地域	222	58.6	18.5	13.1	9.0	7.7	2.7	10.8	10.8	1.4
南西部地域	198	50.0	23.7	16.2	15.7	7.1	6.1	14.6	6.1	-
東部地域	318	57.9	20.8	13.8	16.4	5.7	4.4	14.8	5.3	0.6
さいたま地域	367	58.9	17.7	20.4	14.2	7.9	3.8	10.9	6.0	0.8
県央地域	193	61.7	25.4	16.1	13.5	7.3	2.6	8.3	5.7	-
川越比企地域	275	60.7	25.1	14.9	12.4	6.2	4.0	12.7	6.5	0.4
西部地域	247	59.9	21.9	14.6	15.4	5.3	2.8	14.2	4.0	-
利根地域	197	55.3	23.4	15.2	15.7	5.6	3.0	14.2	8.6	1.0
北部地域	191	66.0	22.5	8.4	17.8	5.2	4.7	8.9	5.2	1.0
秩父地域	42	64.3	33.3	4.8	9.5	7.1	7.1	4.8	14.3	-
性別										
男性	1121	54.1	27.0	21.1	10.3	6.0	5.5	11.2	6.2	0.4
女性	1129	63.7	16.9	8.9	18.2	7.0	2.2	13.1	6.9	0.7
年代別										
20歳代	229	44.5	25.3	33.2	14.8	10.0	7.9	7.9	5.2	-
30歳代	389	52.7	28.0	22.4	12.9	6.2	6.7	8.2	6.7	0.3
40歳代	386	67.1	25.4	18.4	12.2	7.3	4.9	4.9	4.7	-
50歳代	393	64.9	21.9	14.0	15.0	6.4	2.8	8.7	5.3	1.0
60歳代	515	67.4	20.6	6.2	15.1	6.6	1.7	13.8	5.6	0.6
70歳以上	338	46.4	10.9	4.4	16.0	3.6	1.2	29.3	12.1	1.5
性・年代別										
男性・20歳代	114	36.0	19.3	47.4	10.5	10.5	9.6	8.8	4.4	-
30歳代	189	45.5	32.8	30.2	7.9	4.2	10.1	9.5	5.8	-
40歳代	200	56.0	31.0	26.5	6.0	7.5	7.5	6.0	5.0	-
50歳代	188	57.4	29.8	19.7	13.8	6.4	4.8	5.9	6.9	0.5
60歳代	250	67.2	29.2	8.0	10.4	4.8	2.0	13.6	3.6	1.2
70歳以上	180	50.6	15.6	8.3	13.9	4.4	1.7	22.2	11.7	0.6
女性・20歳代	115	53.0	31.3	19.1	19.1	9.6	6.1	7.0	6.1	-
30歳代	200	59.5	23.5	15.0	17.5	8.0	3.5	7.0	7.5	0.5
40歳代	186	79.0	19.4	9.7	18.8	7.0	2.2	3.8	4.3	-
50歳代	205	71.7	14.6	8.8	16.1	6.3	1.0	11.2	3.9	1.5
60歳代	265	67.5	12.5	4.5	19.6	8.3	1.5	14.0	7.5	-
70歳以上	158	41.8	5.7	-	18.4	2.5	0.6	37.3	12.7	2.5
職業別										
自営業・家族従業(計)	241	59.3	23.2	7.9	11.2	7.9	4.1	13.7	5.0	1.7
雇用者(計)	1188	58.2	25.8	20.3	13.0	6.4	5.1	8.5	5.6	0.3
無職(計)	817	59.9	16.0	9.3	17.1	6.2	2.1	16.9	8.2	0.7
ライフステージ別										
独身期	305	48.5	26.6	28.2	12.1	7.9	8.5	8.2	6.2	0.3
家族形成期	210	51.9	27.1	23.8	16.2	8.6	5.7	7.1	5.7	0.5
家族成長前期	237	58.2	27.4	22.8	11.8	6.3	7.2	5.9	5.5	-
家族成長後期	190	68.9	26.3	17.9	11.1	5.8	4.2	2.6	5.8	-
家族成熟期	458	68.6	20.5	10.5	14.6	7.0	1.5	11.6	3.9	0.7
高齢期	536	56.9	15.5	5.6	17.7	4.9	1.3	21.5	8.0	1.1
その他	314	57.3	20.4	10.8	12.7	6.4	3.2	14.6	9.9	0.6

(5) 総合型地域スポーツクラブへの入会意向

◇『入りたいと思う（計）』が51.9%

問15 あなたは、総合型地域スポーツクラブが身近にあれば入りたいと思いますか。



総合型地域スポーツクラブへの入会意向は、「会費や種目などの条件が合えば入りたいと思う」(37.2%) が3割半ばを超えて最も高く、これに「ぜひ入りたいと思う」(8.7%) と「すでに入っている」(6.0%) を合わせた『入りたいと思う（計）』は51.9%となっている。一方、「入りたいとは思わない」は33.8%、「わからない」は14.0%である。

【属性別比較】

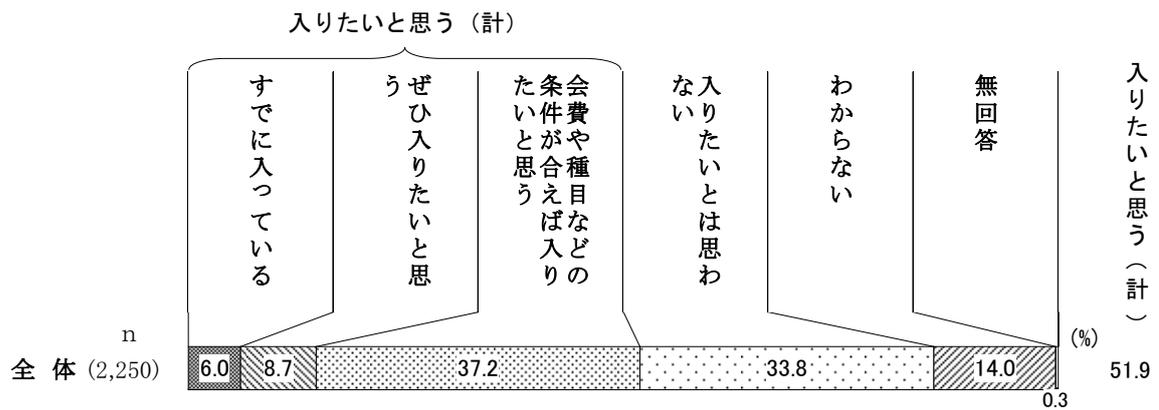
①性別

性別では大きな差はみられない。

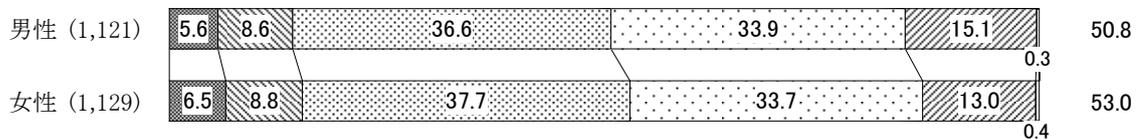
②年代別

『入りたいと思う（計）』は40歳代までは6割弱、それ以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。「すでに入っている」は60歳代（8.5%）と70歳以上（9.2%）で1割弱と比較的高くなっている。

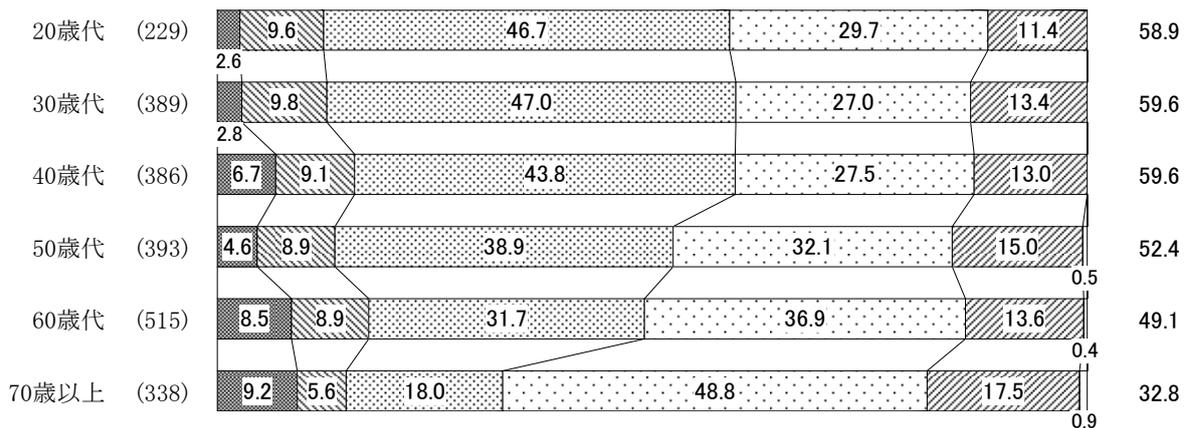
○総合型地域スポーツクラブへの入会意向・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

「すでに入っている」は南西部地域（8.6%）、西部地域（8.5%）で比較的高く、「ぜひ入りたいと思う」は東部地域（13.5%）、県央地域（14.0%）、秩父地域（14.3%）で1割を超えて高くなっている。

④性・年代別

『入りたいと思う（計）』は男性30歳代（60.3%）、女性20歳代（64.3%）と40歳代（64.5%）で6割を超えて高くなっている。「すでに入っている」は男性70歳以上（12.2%）、女性60歳代（11.3%）で1割以上と比較的高くなっている。

⑤職業別

『入りたいと思う（計）』は無職（計）（45.5%）で低く、「会費や種目などの条件が合えば入りたいと思う」は雇用者（計）（43.5%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『入りたいと思う（計）』は家族形成期（67.7%）、家族成長後期（63.2%）で高く、高齢期（42.5%）、その他（45.2%）で低くなっている。

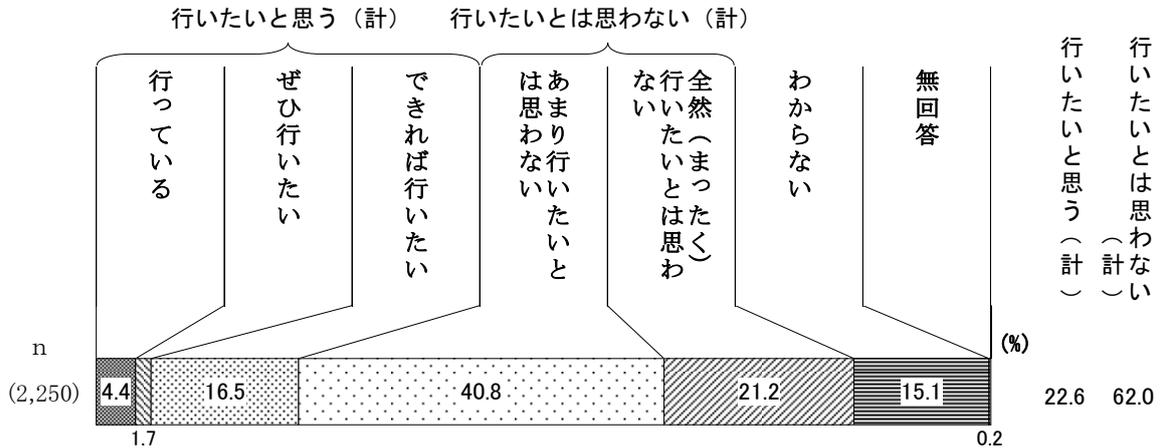
○総合型地域スポーツクラブへの入会意向・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	すでに入っている	ぜひ入りたいと思う	入りたいと思う	会費や種目などが合えば	入りたいとは思わない	わからない	無回答	（計）入りたいと思う
全体	2250	6.0	8.7	37.2	33.8	14.0	0.3		51.9
地域別									
南部地域	222	6.8	4.5	34.2	36.5	17.6	0.5		45.5
南西部地域	198	8.6	7.1	33.8	36.4	13.1	1.0		49.5
東部地域	318	5.7	13.5	32.4	39.6	8.8	-		51.6
さいたま地域	367	4.1	6.3	43.3	33.5	12.5	0.3		53.7
県央地域	193	6.7	14.0	30.6	30.1	18.7	-		51.3
川越比企地域	275	6.5	6.2	41.5	30.5	15.3	-		54.2
西部地域	247	8.5	8.5	38.5	27.9	15.8	0.8		55.5
利根地域	197	4.6	9.1	35.5	38.1	12.2	0.5		49.2
北部地域	191	4.7	8.4	41.9	29.3	15.7	-		55.0
秩父地域	42	2.4	14.3	31.0	38.1	14.3	-		47.7
性・年代別									
男性・20歳代	114	2.6	8.8	42.1	35.1	11.4	-		53.5
30歳代	189	2.6	9.0	48.7	28.6	11.1	-		60.3
40歳代	200	6.5	9.5	39.0	30.0	15.0	-		55.0
50歳代	188	3.2	9.0	39.9	29.3	18.1	0.5		52.1
60歳代	250	5.6	9.2	32.8	35.6	16.0	0.8		47.6
70歳以上	180	12.2	5.6	19.4	45.6	17.2	-		37.2
女性・20歳代	115	2.6	10.4	51.3	24.3	11.3	-		64.3
30歳代	200	3.0	10.5	45.5	25.5	15.5	-		59.0
40歳代	186	7.0	8.6	48.9	24.7	10.8	-		64.5
50歳代	205	5.9	8.8	38.0	34.6	12.2	0.5		52.7
60歳代	265	11.3	8.7	30.6	38.1	11.3	-		50.6
70歳以上	158	5.7	5.7	16.5	52.5	17.7	1.9		27.9
職業別									
自営業・家族従業（計）	241	7.9	10.8	32.0	38.6	10.0	0.8		50.7
雇用者（計）	1188	4.0	9.1	43.5	29.1	14.1	0.1		56.6
無職（計）	817	8.4	7.5	29.6	39.0	15.1	0.4		45.5
ライフステージ別									
独身期	305	2.6	8.2	43.6	30.8	14.8	-		54.4
家族形成期	210	1.9	14.8	51.0	24.8	7.6	-		67.7
家族成長前期	237	4.6	9.3	43.9	27.8	14.3	-		57.8
家族成長後期	190	7.4	5.3	50.5	22.6	14.2	-		63.2
家族成熟期	458	6.8	10.5	33.4	33.8	15.1	0.4		50.7
高齢期	536	9.7	7.6	25.2	42.4	14.6	0.6		42.5
その他	314	5.1	5.7	34.4	39.2	15.0	0.6		45.2

(6) スポーツボランティア活動への参加意向

◇『行きたいと思う(計)』は22.6%

問16 あなたは、スポーツの指導やイベントへの協力(地域の運動会なども含む)など、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。



スポーツボランティア活動への参加意向は、「あまり行きたいとは思わない」(40.8%)が4割で最も高く、これに「全然(まったく)行きたいとは思わない」(21.2%)を合わせた『行きたいとは思わない(計)』は62.0%となっている。一方、「行っている」(4.4%)、「ぜひ行きたい」(1.7%)、「できれば行きたい」(16.5%)を合わせた『行きたいと思う(計)』は22.6%、「わからない」は15.1%である。

【属性別比較】

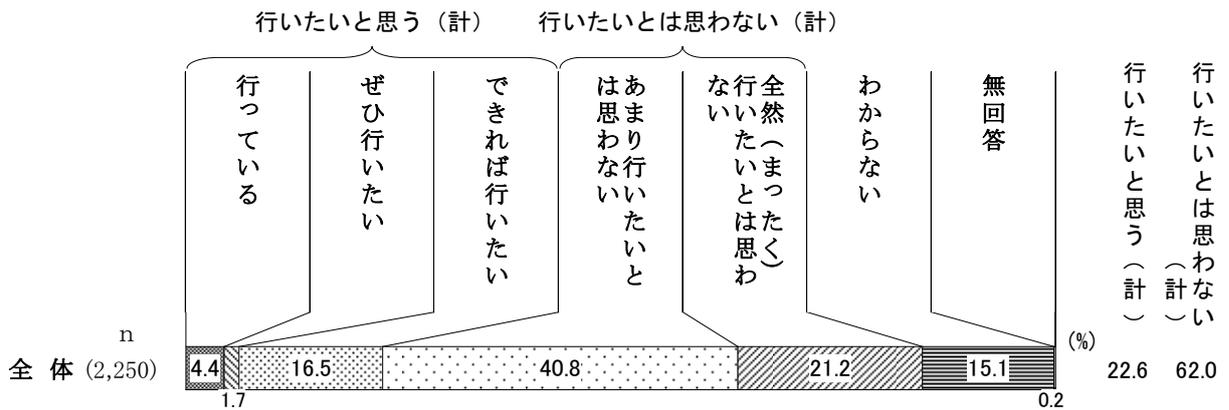
①性別

性別にみると、『行きたいと思う（計）』は男性（26.3%）のほうが女性（19.1%）よりも7.2ポイント高くなっている。

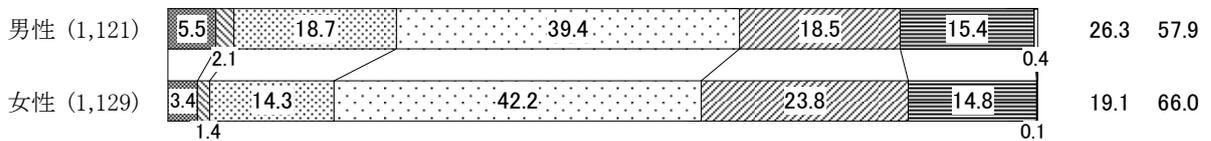
②年代別

年代別では30歳代の『行きたいと思う（計）』（16.2%）がほかの年代に比べ低くなっている。

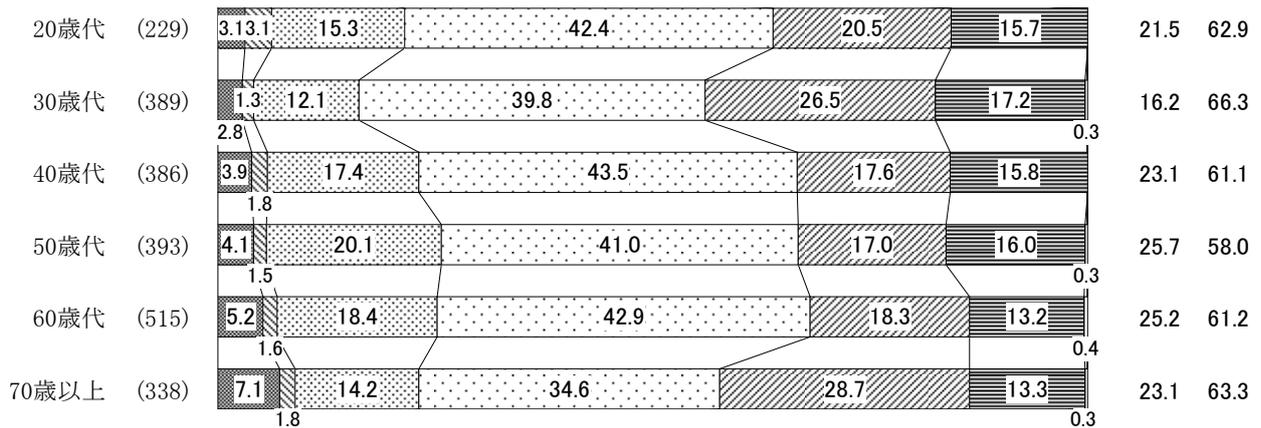
○スポーツボランティア活動への参加意向・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『行いたいと思う（計）』は秩父地域（26.3%）で最も高く、南部地域（18.1%）で最も低くなっている。

④性・年代別

『行いたいと思う（計）』は男性50歳代（29.2%）と60歳代（28.4%）で3割弱と高く、女性30歳代（12.0%）で低くなっている。

⑤職業別

「あまり行いたいとは思わない」は自営業・家族従業（計）（46.1%）で高く、「全然（まったく）行いたいとは思わない」は無職（計）（23.6%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

『行いたいと思う（計）』は家族成熟期（26.7%）、高齢期（25.4%）で高く、独身期（18.4%）で低くなっている。

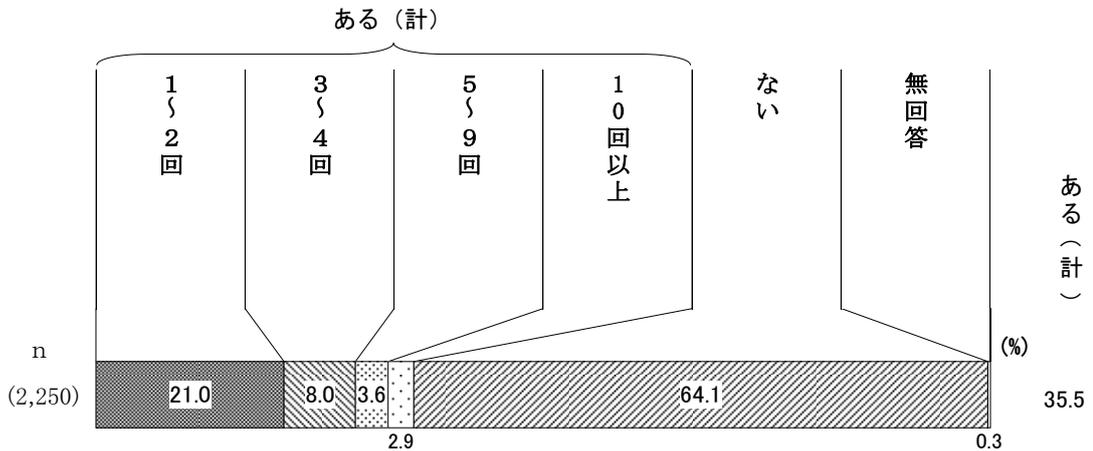
○スポーツボランティア活動への参加意向・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	行っている	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたいとは思わない	全然（まったく）行いたいとは思わない	わからない	無回答	（計） 行いたいと思う	（計） 行いたいとは思わない
全体	2250	4.4	1.7	16.5	40.8	21.2	15.1	0.2	22.6	62.0
地域別										
南部地域	222	4.5	2.3	11.3	34.7	23.0	23.4	0.9	18.1	57.7
南西部地域	198	4.0	2.0	17.2	35.9	27.3	13.6	-	23.2	63.2
東部地域	318	4.7	1.6	17.9	41.5	23.9	10.4	-	24.2	65.4
さいたま地域	367	3.8	2.2	14.7	39.5	26.2	13.4	0.3	20.7	65.7
県央地域	193	4.1	1.0	16.1	43.0	20.7	15.0	-	21.2	63.7
川越比企地域	275	5.8	1.8	20.0	41.5	14.2	16.7	-	27.6	55.7
西部地域	247	3.2	2.4	16.2	42.9	21.5	13.4	0.4	21.8	64.4
利根地域	197	5.6	0.5	16.2	45.2	16.8	15.2	0.5	22.3	62.0
北部地域	191	4.2	0.5	18.8	45.5	14.1	16.8	-	23.5	59.6
秩父地域	42	4.8	4.8	16.7	35.7	16.7	21.4	-	26.3	52.4
性・年代別										
男性・20歳代	114	5.3	2.6	16.7	36.0	21.9	17.5	-	24.6	57.9
30歳代	189	3.2	2.1	15.3	35.4	23.8	19.6	0.5	20.6	59.2
40歳代	200	4.5	2.5	19.0	41.0	16.5	16.5	-	26.0	57.5
50歳代	188	5.3	2.1	21.8	43.1	12.8	14.4	0.5	29.2	55.9
60歳代	250	5.6	2.0	20.8	42.4	14.4	14.0	0.8	28.4	56.8
70歳以上	180	9.4	1.1	17.2	36.1	24.4	11.7	-	27.7	60.5
女性・20歳代	115	0.9	3.5	13.9	48.7	19.1	13.9	-	18.3	67.8
30歳代	200	2.5	0.5	9.0	44.0	29.0	15.0	-	12.0	73.0
40歳代	186	3.2	1.1	15.6	46.2	18.8	15.1	-	19.9	65.0
50歳代	205	2.9	1.0	18.5	39.0	21.0	17.6	-	22.4	60.0
60歳代	265	4.9	1.1	16.2	43.4	21.9	12.5	-	22.2	65.3
70歳以上	158	4.4	2.5	10.8	32.9	33.5	15.2	0.6	17.7	66.4
職業別										
自営業・家族従業（計）	241	4.1	1.7	17.4	46.1	18.7	11.6	0.4	23.2	64.8
雇用者（計）	1188	4.0	1.9	16.3	41.2	19.9	16.6	0.1	22.2	61.1
無職（計）	817	5.1	1.6	16.5	38.8	23.6	14.0	0.4	23.2	62.4
ライフステージ別										
独身期	305	2.6	2.0	13.8	38.7	26.9	15.7	0.3	18.4	65.6
家族形成期	210	2.9	1.9	15.2	39.5	23.3	17.1	-	20.0	62.8
家族成長前期	237	6.3	1.3	13.1	46.4	16.0	16.9	-	20.7	62.4
家族成長後期	190	4.2	1.6	17.4	46.3	13.7	16.8	-	23.2	60.0
家族成熟期	458	5.5	1.3	19.9	42.8	16.6	13.8	0.2	26.7	59.4
高齢期	536	5.8	2.4	17.2	37.7	24.3	12.5	0.2	25.4	62.0
その他	314	2.2	1.3	15.9	38.9	23.9	17.2	0.6	19.4	62.8

(7) スポーツ観戦の機会

◇『ある(計)』は35.5%

問17 あなたは、過去1年間に、スポーツの試合や大会(プロスポーツ等を含む)を直接、競技会場等へ観に行く機会がどのくらいありましたか。



過去1年間のスポーツ観戦の機会は、「1~2回」(21.0%)、「3~4回」(8.0%)、「5~9回」(3.6%)、「10回以上」(2.9%)の順となっている。『ある(計)』(35.5%)は、3割半ばとなっている。また、「ない」の割合は64.1%で最も高くなっている。

【属性別比較】

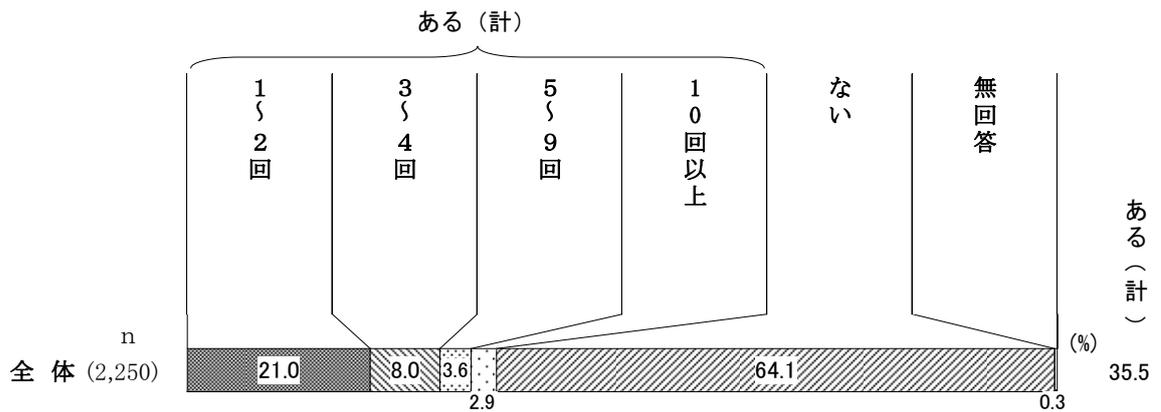
①性別

性別にみると、『ある（計）』は男性（42.9%）のほうが女性（28.4%）よりも14.5ポイント高くなっている。

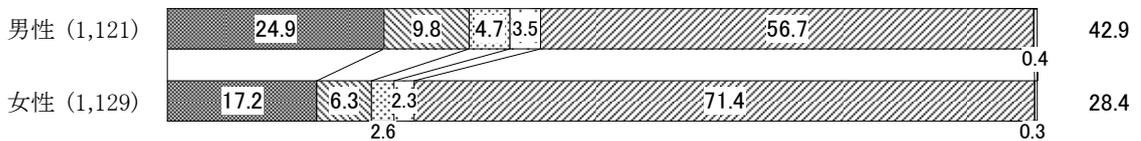
②年代別

年代別にみると、『ある（計）』は、40歳代（42.8%）で最も高く、70歳以上（26.1%）で低くなっている。

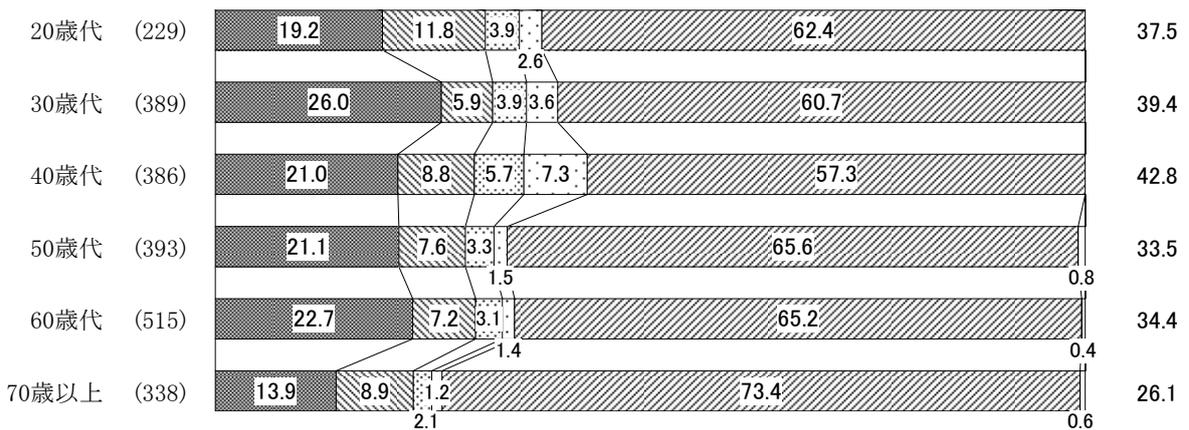
○スポーツ観戦の機会・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『ある（計）』は県央地域（41.0%）で高く、秩父地域（23.8%）で低くなっている。

④性・年代別

『ある（計）』は男性20歳代から60歳代と女性40歳代で4割を超えて高く、女性70歳以上（17.1%）で低くなっている。

⑤職業別

『ある（計）』は雇用者（計）（39.7%）で4割弱となっている。

⑥ライフステージ別

『ある（計）』は家族成長前期（50.2%）で高く、家族形成期（30.0%）、高齢期（30.2%）、その他（29.0%）で低くなっている。

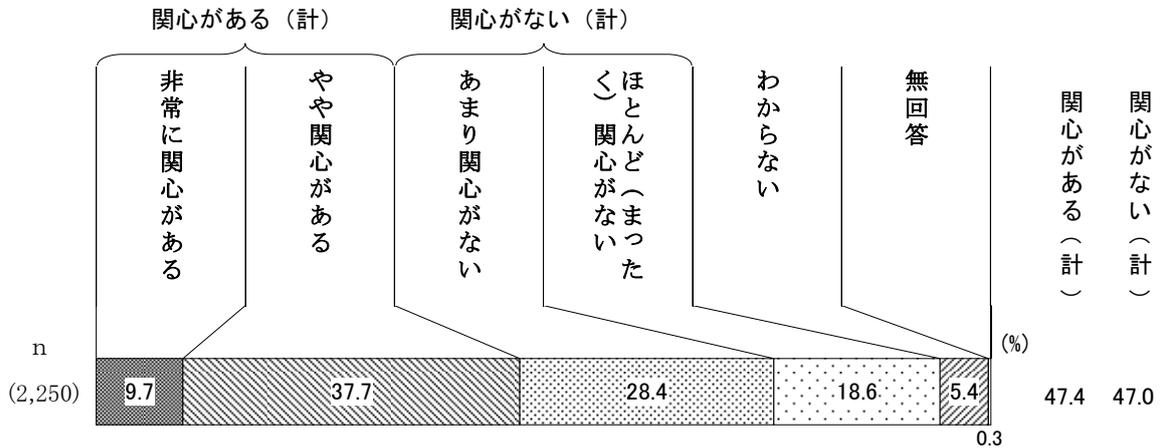
○スポーツ観戦の機会・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	1 ～ 2 回	3 ～ 4 回	5 ～ 9 回	1 0 回 以上	ない	無 回 答	ある （計）
全 体	2250	21.0	8.0	3.6	2.9	64.1	0.3	35.5
地域別								
南部地域	222	21.6	6.8	4.5	1.8	64.9	0.5	34.7
南西部地域	198	20.2	10.1	2.5	4.0	63.1	-	36.8
東部地域	318	18.6	8.2	4.1	1.9	67.3	-	32.8
さいたま地域	367	20.4	7.9	4.4	5.2	61.6	0.5	37.9
県央地域	193	25.4	7.8	5.7	2.1	58.5	0.5	41.0
川越比企地域	275	21.5	8.0	1.1	2.5	66.5	0.4	33.1
西部地域	247	19.0	11.7	4.9	2.4	61.1	0.8	38.0
利根地域	197	18.3	5.1	4.1	3.0	69.5	-	30.5
北部地域	191	28.8	6.3	1.6	2.1	61.3	-	38.8
秩父地域	42	11.9	7.1	2.4	2.4	76.2	-	23.8
性・年代別								
男性・20歳代	114	23.7	15.8	5.3	4.4	50.9	-	49.2
30歳代	189	29.6	7.4	6.3	4.2	52.4	-	47.5
40歳代	200	24.0	7.0	6.0	6.0	57.0	-	43.0
50歳代	188	26.1	10.1	3.7	2.7	56.4	1.1	42.6
60歳代	250	28.0	9.2	4.0	2.0	56.0	0.8	43.2
70歳以上	180	16.1	12.2	3.3	2.2	66.1	-	33.8
女性・20歳代	115	14.8	7.8	2.6	0.9	73.9	-	26.1
30歳代	200	22.5	4.5	1.5	3.0	68.5	-	31.5
40歳代	186	17.7	10.8	5.4	8.6	57.5	-	42.5
50歳代	205	16.6	5.4	2.9	0.5	74.1	0.5	25.4
60歳代	265	17.7	5.3	2.3	0.8	74.0	-	26.1
70歳以上	158	11.4	5.1	0.6	-	81.6	1.3	17.1
職業別								
自営業・家族従業（計）	241	19.9	7.1	5.4	2.5	64.3	0.8	34.9
雇用者（計）	1188	23.6	8.4	4.0	3.7	60.2	0.2	39.7
無職（計）	817	17.7	7.8	2.6	1.8	69.6	0.4	29.9
ライフステージ別								
独身期	305	23.3	11.8	3.0	2.6	59.3	-	40.7
家族形成期	210	20.5	3.3	4.3	1.9	70.0	-	30.0
家族成長前期	237	27.4	7.6	6.8	8.4	49.4	0.4	50.2
家族成長後期	190	20.5	11.1	7.4	6.8	53.7	0.5	45.8
家族成熟期	458	21.8	7.6	2.2	2.2	65.9	0.2	33.8
高齢期	536	17.7	8.4	3.4	0.7	69.4	0.4	30.2
その他	314	19.1	6.1	1.9	1.9	70.4	0.6	29.0

(8) 本県のチームや選手の活躍に対する関心

◇『関心がある(計)』は47.4%

問18 あなたは、プロスポーツや国民体育大会等での、本県のチームや選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。



本県のチームや選手の活躍に対する関心は、「やや関心がある」(37.7%)が3割半ばを超えて最も高く、これに「非常に関心がある」(9.7%)を合わせた『関心がある(計)』は47.4%である。一方、「あまり関心がない」(28.4%)と「ほとんど(まったく)関心がない」(18.6%)を合わせた『関心がない(計)』は47.0%で『関心がある(計)』とほぼ同率である。

【属性別比較】

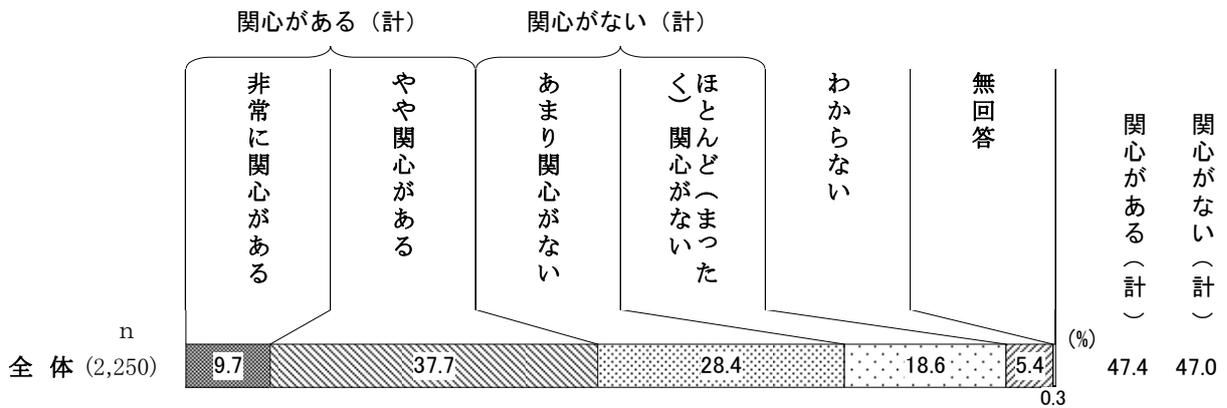
①性別

性別にみると、『関心がある（計）』は男性（53.4%）のほうが女性（41.4%）よりも12.0ポイント高くなっている。

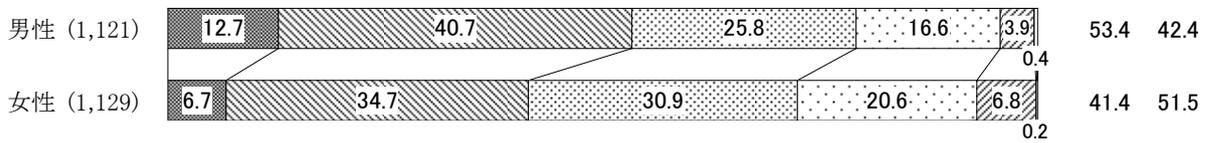
②年代別

年代別にみると、おおむね年齢が高くなるほど『関心がある（計）』の割合が高く、60歳代以上では『関心がある（計）』が『関心がない（計）』を上回っている。

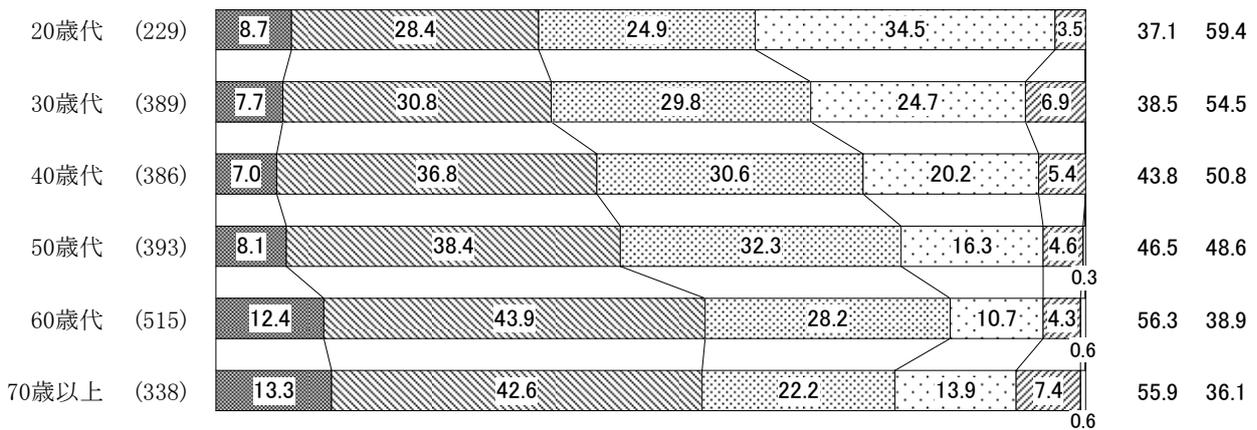
○本県のチームや選手の活躍に対する関心・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『関心がある(計)』と『関心がない(計)』を比較すると、さいたま地域では9.9ポイント、東部地域では5.0ポイント『関心がある(計)』が高く、逆に南西部地域と西部地域では8.1ポイント『関心がない(計)』が高くなっている。

④性・年代別

『関心がある(計)』が男性60歳代(61.6%)では27.2ポイント、男性70歳以上(62.2%)では29.4ポイント高く、逆に『関心がない(計)』が女性20歳代(69.6%)では41.0ポイント、女性30歳代(62.0%)では34.5ポイント高くなっている。

⑤職業別

無職(計)で『関心がある(計)』(49.4%)が5.4ポイント高く、ほかの職業より関心が高くなっている。

⑥ライフステージ別

独身期から家族成長前期では『関心がない(計)』が高く、逆に家族成長後期から高齢期では『関心がある(計)』が上回っている。

○本県のチームや選手の活躍に対する関心・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

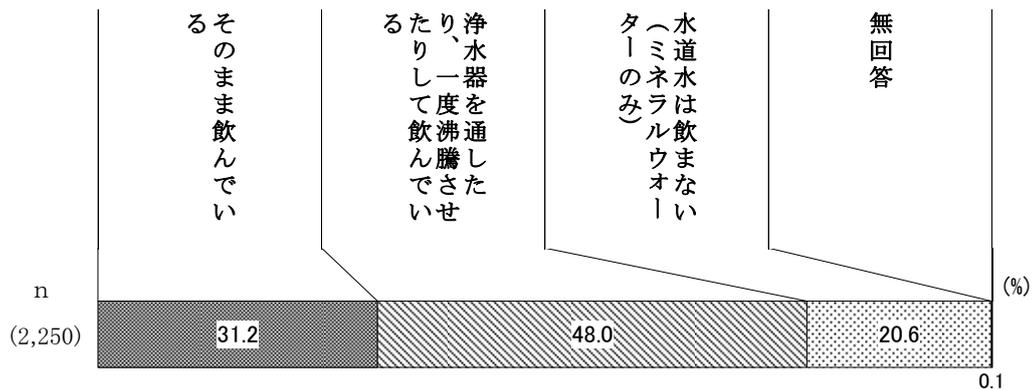
	調査数	非常に関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない(まったく)	わからない	無回答	関心がある(計)	関心がない(計)
全体	2250	9.7	37.7	28.4	18.6	5.4	0.3	47.4	47.0
地域別									
南部地域	222	5.4	36.5	22.5	25.7	9.5	0.5	41.9	48.2
南西部地域	198	9.1	34.8	33.8	18.2	4.0	-	43.9	52.0
東部地域	318	11.6	37.7	26.4	17.9	6.0	0.3	49.3	44.3
さいたま地域	367	10.1	43.1	19.3	24.0	3.0	0.5	53.2	43.3
県央地域	193	14.5	35.2	33.7	11.4	4.7	0.5	49.7	45.1
川越比企地域	275	9.5	39.3	33.5	11.6	6.2	-	48.8	45.1
西部地域	247	8.9	34.4	31.6	19.8	4.9	0.4	43.3	51.4
利根地域	197	7.6	37.1	32.0	18.3	5.1	-	44.7	50.3
北部地域	191	9.4	37.7	28.8	17.3	6.8	-	47.1	46.1
秩父地域	42	11.9	33.3	31.0	21.4	2.4	-	45.2	52.4
性・年代別									
男性・20歳代	114	13.2	32.5	22.8	26.3	5.3	-	45.7	49.1
30歳代	189	11.6	38.6	23.8	22.8	3.2	-	50.2	46.6
40歳代	200	8.0	37.0	30.5	19.5	5.0	-	45.0	50.0
50歳代	188	10.6	39.9	30.9	14.9	3.2	0.5	50.5	45.8
60歳代	250	14.4	47.2	24.4	10.0	3.2	0.8	61.6	34.4
70歳以上	180	18.3	43.9	21.1	11.7	4.4	0.6	62.2	32.8
女性・20歳代	115	4.3	24.3	27.0	42.6	1.7	-	28.6	69.6
30歳代	200	4.0	23.5	35.5	26.5	10.5	-	27.5	62.0
40歳代	186	5.9	36.6	30.6	21.0	5.9	-	42.5	51.6
50歳代	205	5.9	37.1	33.7	17.6	5.9	-	43.0	51.3
60歳代	265	10.6	40.8	31.7	11.3	5.3	0.4	51.4	43.0
70歳以上	158	7.6	41.1	23.4	16.5	10.8	0.6	48.7	39.9
職業別									
自営業・家族従業(計)	241	12.0	35.3	30.7	19.1	2.9	-	47.3	49.8
雇用者(計)	1188	8.9	37.1	28.5	19.9	5.4	0.2	46.0	48.4
無職(計)	817	10.2	39.2	27.4	16.6	6.1	0.5	49.4	44.0
ライフステージ別									
独身期	305	10.5	27.9	29.2	29.2	3.3	-	38.4	58.4
家族形成期	210	6.7	32.9	23.3	28.1	9.0	-	39.6	51.4
家族成長前期	237	6.8	29.5	35.4	23.6	4.6	-	36.3	59.0
家族成長後期	190	7.9	43.2	32.1	11.6	5.3	-	51.1	43.7
家族成熟期	458	8.7	40.2	32.5	14.6	3.7	0.2	48.9	47.1
高齢期	536	14.0	44.8	22.8	11.2	6.7	0.6	58.8	34.0
その他	314	8.3	37.6	26.8	21.0	5.7	0.6	45.9	47.8

4 水道の未来づくり

(1) 水道水の飲み方

◇「浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる」が48.0%

問19 あなたは普段、水道水をどのようにして飲んでいますか。最も多いものを一つ選んでください。



水道水の飲み方は、「浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる」(48.0%)、「そのまま飲んでいる」(31.2%)、「水道水は飲まない(ミネラルウォーターのみ)」(20.6%) となっている。

【属性別比較】

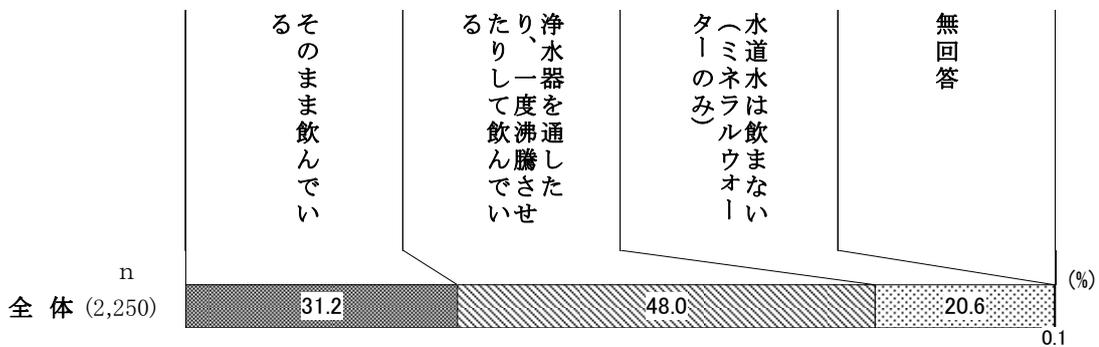
①性別

性別にみると、「そのまま飲んでいる」は男性（35.6%）のほうが女性（26.8%）よりも8.8ポイント高く、逆に「浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる」は女性（51.3%）のほうが男性（44.8%）よりも6.5ポイント高くなっている。

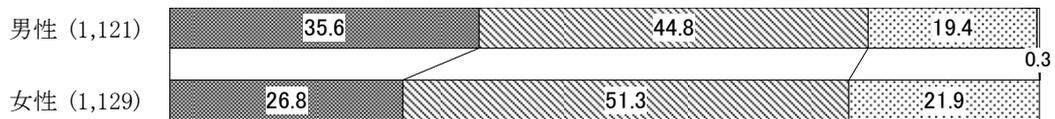
②年代別

年代別にみると、30歳代以降、年齢が高くなるほど「そのまま飲んでいる」の割合が高くなっている。また、年齢が低くなるほど「水道水は飲まない（ミネラルウォーターのみ）」の割合がおおむね高くなっており、20歳代（34.1%）で特に高くなっている。

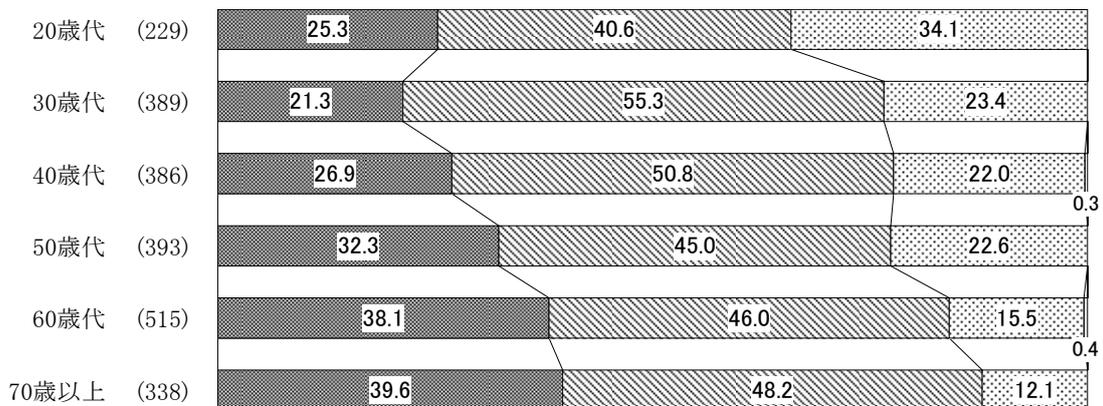
○水道水の飲み方・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

「そのまま飲んでいる」は秩父地域（61.9%）、北部地域（47.1%）で高く、南部地域（24.3%）で最も低くなっている。「浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる」は東部地域（55.7%）、さいたま地域（51.8%）、利根地域（52.8%）で高くなっている。

④性・年代別

「そのまま飲んでいる」は男性60歳代（46.4%）と70歳以上（42.8%）で4割を超えて高くなっている。「浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる」は女性30歳代（62.0%）で6割を超えて高くなっている。「水道水は飲まない（ミネラルウォーターのみ）」は男女とも20歳代で3割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「そのまま飲んでいる」は自営業・家族従業（計）（36.1%）で最も高く、「水道水は飲まない（ミネラルウォーターのみ）」は雇用者（計）（24.1%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「そのまま飲んでいる」は家族形成期以降、ライフステージが進むにつれ割合が高くなっている。「浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる」は家族形成期から家族成長後期で5割半ばを超えている。

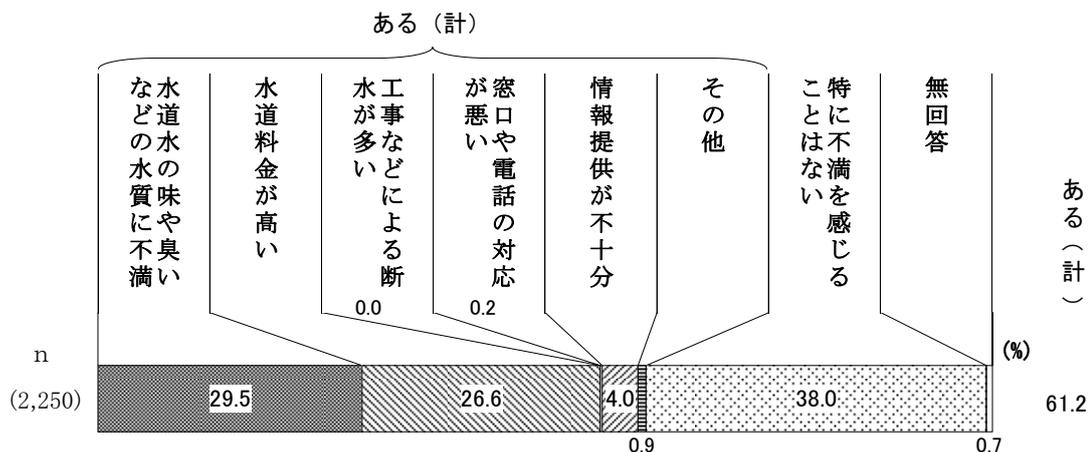
○水道水の飲み方・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	そのまま飲んでいる	浄水器を通したり、一度沸騰させて飲んでいる	水道水は飲まない（ミネラルウォーターのみ）	無回答
全体	2250	31.2	48.0	20.6	0.1
地域別					
南部地域	222	24.3	49.5	25.7	0.5
南西部地域	198	31.8	46.0	22.2	-
東部地域	318	27.0	55.7	17.3	-
さいたま地域	367	25.3	51.8	22.6	0.3
県央地域	193	36.8	42.5	20.7	-
川越比企地域	275	35.6	48.0	16.4	-
西部地域	247	25.5	48.6	25.9	-
利根地域	197	29.4	52.8	17.3	0.5
北部地域	191	47.1	32.5	20.4	-
秩父地域	42	61.9	31.0	7.1	-
性・年代別					
男性・20歳代	114	27.2	40.4	32.5	-
30歳代	189	26.5	48.1	25.4	-
40歳代	200	28.5	50.5	20.5	0.5
50歳代	188	36.2	41.0	22.9	-
60歳代	250	46.4	40.4	12.4	0.8
70歳以上	180	42.8	47.8	9.4	-
女性・20歳代	115	23.5	40.9	35.7	-
30歳代	200	16.5	62.0	21.5	-
40歳代	186	25.3	51.1	23.7	-
50歳代	205	28.8	48.8	22.4	-
60歳代	265	30.2	51.3	18.5	-
70歳以上	158	36.1	48.7	15.2	-
職業別					
自営業・家族従業（計）	241	36.1	43.2	20.3	0.4
雇用者（計）	1188	28.3	47.5	24.1	0.2
無職（計）	817	33.9	50.4	15.7	-
ライフステージ別					
独身期	305	26.2	43.0	30.8	-
家族形成期	210	19.0	57.6	23.3	-
家族成長前期	237	21.9	56.1	21.5	0.4
家族成長後期	190	25.3	57.9	16.8	-
家族成熟期	458	36.7	43.0	20.1	0.2
高齢期	536	37.1	51.1	11.8	-
その他	314	36.6	36.6	26.4	0.3

(2) 水道への不満

◇「水道水の味や臭いなどの水質に不満」が29.5%

問20 現在、あなたが使用している水道に対して、不満を感じていることがありますか。次の中から最も不満を感じているものを一つ選んでください。



水道への不満は、「特に不満を感じることはない」(38.0%)が3割半ばを超えて最も高くなっている。不満の中では「水道水の味や臭いなどの水質に不満」の割合が29.5%で最も高く、次いで「水道料金が低い」(26.6%)、「情報提供が不十分」(4.0%)、「窓口や電話の対応が悪い」(0.2%)の順となっている。

【属性別比較】

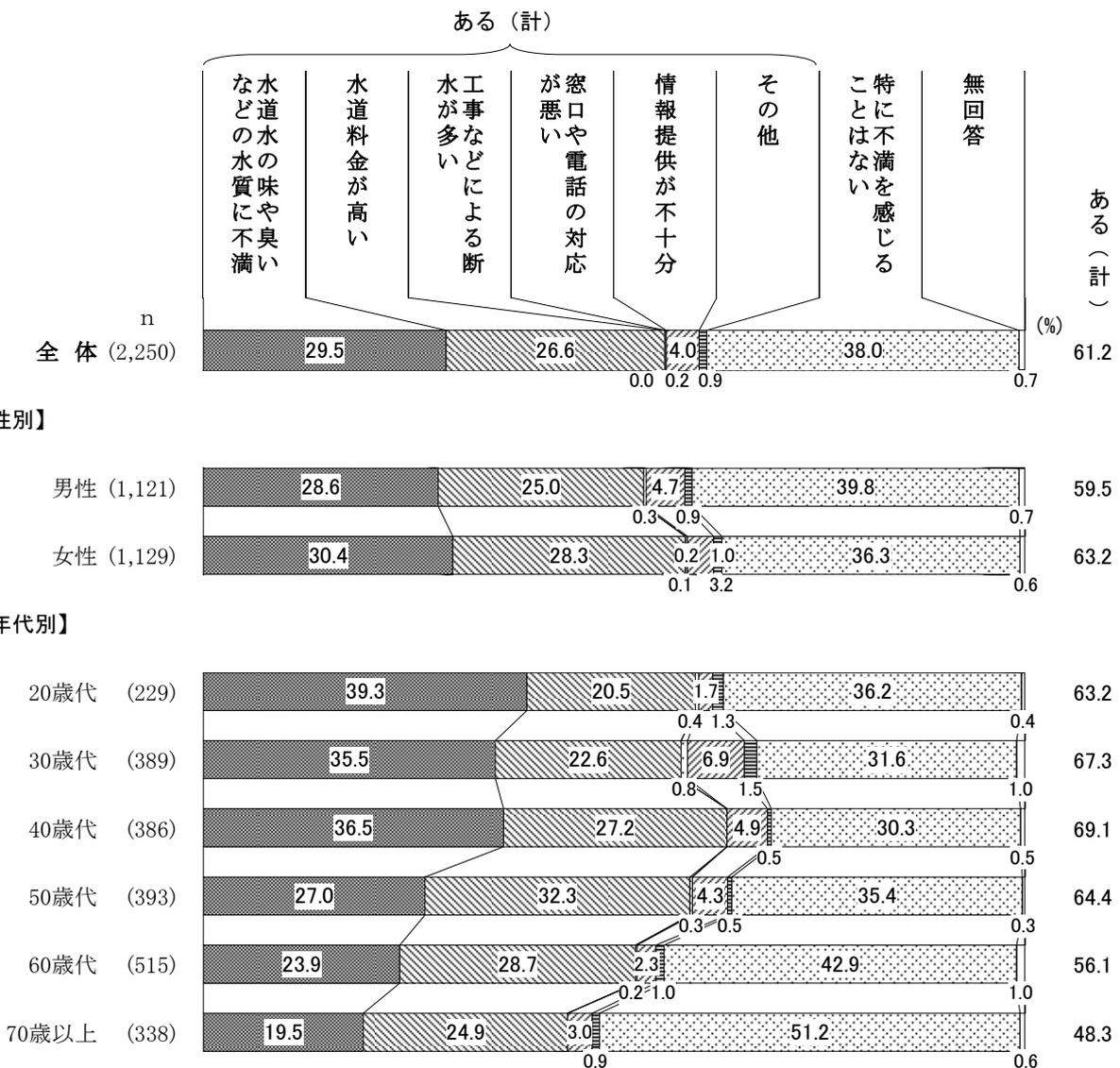
①性別

性別にみると、「特に不満を感じることはない」は男性（39.8%）のほうが女性（36.3%）よりも3.5ポイント高く、逆に「水道料金が高い」は女性（28.3%）のほうが男性（25.0%）よりも3.3ポイント高くなっている。

②年代別

年代別にみると、「水道水の味や臭いなどの水質に不満」はおおむね年齢が低くなるほど割合が高くなっている。40歳代以降、年齢が高くなるほど「特に不満を感じることはない」の割合が高くなっている。

○水道への不満・性別／年代別



③地域別

「水道水の味や臭いなどの水質に不満」は南部地域（34.7%）、さいたま地域（33.0%）、西部地域（33.6%）で比較的高く、秩父地域（11.9%）で特に低くなっている。また、「水道料金が高い」は秩父地域（59.5%）で突出して高く、南部地域（19.8%）で低くなっている。

④性・年代別

「水道水の味や臭いなどの水質に不満」は女性20歳代（41.7%）で最も高く、男女とも70歳以上で低くなっている。また、「水道料金が高い」は女性40歳代（30.6%）と50歳代（35.1%）で3割を超えている。

⑤職業別

「水道料金が高い」は無職（計）（28.2%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「水道水の味や臭いなどの水質に不満」は家族成長前期以降、ライフステージが進むほど割合が低く、逆に「特に不満を感じることはない」は家族成長前期以降、ライフステージが進むほど割合が高くなっている。「水道料金が高い」は独身期（12.8%）で特に低くなっている。

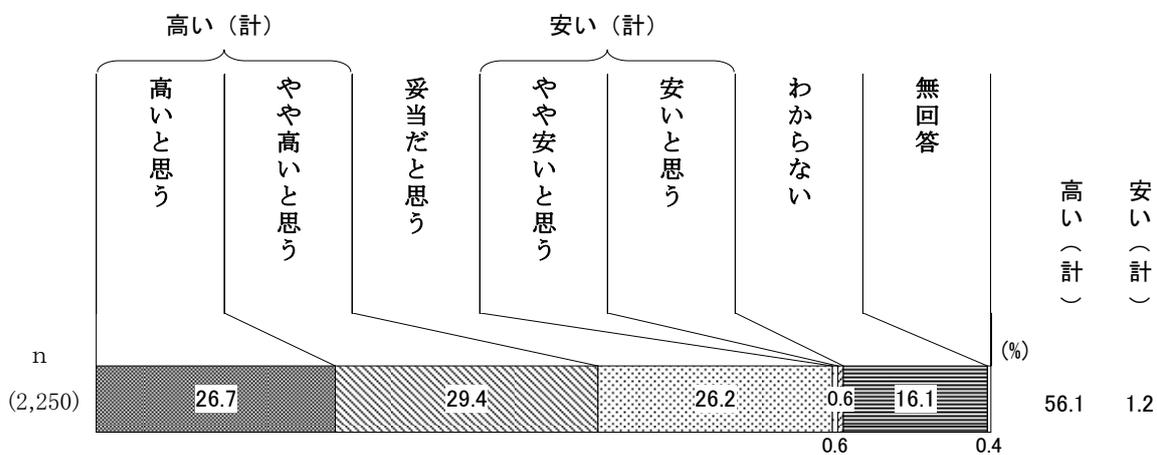
○水道への不満・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	水道の水の水質にや不満	水道料金が高い	工事が多い	窓が悪いや電話の対応	情報提供が不十分	その他	特に不満を感じる	無回答	ある（計）
全体	2250	29.5	26.6	0.0	0.2	4.0	0.9	38.0	0.7	61.2
地域別										
南部地域	222	34.7	19.8	0.5	-	5.0	0.9	37.8	1.4	60.9
南西部地域	198	21.7	26.3	-	-	3.5	3.0	45.5	-	54.5
東部地域	318	27.7	22.3	-	0.6	4.4	0.6	43.7	0.6	55.6
さいたま地域	367	33.0	28.1	-	0.3	3.3	0.3	34.6	0.5	65.0
県央地域	193	28.5	31.1	-	-	3.1	1.0	36.3	-	63.7
川越比企地域	275	28.4	28.0	-	-	6.5	0.4	36.0	0.7	63.3
西部地域	247	33.6	23.1	-	0.4	2.8	0.4	39.3	0.4	60.3
利根地域	197	28.9	31.0	-	-	3.6	0.5	34.5	1.5	64.0
北部地域	191	29.8	25.7	-	0.5	3.7	1.6	37.7	1.0	61.3
秩父地域	42	11.9	59.5	-	-	-	4.8	23.8	-	76.2
性・年代別										
男性・20歳代	114	36.8	19.3	-	-	0.9	2.6	40.4	-	59.6
30歳代	189	34.9	21.2	-	1.1	9.0	1.6	31.2	1.1	67.8
40歳代	200	35.5	24.0	-	-	6.5	-	33.5	0.5	66.0
50歳代	188	26.6	29.3	-	-	5.3	-	38.3	0.5	61.2
60歳代	250	22.4	28.0	-	0.4	3.2	0.8	44.0	1.2	54.8
70歳以上	180	20.0	25.0	-	-	2.2	1.1	51.1	0.6	48.3
女性・20歳代	115	41.7	21.7	-	0.9	2.6	-	32.2	0.9	66.9
30歳代	200	36.0	24.0	-	0.5	5.0	1.5	32.0	1.0	67.0
40歳代	186	37.6	30.6	-	-	3.2	1.1	26.9	0.5	72.5
50歳代	205	27.3	35.1	0.5	-	3.4	1.0	32.7	-	67.3
60歳代	265	25.3	29.4	-	-	1.5	1.1	41.9	0.8	57.3
70歳以上	158	19.0	24.7	-	-	3.8	0.6	51.3	0.6	48.1
職業別										
自営業・家族従業（計）	241	30.7	23.2	-	0.8	5.0	1.2	38.2	0.8	60.9
雇用者（計）	1188	31.9	26.3	0.1	0.2	4.4	1.1	35.2	0.8	64.0
無職（計）	817	25.6	28.2	-	0.1	3.1	0.6	42.1	0.4	57.6
ライフステージ別										
独身期	305	39.3	12.8	-	1.0	4.6	2.3	39.7	0.3	60.0
家族形成期	210	34.3	29.5	-	-	5.7	1.0	28.6	1.0	70.5
家族成長前期	237	38.0	32.5	-	0.4	4.6	0.4	22.8	1.3	75.9
家族成長後期	190	34.7	29.5	-	-	4.7	1.1	30.0	-	70.0
家族成熟期	458	23.1	32.1	-	-	4.1	0.2	39.7	0.7	59.5
高齢期	536	22.6	26.5	-	-	2.2	1.3	47.0	0.4	52.6
その他	314	28.3	24.2	0.3	0.3	3.8	0.3	41.4	1.3	57.2

(3) 水道料金に対する意識

◇『高い(計)』が56.1%

問21 あなたのお宅の水道料金に関して、どのように思いますか。



水道料金に対する意識は、「やや高いと思う」(29.4%)が3割弱で最も高く、これに「高いと思う」(26.7%)を合わせた『高い(計)』は56.1%である。一方、「やや安いと思う」(0.6%)と「安いと思う」(0.6%)を合わせた『安い(計)』は1.2%とわずかである。「妥当だと思う」は26.2%、「わからない」は16.1%となっている。

【属性別比較】

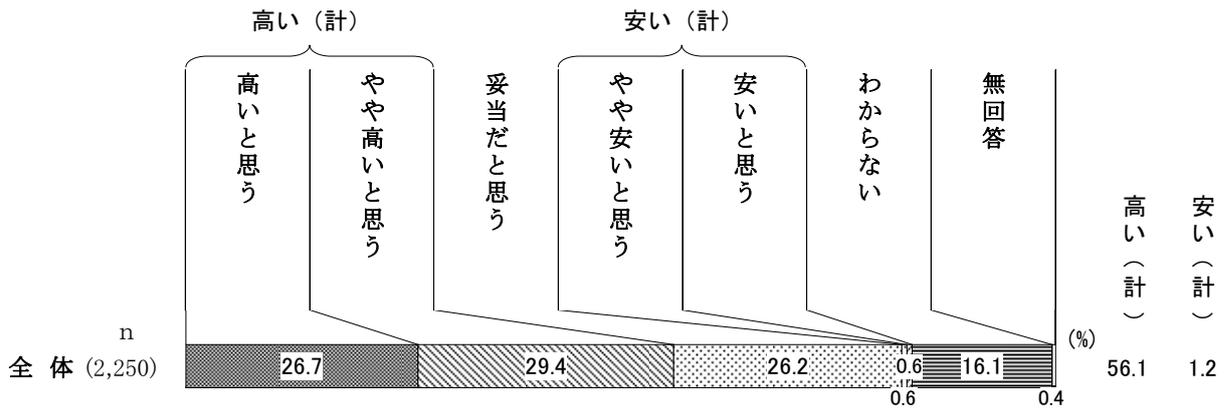
①性別

『高い（計）』は女性（57.3%）のほうが男性（54.8%）よりも2.5ポイント高くなっている。

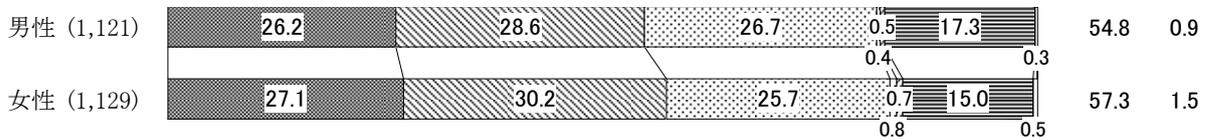
②年代別

『高い（計）』は40歳代から60歳代で6割を超えて高くなっている。また、「わからない」は20歳代（30.1%）で最も高くなっている。

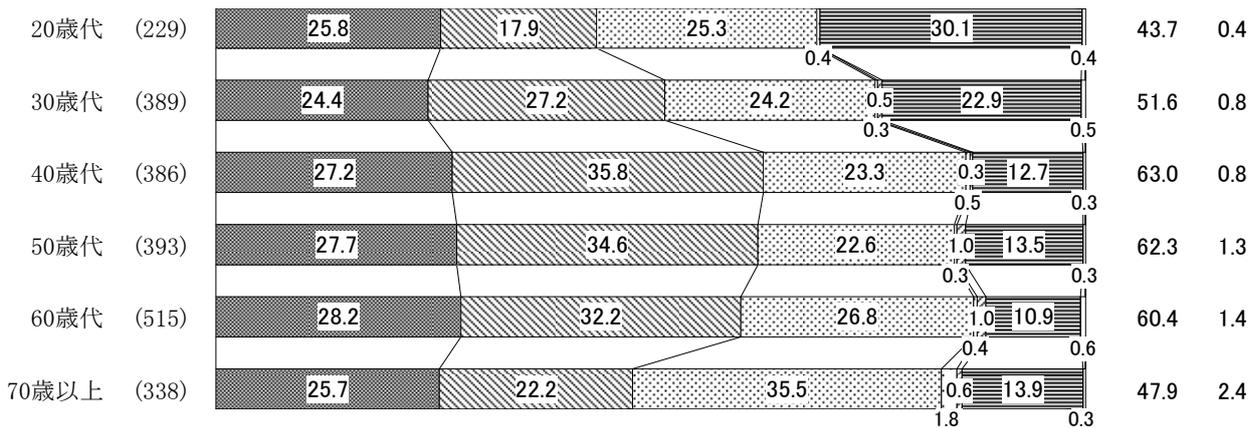
○水道料金に対する意識・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

『高い(計)』は秩父地域(76.2%)で最も高く、南西部地域(48.0%)で低くなっている。

④性・年代別

『高い(計)』は男性40歳代(62.5%)と60歳代(60.4%)、女性40歳代(63.4%)と50歳代(66.3%)と60歳代(60.4%)で6割を超え、比較的高くなっている。

⑤職業別

職業別には大きな差はみられない。

⑥ライフステージ別

『高い(計)』は家族成長前期(69.2%)で最も高く、独身期(38.4%)で低くなっている。

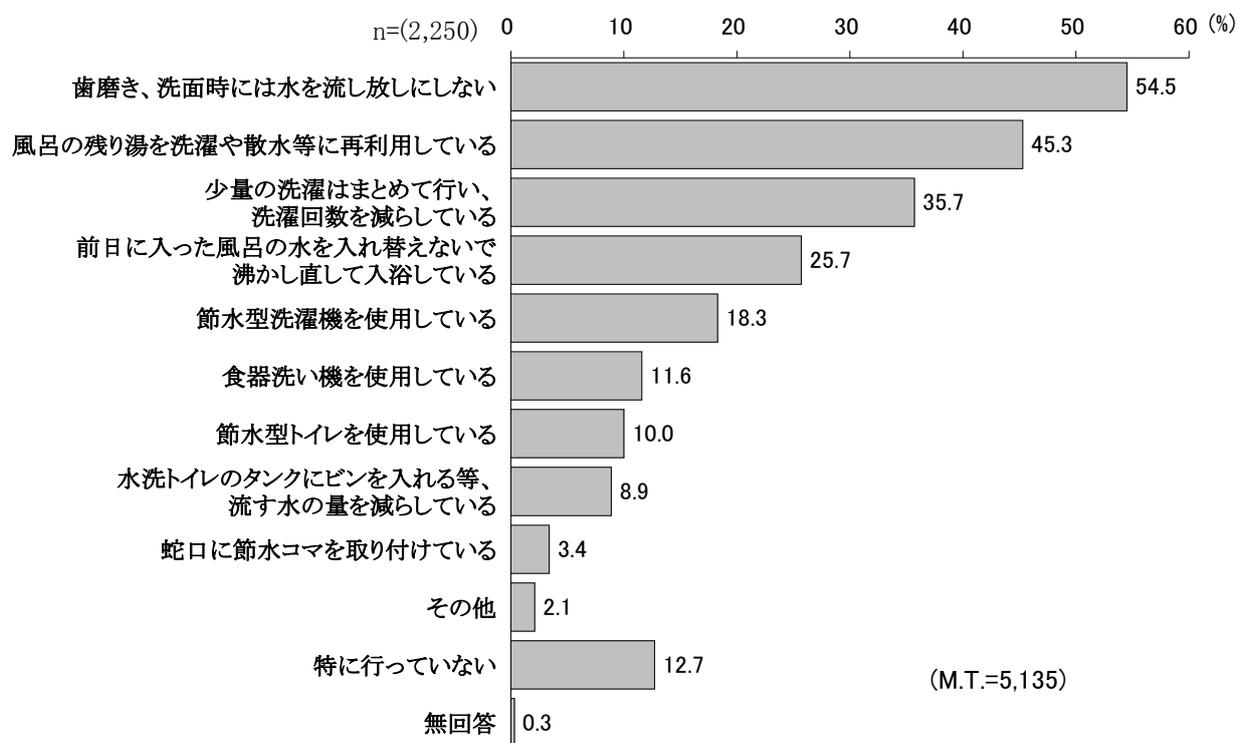
○水道料金に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	高いと思う	やや高いと思う	妥当だと思う	やや安いと思う	安いと思う	わからない	無回答	高い(計)	安い(計)
全体	2250	26.7	29.4	26.2	0.6	0.6	16.1	0.4	56.1	1.2
地域別										
南部地域	222	25.7	24.8	27.5	1.4	1.4	18.5	0.9	50.5	2.8
南西部地域	198	21.7	26.3	33.3	0.5	1.5	16.7	-	48.0	2.0
東部地域	318	24.2	31.1	28.0	0.6	0.6	15.4	-	55.3	1.2
さいたま地域	367	32.7	29.2	18.8	0.5	-	17.7	1.1	61.9	0.5
県央地域	193	31.1	27.5	24.9	1.0	-	15.0	0.5	58.6	1.0
川越比企地域	275	27.6	33.5	22.2	0.7	1.1	14.9	-	61.1	1.8
西部地域	247	25.1	25.5	31.2	-	1.2	16.6	0.4	50.6	1.2
利根地域	197	25.9	32.0	27.9	-	-	14.2	-	57.9	-
北部地域	191	18.8	33.5	28.8	0.5	-	17.8	0.5	52.3	0.5
秩父地域	42	42.9	33.3	19.0	-	-	4.8	-	76.2	-
性・年代別										
男性・20歳代	114	24.6	17.5	22.8	-	-	35.1	-	42.1	-
30歳代	189	23.8	26.5	25.4	-	1.1	23.3	-	50.3	1.1
40歳代	200	26.0	36.5	23.5	0.5	-	13.0	0.5	62.5	0.5
50歳代	188	25.0	33.0	24.5	0.5	0.5	16.5	-	58.0	1.0
60歳代	250	27.6	32.8	24.8	-	0.8	13.2	0.8	60.4	0.8
70歳以上	180	29.4	18.9	38.9	1.1	0.6	11.1	-	48.3	1.7
女性・20歳代	115	27.0	18.3	27.8	0.9	-	25.2	0.9	45.3	0.9
30歳代	200	25.0	28.0	23.0	0.5	-	22.5	1.0	53.0	0.5
40歳代	186	28.5	34.9	23.1	0.5	0.5	12.4	-	63.4	1.0
50歳代	205	30.2	36.1	21.0	-	1.5	10.7	0.5	66.3	1.5
60歳代	265	28.7	31.7	28.7	0.8	1.1	8.7	0.4	60.4	1.9
70歳以上	158	21.5	25.9	31.6	2.5	0.6	17.1	0.6	47.4	3.1
職業別										
自営業・家族従業(計)	241	25.3	31.1	27.4	0.8	0.4	14.5	0.4	56.4	1.2
雇用者(計)	1188	26.5	29.7	24.5	0.3	0.5	17.9	0.5	56.2	0.8
無職(計)	817	27.4	28.5	28.2	0.9	0.9	14.0	0.2	55.9	1.8
ライフステージ別										
独身期	305	22.0	16.4	23.3	0.3	0.7	36.4	1.0	38.4	1.0
家族形成期	210	28.1	23.8	31.9	0.5	-	15.7	-	51.9	0.5
家族成長前期	237	32.5	36.7	17.7	0.4	0.4	12.2	-	69.2	0.8
家族成長後期	190	30.5	35.3	20.0	0.5	-	13.7	-	65.8	0.5
家族成熟期	458	29.9	33.8	22.9	-	0.7	12.2	0.4	63.7	0.7
高齢期	536	25.0	28.0	32.5	1.3	0.7	12.1	0.4	53.0	2.0
その他	314	21.7	32.8	29.3	0.6	1.3	13.7	0.6	54.5	1.9

(4) 節水への取り組み

◇「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」が54.5%

問22 あなたは普段、節水への取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。



節水への取り組みは、「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」(54.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」(45.3%)、「少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている」(35.7%)、「前日に入った風呂の水を入れ替えないで沸かし直して入浴している」(25.7%)、「節水型洗濯機を使用している」(18.3%)、「食器洗い機を使用している」(11.6%)の順となっている。また、「特に行っていない」(12.7%)が1割強となっている。

【属性別比較】

①地域別

「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」は北部地域（63.4%）で6割を超えて高く、西部地域（44.1%）、秩父地域（47.6%）で4割台と低くなっている。「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」は秩父地域（61.9%）で6割台と高く、南部地域（35.1%）で3割台と低くなっている。

②性別

「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」は女性（58.5%）のほうが男性（50.6%）よりも7.9ポイント、「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」は女性（49.5%）のほうが男性（41.0%）よりも8.5ポイント、「少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている」は女性（42.2%）のほうが男性（29.3%）よりも12.9ポイント高くなっている。一方、「特に行っていない」は男性（16.1%）のほうが女性（9.3%）よりも6.8ポイント高くなっている。

③年代別

「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」は40歳代（60.9%）で高く、70歳以上（48.5%）で低くなっている。「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」は40歳代（50.0%）で高く、20歳代（31.0%）で低くなっている。「前日に入った風呂の水を入れ替えなくて沸かし直して入浴している」は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。「特に行っていない」は20歳代（21.4%）で最も高くなっている。

④性・年代別

「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」は女性20歳代から40歳代で6割を超えて高くなっている。「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」は女性30歳代（53.0%）と40歳代（56.5%）と60歳代（52.5%）で5割を超えて高く、「少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている」は女性60歳代（50.6%）で最も高くなっている。一方、「特に行っていない」は男性20歳代（25.4%）と30歳代（20.6%）で2割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」、「少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている」、「前日に入った風呂の水を入れ替えなくて沸かし直して入浴している」は無職（計）で高く、「節水型洗濯機を使用している」、「食器洗い機を使用している」、「節水型トイレを使用している」は自営業・家族従業（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない」、「風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している」、「節水型洗濯機を使用している」、「食器洗い機を使用している」は家族成長前期で最も高く、「少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている」と「前日に入った風呂の水を入れ替えなくて沸かし直して入浴している」は高齢期で最も高くなっている。一方、「特に行っていない」は独身期（25.2%）で最も高くなっている。

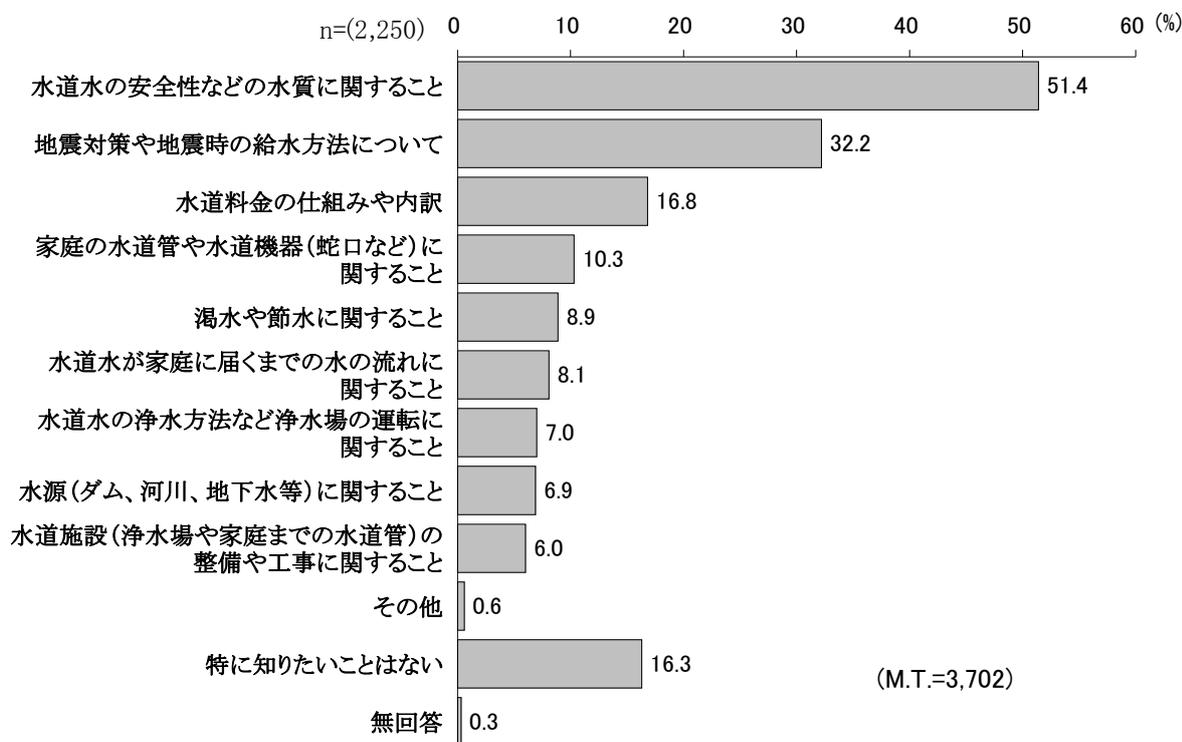
○節水への取り組み・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない	風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している	少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている	前日に入った風呂の水を入れ替えないで沸かし直して入浴している	節水型洗濯機を使用している	食器洗い機を使用している	節水型トイレを使用している	水洗トイレのタンクにビンを入れる等、流す水の量を減らしている	蛇口に節水コマを取り付けている	その他	特に行っていない	無回答
全体	2250	54.5	45.3	35.7	25.7	18.3	11.6	10.0	8.9	3.4	2.1	12.7	0.3
地域別													
南部地域	222	53.2	35.1	36.0	29.7	16.7	7.2	9.0	9.9	5.4	2.3	11.7	1.4
南西部地域	198	56.1	40.9	39.4	32.3	17.2	9.1	9.1	10.6	2.0	1.0	13.1	-
東部地域	318	53.8	48.1	27.4	27.7	16.4	11.3	8.2	8.2	3.8	2.2	14.8	0.3
さいたま地域	367	57.8	46.9	32.2	27.2	18.5	12.3	11.7	8.4	3.5	2.5	12.8	0.5
県央地域	193	50.3	48.7	43.0	16.6	20.2	13.0	9.8	7.8	3.6	0.5	10.9	-
川越比企地域	275	54.9	48.4	38.5	29.5	15.6	14.2	13.1	10.2	4.4	1.8	10.5	-
西部地域	247	44.1	44.1	32.0	27.5	17.8	12.1	7.3	8.9	2.8	5.7	14.6	-
利根地域	197	59.4	48.7	40.6	20.8	21.8	12.7	8.1	8.6	2.0	1.0	11.7	-
北部地域	191	63.4	40.3	41.4	14.1	22.0	11.0	13.1	7.3	2.1	1.6	13.1	-
秩父地域	42	47.6	61.9	33.3	26.2	21.4	16.7	7.1	9.5	2.4	-	14.3	-
性別													
男性	1121	50.6	41.0	29.3	24.7	16.5	11.2	9.3	8.6	3.5	2.4	16.1	0.4
女性	1129	58.5	49.5	42.2	26.7	20.0	12.0	10.6	9.2	3.3	1.9	9.3	0.1
年代別													
20歳代	229	54.6	31.0	27.1	19.2	10.0	10.5	5.2	6.6	2.2	0.9	21.4	0.4
30歳代	389	53.0	49.1	31.1	19.3	19.5	15.2	11.1	5.9	2.6	1.8	13.9	-
40歳代	386	60.9	50.0	32.1	24.6	22.0	16.1	10.9	11.1	3.6	2.3	10.1	-
50歳代	393	55.2	44.3	37.4	27.7	21.4	13.2	9.4	9.7	3.1	2.5	8.9	0.3
60歳代	515	54.4	44.7	41.7	28.7	19.0	9.1	10.5	10.7	4.5	1.9	12.4	0.4
70歳以上	338	48.5	47.3	39.9	31.7	13.3	5.3	10.7	7.7	3.6	3.0	13.3	0.6
性・年代別													
男性・20歳代	114	45.6	28.9	19.3	22.8	8.8	11.4	2.6	5.3	0.9	1.8	25.4	-
30歳代	189	44.4	45.0	27.0	17.5	16.9	14.3	8.5	4.8	2.6	1.6	20.6	-
40歳代	200	55.5	44.0	24.0	23.5	22.5	16.0	9.5	9.5	4.0	2.5	15.0	-
50歳代	188	53.7	40.4	32.4	25.0	18.1	11.2	8.5	9.6	2.1	2.1	11.2	0.5
60歳代	250	53.6	36.4	32.4	28.4	16.0	9.2	10.8	12.0	6.0	2.4	14.4	0.8
70歳以上	180	47.2	48.3	36.1	29.4	13.3	5.6	12.8	7.8	3.3	3.9	14.4	1.1
女性・20歳代	115	63.5	33.0	34.8	15.7	11.3	9.6	7.8	7.8	3.5	-	17.4	0.9
30歳代	200	61.0	53.0	35.0	21.0	22.0	16.0	13.5	7.0	2.5	2.0	7.5	-
40歳代	186	66.7	56.5	40.9	25.8	21.5	16.1	12.4	12.9	3.2	2.2	4.8	-
50歳代	205	56.6	47.8	42.0	30.2	24.4	15.1	10.2	9.8	3.9	2.9	6.8	-
60歳代	265	55.1	52.5	50.6	29.1	21.9	9.1	10.2	9.4	3.0	1.5	10.6	-
70歳以上	158	50.0	46.2	44.3	34.2	13.3	5.1	8.2	7.6	3.8	1.9	12.0	-
職業別													
自営業・家族従業（計）	241	50.6	39.8	33.2	21.2	22.0	15.8	14.1	8.3	3.7	3.3	14.5	-
雇用者（計）	1188	54.4	44.4	33.1	24.2	17.8	12.5	8.5	8.4	3.3	1.9	13.4	0.3
無職（計）	817	55.9	48.5	40.3	29.1	18.0	8.9	10.8	9.7	3.4	2.1	11.3	0.4
ライフステージ別													
独身期	305	48.2	25.2	22.0	23.3	8.5	8.5	5.2	5.9	2.3	1.6	25.2	0.3
家族形成期	210	55.2	55.7	41.0	15.2	24.8	15.2	10.0	4.8	1.9	1.9	8.1	-
家族成長前期	237	65.8	60.8	31.6	20.7	26.6	23.6	14.3	11.8	3.8	2.5	6.8	-
家族成長後期	190	57.4	54.7	30.0	21.6	22.1	16.3	10.5	13.7	5.8	3.7	8.9	-
家族成熟期	458	53.7	43.7	38.6	26.6	19.9	12.0	11.4	9.6	4.1	1.7	10.0	0.2
高齢期	536	51.3	49.6	43.5	31.0	16.2	7.8	10.1	9.3	3.5	2.4	11.4	0.2
その他	314	56.7	35.4	34.7	30.9	15.9	6.4	8.6	7.6	2.2	1.6	16.6	1.0

(5) 水道全般について知りたいこと

◇「水道水の安全性などの水質に関すること」が51.4%

問23 水道全般について、あなたの知りたいことや広報してほしいことは何ですか。次の中から2つまで選んでください。



水道全般について知りたいことは、「水道水の安全性などの水質に関すること」(51.4%)が5割強で最も高く、次いで「地震対策や地震時の給水方法について」(32.2%)、「水道料金の仕組みや内訳」(16.8%)、「家庭の水道管や水道機器(蛇口など)に関すること」(10.3%)、「漏水や節水に関すること」(8.9%)、「水道水が家庭に届くまでの水の流れに関すること」(8.1%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「水道水の安全性などの水質に関すること」は南部地域（45.5%）、東部地域（43.1%）、さいたま地域（49.9%）で4割台とやや低いがそれ以外の地域ではいずれも5割台と高くなっている。「地震対策や地震時の給水方法について」は利根地域（37.6%）、北部地域（37.2%）で高く、「水道料金の仕組みや内訳」は秩父地域（31.0%）で特に高くなっている。「特に知りたいことはない」は東部地域（20.8%）、さいたま地域（20.4%）で2割台と比較的高くなっている。

②性別

「地震対策や地震時の給水方法について」は女性（36.9%）のほうが男性（27.5%）よりも9.4ポイント高く、逆に「水源（ダム、河川、地下水等）に関すること」は男性（8.9%）のほうが女性（4.9%）よりも4.0ポイント高くなっている。

③年代別

「水道水の安全性などの水質に関すること」は30歳代から60歳代で5割以上と高く、「水道料金の仕組みや内訳」は20歳代から40歳代で2割前後と比較的高くなっている。「特に知りたいことはない」は20歳代（24.0%）と70歳以上（24.6%）で2割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「水道水の安全性などの水質に関すること」は女性50歳代（58.0%）と60歳代（57.0%）で6割弱と高く、「地震対策や地震時の給水方法について」は女性30歳代（41.5%）と60歳代（40.0%）で4割強と高くなっている。「特に知りたいことはない」は男性20歳代（26.3%）と女性70歳以上（30.4%）で高くなっている。

⑤職業別

「水道水の安全性などの水質に関すること」は自営業・家族従業（計）（56.4%）で高く、雇用者（計）（49.7%）で低くなっている。「水道料金の仕組みや内訳」は雇用者（計）（18.6%）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「水道水の安全性などの水質に関すること」は家族成長後期（58.4%）で高く、「地震対策や地震時の給水方法について」は家族形成期（38.1%）で最も高くなっている。「水道料金の仕組みや内訳」は家族形成期から家族成長後期で2割台と高く、「特に知りたいことはない」は独身期（22.6%）で最も高くなっている。

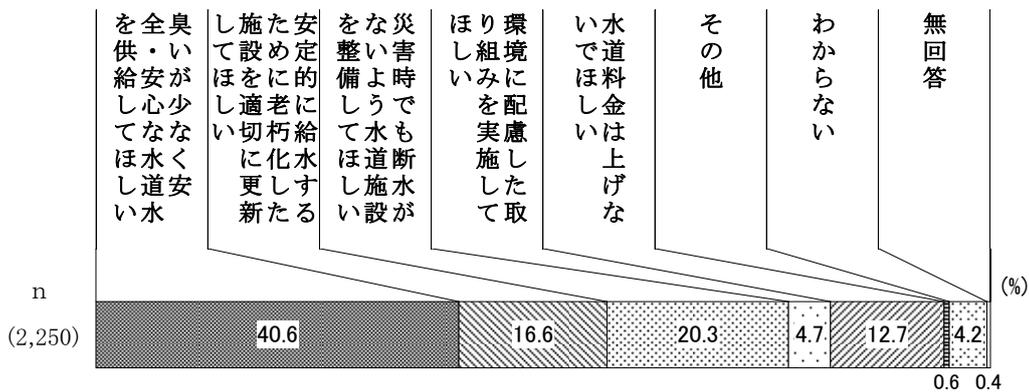
○水道全般について知りたいこと・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	水道水の安全性などの水質に関すること	地震対策や地震時の給水方法について	水道料金の仕組みや内訳	家庭の水道管や水道機器（蛇口など）に関すること	湯水や節水に関すること	水道水が家庭に届くまでの水の流	転に関すること	水道水の浄水方法など浄水場の運	水源（ダム、河川、地下水等）に	水道施設の整備や工事に	その他	特に知りたいことはない	無回答
全体	2250	51.4	32.2	16.8	10.3	8.9	8.1	7.0	6.9	6.0	0.6	16.3	0.3	
地域別														
南部地域	222	45.5	34.2	18.0	8.6	8.1	9.0	7.7	5.4	7.7	0.5	18.9	0.9	
南西部地域	198	50.0	30.3	19.7	9.1	8.6	8.1	8.6	8.6	6.1	0.5	15.2	1.0	
東部地域	318	43.1	35.5	16.4	9.4	9.7	6.9	6.6	6.9	6.6	0.6	20.8	-	
さいたま地域	367	49.9	27.8	15.8	13.9	7.9	6.5	6.3	5.4	3.8	1.1	20.4	0.3	
県央地域	193	58.0	27.5	12.4	15.0	8.3	6.2	7.8	7.8	5.7	0.5	15.0	-	
川越比企地域	275	57.1	34.5	15.3	9.5	9.1	8.0	7.6	8.4	9.1	0.7	10.9	-	
西部地域	247	53.8	28.3	14.2	12.1	11.7	10.5	4.5	5.7	5.7	0.8	16.2	0.4	
利根地域	197	56.3	37.6	19.3	6.6	5.1	8.1	8.1	5.6	6.1	-	15.7	-	
北部地域	191	53.4	37.2	18.8	5.8	11.0	11.0	6.3	9.9	3.7	0.5	9.9	0.5	
秩父地域	42	52.4	26.2	31.0	9.5	11.9	9.5	11.9	4.8	4.8	-	9.5	-	
性別														
男性	1121	50.0	27.5	18.5	9.7	8.8	7.6	7.4	8.9	7.5	0.8	17.7	0.4	
女性	1129	52.8	36.9	15.1	10.8	9.0	8.7	6.6	4.9	4.5	0.4	14.9	0.3	
年代別														
20歳代	229	45.0	27.5	20.5	8.7	9.6	8.3	4.8	4.4	4.4	0.4	24.0	0.4	
30歳代	389	50.9	35.7	19.0	8.2	10.8	5.7	6.7	5.9	5.4	0.8	16.2	0.3	
40歳代	386	50.3	32.4	19.7	12.7	9.6	9.6	6.7	8.0	9.3	0.8	9.8	-	
50歳代	393	55.5	28.0	15.3	12.5	10.4	8.9	7.6	5.6	6.9	0.8	14.8	0.3	
60歳代	515	55.1	35.5	17.3	9.9	8.0	8.5	7.4	8.9	4.3	0.4	13.4	0.4	
70歳以上	338	47.3	31.1	9.2	8.9	5.3	7.7	8.0	6.8	5.6	0.6	24.6	0.6	
性・年代別														
男性・20歳代	114	43.9	19.3	18.4	12.3	11.4	7.9	7.9	5.3	6.1	-	26.3	-	
30歳代	189	51.9	29.6	19.6	7.4	7.9	4.2	6.9	9.0	7.4	1.1	19.6	-	
40歳代	200	47.5	26.5	20.5	13.0	9.5	7.5	5.5	10.5	13.0	1.0	12.0	-	
50歳代	188	52.7	25.5	18.1	9.6	10.1	9.0	6.4	6.9	7.4	1.1	17.0	0.5	
60歳代	250	53.2	30.8	20.4	8.0	10.0	7.2	8.0	10.8	3.6	0.4	16.0	0.8	
70歳以上	180	47.8	28.9	12.8	9.4	4.4	10.0	10.0	8.9	7.8	1.1	19.4	0.6	
女性・20歳代	115	46.1	35.7	22.6	5.2	7.8	8.7	1.7	3.5	2.6	0.9	21.7	0.9	
30歳代	200	50.0	41.5	18.5	9.0	13.5	7.0	6.5	3.0	3.5	0.5	13.0	0.5	
40歳代	186	53.2	38.7	18.8	12.4	9.7	11.8	8.1	5.4	5.4	0.5	7.5	-	
50歳代	205	58.0	30.2	12.7	15.1	10.7	8.8	8.8	4.4	6.3	0.5	12.7	-	
60歳代	265	57.0	40.0	14.3	11.7	6.0	9.8	6.8	7.2	4.9	0.4	10.9	-	
70歳以上	158	46.8	33.5	5.1	8.2	6.3	5.1	5.7	4.4	3.2	-	30.4	0.6	
職業別														
自営業・家族従業（計）	241	56.4	31.1	14.9	8.3	6.6	7.5	7.5	9.1	6.6	-	15.4	-	
雇用者（計）	1188	49.7	31.6	18.6	10.9	10.0	7.9	6.3	6.5	6.3	0.9	15.7	0.2	
無職（計）	817	52.6	33.7	14.7	9.9	8.1	8.7	8.0	6.9	5.4	0.4	17.1	0.5	
ライフステージ別														
独身期	305	46.6	28.9	15.7	8.9	9.5	7.5	5.6	6.6	5.9	1.0	22.6	0.7	
家族形成期	210	51.9	38.1	21.0	9.5	11.4	8.1	7.1	4.3	6.2	0.5	12.4	-	
家族成長前期	237	54.4	32.9	24.1	11.0	9.3	6.3	5.9	6.3	5.1	0.4	13.1	-	
家族成長後期	190	58.4	27.4	21.1	13.2	10.5	7.9	7.9	5.3	7.9	0.5	7.9	-	
家族成熟期	458	53.3	33.2	15.7	9.6	10.9	8.3	8.5	7.4	5.5	0.9	14.4	0.2	
高齢期	536	53.2	33.0	12.3	9.9	5.8	8.4	7.5	8.4	4.9	0.4	18.3	0.6	
その他	314	43.6	31.2	15.9	11.5	8.0	9.6	5.7	7.0	8.3	0.6	19.4	0.3	

(6) 水道経営で最も優先すべき施策

◇「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」が40.6%

問24 水道は将来にわたって安全・安心な水を安定的に供給するため、適切な投資を継続的に実施し、それを料金に反映させて経営を維持させています。あなたは今後の水道経営はどのような施策を優先すべきと考えますか。次の中から最も優先すべきものを一つ選んでください。



水道経営で最も優先すべき施策は、「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」(40.6%)が4割で最も高く、次いで「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」(20.3%)、「安定的に給水するために老朽化した施設を適切に更新してほしい」(16.6%)、「水道料金は上げないでほしい」(12.7%)、「環境に配慮した取り組みを実施してほしい」(4.7%)の順となっている。

【属性別比較】

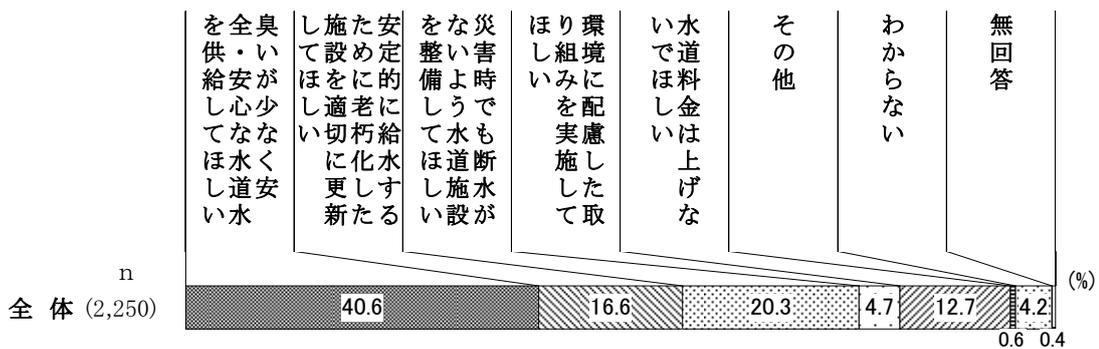
①性別

性別にみると、「安定的に給水するために老朽化した施設を適切に更新してほしい」は男性（18.6%）のほうが女性（14.6%）よりも4.0ポイント高く、逆に「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」は女性（23.6%）のほうが男性（16.9%）よりも6.7ポイント高くなっている。

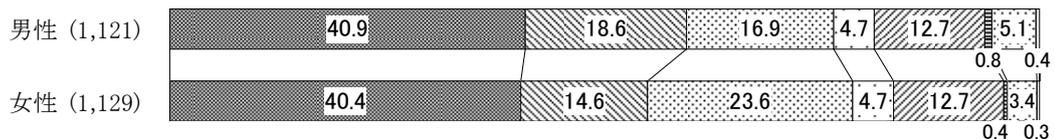
②年代別

年代別にみると、「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」は40歳代から70歳以上で4割台と高く、「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」は20歳代から40歳代で2割台と高くなっている。また、「水道料金は上げないでほしい」は60歳代（15.3%）と70歳以上（15.4%）で1割半ばと比較的高くなっている。

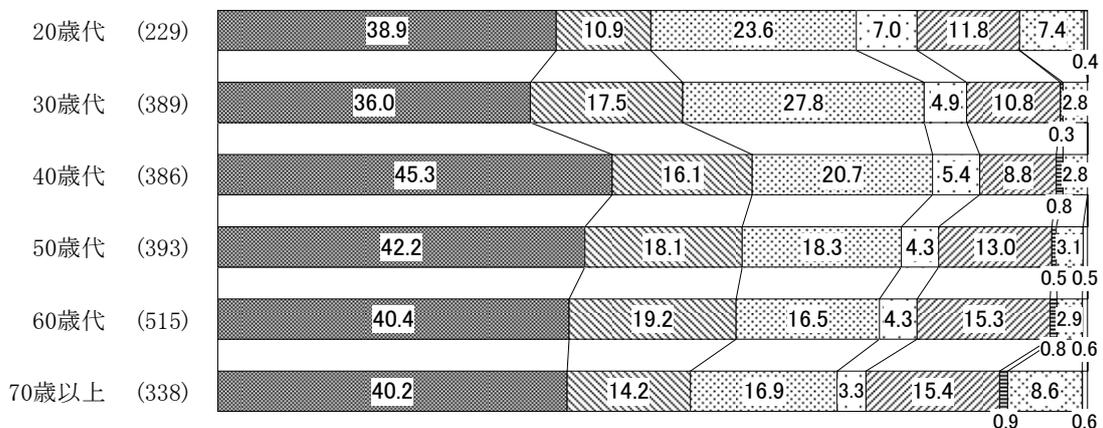
○水道経営で最も優先すべき施策・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」は県央地域（52.8%）で特に高く、「水道料金は上げないでほしい」は秩父地域（26.2%）で特に高くなっている。

④性・年代別

「安定的に給水するために老朽化した施設を適切に更新してほしい」は男性50歳代（22.3%）と60歳代（20.8%）で2割台と高く、「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」は女性20歳代（28.7%）と30歳代（29.5%）で3割弱と高くなっている。

⑤職業別

「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」は無職（計）（42.5%）で最も高く、「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」は自営業・家族従業（計）（24.1%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」は家族成長後期（45.8%）で最も高く、「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」はライフステージが進むほど割合が低くなっている。

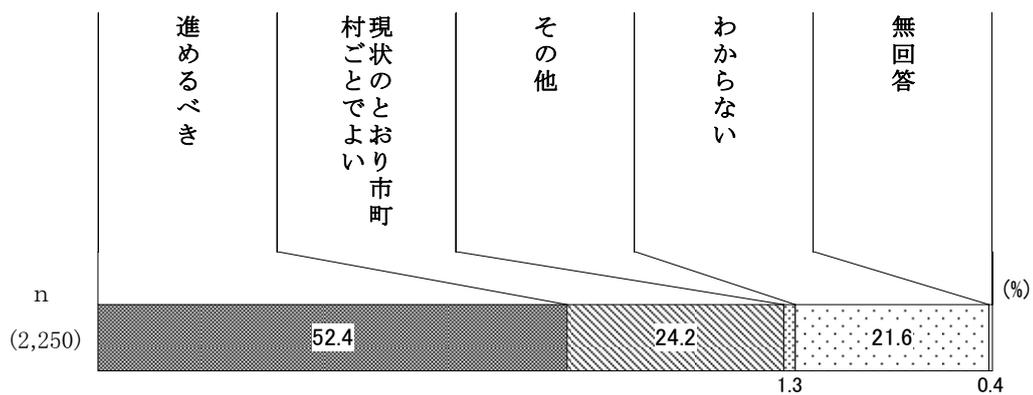
○水道経営で最も優先すべき施策・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調 査 数	ほ し い	心 が 少 な く 供 給 し て 安 い	臭 が 新 し い 給 水 の 安 全 な 給 水 を た め に	切 に 老 朽 化 し た 給 水 管 を 替 え る た め に	安 定 に 給 水 を た め に	て よ う ほ し い	災 害 時 も 断 水 が な い よ う に	環 境 に 配 慮 し た 取 組 み を 実 施 し て ほ し い	水 道 料 金 は 上 げ な い で	ほ し い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全 体	2250	40.6	16.6	20.3	4.7	12.7	0.6	4.2	0.4						
地域別															
南部地域	222	35.6	13.1	24.3	6.3	13.5	0.5	5.9	0.9						
南西部地域	198	34.8	18.7	23.2	4.5	13.1	0.5	5.1	-						
東部地域	318	38.4	16.7	21.1	4.1	15.1	0.9	3.5	0.3						
さいたま地域	367	43.1	16.9	17.4	3.0	11.4	0.8	6.8	0.5						
県央地域	193	52.8	16.1	13.5	3.1	10.9	0.5	3.1	-						
川越比企地域	275	42.2	15.3	20.7	6.2	13.5	-	2.2	-						
西部地域	247	38.5	17.0	20.6	6.5	10.5	1.2	4.9	0.8						
利根地域	197	41.1	18.8	22.3	3.0	11.7	-	2.5	0.5						
北部地域	191	40.3	19.4	19.9	5.8	11.0	0.5	3.1	-						
秩父地域	42	35.7	7.1	21.4	7.1	26.2	-	2.4	-						
性・年代別															
男性・20歳代	114	38.6	13.2	18.4	7.0	9.6	-	13.2	-						
30歳代	189	35.4	18.5	25.9	4.8	13.2	0.5	1.6	-						
40歳代	200	45.5	18.0	16.5	6.5	8.5	1.5	3.5	-						
50歳代	188	42.0	22.3	13.3	3.7	13.3	0.5	4.3	0.5						
60歳代	250	39.6	20.8	14.8	3.6	15.2	0.8	4.0	1.2						
70歳以上	180	43.3	15.6	13.3	3.9	14.4	1.1	7.8	0.6						
女性・20歳代	115	39.1	8.7	28.7	7.0	13.9	-	1.7	0.9						
30歳代	200	36.5	16.5	29.5	5.0	8.5	-	4.0	-						
40歳代	186	45.2	14.0	25.3	4.3	9.1	-	2.2	-						
50歳代	205	42.4	14.1	22.9	4.9	12.7	0.5	2.0	0.5						
60歳代	265	41.1	17.7	18.1	4.9	15.5	0.8	1.9	-						
70歳以上	158	36.7	12.7	20.9	2.5	16.5	0.6	9.5	0.6						
職業別															
自営業・家族従業（計）	241	35.7	17.4	24.1	4.6	12.9	1.2	3.3	0.8						
雇用者（計）	1188	40.4	17.2	21.2	5.1	11.6	0.5	3.8	0.3						
無職（計）	817	42.5	15.4	17.7	4.3	14.1	0.5	5.1	0.4						
ライフステージ別															
独身期	305	35.4	13.1	26.6	7.5	10.5	-	6.6	0.3						
家族形成期	210	42.9	15.2	24.8	4.8	9.0	0.5	2.9	-						
家族成長前期	237	41.4	18.1	21.5	5.5	10.1	0.8	2.5	-						
家族成長後期	190	45.8	14.7	21.1	3.7	13.2	-	1.6	-						
家族成熟期	458	39.5	17.7	19.4	4.1	13.8	1.1	3.5	0.9						
高齢期	536	41.6	16.0	16.6	3.9	15.3	0.6	5.8	0.2						
その他	314	40.4	20.1	17.2	4.1	12.7	0.6	4.1	0.6						

(7) 水道の広域化に対する意識

◇「進めるべき」が52.4%

問25 県内の水道は、あなたのお住まいの市町村が経営しておりますが、それぞれ水道料金や窓口・広報などのサービスが異なっています。そこで、県では複数の市町村の水道を広域化して、サービスの公平化を図ることについて検討しています。このような取り組みについて、あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。



水道の広域化に対する意識は、「進めるべき」(52.4%)が5割強で最も高く、次いで「現状のとおり市町村ごとでよい」(24.2%)、「わからない」(21.6%)、「その他」(1.3%)の順となっている。

【属性別比較】

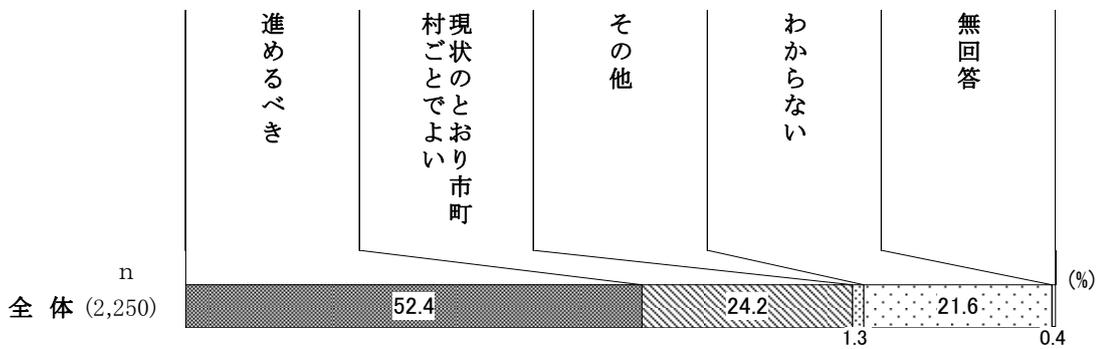
①性別

性別にみると、「現状のとおり市町村ごとでよい」は男性（27.5%）のほうが女性（21.0%）よりも6.5ポイント高く、逆に「わからない」は女性（25.6%）のほうが男性（17.7%）よりも7.9ポイント高くなっている。

②年代別

「進めるべき」は20歳代から60歳代で5割以上だが、70歳以上（40.2%）では約4割と低くなっている。70歳以上では「現状のとおり市町村ごとでよい」が36.4%とほかの年代に比べ特に高くなっている。

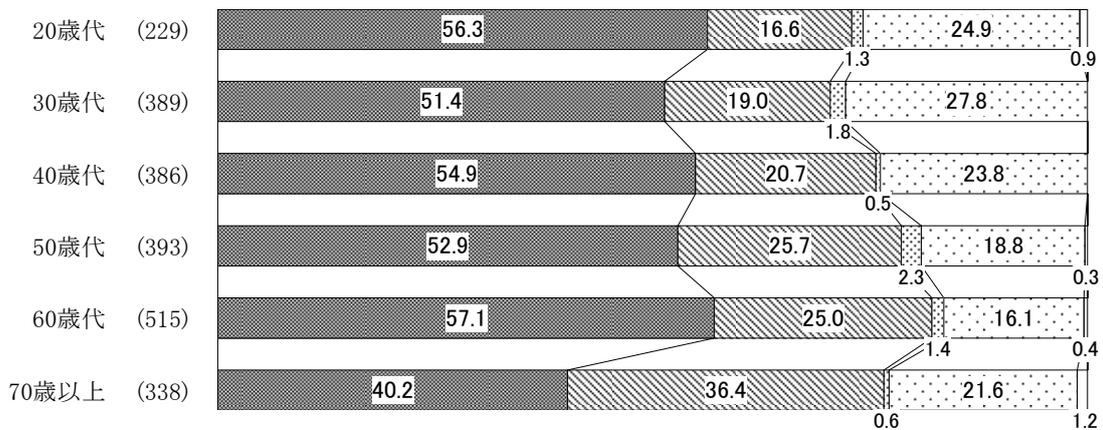
○水道の広域化に対する意識・性別／年代別



【性別】



【年代別】



③地域別

「進めるべき」は秩父地域（66.7%）で6割半ばと特に高くなっている。「現状のとおり市町村ごとでよい」は南西部地域（29.8%）、北部地域（29.8%）で3割弱と高くなっている。

④性・年代別

「進めるべき」は男性60歳代（60.4%）、女性20歳代（60.0%）で約6割と高く、男性70歳以上（42.8%）と女性70歳以上（37.3%）で低くなっている。

⑤職業別

「進めるべき」は雇用者（計）（55.1%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「現状のとおり市町村ごとでよい」は家族形成期以降、ライフステージが進むほど割合が高くなっている。

○水道の広域化に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	進めるべき	と現状のとおり市町村ごと	その他	わからない	無回答
全体	2250	52.4	24.2	1.3	21.6	0.4
地域別						
南部地域	222	48.2	25.2	1.4	23.9	1.4
南西部地域	198	46.5	29.8	0.5	23.2	-
東部地域	318	58.2	24.5	2.2	14.5	0.6
さいたま地域	367	56.1	19.3	0.8	23.2	0.5
県央地域	193	58.5	16.6	0.5	24.4	-
川越比企地域	275	46.5	26.9	2.9	23.6	-
西部地域	247	48.6	24.3	0.8	26.3	-
利根地域	197	53.8	25.4	1.0	18.8	1.0
北部地域	191	49.2	29.8	1.6	19.4	-
秩父地域	42	66.7	19.0	-	14.3	-
性・年代別						
男性・20歳代	114	52.6	24.6	1.8	20.2	0.9
30歳代	189	57.1	19.0	1.6	22.2	-
40歳代	200	54.5	23.0	1.0	21.5	-
50歳代	188	49.5	32.4	0.5	17.0	0.5
60歳代	250	60.4	24.8	2.0	12.4	0.4
70歳以上	180	42.8	41.7	-	15.0	0.6
女性・20歳代	115	60.0	8.7	0.9	29.6	0.9
30歳代	200	46.0	19.0	2.0	33.0	-
40歳代	186	55.4	18.3	-	26.3	-
50歳代	205	56.1	19.5	3.9	20.5	-
60歳代	265	54.0	25.3	0.8	19.6	0.4
70歳以上	158	37.3	30.4	1.3	29.1	1.9
職業別						
自営業・家族従業（計）	241	50.6	24.5	2.1	22.4	0.4
雇用者（計）	1188	55.1	21.1	1.4	22.1	0.3
無職（計）	817	49.2	28.6	1.0	20.6	0.6
ライフステージ別						
独身期	305	51.8	19.0	1.6	26.9	0.7
家族形成期	210	56.2	14.8	1.4	27.6	-
家族成長前期	237	54.4	20.7	0.8	24.1	-
家族成長後期	190	57.9	21.6	2.6	17.9	-
家族成熟期	458	53.3	26.9	1.7	17.7	0.4
高齢期	536	50.0	28.7	0.7	20.1	0.4
その他	314	48.4	28.3	1.0	21.3	1.0

5 県政への要望 (問26)

- 「県政への要望」は、昭和43年度の第1回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきています。

平成16年度調査において、社会状況等の変化を踏まえ、平成7年度から平成15年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成15年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

5 県政への要望

◇「高齢者の福祉を充実する」が30.8%、「医療サービス体制を整備する」が27.7%で上位

問26 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

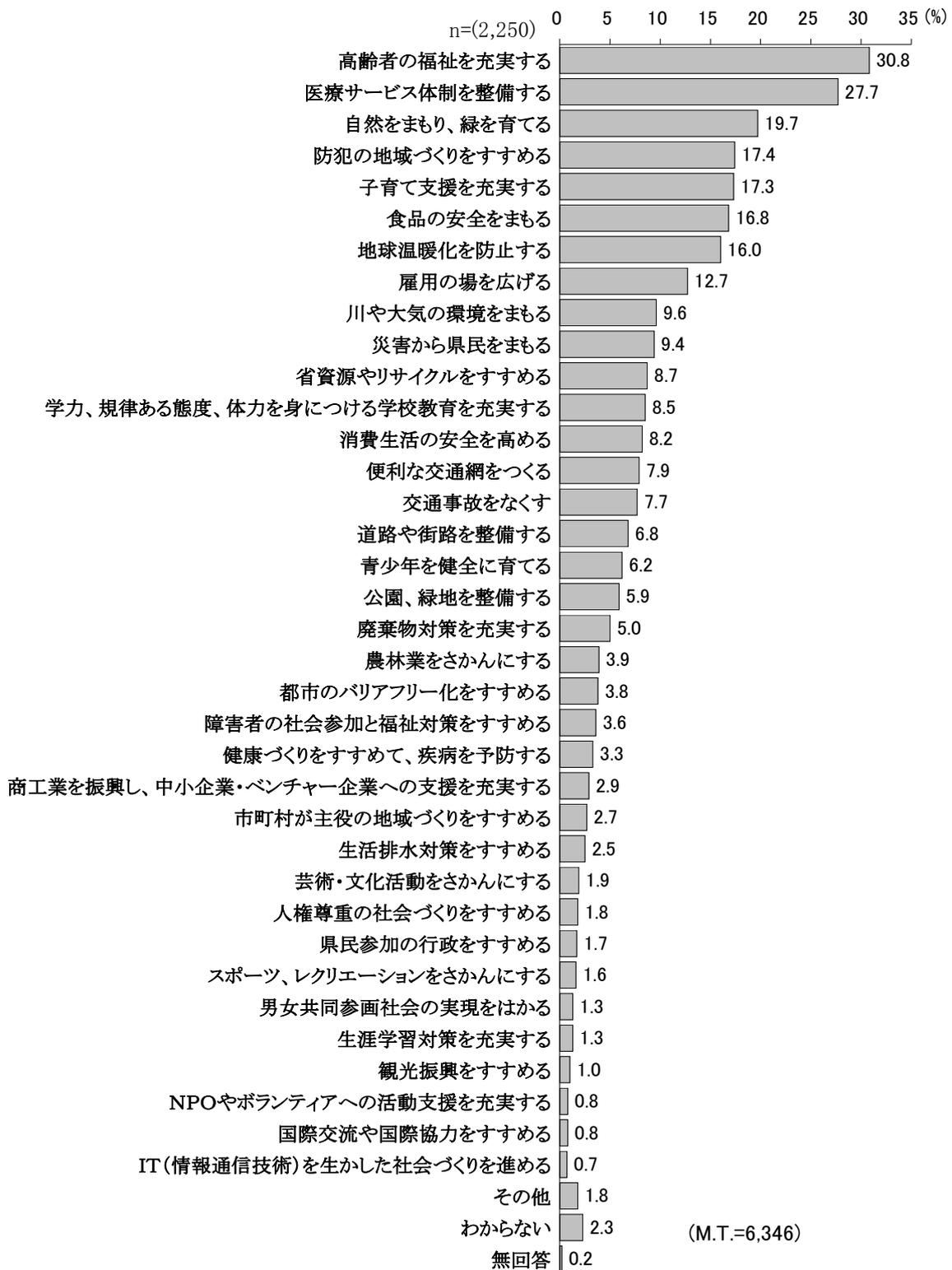
県政への要望で高かったものの上位10位と、前回（平成20年）の順位は次のようになっている。

	今 回	前 回	(増減差)
1位 高齢者の福祉を充実する	30.8%	28.5% (1位)	2.3
2位 医療サービス体制を整備する	27.7	24.6 (2位)	3.1
3位 自然をまもり、緑を育てる	19.7	18.6 (5位)	1.1
4位 防犯の地域づくりをすすめる	17.4	17.9 (6位)	△0.5
5位 子育て支援を充実する	17.3	17.2 (7位)	0.1
6位 食品の安全をまもる	16.8	20.8 (3位)	△4.0
7位 地球温暖化を防止する	16.0	20.0 (4位)	△4.0
8位 雇用の場を広げる	12.7	9.5 (12位)	3.2
9位 川や大気環境をまもる	9.6	7.5 (16位)	2.1
10位 災害から県民をまもる	9.4	10.0 (10位)	△0.6

【前回（平成20年）調査との比較】

今回の上位10項目と前回は比較すると、「高齢者の福祉を充実する」と「医療サービス体制を整備する」が前回に引き続き1位と2位だが、それ以外の多くの項目では順位が入れ替わっており、8位の「雇用の場を広げる」、9位の「川や大気環境をまもる」は大きく順位を上げている。一方で、前回3位の「食品の安全をまもる」が6位へ、前回4位の「地球温暖化を防止する」は7位へ順位を下げており、特に下落が目立っている。

前回との増減をみると、「医療サービス体制を整備する」（3.1ポイント増）、「雇用の場を広げる」（3.2ポイント増）が増加している一方、「食品の安全をまもる」と「地球温暖化を防止する」がそれぞれ4.0ポイント減少している。



【上位10項目の属性別比較】

□第1位／「高齢者の福祉を充実する」

地域別では秩父地域（38.1%）で4割弱と高く、さいたま地域（26.7%）で2割半ばと低くなっている。年代別では高年代ほど高くなっており、70歳以上（54.7%）では5割を超えている。性・年代別でも同様に、男女とも高年代ほど高くなる傾向がみられる。職業別では無職（計）（40.1%）で唯一4割を超えている。ライフステージ別では高齢期（53.3%）で5割を超えて特に高くなっている。

□第2位／「医療サービス体制を整備する」

地域別では利根地域（34.0%）と北部地域（33.5%）で高くなっている一方で、秩父地域（19.0%）では2割弱と低くなっている。性別では女性のほうが5.6ポイント高くなっている。年代別では20歳代（20.1%）で約2割と低く、性・年代別でも男性20歳代（14.0%）で特に低くなっている。ライフステージ別では独身期（19.3%）で唯一2割未満と低くなっている。

□第3位／「自然をまもり、緑を育てる」

地域別では秩父地域（23.8%）で2割強と最も高くなっている。市郡規模別では人口10万未満の市（24.3%）で2割半ばと高くなっている。性・年代別では男性の50歳代（25.0%）で比較的高くなっている。職業別では自営業・家族従業（計）（23.2%）が他の職業と比べてやや高くなっている。

□第4位／「防犯の地域づくりをすすめる」

地域別では西部地域（21.9%）で唯一2割を超えて高くなっている。年代別では30歳代（24.9%）で2割半ばと高く、性・年代別では男性の30歳代（24.3%）と40歳代（20.0%）、女性の20歳代（23.5%）と30歳代（25.5%）で2割を超えて高くなっている。ライフステージ別では独身期から家族成長前期で2割を超えて高くなっている。

□第5位／「子育て支援を充実する」

地域別では南部地域（20.3%）、秩父地域（23.8%）で2割を超えて高く、県央地域（13.5%）で最も低くなっている。年代別では30歳代（36.8%）で最も高く、20歳代（27.5%）、40歳代（20.5%）と続いている。性・年代別では男性の30歳代（32.3%）、女性の20歳代（34.8%）と30歳代（41.0%）で3割を超えて高くなっている。職業別では雇用者（計）（21.1%）が他の職業と比べて高くなっている。ライフステージ別では家族形成期（52.4%）が突出して高く、家族成長前期（38.4%）がこれに続いている。

□第6位／「食品の安全をまもる」

地域別では秩父地域（33.3%）で唯一3割を超えて高く、東部地域（11.6%）で最も低くなっている。性別では女性のほうが5.9ポイント高くなっている。年代別では60歳代（24.5%）で2割を超えて高く、性・年代別では女性60歳代（31.3%）で最も高くなっている。ライフステージ別では高齢期（21.3%）で高くなっている。

□第7位／「地球温暖化を防止する」

地域別では南西部地域（19.2%）と川越比企地域（19.3%）で約2割と高く、南部地域（10.4%）と秩父地域（9.5%）で1割前後と低くなっている。性別では女性のほうが4.0ポイント高く、性・年代別では女性の20歳代（19.1%）と40歳代（21.0%）で2割前後と高くなっている。

□第8位／「雇用の場を広げる」

地域別では西部地域（15.0%）でやや高くなっている。年代別では20歳代（18.8%）で最も高く、性・年代別でも男性20歳代（22.8%）で最も高くなっている。職業別では雇用者（計）（14.7%）でやや高く、ライフステージ別では独身期（21.3%）で最も高くなっている。

□第9位／「川や大気環境をまもる」

地域別では秩父地域（16.7%）で最も高くなっている。性・年代別では男性20歳代（13.2%）と男性60歳代（13.2%）で高くなっている。

□第10位／「災害から県民をまもる」

年代別では50歳代（13.0%）でやや高く、職業別では自営業・家族従業（計）（4.6%）で低くなっている。

○県政への要望・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

順位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	調査数	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を整備する	自然をまもり、緑を育てる	防犯の地域づくりをすすめる	子育て支援を充実する	食品の安全をまもる	地球温暖化を防止する	雇用の場を広げる	川や大気環境をまもる	災害から県民をまもる	省資源やリサイクルをすすめる	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	消費生活の安全を高める	便利な交通網をつくる	交通事故をなくす	道路や街路を整備する	青少年を健全に育てる	
全体	2250	30.8	27.7	19.7	17.4	17.3	16.8	16.0	12.7	9.6	9.4	8.7	8.5	8.2	7.9	7.7	6.8	6.2	
地域別																			
南部地域	222	28.8	27.9	19.4	18.9	20.3	18.9	10.4	11.3	11.7	9.5	6.8	9.5	11.3	5.4	6.3	5.0	6.3	
南西部地域	198	29.3	30.8	17.7	15.7	16.2	19.2	19.2	12.1	8.6	9.1	7.6	7.6	11.6	8.1	7.6	9.1	6.6	
東部地域	318	33.0	28.6	20.1	19.2	18.9	11.6	17.3	10.4	9.7	10.7	8.8	6.9	8.5	6.0	8.2	6.3	6.6	
さいたま地域	367	26.7	23.4	19.3	19.1	16.6	16.3	14.2	14.7	10.4	9.3	7.9	11.4	6.8	10.1	5.4	7.1	4.4	
県央地域	193	34.7	31.1	18.1	14.5	13.5	21.2	15.5	10.9	9.8	6.2	10.9	6.2	6.2	10.4	7.3	7.3	7.8	
川越比企地域	275	34.5	23.3	22.5	16.7	16.4	18.9	19.3	12.4	9.5	12.0	9.5	11.3	7.6	7.3	8.4	4.4	5.1	
西部地域	247	30.8	24.3	20.2	21.9	15.8	12.6	17.8	15.0	10.5	6.5	10.9	6.9	7.7	6.9	9.3	8.5	6.5	
利根地域	197	27.4	34.0	16.2	15.2	17.8	14.7	15.2	12.7	7.6	11.7	8.6	8.1	8.1	11.2	8.1	7.1	7.6	
北部地域	191	30.9	33.5	21.5	12.6	18.8	17.3	16.2	13.6	5.2	8.9	7.3	6.8	6.8	6.8	8.9	8.9	6.3	
秩父地域	42	38.1	19.0	23.8	14.3	23.8	33.3	9.5	14.3	16.7	9.5	9.5	4.8	7.1	2.4	11.9	2.4	9.5	
市郡規模別																			
人口10万以上の市	1533	29.4	27.5	18.7	19.0	18.0	16.3	15.6	13.1	9.3	9.2	9.1	9.3	8.3	8.2	7.1	7.0	6.1	
人口10万未満の市	477	34.2	28.5	24.3	13.0	15.1	19.3	15.9	12.2	10.3	9.2	8.0	6.5	9.2	6.9	9.4	5.2	7.1	
郡部(町村)	240	32.9	27.5	16.7	16.3	17.1	14.6	18.8	10.8	10.0	11.3	7.9	7.5	5.4	7.9	7.9	8.8	5.0	
性別																			
男性	1121	30.2	24.9	21.0	17.7	15.8	13.8	14.0	14.0	9.6	9.8	8.9	8.9	7.2	8.1	9.1	8.1	7.0	
女性	1129	31.3	30.5	18.4	17.2	18.8	19.7	18.0	11.3	9.5	9.0	8.5	8.1	9.1	7.6	6.3	5.6	5.5	
年代別																			
20歳代	229	13.1	20.1	20.1	19.2	27.5	13.1	15.3	18.8	10.5	6.6	9.2	3.5	7.0	13.1	9.2	8.3	7.9	
30歳代	389	13.6	25.7	17.0	24.9	36.8	13.1	13.9	15.2	7.2	8.5	8.5	10.3	6.4	9.5	8.2	7.5	3.3	
40歳代	386	17.4	28.8	19.2	18.1	20.5	13.2	17.4	13.5	8.8	9.6	9.6	13.2	6.2	10.1	6.2	8.3	7.8	
50歳代	393	30.5	30.0	21.9	15.5	8.9	15.5	15.8	15.8	10.2	13.0	8.4	8.1	9.9	8.7	3.6	7.9	7.4	
60歳代	515	46.0	28.2	19.6	14.8	9.3	24.5	16.9	10.5	11.8	8.5	9.1	6.8	9.5	4.7	7.8	5.6	7.2	
70歳以上	338	54.7	30.5	20.7	13.0	6.2	17.2	16.3	4.4	8.3	9.5	7.4	7.4	9.2	3.8	12.4	4.1	3.8	
性・年代別																			
男性・20歳代	114	10.5	14.0	21.1	14.9	20.2	13.2	11.4	22.8	13.2	8.8	5.3	5.3	7.0	12.3	9.6	7.9	9.6	
30歳代	189	12.7	20.6	14.8	24.3	32.3	10.1	14.3	15.9	3.7	8.5	8.5	12.7	4.8	11.1	10.1	12.7	5.3	
40歳代	200	16.0	28.0	23.0	20.0	21.0	11.0	14.0	14.0	9.0	9.0	7.0	14.0	5.0	10.5	4.5	7.0	9.0	
50歳代	188	31.4	29.3	25.0	13.3	11.2	14.9	14.4	17.6	9.6	13.3	10.1	9.0	8.0	9.0	4.3	9.0	6.9	
60歳代	250	45.6	23.6	21.2	18.0	7.6	17.2	14.4	12.0	13.2	8.8	11.6	3.6	8.0	4.0	9.6	7.6	8.4	
70歳以上	180	54.4	30.0	20.6	13.9	6.1	15.6	14.4	5.6	9.4	10.6	8.9	8.9	10.6	4.4	17.2	4.4	2.8	
女性・20歳代	115	15.7	26.1	19.1	23.5	34.8	13.0	19.1	14.8	7.8	4.3	13.0	1.7	7.0	13.9	8.7	8.7	6.1	
30歳代	200	14.5	30.5	19.0	25.5	41.0	16.0	13.5	14.5	10.5	8.5	8.5	8.0	8.0	8.0	6.5	2.5	1.5	
40歳代	186	18.8	29.6	15.1	16.1	19.9	15.6	21.0	12.9	8.6	10.2	12.4	12.4	7.5	9.7	8.1	9.7	6.5	
50歳代	205	29.8	30.7	19.0	17.6	6.8	16.1	17.1	14.1	10.7	12.7	6.8	7.3	11.7	8.3	2.9	6.8	7.8	
60歳代	265	46.4	32.5	18.1	11.7	10.9	31.3	19.2	9.1	10.6	8.3	6.8	9.8	10.9	5.3	6.0	3.8	6.0	
70歳以上	158	55.1	31.0	20.9	12.0	6.3	19.0	18.4	3.2	7.0	8.2	5.7	5.7	7.6	3.2	7.0	3.8	5.1	
職業別																			
自営業・家族従業(計)	241	36.5	27.4	23.2	14.1	10.0	14.5	19.9	12.9	11.6	4.6	9.5	7.5	8.7	7.9	5.4	5.8	7.9	
雇用者(計)	1188	23.1	26.9	19.8	19.3	21.1	15.3	15.1	14.7	8.0	10.6	9.2	8.8	7.4	9.5	6.9	8.2	6.6	
無職(計)	817	40.1	28.9	18.6	15.8	13.8	19.5	16.3	9.7	11.3	9.2	7.8	8.1	9.2	5.5	9.5	5.1	5.1	
ライフステージ別																			
独身期	305	14.8	19.3	18.7	21.6	16.7	10.8	13.8	21.3	10.8	8.2	9.2	3.9	5.6	14.1	9.2	9.5	5.9	
家族形成期	210	11.4	31.4	20.0	25.2	52.4	15.7	15.7	11.4	7.6	7.6	7.6	8.1	5.7	7.6	6.7	5.2	2.9	
家族成長前期	237	12.2	27.0	18.1	23.6	38.4	13.5	16.9	10.1	4.6	9.3	8.9	19.0	8.0	9.7	7.6	6.3	7.6	
家族成長後期	190	23.7	31.6	20.0	14.7	16.8	11.6	15.3	16.3	7.4	11.6	7.4	14.7	8.4	6.3	5.8	9.5	7.4	
家族成熟期	458	33.4	26.9	22.3	16.4	7.6	18.8	17.5	15.1	11.8	9.6	11.4	5.2	10.5	6.8	5.2	8.1	7.4	
高齢期	536	53.2	30.2	20.0	13.8	9.1	21.3	18.5	4.7	9.3	9.1	6.5	8.0	8.8	3.9	9.3	4.1	6.9	
その他	314	35.4	28.3	17.2	12.7	6.7	18.2	11.8	15.0	11.8	10.8	9.6	7.0	8.0	9.9	8.9	7.0	4.1	

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	その他	わからない	無回答
公園、緑地を整備する	廃棄物対策を充実する	農林業をさかんにする	都市のバリアフリー化をすすめる	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	健康づくりをすすめて、疾病を予防する	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	市町村が主役の地域づくりをすすめる	生活排水対策をすすめる	芸術・文化活動をさかんにする	人権尊重の社会づくりをすすめる	県民参加の行政をすすめる	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	男女共同参画社会の実現をはかる	生涯学習対策を充実する	観光振興をすすめる	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	国際交流や国際協力をすすめる	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める			
5.9	5.0	3.9	3.8	3.6	3.3	2.9	2.7	2.5	1.9	1.8	1.7	1.6	1.3	1.3	1.0	0.8	0.8	0.7	1.8	2.3	0.2

10.8	4.1	2.3	5.0	3.6	2.3	2.3	1.4	1.8	1.4	2.3	1.4	0.9	0.9	1.8	1.8	1.4	0.5	0.9	3.2	3.6	-
5.6	4.0	3.5	2.5	3.0	3.5	5.6	1.5	0.5	4.0	2.0	2.0	1.5	0.5	1.5	-	1.0	1.0	1.5	3.0	1.0	-
6.6	5.3	2.2	3.5	3.8	3.8	3.1	2.2	2.5	0.9	2.5	2.2	1.9	2.5	1.3	0.6	0.9	0.6	0.6	1.9	1.3	-
7.9	4.9	3.5	5.7	4.1	2.2	1.4	1.4	1.9	3.3	1.9	1.9	2.2	1.1	1.6	1.1	0.3	2.2	0.3	1.6	3.5	0.3
4.7	4.1	2.1	3.1	0.5	6.2	3.6	2.6	4.1	1.0	-	2.6	0.5	1.6	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.6	2.6	-
4.4	6.9	6.2	3.3	4.0	3.6	2.2	4.0	2.2	0.4	1.5	1.1	2.2	1.1	0.7	0.7	0.4	-	0.7	1.8	1.5	-
2.8	5.3	4.9	5.3	5.7	2.8	2.4	1.6	3.6	1.2	2.8	1.6	0.4	0.4	0.8	0.4	0.8	0.8	1.2	2.0	2.4	1.2
4.1	4.6	4.1	2.0	3.0	3.6	1.5	5.1	4.1	2.0	2.0	1.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.5	-	0.5	1.0	3.6	-
5.8	5.8	6.8	2.6	3.7	3.1	5.2	5.2	2.6	3.7	1.0	1.6	2.6	2.1	2.1	2.1	1.0	0.5	0.5	-	1.0	-
2.4	-	2.4	2.4	2.4	2.4	7.1	7.1	2.4	-	-	2.4	2.4	-	-	4.8	-	-	-	2.4	-	-

6.7	4.9	3.8	4.2	3.5	3.1	3.0	1.8	1.7	1.8	1.7	1.9	1.7	1.3	1.4	0.9	0.9	0.9	0.9	2.1	2.0	0.3
4.0	4.8	3.1	2.9	4.0	3.6	2.5	3.6	4.2	2.7	2.3	1.3	1.9	1.0	1.0	1.0	0.8	0.4	0.2	1.3	2.9	-
5.0	5.8	5.8	2.9	3.8	4.2	3.3	6.7	4.6	1.3	1.7	1.7	0.8	1.7	1.3	1.3	0.4	0.4	0.4	1.3	2.9	-

6.7	4.7	4.2	3.0	2.7	2.3	4.3	2.9	2.9	2.1	1.7	2.3	2.5	0.8	1.0	1.2	0.7	0.9	1.2	2.0	2.5	0.3
5.1	5.2	3.5	4.6	4.5	4.3	1.6	2.6	2.2	1.8	1.9	1.2	0.8	1.8	1.7	0.8	1.0	0.6	0.2	1.7	2.0	0.1

8.7	3.9	3.9	4.8	3.5	0.9	3.9	1.3	0.4	3.9	1.3	0.4	4.4	1.3	0.4	2.2	0.9	0.9	1.3	2.6	3.1	0.4
9.5	3.6	3.3	4.6	3.1	1.8	3.1	2.1	0.5	2.6	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	0.8	0.8	1.3	3.3	2.1	-
7.0	4.7	5.2	2.6	3.9	2.1	3.4	2.3	2.8	2.1	1.8	2.1	2.1	1.0	1.3	1.3	0.8	1.3	0.8	1.8	2.1	0.5
3.3	4.1	4.3	4.8	4.8	5.1	2.3	2.5	3.1	1.5	1.8	1.8	1.3	2.5	1.8	0.3	0.3	0.8	0.8	2.5	2.0	-
4.1	6.8	3.9	3.7	3.9	4.3	3.1	3.7	3.5	1.6	1.4	2.3	1.2	1.4	1.6	1.0	1.2	0.6	0.2	0.6	0.8	0.2
4.4	5.9	2.4	2.7	2.1	4.7	2.1	3.6	3.8	0.6	3.3	1.5	0.6	0.3	0.9	0.6	1.2	0.3	0.3	0.6	4.7	-

7.9	3.5	4.4	6.1	0.9	1.8	6.1	1.8	0.9	5.3	0.9	0.9	6.1	0.9	-	2.6	0.9	0.9	1.8	2.6	4.4	0.9
11.6	1.1	4.8	4.8	2.6	0.5	4.2	2.6	0.5	1.6	2.6	3.2	3.2	1.1	1.1	2.1	0.5	0.5	2.6	4.2	1.1	-
9.5	4.0	5.0	1.5	2.5	2.0	5.0	1.0	3.5	3.0	1.0	1.5	2.5	0.5	1.0	1.0	-	2.0	1.5	3.0	4.0	0.5
2.7	6.4	4.8	2.1	3.7	4.3	2.7	1.6	2.1	1.6	1.6	2.1	2.7	1.1	2.1	0.5	-	0.5	1.6	1.6	2.1	-
4.0	7.2	3.6	4.0	3.6	2.4	4.8	4.4	4.8	2.0	1.2	3.6	1.6	0.8	0.4	1.2	2.0	0.8	0.4	0.8	0.8	0.4
5.6	5.0	2.8	0.6	1.7	2.8	3.3	5.0	3.9	-	2.8	1.7	0.6	0.6	1.1	-	0.6	0.6	-	-	3.9	-
9.6	4.3	3.5	3.5	6.1	-	1.7	0.9	-	2.6	1.7	-	2.6	1.7	0.9	1.7	0.9	0.9	0.9	2.6	1.7	-
7.5	6.0	2.0	4.5	3.5	3.0	2.0	1.5	0.5	3.5	0.5	-	-	1.0	2.0	-	1.0	1.0	-	2.5	3.0	-
4.3	5.4	5.4	3.8	5.4	2.2	1.6	3.8	2.2	1.1	2.7	2.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	0.5	-	0.5	-	0.5
3.9	2.0	3.9	7.3	5.9	5.9	2.0	3.4	3.9	1.5	2.0	1.5	-	3.9	1.5	-	0.5	1.0	-	3.4	2.0	-
4.2	6.4	4.2	3.4	4.2	6.0	1.5	3.0	2.3	1.1	1.5	1.1	0.8	1.9	2.6	0.8	0.4	0.4	-	0.4	0.8	-
3.2	7.0	1.9	5.1	2.5	7.0	0.6	1.9	3.8	1.3	3.8	1.3	0.6	-	0.6	1.3	1.9	-	0.6	1.3	5.7	-

5.0	4.6	8.7	2.1	2.5	2.1	8.7	2.5	2.1	1.7	1.7	2.9	0.8	0.8	0.8	1.2	0.4	0.8	0.8	1.2	0.4	0.8
6.4	4.9	4.2	3.5	3.9	2.9	2.7	2.4	2.2	2.2	1.7	1.9	2.2	1.6	1.4	1.1	0.8	1.1	1.0	2.2	2.3	0.2
5.5	5.3	2.0	4.8	3.4	4.3	1.6	3.3	3.2	1.6	2.1	1.2	1.1	1.0	1.3	0.7	1.0	0.2	0.2	1.5	2.7	-

6.6	4.3	4.9	5.9	4.3	1.6	4.9	2.3	0.7	3.9	2.3	1.0	3.6	1.0	1.3	2.0	1.3	1.0	2.0	4.3	3.0	0.3
12.9	3.8	2.4	3.8	1.9	1.9	2.4	1.4	0.5	2.4	1.0	1.4	0.5	1.9	0.5	1.0	-	0.5	0.5	2.4	1.4	-
10.5	2.1	2.1	1.7	2.1	0.4	0.4	2.5	0.8	2.1	0.4	1.7	3.4	0.8	0.8	1.3	0.4	0.8	-	1.7	2.1	-
5.8	5.3	4.7	4.7	2.6	3.7	4.2	1.6	3.7	2.1	0.5	2.6	1.6	1.6	1.6	0.5	1.1	0.5	1.1	2.6	2.1	-
4.4	5.0	3.3	4.1	5.2	4.1	2.6	3.5	3.1	1.5	2.0	2.4	1.7	1.7	2.2	0.4	1.1	1.1	0.4	2.0	1.5	-
3.2	7.1	3.5	2.8	2.2	5.0	2.2	3.9	3.7	0.9	1.7	1.5	0.4	0.9	1.3	0.7	1.1	0.4	0.4	0.7	2.4	-
4.1	4.8	6.1	4.1	5.7	3.8	4.1	1.6	3.5	1.6	3.8	1.6	1.3	1.0	1.3	1.3	0.3	1.0	1.0	0.3	3.2	1.0

【平成17年以降の上位10項目の推移】

過去5年間の上位10項目の推移をみると、今回1位の「高齢者の福祉を充実する」（2位→1位→1位→1位→1位）と、2位の「医療サービス体制を整備する」（3位→3位→2位→2位→2位）はほぼ上位で固定している。3位の「自然をまもり、緑を育てる」（4位→4位→3位→5位→3位）も連続して5位以内で、今回は順位を2つ上げている。4位の「防犯の地域づくりをすすめる」（1位→2位→7位→6位→4位）は、平成19年までは下降していたが、平成20年、今回と順位を上げている。5位の「子育て支援を充実する」（6位→5位→6位→7位→5位）は小刻みに上昇・下降している。6位の「食品の安全をまもる」（9位→13位→5位→3位→6位）は前回順位を上げていたが、今回は順位を大きく下げている。7位の「地球温暖化を防止する」（5位→8位→4位→4位→7位）は、今回は順位を3つ下げている。

順位	17年	18年	19年	20年	21年
1	防犯の地域づくりをすすめる 25.5%	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%
2	高齢者の福祉を充実する 23.3%	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%
3	医療サービス体制を整備する 17.9%	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%
4	自然をまもり、緑を育てる 16.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%
5	地球温暖化を防止する 16.0%	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%
6	子育て支援を充実する 15.3%	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%
7	青少年を健全に育てる 13.4%	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%
8	雇用の場を広げる 11.7%	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%
9	食品の安全をまもる 11.4%	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気環境をまもる 9.6%
10	災害から県民をまもる 10.0%	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%

【上位4項目の10年間の推移】

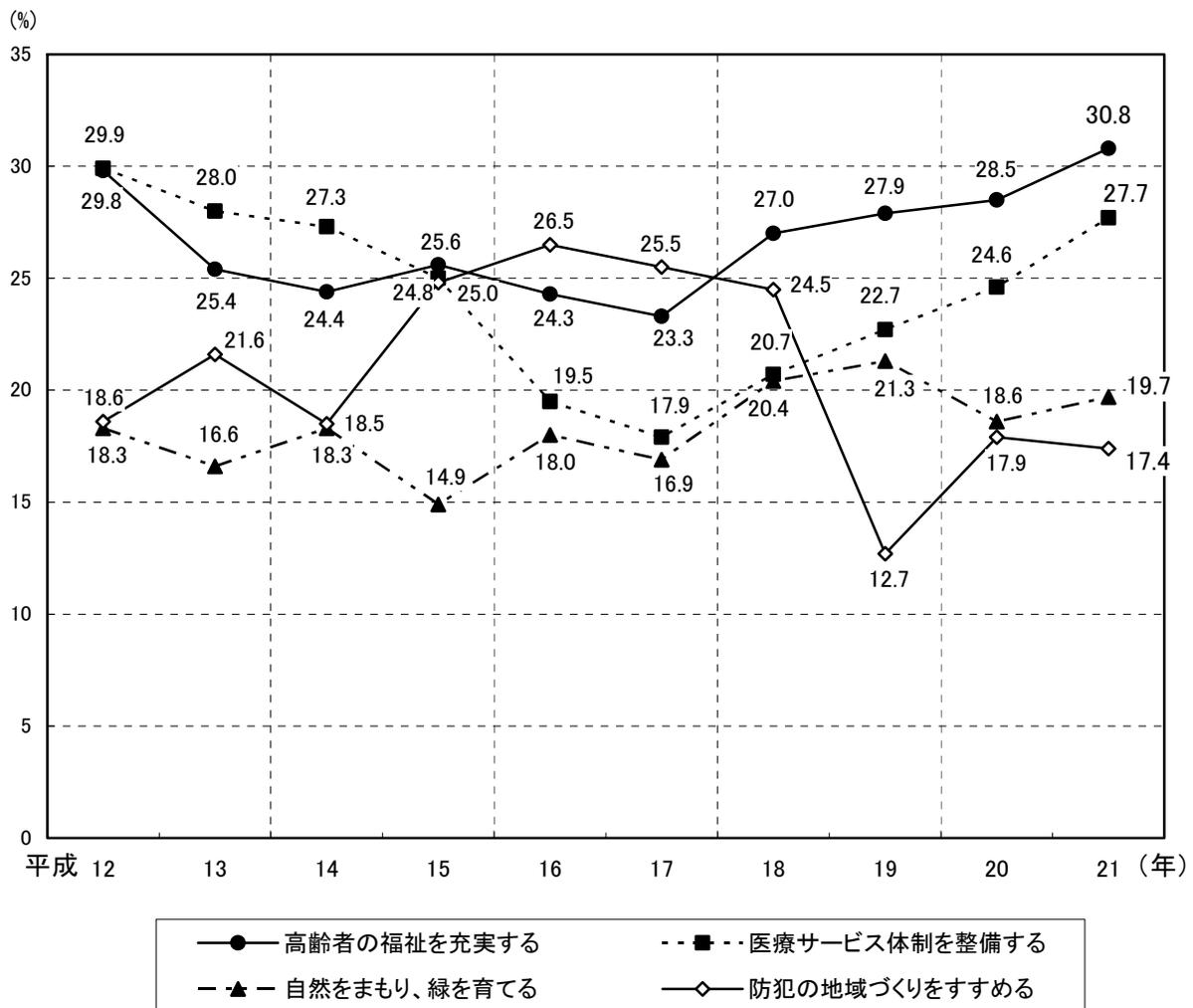
今回の調査で上位となった「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「自然をまもり、緑を育てる（平成15年以前は「緑をまもり育てる）」、「防犯の地域づくりをすすめる（平成15年以前は「犯罪から県民をまもる）」の4項目について、平成12年以降の10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「高齢者の福祉を充実する」は平成13年以降は2割半ばを推移し、わずかながら減少傾向がみられていたが、17年以降増加傾向を示しており、今回は3割を超えている。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成12年から17年まで下降傾向を示していたが、18年からは2割を超えて、増加傾向を示しており、今回は3割近い。

3位の「自然をまもり、緑を育てる」は、おおむね15から20%の間を推移しており、今回は約2割となっている。

4位の「防犯の地域づくりをすすめる」は平成18年から19年にかけて大きく減少したが、平成20年には2割弱まで戻り、今回もほぼ同率である。



【属性別の上位5項目】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=222)	高齢者の福祉を充実する (28.8)	医療サービス体制を整備する (27.9)	子育て支援を充実する (20.3)	自然をまもり、緑を育てる (19.4)	防犯の地域づくりをすすめる／食品の安全をまもる (18.9)
南西部地域 (n=198)	医療サービス体制を整備する (30.8)	高齢者の福祉を充実する (29.3)	食品の安全をまもる／地球温暖化を防止する (19.2)	自然をまもり、緑を育てる (17.7)	
東部地域 (n=318)	高齢者の福祉を充実する (33.0)	医療サービス体制を整備する (28.6)	自然をまもり、緑を育てる (20.1)	防犯の地域づくりをすすめる (19.2)	子育て支援を充実する (18.9)
さいたま地域 (n=367)	高齢者の福祉を充実する (26.7)	医療サービス体制を整備する (23.4)	自然をまもり、緑を育てる (19.3)	防犯の地域づくりをすすめる (19.1)	子育て支援を充実する (16.6)
県央地域 (n=193)	高齢者の福祉を充実する (34.7)	医療サービス体制を整備する (31.1)	食品の安全をまもる (21.2)	自然をまもり、緑を育てる (18.1)	地球温暖化を防止する (15.5)
川越比企地域 (n=275)	高齢者の福祉を充実する (34.5)	医療サービス体制を整備する (23.3)	自然をまもり、緑を育てる (22.5)	地球温暖化を防止する (19.3)	食品の安全をまもる (18.9)
西部地域 (n=247)	高齢者の福祉を充実する (30.8)	医療サービス体制を整備する (24.3)	防犯の地域づくりをすすめる (21.9)	自然をまもり、緑を育てる (20.2)	地球温暖化を防止する (17.8)
利根地域 (n=197)	医療サービス体制を整備する (34.0)	高齢者の福祉を充実する (27.4)	子育て支援を充実する (17.8)	自然をまもり、緑を育てる (16.2)	防犯の地域づくりをすすめる／地球温暖化を防止する (15.2)
北部地域 (n=191)	医療サービス体制を整備する (33.5)	高齢者の福祉を充実する (30.9)	自然をまもり、緑を育てる (21.5)	子育て支援を充実する (18.8)	食品の安全をまもる (17.3)
秩父地域 (n=42)	高齢者の福祉を充実する (38.1)	食品の安全をまもる (33.3)	自然をまもり、緑を育てる／子育て支援を充実する (23.8)		医療サービス体制を整備する (19.0)

■市郡規模別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
人口10万以上の市 (n=1533)	高齢者の福祉を充実する (29.4)	医療サービス体制を整備する (27.5)	防犯の地域づくりをすすめる (19.0)	自然をまもり、緑を育てる (18.7)	子育て支援を充実する (18.0)
人口10万未満の市 (n=477)	高齢者の福祉を充実する (34.2)	医療サービス体制を整備する (28.5)	自然をまもり、緑を育てる (24.3)	食品の安全をまもる (19.3)	地球温暖化を防止する (15.9)
郡部(町村) (n=240)	高齢者の福祉を充実する (32.9)	医療サービス体制を整備する (27.5)	地球温暖化を防止する (18.8)	子育て支援を充実する (17.1)	自然をまもり、緑を育てる (16.7)

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=1121)	高齢者の福祉を充実する (30.2)	医療サービス体制を整備する (24.9)	自然をまもり、緑を育てる (21.0)	防犯の地域づくりをすすめる (17.7)	子育て支援を充実する (15.8)
女性 (n=1129)	高齢者の福祉を充実する (31.3)	医療サービス体制を整備する (30.5)	食品の安全をまもる (19.7)	子育て支援を充実する (18.8)	自然をまもり、緑を育てる (18.4)

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=229)	子育て支援を充実する (27.5)	医療サービス体制を整備する／自然をまもり、緑を育てる (20.1)	防犯の地域づくりをすすめる (19.2)	防犯の地域づくりをすすめる (19.2)	雇用の場を広げる (18.8)
30歳代 (n=389)	子育て支援を充実する (36.8)	医療サービス体制を整備する (25.7)	防犯の地域づくりをすすめる (24.9)	自然をまもり、緑を育てる (17.0)	雇用の場を広げる (15.2)
40歳代 (n=386)	医療サービス体制を整備する (28.8)	子育て支援を充実する (20.5)	自然をまもり、緑を育てる (19.2)	防犯の地域づくりをすすめる (18.1)	高齢者の福祉を充実する／地球温暖化を防止する (17.4)
50歳代 (n=393)	高齢者の福祉を充実する (30.5)	医療サービス体制を整備する (30.0)	自然をまもり、緑を育てる (21.9)	地球温暖化を防止する／雇用の場を広げる (15.8)	
60歳代 (n=515)	高齢者の福祉を充実する (46.0)	医療サービス体制を整備する (28.2)	食品の安全をまもる (24.5)	自然をまもり、緑を育てる (19.6)	地球温暖化を防止する (16.9)
70歳以上 (n=338)	高齢者の福祉を充実する (54.7)	医療サービス体制を整備する (30.5)	自然をまもり、緑を育てる (20.7)	食品の安全をまもる (17.2)	地球温暖化を防止する (16.3)

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性・20歳代 (n=114)	雇用の場を広げる (22.8)	自然をまもり、緑を育てる (21.1)	子育て支援を充実する (20.2)	防犯の地域づくりをすすめる (14.9)	医療サービス体制を整備する (14.0)
30歳代 (n=189)	子育て支援を充実する (32.3)	防犯の地域づくりをすすめる (24.3)	医療サービス体制を整備する (20.6)	雇用の場を広げる (15.9)	自然をまもり、緑を育てる (14.8)
40歳代 (n=200)	医療サービス体制を整備する (28.0)	自然をまもり、緑を育てる (23.0)	子育て支援を充実する (21.0)	防犯の地域づくりをすすめる (20.0)	高齢者の福祉を充実する (16.0)
50歳代 (n=188)	高齢者の福祉を充実する (31.4)	医療サービス体制を整備する (29.3)	自然をまもり、緑を育てる (25.0)	雇用の場を広げる (17.6)	食品の安全をまもる (14.9)
60歳代 (n=250)	高齢者の福祉を充実する (45.6)	医療サービス体制を整備する (23.6)	自然をまもり、緑を育てる (21.2)	防犯の地域づくりをすすめる (18.0)	食品の安全をまもる (17.2)
70歳以上 (n=180)	高齢者の福祉を充実する (54.4)	医療サービス体制を整備する (30.0)	自然をまもり、緑を育てる (20.6)	交通事故をなくする (17.2)	食品の安全をまもる (15.6)
女性・20歳代 (n=115)	子育て支援を充実する (34.8)	医療サービス体制を整備する (26.1)	防犯の地域づくりをすすめる (23.5)	自然をまもり、緑を育てる／地球温暖化を防止する (19.1)	
30歳代 (n=200)	子育て支援を充実する (41.0)	医療サービス体制を整備する (30.5)	防犯の地域づくりをすすめる (25.5)	自然をまもり、緑を育てる (19.0)	食品の安全をまもる (16.0)
40歳代 (n=186)	医療サービス体制を整備する (29.6)	地球温暖化を防止する (21.0)	子育て支援を充実する (19.9)	高齢者の福祉を充実する (18.8)	防犯の地域づくりをすすめる (16.1)
50歳代 (n=205)	医療サービス体制を整備する (30.7)	高齢者の福祉を充実する (29.8)	自然をまもり、緑を育てる (19.0)	防犯の地域づくりをすすめる (17.6)	地球温暖化を防止する (17.1)
60歳代 (n=265)	高齢者の福祉を充実する (46.4)	医療サービス体制を整備する (32.5)	食品の安全をまもる (31.3)	地球温暖化を防止する (19.2)	自然をまもり、緑を育てる (18.1)
70歳以上 (n=158)	高齢者の福祉を充実する (55.1)	医療サービス体制を整備する (31.0)	自然をまもり、緑を育てる (20.9)	食品の安全をまもる (19.0)	地球温暖化を防止する (18.4)

■ライフステージ別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
独身期 (n=305)	防犯の地域づくり をすすめる (21.6)	雇用の場を広げる (21.3)	医療サービス体制 を整備する (19.3)	自然をまもり、緑 を育てる (18.7)	子育て支援を充実 する (16.7)
家族形成期 (n=210)	子育て支援を充実 する (52.4)	医療サービス体制 を整備する (31.4)	防犯の地域づくり をすすめる (25.2)	自然をまもり、緑 を育てる (20.0)	食品の安全をまも る／地球温暖化を 防止する (15.7)
家族成長前期 (n=237)	子育て支援を充実 する (38.4)	医療サービス体制 を整備する (27.0)	防犯の地域づくり をすすめる (23.6)	学力、規律ある態 度、体力を身につ ける学校教育を充 実する (19.0)	自然をまもり、緑 を育てる (18.1)
家族成長後期 (n=190)	医療サービス体制 を整備する (31.6)	高齢者の福祉を充 実する (23.7)	自然をまもり、緑 を育てる (20.0)	子育て支援を充実 する (16.8)	雇用の場を広げる (16.3)
家族成熟期 (n=458)	高齢者の福祉を充 実する (33.4)	医療サービス体制 を整備する (26.9)	自然をまもり、緑 を育てる (22.3)	食品の安全をまも る (18.8)	地球温暖化を防止 する (17.5)
高齢期 (n=536)	高齢者の福祉を充 実する (53.2)	医療サービス体制 を整備する (30.2)	食品の安全をまも る (21.3)	自然をまもり、緑 を育てる (20.0)	地球温暖化を防止 する (18.5)
その他 (n=314)	高齢者の福祉を充 実する (35.4)	医療サービス体制 を整備する (28.3)	食品の安全をまも る (18.2)	自然をまもり、緑 を育てる (17.2)	雇用の場を広げる (15.0)

県政への要望10年間の推移(平成12年～平成21年)

	H12	H13	H14	H15	H16
1	医療サービス体制を整備する 29.9%	医療サービス体制を整備する 28.0%	医療サービス体制を整備する 27.3%	高齢者の福祉を充実する 25.8%	防犯の地域づくりをすすめる 26.5%
2	高齢者の福祉を充実する 29.8%	高齢者の福祉を充実する 25.4%	高齢者の福祉を充実する 24.4%	医療サービス体制を整備する 25.0%	高齢者の福祉を充実する 24.3%
3	犯罪から県民をまもる 18.6%	犯罪から県民をまもる 21.6%	犯罪から県民をまもる 18.5%	犯罪から県民をまもる 24.8%	医療サービス体制を整備する 19.5%
4	緑をまもり育てる 18.3%	緑をまもり育てる 16.6%	緑をまもり育てる 18.3%	緑をまもり育てる 14.9%	自然をまもり、緑を育てる 18.0%
5	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 14.6%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 16.3%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 17.7%	青少年を健全に育てる 14.8%	地球温暖化を防止する 15.2%
6	青少年を健全に育てる 14.1%	省資源やリサイクルをすすめる 16.2%	省資源やリサイクルをすすめる 14.1%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 13.2%	青少年を健全に育てる 13.7%
7	公害をなくす 13.7%	公害をなくす 14.1%	青少年を健全に育てる 12.9%	公害をなくす 11.4%	雇用の場を広げる 13.6%
8	省資源やリサイクルをすすめる 11.8%	青少年を健全に育てる 11.4%	公害をなくす 12.1%	便利な交通網をつくる 10.1%	食品の安全をまもる 13.0%
9	下水道を整備する 11.7%	交通事故をなくす 10.6%	交通事故をなくす 12.0%	省資源やリサイクルをすすめる 9.7%	子育て支援を充実する 12.5%
10	公園、緑地を整備する 9.8%	便利な交通網をつくる 9.1%	道路や街路を整備する 11.2%	家庭、児童福祉を充実する 9.6%	川や大気環境をまもる 10.9%
11	道路や街路を整備する 8.6%	公園、緑地を整備する 8.8%	下水道を整備する 10.5%	道路や街路を整備する 8.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.8%
12	交通事故をなくす 8.5%	働く人たちの福祉をたかめる 8.1%	便利な交通網をつくる 10.1%	交通事故をなくす 8.4%	省資源やリサイクルをすすめる 10.0%
13	働く人たちの福祉をたかめる 7.7%	個性を生かす学校教育を充実する 7.9%	働く人たちの福祉をたかめる 10.0%	働く人たちの福祉をたかめる 7.9%	交通事故をなくす 9.9%
14	便利な交通網をつくる 7.5%	下水道を整備する 7.7%	公園、緑地を整備する 8.1%	公園、緑地を整備する 7.6%	廃棄物対策を充実する 8.3%
15	個性を生かす学校教育を充実する 6.7%	道路や街路を整備する 7.4%	家庭、児童福祉を充実する 7.0%	下水道を整備する 7.3%	便利な交通網をつくる 7.3%
16	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 6.5%	家庭、児童福祉を充実する 7.0%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 6.8%	個性を生かす学校教育を充実する 6.1%	災害から県民をまもる 7.2%
17	家庭、児童福祉を充実する 6.4%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.4%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 6.1%	消費者を保護する 5.7%	消費生活の安全をたかめる 6.3%
18	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.3%	生涯学習対策を充実する 5.3%	個性を生かす学校教育を充実する 5.9%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.6%	道路や街路を整備する 5.7%
19	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 6.2%	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 5.2%	消費者を保護する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 5.1%	火災や災害から県民をまもる 4.4%	公園、緑地を整備する 5.5%
20	消費者を保護する 4.4%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.1%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 5.1%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 県民参加の行政をすすめる 4.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.1%
21	火災や災害から県民をまもる 4.0%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 4.9%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.0%	県民参加の行政をすすめる 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 4.5%
22	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 3.8%	消費者を保護する 4.8%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.0%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 3.7%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する/ 市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%
23	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 3.7%	県民参加の行政をすすめる 4.4%	県民参加の行政をすすめる 4.7%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%	障害者の社会参加 と福祉対策をすすめる 3.9%
24	県民参加の行政をすすめる/ 商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 3.4%	火災や災害から県民をまもる 3.6%	火災や災害から県民をまもる 4.3%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 3.2%	人権尊重の社会づくりをすすめる 3.0%
25	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 3.4%	住宅対策をすすめる/ 情報システムの整備、 活用をすすめる 2.8%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 3.3%	地域の文化をたかめる 2.6%	生涯学習対策を充実する 1.9%
26	生涯学習対策を充実する 3.1%	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.8%	生涯学習対策を充実する 3.0%	生涯学習対策を充実する 2.5%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.7%
27	情報システムの整備、 活用をすすめる 3.0%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大)/ 衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 2.7%	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.9%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 2.4%	県民参加の行政をすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.5%
28	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など) 2.6%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 2.7%	地域の文化をたかめる 2.6%	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.5%
29	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 2.5%	コミュニティづくりをすすめる/ 地域の文化をたかめる/ 男女平等社会の実現をはかる 2.5%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 2.5%	住宅対策をすすめる 2.1%	生活排水対策をすすめる/ 生涯学習対策を充実する 1.9%
30	住宅対策をすすめる 2.3%	地域の文化をたかめる/ 男女平等社会の実現をはかる 2.5%	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など)/ 情報システムの整備、 活用をすすめる 2.0%	生涯学習対策を充実する 1.9%
31	地域の文化をたかめる 2.2%	男女平等社会の実現をはかる 2.5%	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など)/ 住宅対策をすすめる 2.0%	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.0%	農林業をさかんにする 1.6%
32	コミュニティづくりをすすめる 2.1%	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など) 2.2%	住宅対策をすすめる 2.0%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.6%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める/ NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.4%
33	男女平等社会の実現をはかる 1.8%	国際化をすすめる 2.1%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 国際化をすすめる 1.9%	農林業をさかんにする/ 国際化をすすめる 1.5%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.4%
34	農林業をさかんにする 1.5%	農林業をさかんにする 1.8%	国際化をすすめる 1.9%	国際化をすすめる 1.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.0%
35	国際化をすすめる 1.4%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.7%	農林業をさかんにする 1.7%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%
36	同和問題を解決する 0.8%	同和問題を解決する 1.1%	同和問題を解決する 0.7%	同和問題を解決する 0.3%	観光振興をすすめる 0.4%

	H17	H18	H19	H20	H21
1	防犯の地域づくりをすすめる 29.5%	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%
2	高齢者の福祉を充実する 23.3%	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%
3	医療サービス体制を整備する 17.9%	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%
4	自然をまもり、緑を育てる 16.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%
5	地球温暖化を防止する 16.0%	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%
6	子育て支援を充実する 15.3%	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%
7	青少年を健全に育てる 13.4%	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%
8	雇用の場を広げる 11.7%	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%
9	食品の安全をまもる 11.4%	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気環境をまもる 9.6%
10	災害から県民をまもる 10.0%	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%
11	川や大気環境をまもる 9.4%	川や大気環境をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 9.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.9%	省資源やリサイクルをすすめる 8.7%
12	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 8.9%	川や大気環境をまもる 9.3%	雇用の場を広げる 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%
13	便利な交通網をつくる 8.5%	食品の安全をまもる/ 青少年を健全に育てる 8.6%	雇用の場を広げる 8.4%	青少年を健全に育てる 8.7%	消費生活の安全を高める 8.2%
14	省資源やリサイクルをすすめる 8.4%		道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 8.0%	便利な交通網をつくる 8.5%	便利な交通網をつくる 7.9%
15	交通事故をなくす/ 消費生活の安全をたかめる 8.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	消費生活の安全を高める 7.2%	交通事故をなくす 8.3%	交通事故をなくす 7.7%
16	道路や街路を整備する 7.9%	便利な交通網をつくる 8.4%	消費生活の安全を高める 7.2%	川や大気環境をまもる 7.5%	道路や街路を整備する 6.8%
17	廃棄物対策を充実する 6.4%	廃棄物対策を充実する 7.8%	青少年を健全に育てる 7.1%	道路や街路を整備する 7.2%	青少年を健全に育てる 6.2%
18	公園、緑地を整備する 5.9%	公園、緑地を整備する/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 6.5%	公園、緑地を整備する 6.8%	公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.9%
19	都市のバリアフリー化をすすめる 4.6%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.6%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.6%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.8%	廃棄物対策を充実する 5.0%
20	生活排水対策をすすめる 4.1%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.9%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.5%	廃棄物対策を充実する 4.5%	農林業をさかんにする 3.9%
21	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.0%	消費生活の安全をたかめる 5.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.7%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.8%
22	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.0%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%	農林業をさかんにする 3.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.6%
23	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%	生活排水対策をすすめる 3.8%	生活排水対策をすすめる 2.4%	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 3.3%
24	県民参加の行政をすすめる 3.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 芸術・文化活動をさかんにする 3.0%	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 3.0%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.7%
25	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.9%	芸術・文化活動をさかんにする 3.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 3.0%	県民参加の行政をすすめる/ 2.5%	生活排水対策をすすめる 2.5%
26	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.8%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.9%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	スポーツ、レクリエーションをさかんに する 2.3%	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%
27	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.5%	県民参加の行政をすすめる 2.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 2.0%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 1.9%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.8%
28	生涯学習対策を充実する 2.1%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	県民参加の行政をすすめる 1.7%
29	農林業をさかんにする 1.7%	生涯学習対策を充実する 2.3%	県民参加の行政をすすめる 1.8%	芸術・文化活動をさかんにする/ 生涯学習対策を充実する 1.6%	スポーツ、レクリエーションをさかんに する 1.6%
30	芸術・文化活動をさかんにする 1.4%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 1.9%	農林業をさかんにする 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 生涯学習対策を充実する 1.3%
31	男女共同参画社会の実現をはかる/ 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 1.1%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.5%	生涯学習対策を充実する 1.3%
32	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%	農林業をさかんにする/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 1.2%	観光振興をすすめる 1.0%
33	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を 充実する 0.9%	NPOやボランティアへの活動支援を 充実する/ 0.9%
34	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.1%	観光振興をすすめる 0.7%	観光振興をすすめる 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%
35	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 0.6%	IT(情報通信技術)を生かした社会づ くりを進める 0.4%	IT(情報通信技術)を生かした社会づ くりを進める 0.7%

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査

(平成21年7月)

調査実施主体 埼玉県
【担当 県民生活部 広聴広報課】
【048(830)2850】

調査実施機関 株式会社 サurveyリサーチセンター
東京都荒川区西日暮里2-40-10
0120(227)244(フリーダイヤル)

I 生活意識

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年のごころと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。

0.4 楽になった	31.2 少し苦しくなった	37.2 変わらない
1.8 少し楽になった	26.7 苦しくなった	2.3 わからない
		0.4 無回答

(問1で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

64.6 賃金などの収入が増えない、または減った			
15.9 失業、退職、病気などで働き手が減った			
4.9 事業などの経費が増えた			
22.6 家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた			
18.6 教育費が増えた			
13.9 家や自動車、家電などの支出が増えた			
34.5 税金や保険料などの支払いが増えた			
12.5 結婚、出産、病気など特別な出費が増えた			
9.8 金利が低い			
5.1 その他 ()			
0.4 特にない			
0.4 わからない			
0.6 無回答			

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。

0.1 上の上	22.6 中の上	15.2 下の上	16.8 わからない
1.2 上の下	38.4 中の下	5.7 下の下	0.2 無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。

2.0 大変満足している	42.1 やや不満である	5.2 わからない
37.4 まあ満足している	13.0 大変不満である	0.3 無回答

問4 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住みたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。

63.7 住みたい	20.8 よそへ移りたい	15.4 わからない	0.1 無回答
-----------	--------------	------------	---------

↓ (問4で「住みたい」と答えた方に)
 ↓ (問4-2~問4-4へ)
 ↓ (問5へ)

問4-1 今お住まいの地域に住みたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 34.5 自然環境がよいから | 15.9 治安や風紀がよいから |
| 41.5 交通の便がよいから | 28.7 隣近所の人との付き合いがうまくいっているから |
| 14.2 学校、図書館などの教育・文化施設が整っているから | 15.0 土地がらや人情が自分に合っているから |
| 16.3 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから | 32.9 買い物に便利だから |
| 24.2 医療施設が身近にあり、病気の時でも安心だから | 58.8 住みなれていて愛着があるから |
| 22.7 通勤や仕事に便利だから | 24.6 親、兄弟や親戚が近くにいるから |
| 2.2 商売や事業などに適したところだから | 2.7 その他 () |
| | 2.4 特に理由はない |
| | 0.3 無回答 |

(問4-1の次は問5へ)

(問4で「よそへ移りたい」と答えた方に)

問4-2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 15.0 自然環境が悪いから | 8.1 治安や風紀が悪いから |
| 35.0 交通の便が悪いから | 9.2 隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから |
| 7.5 学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから | 15.0 土地がらや人情が自分に合わないから |
| 13.9 道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから | 22.2 買い物に不便だから |
| 12.8 医療施設が身近になく、病気の時心配だから | 19.7 愛着がないから |
| 25.9 通勤や仕事に不便だから | 15.6 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから |
| 2.1 商売や事業などに適さないところだから | 19.2 その他 () |
| | 5.1 特に理由はない |
| | 0.6 無回答 |

(問4で「よそへ移りたい」と答えた方に)

問4-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。

29.9 埼玉県内	25.2 どちらでもかまわない	→ (問5へ)
42.9 県外	1.9 無回答	

(問4-3で「県外」と答えた方に)

問4-4 県外へ移るとしたら、どこの都道府県へ移りたいですか。

(都道府県名)

(調査員記入欄)

Ⅱ 日常生活

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動(清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など)や子ども会活動、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、まちづくりの推進を図るための活動など、地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。

39.2 ある	60.7 ない	0.0 無回答
---------	---------	---------

((1)で「ない」と答えた方に)

(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

36.2 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない	17.6 興味がない
12.8 団体・活動についての情報が得られない	10.6 その他()
24.8 参加するきっかけが得られない	13.4 特になし
8.5 参加したいと思う団体や活動がない	1.9 わからない
	1.6 無回答

(2) あなたは、現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか。文化芸術活動とは、文芸・音楽・歌唱・美術・写真・映画・演劇・舞踊・漫画・アニメ・伝統芸能・民俗芸能・茶道・華道・書道・陶芸・囲碁・将棋などです。

25.9 行っている	73.7 行っていない	0.4 無回答
------------	-------------	---------

(次ページ(2)-1へ)

((2) で「行っていない」と答えた方に)

(2) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | | | |
|------|-----------|------|--------------|
| 31.6 | 金銭的な余裕がない | 10.4 | 情報が得られない |
| 47.7 | 時間的な余裕がない | 14.9 | 文化芸術活動に関心がない |
| 11.9 | 同好の仲間がない | 6.4 | その他 () |
| 3.2 | 活動場所がない | 13.0 | 特になし |
| | | 0.7 | 無回答 |

問6 子育てについておたずねいたします。

(1) 子育ては「楽しい」と思いますか。(子育て経験が無い方は想像で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。)

- | | | | |
|------|-------------|-----|-------------------|
| 29.1 | 楽しい | 4.1 | どちらかと言えば楽しいとは思わない |
| 34.5 | どちらかと言えば楽しい | 2.7 | 楽しいとは思わない |
| 28.0 | どちらとも言えない | 1.6 | 無回答 |

(2) あなたが、子育てに関して大変と感じるのは、具体的にどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。(子育て経験が無い方は想像で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。)

- | | | | |
|------|---------------------------|--|--|
| 26.9 | 子どもの世話で肉体的に疲れる | | |
| 27.6 | 子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない | | |
| 11.6 | 子どもと向き合っていなければならず、気が休まらない | | |
| 18.2 | 子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない | | |
| 14.0 | 親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい | | |
| 6.1 | 配偶者等が子育ての大変さを理解してくれない | | |
| 3.6 | 子育てについて相談する相手がない | | |
| 3.3 | 自分や配偶者等の親や親戚の口出しが多い | | |
| 12.6 | 子どもがいるために思いきり仕事ができない | | |
| 46.6 | 子どもにかかる金銭的な負担が大きい | | |
| 6.6 | その他 () | | |
| 10.9 | わからない | | |
| 5.1 | 無回答 | | |

(3) 子どもを安心して産み、育てることができ、子どもがいる幸せを誰もが実感できる社会を実現させるためには、どのようなことが大切だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 25.7 子育てに関する教育や相談など地域における子育て家庭への支援を充実する
- 21.9 子どもと親の保健医療を充実する
 - 7.2 児童虐待防止をはじめとした要保護児童対策を充実する
- 44.8 児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める
- 25.5 保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める
- 17.7 男性・女性がともに仕事と生活が調和する働き方を進める
 - 9.0 男性の育児参加を進める
- 17.2 確かな学力を定着させるとともに、社会性や人間性を育む学校教育を推進する
- 19.2 子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める
- 22.9 子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める
- 26.2 社会全体で子どもを産み育てることを応援する取り組みを進める
- 17.2 子どもを犯罪から守るための取り組みを進める
 - 4.2 その他 ()
- 3.2 無回答

問7 食品の安全性についておたずねいたします。
あなたは、食品の安全性に不安がありますか。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 21.5 非常にある 53.0 多少ある 8.6 どちらともいえない | <ul style="list-style-type: none"> 12.9 あまりない 3.9 ほとんどない 0.2 無回答 |
|--|---|

問8 県内の外国人住民についておたずねいたします。

県内の外国人住民は12万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。

- 6.8 よいことだと思う
- 23.3 どちらかといえばよいことだと思う
- 33.4 あまり、よいことだとは思わない
- 5.8 よいことだとは思わない
- 29.3 わからない
- 1.3 無回答

(問8で「よいことだと思う」、「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に)

問8-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 67.4 異なる文化に触れる機会が増える | 11.5 地域が活性化される |
| 16.8 少子・高齢化が進む中で、人材が確保される | 3.5 その他 () |
| 26.1 新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる | 3.1 特にない |
| 43.5 国際的な感覚が養われる | 0.3 わからない |
| | 0.4 無回答 |

▶(問8で「あまり、よいことだとは思わない」、「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に)

問8-2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 66.9 言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる | 67.4 治安が悪化する(犯罪が増える) |
| 13.1 自治会などの地域活動が難しくなる | 1.9 その他 () |
| 4.1 地域の伝統や文化が損なわれる | 1.5 特にない |
| 16.2 日本人の雇用機会が奪われる | 0.7 わからない |
| | 0.3 無回答 |

問9 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。

61.0 県の広報紙「彩の国だより」	28.7 テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）
10.0 県広報テレビ番組「テレ玉週刊彩の国ニュース」（土曜 9:00～9:30）	4.0 ミニコミ紙やタウン紙
2.4 県広報ラジオ番組「FMNACK 5. モーニングスクエア」（月～金 8:15～8:25）	3.0 ケーブルテレビ・コミュニティFM
3.8 県ホームページ	5.9 インターネット（4、5、7以外）
0.4 県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	0.4 県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）
48.0 市町村の広報紙	0.8 市町村から直接（窓口、出前講座等）
2.4 市町村ホームページ	12.1 自治会・婦人会・老人会などの回覧
46.0 新聞の記事	9.1 口コミ
	1.7 その他（ ）
	1.1 無回答

問10 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。

20.0 毎回読んでいる	13.3 読んだことがない
14.4 ほとんど読んでいる	5.7 「彩の国だより」を知らない
46.4 ときどき読んでいる	0.4 無回答

Ⅲ スポーツ振興

問11 あなたは、自分の健康や体力に気をつけていますか。

30.0 普段から気をつけている	19.3 あまり気をつけていない
48.3 ある程度気をつけている	2.2 まったく気をつけていない
	0.2 無回答

問12 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去一年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。ウォーキングや軽い体操（※1）、レクリエーション活動（※2）も含めます。

18.1 週に3回以上	11.0 月に1～3回程度	3.2 わからない
10.2 週に2回程度	14.1 年に数回程度	0.4 無回答
14.8 週に1回程度	28.2 ない	-----▶ 問12-1へ

※1 ウォーキングや軽い体操・・・散歩や通勤ウォーキング、ストレッチ、ラジオ体操などを含む。

※2 レクリエーション活動・・・余暇に自ら楽しむために行う活動。具体的には、釣り、キャンプ、ゲートボール、サイクリング、フォークダンス、民謡踊りなど。

（問12で「週に1回以上（計）以外」と答えた方に）

問12-1 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

50.0 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから	17.4 費用がかかるから
7.1 体が弱いから	11.7 運動やスポーツは好きでないから
14.0 年をとったから	26.2 機会がなかったから
12.8 身近に場所や施設がないから	5.3 その他（ ）
12.2 仲間がいないから	9.6 特に理由はない
1.3 指導者がいないから	0.4 わからない
	0.9 無回答

問13 あなたがスポーツやレクリエーション活動をする理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

44.4 健康や体力の維持・増進のため	1.0 運動施設や場所が近くにあるから
25.6 気分転換、気晴らしのため	1.0 試合や大会への参加のため
26.3 運動不足を解消するため	0.8 精神修養や鍛錬のため
11.4 運動することが楽しい、おもしろい、好きだから	0.6 自己記録や能力向上のため
11.6 友人・仲間との交流のため	1.2 その他（ ）
9.8 肥満解消や美容のため	1.6 ただ何となく、特に理由はない
3.7 家族とのふれあいのため	17.9 していない
	5.1 無回答

問14 あなたは、どのようにスポーツと関わっていきたいと思っていますか。現在関わっているスポーツを含めて、関わろうと思うスポーツの分類を次の中から2つまで選んでください。あなたの主観的な考えで結構です。

- | | |
|------|--|
| 58.9 | 個人で行う比較的軽いスポーツ（ランニング、ウォーキングや軽い体操など） |
| 14.3 | 複数人数・チーム等で行う比較的軽いスポーツ（軽い球技やダンス、民謡踊りなど） |
| 6.5 | 個人で行う競技的スポーツ（陸上競技、水泳競技など） |
| 14.9 | 複数人数・チーム等で行う競技的スポーツ（野球、サッカー、テニスなど） |
| 3.9 | 武道（柔道・剣道・空手・弓道など） |
| 22.0 | 比較的広域にわたる野外スポーツ（スキー、登山、サイクリング、サーフィン、ゴルフなど） |
| 12.1 | スポーツをしたいとは思わない |
| 6.5 | わからない |
| 0.6 | 無回答 |

問15 あなたは、総合型地域スポーツクラブ(※)が身近にあれば入りたいと思いますか。

- | | |
|------|-----------------------|
| 6.0 | すでに入っている |
| 8.7 | ぜひ入りたいと思う |
| 37.2 | 会費や種目などの条件が合えば入りたいと思う |
| 33.8 | 入りたいとは思わない |
| 14.0 | わからない |
| 0.3 | 無回答 |

※総合型地域スポーツクラブ・・・地域住民が主体となり、会員の会費で運営され、地域のスポーツ施設（学校や公共体育施設のグラウンド、テニスコート、体育館など）を中心に、子どもから高齢者まで多世代にわたり、さまざまなスポーツを楽しんだり、競技力を高めたりするクラブです。そこでは、スポーツを通じて家族や仲間が集まり地域の人たちと交流したり、種目ごとに専門のコーチがついて、子どもや初心者の方たちにもそれぞれのレベルに応じて親切に教えてくれたりします。

問16 あなたは、スポーツの指導やイベントへの協力（地域の運動会なども含む）など、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。

- | | | | |
|------|---------------|------|--------------------|
| 4.4 | 行っている | 21.2 | 全然（まったく）行いたいとは思わない |
| 1.7 | ぜひ行いたい | 15.1 | わからない |
| 16.5 | できれば行いたい | 0.2 | 無回答 |
| 40.8 | あまり行いたいとは思わない | | |

問17 あなたは、過去1年間に、スポーツの試合や大会（プロスポーツ等を含む）を直接、競技会場等へ観に行く機会がどのくらいありましたか。

- | | | | | | |
|------|------|-----|-------|------|-----|
| 21.0 | 1～2回 | 3.6 | 5～9回 | 64.1 | ない |
| 8.0 | 3～4回 | 2.9 | 10回以上 | 0.3 | 無回答 |

問18 あなたは、プロスポーツや国民体育大会等での、本県のチームや選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。

9.7 非常に関心がある	18.6 ほとんど（まったく）関心がない
37.7 やや関心がある	5.4 わからない
28.4 あまり関心がない	0.3 無回答

IV 水道の未来づくり

問19 あなたは普段、水道水をどのようにして飲んでいますか。最も多いものを一つ選んでください。

31.2 そのまま飲んでいる
48.0 浄水器を通したり、一度沸騰させたりして飲んでいる
20.6 水道水は飲まない（ミネラルウォーターのみ）
0.1 無回答

問20 現在、あなたが使用している水道に対して、不満を感じていることがありますか。次の中から最も不満を感じているものを一つ選んでください。

29.5 水道水の味や臭いなどの水質に不満	4.0 情報提供が不十分
26.6 水道料金が高い	0.9 その他
0.0 工事などによる断水が多い	38.0 特に不満を感じることはない
0.2 窓口や電話の対応が悪い	0.7 無回答

問21 あなたのお宅の水道料金に関して、どのように思いますか。

26.7 高いと思う	0.6 やや安いと思う
29.4 やや高いと思う	0.6 安いと思う
26.2 妥当だと思う	16.1 わからない
	0.4 無回答

問22 あなたは普段、節水への取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

18.3 節水型洗濯機を使用している
10.0 節水型トイレを使用している
11.6 食器洗い機を使用している
35.7 少量の洗濯はまとめて行い、洗濯回数を減らしている
45.3 風呂の残り湯を洗濯や散水等に再利用している
25.7 前日に入った風呂の水を入れ替えないで沸かし直して入浴している
54.5 歯磨き、洗面時には水を流し放しにしない
8.9 水洗トイレのタンクにビンを入れる等、流す水の量を減らしている
3.4 蛇口に節水コマを取り付けている
2.1 その他（)
12.7 特に行っていない
0.3 無回答

問23 水道全般について、あなたの知りたいことや広報してほしいことは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- 51.4 水道水の安全性などの水質に関すること
- 32.2 地震対策や地震時の給水方法について
- 16.8 水道料金の仕組みや内訳
- 6.9 水源（ダム、河川、地下水等）に関すること
- 7.0 水道水の浄水方法など浄水場の運転に関すること
- 8.1 水道水が家庭に届くまでの水の流れに関すること
- 8.9 湧水や節水に関すること
- 6.0 水道施設（浄水場や家庭までの水道管）の整備や工事に関すること
- 10.3 家庭の水道管や水道機器（蛇口など）に関すること
- 0.6 その他（)
- 16.3 特に知りたいことはない
- 0.3 無回答

問24 水道は将来にわたって安全・安心な水を安定的に供給するため、適切な投資を継続的に実施し、それを料金に反映させて経営を維持させています。あなたは今後の水道経営はどのような施策を優先すべきと考えますか。次の中から最も優先すべきものを一つ選んでください。

- 40.6 臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい
- 16.6 安定的に給水するために老朽化した施設を適切に更新してほしい
- 20.3 災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい
- 4.7 環境に配慮した取り組みを実施してほしい
- 12.7 水道料金は上げないでほしい
- 0.6 その他（)
- 4.2 わからない
- 0.4 無回答

問25 県内の水道は、あなたのお住まいの市町村が経営しておりますが、それぞれ水道料金や窓口・広報などのサービスが異なっています。そこで、県では複数の市町村の水道を広域化して、サービスの公平化を図ることについて検討しています。このような取り組みについて、あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

- 52.4 進めるべき
- 24.2 現状のとおり市町村ごとでよい
- 1.3 その他（)
- 21.6 わからない
- 0.4 無回答

県政への要望

問26 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 8.7 省資源やリサイクルをすすめる | 1.3 男女共同参画社会の実現をはかる |
| 16.0 地球温暖化を防止する | 1.8 人権尊重の社会づくりをすすめる |
| 19.7 自然をまもり、緑を育てる | 1.3 生涯学習対策を充実する |
| 9.6 川や大気環境をまもる | 8.5 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する |
| 5.0 廃棄物対策を充実する | 6.2 青少年を健全に育てる |
| 7.7 交通事故をなくす | 3.9 農林業をさかんにする |
| 9.4 災害から県民をまもる | 1.0 観光振興をすすめる |
| 8.2 消費生活の安全を高める | 2.9 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する |
| 17.4 防犯の地域づくりをすすめる | 12.7 雇用の場を広げる |
| 6.8 道路や街路を整備する | 2.7 市町村が主役の地域づくりをすすめる |
| 2.5 生活排水対策をすすめる | 1.7 県民参加の行政をすすめる |
| 5.9 公園、緑地を整備する | 0.8 NPOやボランティアへの活動支援を充実する |
| 7.9 便利な交通網をつくる | 1.9 芸術・文化活動をさかんにする |
| 3.8 都市のバリアフリー化をすすめる | 1.6 スポーツ、レクリエーションをさかんにする |
| 0.7 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める | 0.8 国際交流や国際協力をすすめる |
| 30.8 高齢者の福祉を充実する | 1.8 その他（ ） |
| 3.6 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる | 2.3 わからない |
| 17.3 子育て支援を充実する | 0.2 無回答 |
| 27.7 医療サービス体制を整備する | |
| 3.3 健康づくりをすすめて、疾病を予防する | |
| 16.8 食品の安全をまもる | |

フェースシート

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計解析に必要な事項を少し伺わせてください。

F 1 【性別】

49.8 男性	50.2 女性
---------	---------

F 2 【年齢】あなたのお年は満でおいくつですか。

4.5 20～24歳	9.1 35～39歳	8.0 50～54歳	11.3 65～69歳
5.7 25～29歳	9.0 40～44歳	9.5 55～59歳	15.0 70歳以上
8.2 30～34歳	8.1 45～49歳	11.6 60～64歳	

F 3 【職業】あなたのお仕事は何ですか。

7.9 自営業主
2.8 家族従業（家業手伝い）
37.8 勤め（全日）
15.0 勤め（パートタイム）
18.1 無職の主婦・主夫
1.8 学生
16.4 その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人）
0.2 無回答

（F 3で「自営業主」、「家族従業（家業手伝い）」のいずれかを答えた方に） ←

F 3-1 あなたの仕事の内容は何ですか。

12.4 農林漁業	15.4 自由業（開業医、弁護士、芸術家など）
68.9 商工・サービス業	3.3 無回答
	（F 3-1の次はF 4へ）

→（F 3で「勤め（全日）」、「勤め（パートタイム）」のいずれかを答えた方に）

F 3-2 あなたの働き方は何ですか。

59.8 正社員、正規職員	40.1 非正社員（派遣、契約、嘱託、パート・アルバイトなど）
	0.2 無回答

（F 3-2の次はF 3-3へ）

(F3で「勤め(全日)」、「勤め(パートタイム)」のいずれかを答えた方に)

F3-3 あなたの仕事の内容は何ですか。

8.1	経営・管理職(民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上)
20.0	専門・技術職(教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など)
21.2	事務職(事務員、オペレーターなど)
19.8	生産工程・労務職(工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など)
22.1	販売・サービス職(販売員、理美容師、調理師など)
6.2	その他()
2.5	無回答

F4 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。

1.0	1年未満	5.6	5年～10年未満	20.7	20年～30年未満
2.0	1年～3年未満	5.9	10年～15年未満	54.9	30年以上
2.0	3年～5年未満	6.9	15年～20年未満	1.0	無回答

F5 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。

43.4	はい(埼玉県)	56.3	いいえ(埼玉県外)	0.3	無回答
------	---------	------	-----------	-----	-----

(F5で「いいえ」と答えた方に)

F5-1 あなたの出身県はどちらですか。

--

(都道府県名)

--

(調査員記入欄)

F6 【家族人数】いま一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

8.7	1人	26.7	3人	8.9	5人	2.0	7人以上
26.7	2人	22.0	4人	4.6	6人	0.4	無回答

F7 【結婚】あなたは結婚していますか。

18.8	未婚 ⇒ (F8へ)	70.5	既婚・有配偶	10.0	既婚・離死別	0.7	無回答
------	------------	------	--------	------	--------	-----	-----

(F7で「既婚・有配偶」、「既婚・離死別」のいずれかを答えた方に)

F7-1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

19.7	1人	16.0	3人	0.6	5人以上	9.7	いない
50.7	2人	3.1	4人			0.3	無回答

(次ページ問7-1-1へ)

(F7-1で「いる」と答えた方に)

F7-1-1 お子さんはそれぞれどんな段階ですか。

9.7	0～3歳	2.1	短大生・専門学校生
6.3	4歳以上で小学校入学前	8.0	大学生・大学院生
15.0	小学生	32.6	学校教育終了・未婚
9.1	中学生	44.3	学校教育終了・既婚
10.2	高校生	1.9	その他 ()
		0.9	無回答

F8 【家族形態】お宅の家族形態は、このように分けるとどれにあたりますか。

9.0	単身	55.9	二世帯世帯 (親と子)	2.2	その他 ()
20.9	夫婦のみ	11.1	三世帯世帯 (親と子と孫)	0.8	無回答

F9 【住居形態】お宅のお住まいはこの中のどれにあたりますか。

66.7	持家 (一戸建)	1.4	社宅・公務員住宅など給与住宅 - 住み込み、寮、寄宿舎など
13.7	持家 (分譲マンションなど集合住宅)	0.2	その他 ()
13.3	民間の借家 (賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)	0.2	無回答
4.5	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート		

長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。

(参考) 都道府県コード一覧

都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称
01	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県
02	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県
03	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県
04	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県
05	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県
06	山形県	16	富山県	26	京都府	36	徳島県
07	福島県	17	石川県	27	大阪府	37	香川県
08	茨城県	18	福井県	28	兵庫県	38	愛媛県
09	栃木県	19	山梨県	29	奈良県	39	高知県
10	群馬県	20	長野県	30	和歌山県	40	福岡県
						41	佐賀県
						42	長崎県
						43	熊本県
						44	大分県
						45	宮崎県
						46	鹿児島県
						47	沖縄県
						48	海外
						99	不明

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和43年度から世論調査を実施しており、今回が45回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。

(参考資料)

世論調査実施状況

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ゴミ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ゴミ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
23	昭和62年度	6月1日～6月30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～7月31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシアム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～7月29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しいにづくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～7月31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活規範とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料 1 部を下記の担当課へ送付願います。

平成21年度

埼玉県政世論調査

平成21年11月発行

埼玉県県民生活部広聴広報課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1



埼玉県のマスコット「コバトン」